

DocuPrint M260 z
ユーザーズガイド
パソコン活用&ネットワーク



本ガイドの使い方

- ・ [推奨ブラウザ](#)
- ・ [対象となるモデル](#)
- ・ [マークについて](#)
- ・ [編集ならびに出版における通告](#)
- ・ [重要事項](#)

推奨ブラウザ

本ガイドを表示する場合、以下のウェブブラウザのご使用を推奨します。

OS	推奨ブラウザ
Windows®	Internet Explorer® 8.0/9.0/10.0 Mozilla® Firefox®
Macintosh®	Safari® 5.1/6.0

どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。

✓ 関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

対象となるモデル

本ガイドは、以下のモデルを対象としています。

DocuPrint M260 z

✓ 関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

マークについて

本ガイドでは、以下の記号と規則を使用しています。



ヒントのアイコンは、便利なヒントや補足情報を示しています。

関連情報

関連情報はページ内の情報に加え、参照いただきたいページへのリンクを示しています。

✓ 関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

富士ゼロックス株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。

また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

©2015 Fuji Xerox Co.,Ltd. All rights reserved.

✓ 関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

重要事項

- ・ 本製品の使用は、購入された国内でのみ許可されています。購入された国以外で本製品を使用しないでください。使用すると、当該国の無線通信および電力規制に違反する場合があります。
- ・ 本文中の Windows Server® 2008 は、Windows Server® 2008 および Windows Server® 2008 R2 を指します。
- ・ 特に記載のない限り、本ガイドに掲載の画面には、Windows® 7 および OS X® v10.7.x の画面を使用しています。パソコンに表示される画面は、お使いのオペレーティングシステムによって異なる場合があります。

✓ 関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

目次

印刷	1
印刷の前に	2
パソコンから印刷する (Windows®)	3
基本的な印刷方法 (Windows®)	4
拡張機能を使った印刷方法 (Windows®)	25
おまかせ印刷を選択する (Windows®)	40
デフォルトの印刷設定を変更する (Windows®)	43
お使いのパソコンから本製品の状態を監視する (Windows®)	44
パソコンから印刷する (Macintosh®)	45
原稿を印刷する (Macintosh®)	46
印刷オプションを設定する (Macintosh®)	47
パソコンから本製品の状態を監視する (Macintosh®)	68
本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について	69
印刷ジョブをキャンセルする	70
両面印刷設定を変更する	71
自動継続	72
プリンターをお買い上げ時の設定に戻す	73
プリンター設定値のリストを印刷する	74
テスト印刷	75
スキャン	76
スキャンの前に	77
ネットワークスキャンの設定 (Windows®)	78
ネットワークスキャンの設定 (Macintosh®)	82
本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて	84
写真やイメージをスキャンする	85
スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する	86
スキャン to FTP のスキャン設定	87
編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)	88
スキャンしたデータを E-mail 添付する	89
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する	90
Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)	95
ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)	98
ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)	101
パソコンからスキャンする (Windows®)	105
ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)	106
ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)	126
Presto! PageManager またはその他の Windows® アプリケーションを使ってスキャンする	139
Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする	143
パソコンからスキャンする (Macintosh®)	147
ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)	148
Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®)	159
ICA ドライバーを使ってスキャンする	165

ダイレクトファクス (PC-FAX)	170
Windows®用 PC-FAX	171
PC-FAX の概要 (Windows®)	172
パソコンでファクスを受信する (Windows®)	195
Macintosh®用 PC-FAX	203
PC-FAX の概要 (Macintosh®)	204
アプリケーションからファクスを送信する (Macintosh®)	205
リモートセットアップ	208
リモートセットアップ (Windows®)	209
リモートセットアップを使用して、パソコンから本製品の設定を変更する (Windows®)	210
ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)	212
ControlCenter4 を使用して本製品の電話帳を編集する (Windows®)	214
リモートセットアップ (Macintosh®)	215
ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)	216
ControlCenter2 を使用して本製品の電話帳を編集する (Macintosh®)	218
ネットワーク	219
はじめに	220
サポート対象の基本ネットワーク機能について	221
ネットワーク接続タイプの選択について	222
有線 LAN 接続について	223
無線 LAN 接続について	226
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について	229
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて	230
ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて	234
本製品のネットワーク設定について	242
操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する	243
ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する	244
BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows®および Macintosh®)	245
リモートセットアップを使ったネットワーク設定方法 (Windows®および Macintosh®)	246
無線 LAN 設定方法について	247
無線 LAN の設定を行う前に	248
USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する	249
インストーラーアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する	251
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について	252
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する	254
アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)	259
本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する	263
SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する	265
Wi-Fi Direct の使用について	267
高度なネットワーク機能について	276
ネットワーク設定レポートを印刷する	277
ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について	278
上級ユーザーのための技術的な情報について	282
サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について	283

Windows®からのネットワークの追加設定について	284
利用可能なサービス	291
その他の IP アドレス設定方法について	292
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする	298
WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する	299
トラブルシューティング	302
問題解決のための事前トラブルシューティングについて	303
問題の特定と解決について	304
操作パネルのネットワークメニューについて	317
TCP/IP	318
イーサネット（有線 LAN のみ）	320
有線 LAN の状態	321
MAC アドレス	322
WLAN アシスタント（無線 LAN のみ）	323
セットアップウィザード（無線 LAN のみ）	324
WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）	325
WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）	326
WLAN ステータス（無線 LAN のみ）	327
デフォルトの設定	328
有線対応（有線 LAN のみ）	329
WLAN 対応（無線 LAN のみ）	330
Wi-Fi Direct	331
FTP へのスキャン画像の送信	332
ネットワークリセット	333
セキュリティ	334
本製品の設定値のロックについて	335
ロックの設定の使用について	336
ネットワークセキュリティ機能を使用する前に	342
サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について	343
セキュリティプロトコル	344
E-mail を送受信するためのセキュリティ方式について	345
ウェブブラウザ設定（ウェブブラウザ）を使用してネットワーク製品を安全に管理する	346
E-mail の送受信について	348
ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する	349
ユーザー認証を使用した E メール送信について	350
ControlCenter	351
ControlCenter4（Windows®）	352
ControlCenter4 のモードを変更する（Windows®）	353
ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする（Windows®）	356
ControlCenter4 Home モードのスキャン設定（Windows®）	357
ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする（Windows®）	359
ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定（Windows®）	360
ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する（Windows®）	363
PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する（Windows®）	365
ControlCenter4 を使用してファクスの表示と印刷を行う（Windows®）	366
ControlCenter4 Advanced モードを使って原稿をコピーする（Windows®）	367

■ ホーム > 目次

ControlCenter4 から BRAdmin ユーティリティを起動する (Windows®)	368
ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)	369
ControlCenter2 (Macintosh®)	371
ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)	372
ControlCenter2 のスキャン設定 (Macintosh®)	373
ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)	376
ControlCenter2 の自動起動をオフにする (Macintosh®)	378

用語集	379
------------------	------------

印刷

- 印刷の前に
- パソコンから印刷する (Windows®)
- パソコンから印刷する (Macintosh®)
- 本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について

印刷の前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- Fuji Xerox プリンタードライバー&ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
- USB またはネットワークケーブルを使用する場合：インターフェースケーブルが正しく接続されていることを確認します。

印刷、スキャン、およびファクス送信を同時に行う

本製品は、ファクスの送信中、メモリーの受信、スキャンしたデータをパソコンに取り込み中であっても、印刷することができます。パソコンからの印刷中、FAX 送信は中断されません。しかし、コピー中やファクスを受信し印刷しているときは、印刷操作を一時停止し、コピーやファクス受信の終了後に印刷を再開します。

ファイアウォール (Windows®)

お使いのパソコンがファイアウォールで保護されていて、ネットワーク印刷、ネットワークスキャン、または PC-FAX が使用できない場合、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows®ファイアウォールを使用し、Fuji Xerox プリンタードライバー&ソフトウェアを付属の CD-ROM からインストールした場合は、必要なファイアウォールの設定変更がされています。その他のファイアウォールソフトウェアを使用している場合、お使いのソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造メーカーにお問い合わせください。

✓ 関連情報

- ・ [印刷](#)

パソコンから印刷する (Windows®)

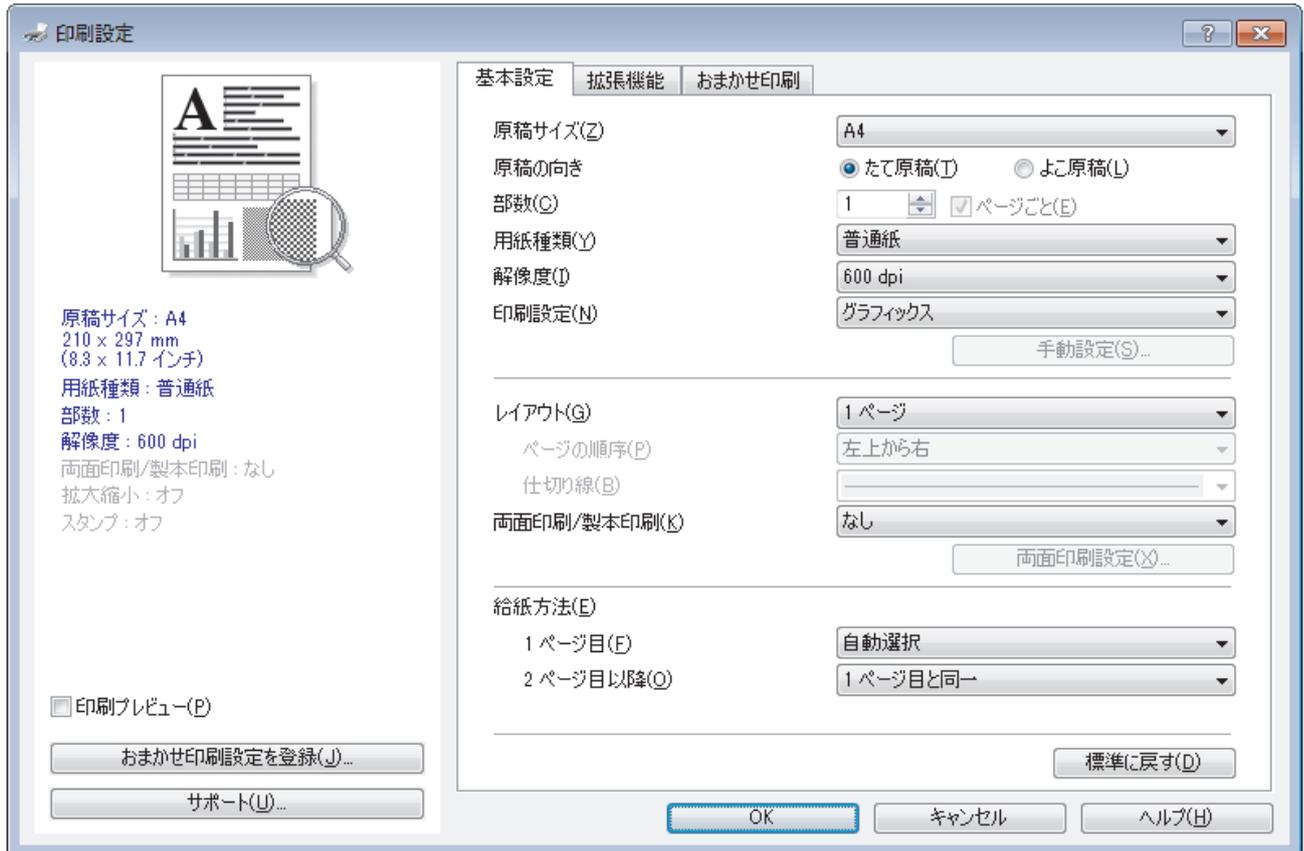
- 基本的な印刷方法 (Windows®)
- 拡張機能を使った印刷方法 (Windows®)
- おまかせ印刷を選択する (Windows®)
- デフォルトの印刷設定を変更する (Windows®)
- お使いのパソコンから本製品の状態を監視する (Windows®)

基本的な印刷方法 (Windows®)

- 原稿を印刷する (Windows®)
- 印刷プレビュー (Windows®)
- 原稿のサイズを変更する (Windows®)
- 印刷物の向きを変更する (縦または横) (Windows®)
- 同一原稿を複数部印刷する (Windows®)
- メディアの種類を変更する (Windows®)
- 解像度を変更する (Windows®)
- 印刷設定を変更する (Windows®)
- 階調印刷の品質を高める (Windows®)
- パターン印刷の品質を高める (Windows®)
- 細線の質を高める (Windows®)
- 1枚の用紙に複数ページを印刷する (N in 1) (Windows®)
- ポスターとして印刷する (Windows®)
- 用紙の両面に印刷する (Windows®)
- 小冊子として印刷する (Windows®)
- 用紙の補給方法を変更する (Windows®)

原稿を印刷する (Windows®)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択して、印刷プロパティまたは設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの画面が表示されます。



3. 標準トレイに正しいサイズの内紙がセットされているかを確認します。
4. **原稿サイズ**のリストから原稿サイズを選択します。
5. **原稿の向き**欄で、**たて原稿**または**よこ原稿**を選択して、印刷出力の方向を設定します。



お使いのアプリケーションに同様のレイアウト機能がある場合は、そちらの機能のご使用をお奨めします。

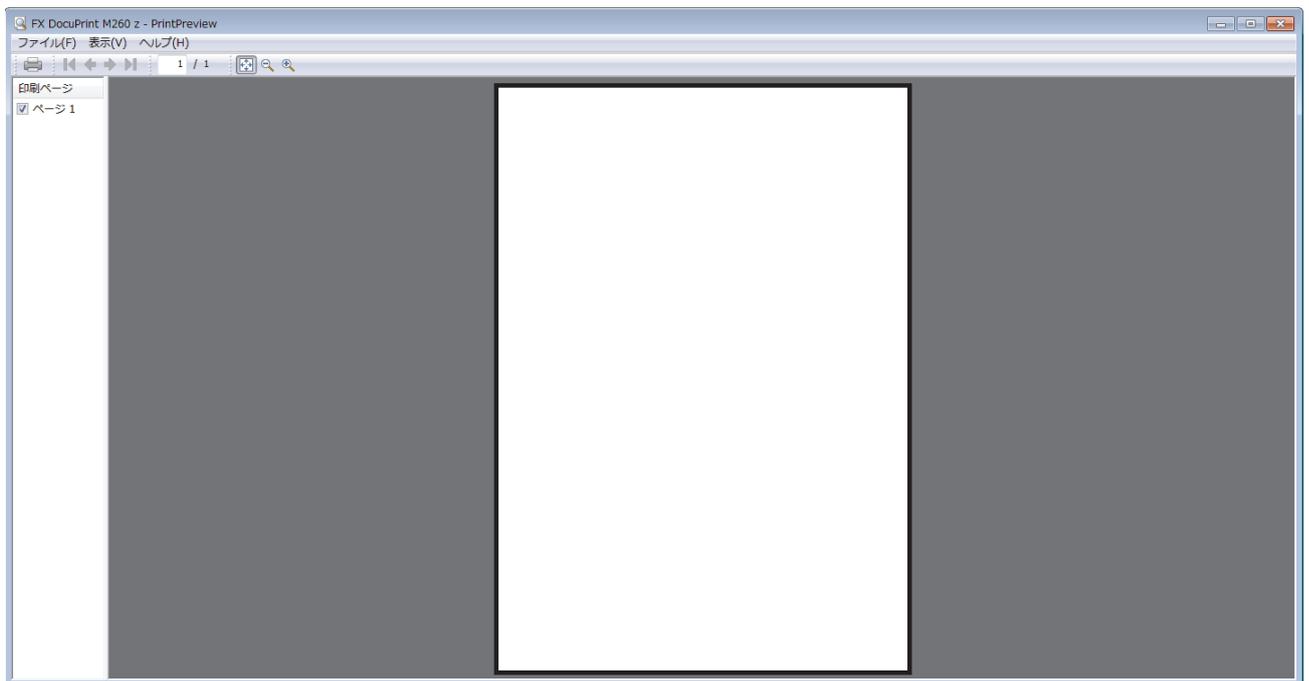
6. **部数**欄に、印刷したいコピー部数 (1~999 部) を入力します。
7. **用紙種類**のリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
8. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト**のリストからお好みの設定を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **OK** をクリックします。
11. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

印刷プレビュー (Windows®)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択して、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. 印刷プレビューのチェックボックスを選択します。
4. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
5. **OK** をクリックします。
6. お使いのアプリケーションのダイアログボックスで、進むボタンまたは次へボタンをクリックします。印刷が始まる前に **PrintPreview** 画面が開きます。



7. **印刷ページ**欄で、一覧の中から印刷したいページを選択します。印刷結果がプレビューに表示されます。デフォルト設定では、すべてのページが選択されます。一部のページのみ印刷する場合は、印刷しないページのチェックボックスを外します。



プリンタードライバ上で両面印刷/製本印刷設定が選択されている場合は、印刷ページのチェックボックスは選択できません。

8. **ファイル**をクリックし、**印刷**をクリックして印刷を開始します。



関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

原稿のサイズを変更する (Windows®)

標準の用紙にはさまざまなサイズが用意されています。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **原稿サイズ**のリストから原稿サイズを選択します。
4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)
- ・ [カスタム原稿サイズを作成する \(Windows®\)](#)

カスタム原稿サイズを作成する (Windows®)

- 以下のどれかを行ってください。
 - (Windows Vista®および Windows Server® 2008 の場合)
 (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。
 - (Windows® 7 および Windows Server® 2008 R2 の場合)
 (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。
 - (Windows® 8 の場合)
マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
 - (Windows Server® 2012 の場合)
マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
 - (Windows Server® 2012 R2 の場合)
コントロール パネル画面で**スタート**をクリックします。ハードウェアグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
- Fuji Xerox DocuPrint M260 z** アイコンを右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバのオプションが表示された場合は、お使いのプリンタードライバを選択します。
- 全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。
プリンタードライバダイアログボックスが表示されます。

 - トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします。
 - プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。
- 原稿サイズのリストから**ユーザー定義**を選択します。
- カスタム原稿サイズ名欄で、カスタムサイズ名を入力します。
- 幅および高さの値を指定します。
- 保存**をクリックします。
- OK** をクリックします。
- OK** をクリックします。
- プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

✓ 関連情報

- 原稿のサイズを変更する (Windows®)

印刷物の向きを変更する (縦または横) (Windows®)

たて原稿	よこ原稿
 A preview of a document in portrait orientation. The text 'A' is at the top left, followed by several lines of text, a table, and a bar chart at the bottom.	 A preview of the same document in landscape orientation. The text 'A' is at the top left, followed by several lines of text, a table, and a bar chart at the bottom.

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **原稿の向き**欄で、**たて原稿**または**よこ原稿**を選択して、印刷出力の方向を設定します。



お使いのアプリケーションに同様のレイアウト機能がある場合は、そちらの機能のご使用をお奨めします。

4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

同一原稿を複数部印刷する (Windows®)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **部数**欄に、印刷したいコピー部数 (1~999 部) を入力します。
4. 必要に応じて、**ページごと**チェックボックスを選択します。

ページごと

ページごとチェックボックスを選択している場合、原稿の完全なコピーが一枚印刷され、その後選択した部数に応じて再度印刷されます。ページごとチェックボックスを選択していない場合は、選択したコピーの部数に応じて原稿の各ページが印刷されてから、次のページが印刷されます。

5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

メディアの種類を変更する (Windows®)

最適な印刷結果にするために、プリンタードライバー上で印刷に使用する用紙を選択してください。選択された用紙の種類によって、印刷方法を変更して印刷します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **用紙種類** ドロップダウンリストをクリックして、使用するメディアの種類を選択します。

選択するメディアの種類	用紙
普通紙 (厚め)	一般的な普通紙
普通紙	薄紙
厚紙	下書き用紙または厚紙
超厚紙	厚紙を選択している場合はこのオプションを選択すると、印刷中にトナーのぼやけが発生します。
ボンド紙	ボンド紙
封筒	封筒
封筒 (厚め)	封筒の選択時に、封筒にトナーが正しく付着しない場合、このオプションを選択します。
封筒 (薄め)	封筒の選択時に、封筒にしわが生じる場合は、このオプションを選択します。
再生紙	再生紙
ラベル紙	ラベル

4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

解像度を変更する (Windows®)

印刷解像度を選択することができます。印刷品質と印刷速度は関連しているため、解像度が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **解像度** ドロップダウンリストをクリックしてから、使用する印刷解像度をクリックします。
 - 300 dpi
 - 600 dpi
 - HQ 1200
4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

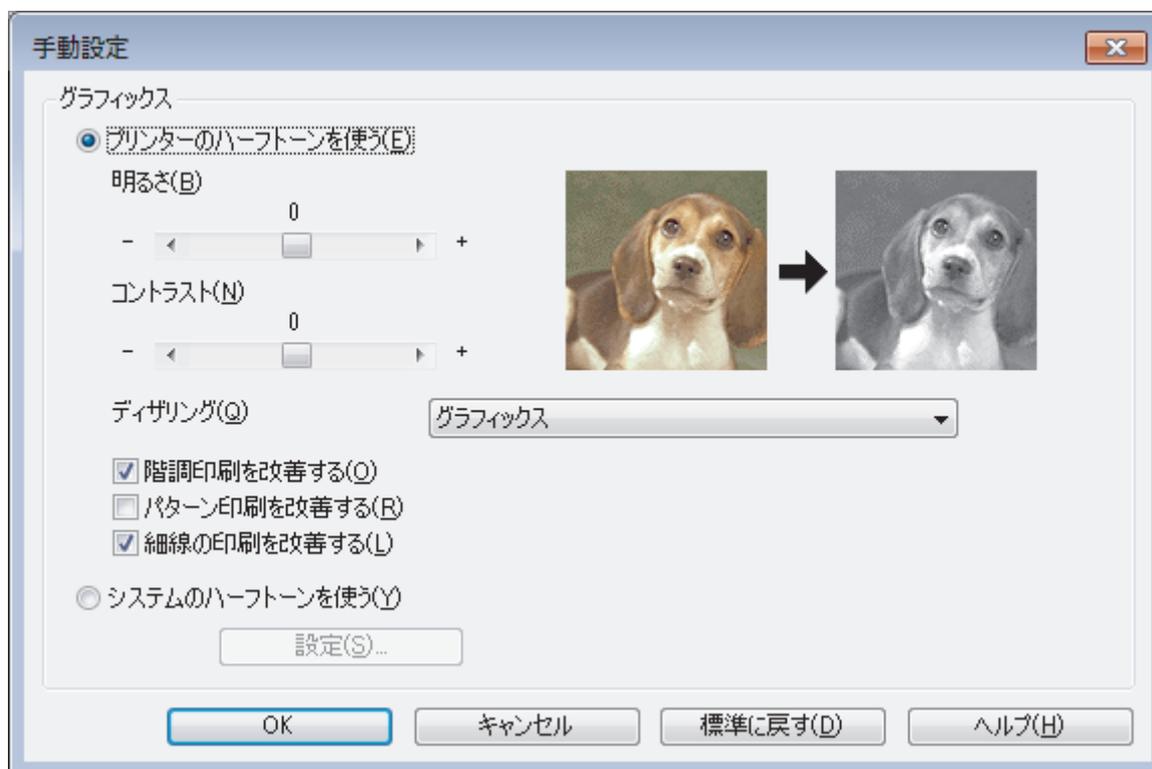
印刷設定を変更する (Windows®)

印刷設定の選択では、印刷解像度を選択できます。印刷品質と印刷速度は関連しているため、品質が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **印刷設定** ドロップダウンリストをクリックしてから、使用する印刷設定をクリックします。

オプション	説明
グラフィックス	図表を含む文書の印刷には、これが最適なモードです。
テキスト	テキスト文書の印刷には、これが最適なモードです。
手差し	詳細設定を手動で変更できます。

4. 輝度や明度などの詳細設定を変更するには、**手差し**を選択して、**手動設定…**をクリックします。



5. **OK** をクリックします。
6. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ 基本的な印刷方法 (Windows®)

階調印刷の品質を高める (Windows®)

影の部分の画像品質を高めることができます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. 印刷設定のドロップダウンリストをクリックして、**手差し**を選択し、**手動設定…**ボタンをクリックします。
4. **階調印刷を改善する**チェックボックスを選択します。
5. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

パターン印刷の品質を高める (Windows®)

パソコン画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合に、パターン印刷を改善することができます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. 印刷設定のドロップダウンリストをクリックして、**手差し**を選択し、**手動設定…**ボタンをクリックします。
4. **パターン印刷を改善する**のチェックボックスにチェックを入れます。
5. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

細線の質を高める (Windows®)

このオプションを使用して、細線の画像品質を高めます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. 印刷設定のドロップダウンリストをクリックして、**手差し**を選択し、**手動設定…**ボタンをクリックします。
4. **細線の印刷を改善する**のチェックボックスが選択されていることを確認します。
5. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

1 枚の用紙に複数ページを印刷する (N in 1) (Windows®)



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **原稿の向き**欄で、**たて原稿**または**よこ原稿**を選択して、印刷出力の方向を設定します。



お使いのアプリケーションに同様のレイアウト機能がある場合は、そちらの機能のご使用をお奨めします。

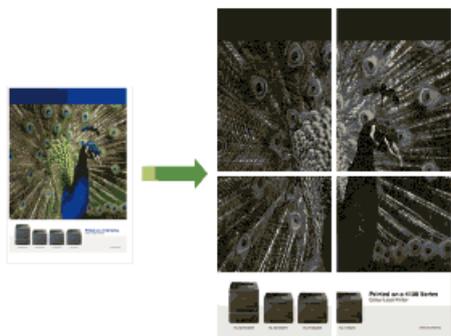
4. **レイアウト**のリストから **2 ページ**、**4 ページ**、**9 ページ**、**16 ページ**、または **25 ページ** を選択します。
5. **ページの順序**のリストからページの順序を選択します。
6. **仕切り線**のリストから仕切り線のタイプを選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

ポスターとして印刷する (Windows®)

印刷サイズを拡大してポスターモードで文書や画像を印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. レイアウトのリストから**縦 2 x 横 2 倍**、**縦 3 x 横 3 倍**、**縦 4 x 横 4 倍**、または**縦 5 x 横 5 倍**を選択します。
4. 必要に応じて、**切り取り線を印刷**のチェックボックスを選択します。

切り取り線を印刷

切り取りを簡単に行えるように、印刷可能な領域の周りに薄く切り取り線を印刷します。

5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

用紙の両面に印刷する (Windows®)



- 自動両面印刷機能を使用する場合、A4 サイズの用紙を選択します。
 - バックカバーが閉まっていることを確認します。
 - 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから標準トレイに戻します。
 - 普通紙または薄紙を使用します。ポンド紙は使用しないでください。
 - 用紙が薄過ぎると、しわになることがあります。
 - 手動の両面印刷機能を使用する場合、紙詰まりが発生したり、印刷品質が悪くなる場合があります。
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
 2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
 3. **原稿の向き欄**で、**たて原稿**または**よこ原稿**を選択して、印刷出力の方向を設定します。

 お使いのアプリケーションに同様のレイアウト機能がある場合は、そちらの機能のご使用をお奨めします。

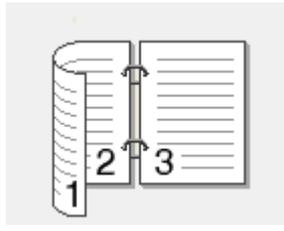
4. **両面印刷/製本印刷**ドロップダウンリストをクリックして、**両面印刷**または**両面印刷 (手動)**を選択します。

オプション	説明
両面印刷	自動的に用紙の両面に印刷します。
両面印刷 (手動)	本製品では、最初にすべての用紙の片面に偶数ページの内容を印字します。それから、プリンタードライバーにより用紙を再度セットするよう求められます (ポップアップメッセージの表示)。

5. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
6. **綴じ方**メニューからどれか1つを選択します。
両面が選択された場合、それぞれの向きで、4種類の両面印刷の綴じ方から選択できます。

縦向き	説明
-----	----

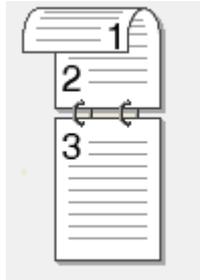
長辺綴じ (左)



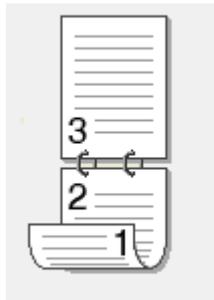
長辺綴じ (右)



短辺綴じ (上)

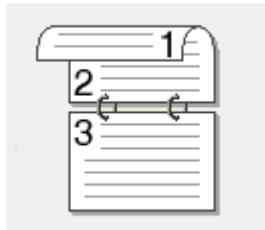


短辺綴じ (下)

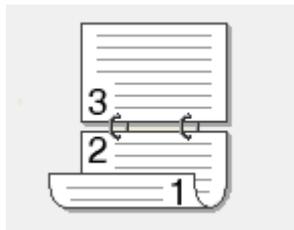


横向き	説明
-----	----

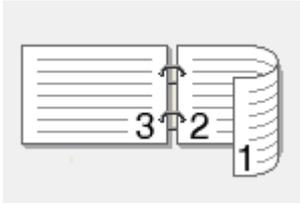
長辺綴じ (上)

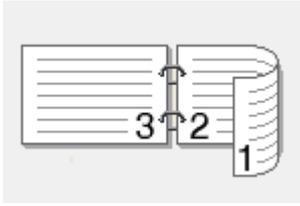


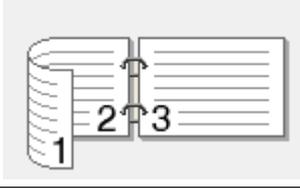
長辺綴じ (下)

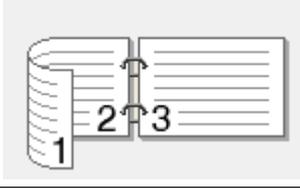


横向き	説明
-----	----

短辺綴じ (右)	
----------	---



短辺綴じ (左)	
----------	---



7. 綴じしろをインチまたはミリメートル単位で指定する場合、**綴じしろ**チェックボックスにチェックを入れます。
8. **OK** をクリックします。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. 以下のどちらかを行ってください。
 - 自動両面印刷の場合、もう一度**決定**をクリックして、印刷操作を完了させます。
 - 手動両面印刷の場合、もう一度**決定**をクリックして、画面に表示される指示に従ってください。

用紙が正しくセットされていないと、巻き上がることがあります。用紙を取り外し、真っ直ぐに伸ばしてから標準トレイに戻します。

✓ 関連情報

- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

小冊子として印刷する (Windows®)

このオプションを使用して、両面印刷の小冊子形式で原稿を印刷します。原稿の各ページはページ番号どおりに並べられます。印刷出力紙を中央で折り、小冊子のページの順序で読むことができます。ページを並べ替える必要はありません。



- 自動両面印刷機能を使用する場合、A4 サイズの用紙を選択します。
 - バックカバーが閉まっていることを確認します。
 - 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから標準トレイに戻します。
 - 普通紙または薄紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
 - 用紙が薄過ぎると、しわになることがあります。
 - 手動の両面印刷機能を使用する場合、紙詰まりが発生したり、印刷品質が悪くなる場合があります。
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
 2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
 3. **原稿の向き**欄で、**たて原稿**または**よこ原稿**を選択して、印刷出力の方向を設定します。



お使いのアプリケーションに同様のレイアウト機能がある場合は、そちらの機能のご使用をお奨めします。

4. **両面印刷/製本印刷**ドロップダウンリストをクリックして、**製本印刷**または**製本印刷 (手動)**を選択します。

オプション	説明
製本印刷	自動的に小冊子として印刷します。
製本印刷 (手動)	手動で小冊子として印刷します。

5. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
6. **綴じ方**メニューからオプションのどちらかを選択します。
各方向に対して、両面印刷用に2種類の綴じ方向があります。

縦向きオプション	説明
左綴じ	

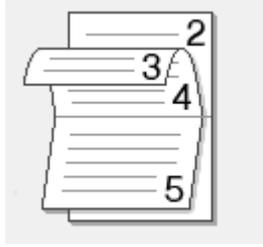
縦向きオプション	説明
----------	----

右綴じ



横向きオプション	説明
----------	----

上綴じ



下綴じ



7. 製本印刷方法メニューからオプションのどちらかを選択します。

オプション	説明
-------	----

全ページをまとめて印刷

各ページが小冊子形式（1枚に4ページ、片面に2ページ）で印刷されます。印刷出力紙を中央で折って小冊子を作ります。



複数ページに分けて印刷

このオプションを使用すると、小冊子全体をより小さなサイズの複数の小冊子に分けて印刷し、小さなサイズのそれぞれの小冊子を、印刷ページの順序を変えずに中央で折ることができます。各小冊子の枚数を指定できます（1～15枚）。このオプションは、印刷出力されたページ数の多い小冊子を折る場合に便利です。



- 綴じしろをインチまたはミリメートル単位で指定する場合、綴じしろチェックボックスにチェックを入れます。
- OK をクリックします。
- 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
- 以下のどちらかを行ってください。
 - 自動製本印刷の場合は、OK をもう一度クリックして、印刷操作を完了させます。
 - 手動製本印刷の場合は、OK をもう一度クリックして、画面の指示に従います。

✓ 関連情報

- 基本的な印刷方法 (Windows®)

用紙の補給方法を変更する (Windows®)

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **1 ページ目および 2 ページ目以降** のドロップダウンリストをクリックし、各一覧から標準トレイを選択します。

オプション	説明
自動選択	本製品上で設定された用紙タイプおよび原稿サイズがプリンタードライバの設定と一致する場合、本製品は使用するトレイを自動的に選択します。各トレイの原稿サイズおよび用紙タイプが、本製品上で正しく設定されている必要があります。
トレイ 1	印刷時、トレイ#1 のみを使用します。
手差し	印刷時、本製品は手差しスロットのみを使用します。



原稿の最初のページと 2 ページ目以降でそれぞれ異なるトレイを指定することができます。

4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。



関連情報

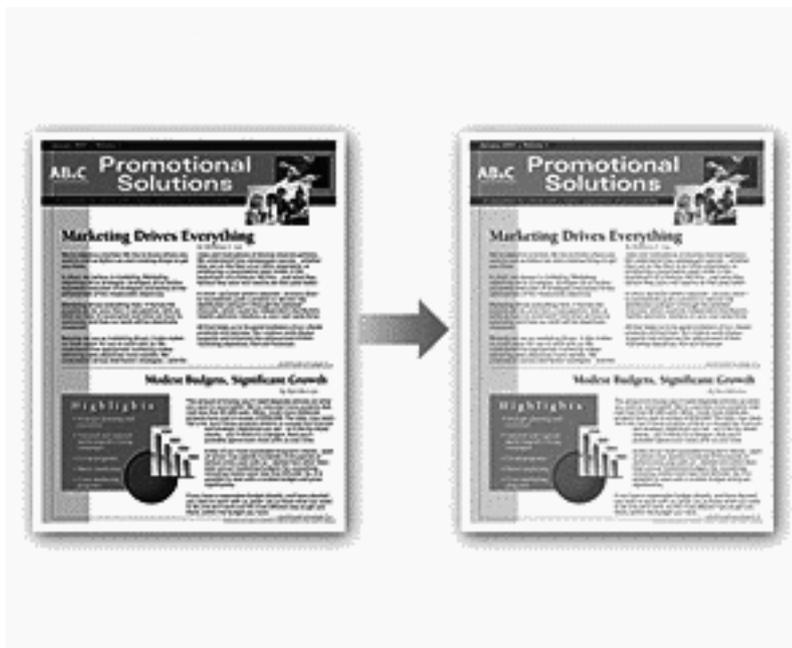
- ・ [基本的な印刷方法 \(Windows®\)](#)

拡張機能を使った印刷方法 (Windows®)

- トナー節約モードで印刷する (Windows®)
- 拡大/縮小印刷 (Windows®)
- 逆向き印刷を行う (Windows®)
- 印刷文書にスタンプを入れる (Windows®)
- 日時およびログインユーザー名を文書に印刷する (現在の日付・時間・ID を印刷する) (Windows®)
- パソコンからフォームを使用する (Windows®)
- 印刷濃度を調整する (Windows®)
- 用紙の巻き上りを抑える (Windows®)
- トナー定着の質を向上させる (Windows®)
- 白紙ページを節約する (Windows®)
- 文字を黒で印刷する (Windows®)
- 印刷データのアーカイブファイルを保存する (Windows®)

トナー節約モードで印刷する (Windows®)

この機能では通常より少ない量のトナーで印刷するため、トナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。



このモードは、写真またはグレースケール画像の印刷には向きません。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **トナー節約モード** のチェックボックスを選択します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

拡大/縮小印刷 (Windows®)

文書のページを拡大または縮小して、原稿サイズにあうように印刷できます。

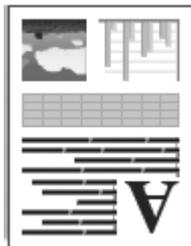
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. 以下のどちらかを行ってください。
 - 印刷する原稿サイズに合わせて文書を拡大または縮小するときは、**出力用紙サイズに合わせる**を選択し、リストから原稿サイズを選択します。
 - 手動で文書のサイズを拡大または縮小したいときは**倍率を指定する**を選択し、数値を入力します。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

逆向き印刷を行う (Windows®)

180 度回転して印刷します。



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **上下反転** のチェックボックスにチェックを入れます。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。
7. 印刷操作を完了します。

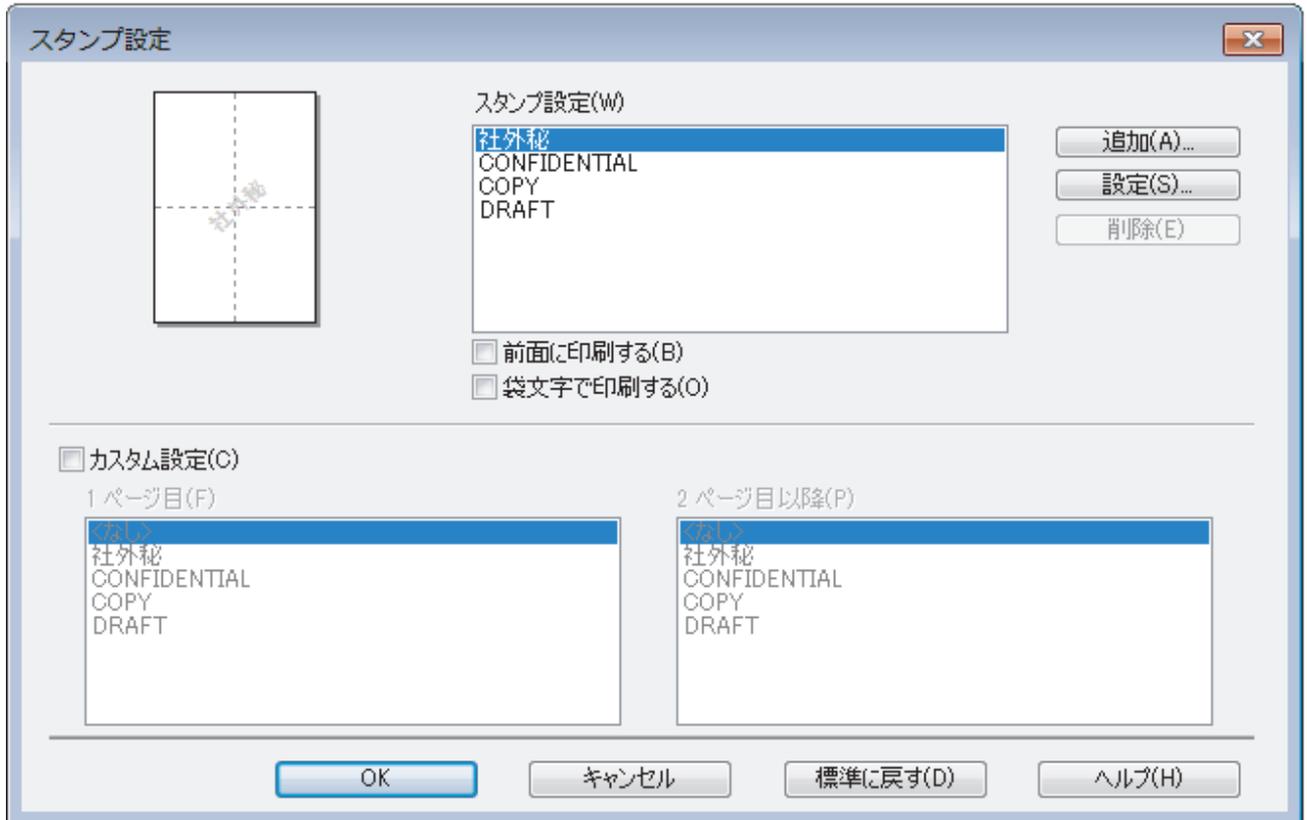
✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

印刷文書にスタンプを入れる (Windows®)

ロゴやテキストをスタンプとして文書に印刷します。あらかじめ設定されているスタンプの中から選択するか、新しいスタンプを追加するか、作成した画像ファイルを使うこともできます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **スタンプを使う** のチェックボックスにチェックを入れ、**設定** ボタンをクリックします。



5. **スタンプ設定** リストから使用するスタンプを選択するか、新しいスタンプを作成します。
 - 新しいスタンプを作成するには、**追加** をクリックします。
 - a. **スタイル** フィールドで、**文字を使う** または **画像ファイルを使う** を選びます。
 - b. **タイトル** フィールドにスタンプのタイトルを入力します。
 - c. **文字を使う** を選んだ場合：
 - **テキスト**、**フォント**、**スタイル**、**サイズ** および **濃さ** を選びます。
 - d. **画像ファイルを使う** を選んだ場合：
 - 使用する画像のファイル名と場所を **ファイル** 欄に入力するか、**参照** ボタンをクリックしてファイルを検索します。
 - 画像は、選択後に **サイズ** を変えることができます。
 - e. スタンプの位置を移動する場合は、**位置** 欄で調整します。
 - 既存のスタンプを変更するには、変更するスタンプを選び、**設定** ボタンをクリックします。

前面に印刷する

印刷した文書にスタンプが重ねて印刷されます。

袋文字で印刷する

袋文字で印刷するのチェックボックスを選択すると、スタンプのアウトラインのみが印刷されます。この機能は、文字のスタンプを使用している場合のみ使用できます。

カスタム設定

どのページにスタンプを印刷するかを選択します。全ページ、1 ページ目のみ、または 1 ページ目を除く全ページから選択します。

6. **OK** をクリックします。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。

関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)
-

日時およびログインユーザー名を文書に印刷する (現在の日付・時間・ID を印刷する) (Windows®)



1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **現在の日付・時間・ID を印刷する** のチェックボックスにチェックを入れ、**設定** ボタンをクリックします。



5. 以下の設定からお好みの項目を選択します：**書式**、**位置**、**フォント**、および**印刷モード**

ID 印刷

以下の方法のどちらかで、パソコンのログインユーザー名を選択するか、ヘッダーやフッターのテキストを変更します。

- **ログインユーザー名**を選択し、お使いのパソコンのログインユーザー名を印刷します。
 - **カスタム**を選択し、**カスタム**欄に入力したテキストを印刷します。
6. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
 7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
 8. **OK** をクリックします。
 9. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

パソコンからフォームを使用する (Windows®)

本製品のメモリーに電子書式 (フォーム) を保存している場合、そのフォームを印刷ジョブのオーバーレイとして使用してデータを印刷できます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
5. **フォーム設定** を選択します。
6. **フォーム設定** ボタンをクリックします。
7. 使用する **フォーム ID**: および **フォーム名**: を入力します。
8. **フォームを挿入** を選択します。
9. フォームデータをオーバーレイするページを選択します。

オプション	説明
全ページ	フォームをすべてのページに挿入することができます。
ページ	フォームを特定のページに挿入することができます。このオプションを選択し、ページ番号を 1~255 の範囲で入力します。
ページの初めに挿入	フォームデータをページの最上部に送信します。
ページの最後に挿入	フォームデータをページの最下部に送信します。

 **製本印刷** が選択されている場合、**フォームを挿入** のページ設定は無効になります。

10. **OK** をクリックします。
11. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
12. **OK** をクリックします。
13. 印刷操作を完了します。
フォームデータがオーバーレイとして印刷されます。

✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

印刷濃度を調整する (Windows®)

印刷濃度を、濃くまたは薄くできます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
5. **濃度調整** を選択します。
6. **プリンターの設定のまま** チェックボックスの選択を外します。
7. 印刷濃度を濃くまたは薄くするには、スライダーを右または左に動かします。
8. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

用紙の巻き上りを抑える (Windows®)



数枚の印刷の場合は、この設定を選択する必要はありません。用紙の巻き上がりが大きい場合は、プリンタードライバの用紙種類設定を、普通紙または封筒 (薄め) に変更することをお勧めします。



この操作により、本製品の定着処理の温度が下がり、巻き上りが抑えられます。

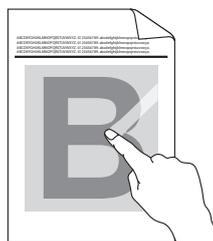
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
5. **その他特殊機能一覧** から印刷結果の改善を選択します。
6. **用紙のカールを軽減する** ラジオボタンを押します。
7. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。



関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

トナー定着の質を向上させる (Windows®)



この設定により、定着処理の温度が上がり、用紙へのトナーの付着力が強くなります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
5. **その他特殊機能一覧** から印刷結果の改善を選択します。
6. **トナーの定着を改善する** ラジオボタンを押します。
7. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。

この設定を選択しても問題がそれほど改善しない場合は、プリンタードライバの**用紙種類**設定を、**厚紙**または**封筒 (厚め)**に変更します。



関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

白紙ページを節約する (Windows®)

このオプションを使用すると、プリンタードライバーは自動的に空白のページを検出し、印刷が抑制されます。

以下の設定が有効の場合、このオプションは無効になります。

- スタンプ印刷を使う
 - 現在の日付・時間・ID を印刷する
 - レイアウトドロップダウンリストの N ページまたは縦 N x 横 N 倍
 - 両面印刷 (手動)、製本印刷、製本印刷 (手動) および綴じしろ
1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
 2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
 3. **拡張機能** タブをクリックします。
 4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
 5. **その他特殊機能** リストから **白紙ページの節約** を選択します。
 6. **白紙ページの節約** のチェックボックスを選択します。
 7. **OK** をクリックして、プリンタードライバー画面に戻ります。
 8. **OK** をクリックします。
 9. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

文字を黒で印刷する (Windows®)

カラーの文字を黒色で印刷する場合に、このオプションを使用します。



データによっては、**黒文字印刷**が利用できないことがあります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **その他特殊機能**ボタンをクリックします。
5. **その他特殊機能**リストから**黒文字印刷**を選択します。
6. **黒文字印刷**チェックボックスを選択します。
7. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
8. **OK** をクリックします。
9. 印刷操作を完了します。



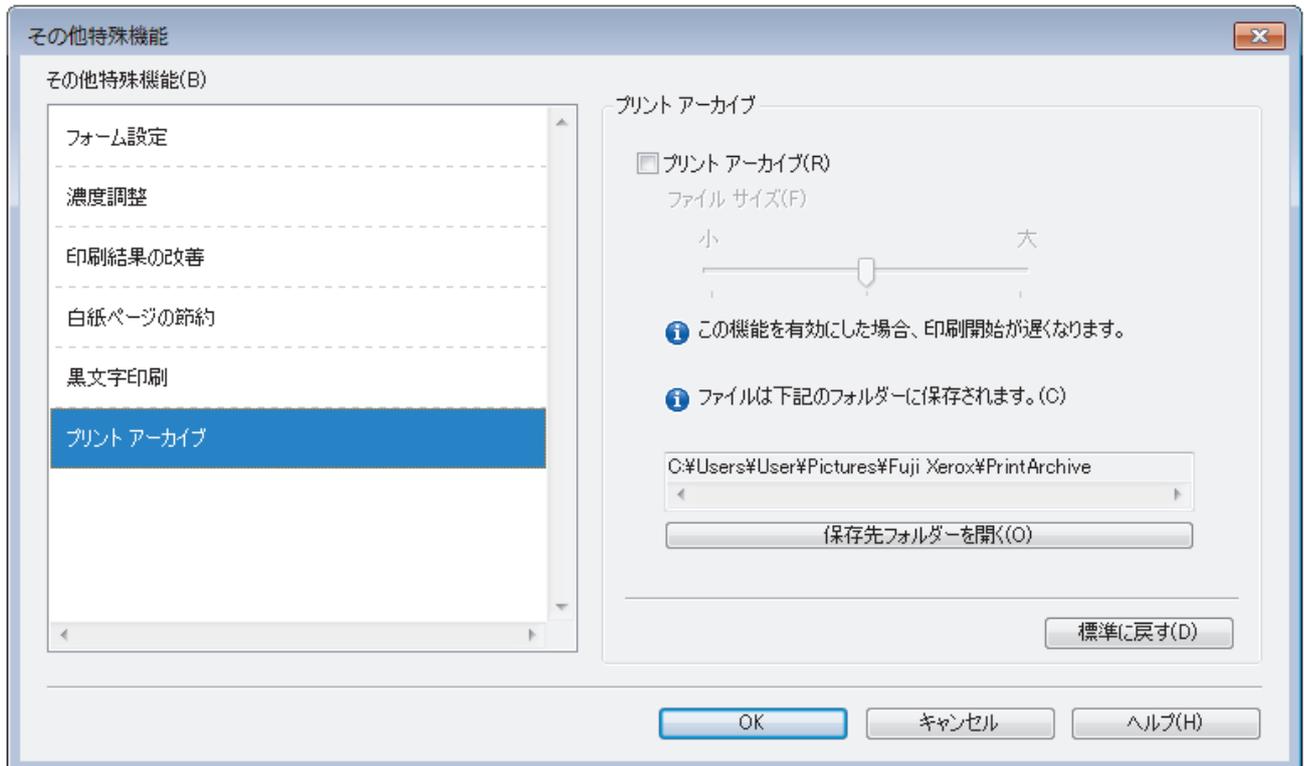
関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

印刷データのアーカイブファイルを保存する (Windows®)

印刷データを PDF ファイルとして、お使いのパソコンに保存できます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能** タブをクリックします。
4. **その他特殊機能** ボタンをクリックします。
5. **その他特殊機能** リストから **プリント アーカイブ** を選択します。



6. **プリント アーカイブ** のチェックボックスを選択します。
7. **ファイル サイズ** 目盛りを右または左に動かして、ファイルサイズを変更します。
解像度はファイルのサイズに応じて設定されます。
8. **OK** をクリックして、プリンタードライバ画面に戻ります。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
本製品はデータを印刷し、お使いのパソコンにアーカイブファイルを保存します。

✓ 関連情報

- ・ [拡張機能を使った印刷方法 \(Windows®\)](#)

おまかせ印刷を選択する (Windows®)

あらかじめよく使用する印刷設定に簡単にアクセスできるようにおまかせ印刷として登録されています。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **おまかせ印刷** タブをクリックします。



4. 印刷設定一覧から項目を選択します。
設定内容は、プリンタードライバ画面の左側に表示されます。
5. 以下のどちらかを行ってください。
 - ・ 選択した設定が印刷したい設定になっていれば、**OK** をクリックします。
 - ・ 設定を変更するには、**基本設定**または**拡張機能**タブまで戻り、設定を変更して **OK** をクリックします。



次回印刷するときにおまかせ印刷タブをウィンドウの前面に表示させるには、**おまかせ印刷タブを常に最初に表示する**のチェックボックスにチェックを入れます。

✓ 関連情報

- ・ [パソコンから印刷する \(Windows®\)](#)
- ・ [印刷プロファイルを追加する](#)
- ・ [おまかせ印刷を削除する](#)

印刷プロファイルを追加する

独自に設定された最大 20 個の新しい印刷プロファイルを追加します。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **基本設定**タブ、**拡張機能**タブの順にクリックし、新しい印刷プロファイル用の印刷設定を行います。
4. **おまかせ印刷**タブをクリックします。
5. **おまかせ印刷設定を登録**をクリックします。
おまかせ印刷設定を登録ダイアログボックスが表示されます。
6. **名称**フィールドに新しい印刷プロファイル名を入力します。
7. アイコンリストから、このプロファイル用に使用するアイコンをクリックします。
8. **OK** をクリックします。

新しい印刷プロファイル名が、**おまかせ印刷**タブ内のリストに追加されます。

✓ 関連情報

- ・ [おまかせ印刷を選択する \(Windows®\)](#)

おまかせ印刷を削除する

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択し、印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **おまかせ印刷** タブをクリックします。
4. **おまかせ印刷設定を削除** をクリックします。
おまかせ印刷設定を削除 ダイアログボックスが表示されます。
5. 削除したい設定を選択します。
6. **削除** をクリックします。
7. **はい** をクリックします。
8. **閉じる** をクリックします。



関連情報

- ・ [おまかせ印刷を選択する \(Windows®\)](#)

デフォルトの印刷設定を変更する (Windows®)

アプリケーション内で印刷設定を変更すると、その変更はそのアプリケーションで印刷しているファイルにしか適用されません。Windows®アプリケーションすべてでその設定を使用したい場合は、この手順に従ってデフォルトの印刷設定を変更してください。

1. 以下のどれかを行ってください。

- (Windows Vista®およびWindows Server® 2008 の場合)

 (スタート) > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。

- (Windows® 7 および Windows Server® 2008 R2 の場合)

 (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。

- (Windows® 8 の場合)

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロールパネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- (Windows Server® 2012 の場合)

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックして、**コントロールパネル**をクリックします。ハードウェアグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

- (Windows Server® 2012 R2 の場合)

コントロールパネル画面で**スタート**をクリックします。ハードウェアグループで**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。

2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** アイコンを右クリックして、**プリンターのプロパティ**を選択します。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。

3. **全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。

プリンタードライバーダイアログボックスが表示されます。



- トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします。
- プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。

4. すべてのWindows®プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。

5. **OK** をクリックします。

6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。



関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows®\)](#)

お使いのパソコンから本製品の状態を監視する (Windows®)

ステータスマニターユーティリティは、1台以上の機器の状態を監視するための設定可能なソフトウェアツールで、問題が発生した場合には即座にユーザーに通知します。

- インストール時に**起動時にステータスマニターを有効にする**チェックボックスを選択した場合、タスクトレイに  ボタンまたは**ステータスマニター**アイコンが表示されます。
- タスクトレイに**ステータスマニター**アイコンを表示するには、 ボタンをクリックします。小さな画面に  (ステータスマニター) アイコンが表示されます。  アイコンをタスクトレイにドラッグします。



- 以下のどれかを行ってください。
 - タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。
 - (Windows Vista®および Windows® 7)
 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。
ドロップダウンリストをクリックして、**Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックし、さらに**ステータスマニター**をクリックします。
 - (Windows® 8)
 (Fuji Xerox Utilities) をクリックし、ドロップダウンリストをクリックして、**Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックし、さらに**ステータスマニター**をクリックします。
 - (Windows® 8.1)
スタート画面の左下にマウスを移動し、 をクリックします (タッチ型の機器の場合は、スタート画面を下から上にスワイプし、**アプリ**画面を表示します)。 **アプリ**が表示されたら、 (Fuji Xerox Utilities) をタップまたはクリックします。



ステータスマニターが有効で、インストール時に自動ファームウェア更新を選択している場合、この機能により、本製品に対するアップデートプログラムの検出とダウンロードが行われます。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows®\)](#)

パソコンから印刷する (Macintosh®)

- 原稿を印刷する (Macintosh®)
- 印刷オプションを設定する (Macintosh®)
- パソコンから本製品の状態を監視する (Macintosh®)

原稿を印刷する (Macintosh®)

1. 標準トレイに正しいサイズ of 用紙がセットされているかを確認します。
2. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
3. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

4. 印刷したいコピー部数を**部数欄**に入力します。
5. **原稿サイズ**のポップアップメニューをクリックし、**原稿サイズ**を選択します。
6. 印刷したい文書の向きに合った**方向**を選択します。
7. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
8. **用紙種類**ポップアップメニューをクリックして、使用する用紙の種類を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **プリント**をクリックします。



関連情報

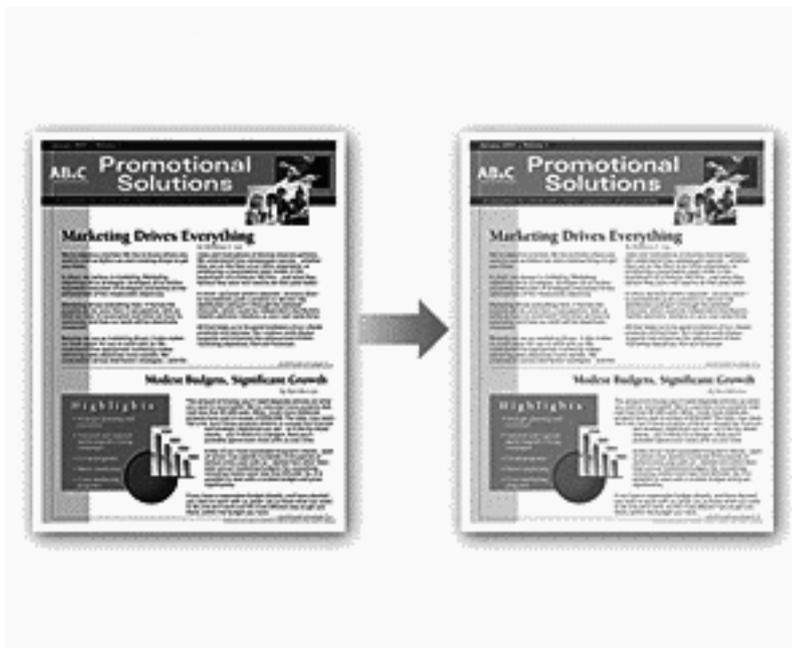
- ・ [パソコンから印刷する \(Macintosh®\)](#)
- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

印刷オプションを設定する (Macintosh®)

- トナー節約モードで印刷する (Macintosh®)
- 同一文書を複数部印刷する (Macintosh®)
- 用紙の両面に印刷する (Macintosh®)
- 原稿サイズを変更する (Macintosh®)
- 印刷物の向きを変更する (縦または横) (Macintosh®)
- 1枚の紙に2ページ以上を印刷する (N in 1) (Macintosh®)
- 上下反転 (Macintosh®)
- 水平方向に反転させる (Macintosh®)
- 拡大/縮小印刷 (Macintosh®)
- メディアの種類を変更する (Macintosh®)
- 解像度を変更する (Macintosh®)
- 文書のレイアウトを縮小/拡大する (Macintosh®)
- 用紙の補給方法を変更する (Macintosh®)
- 印刷品質を変更する (Macintosh®)
- 用紙の巻き上がりを抑える (Macintosh®)
- トナーの定着性を高める (Macintosh®)
- 印刷濃度を調整する (Macintosh®)
- 白紙ページを除く (Macintosh®)

トナー節約モードで印刷する (Macintosh®)

この機能では通常より少ない量のトナーで印刷するため、トナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。



このモードは、写真またはグレースケール画像の印刷には向きません。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **トナー節約モード**をクリックします。
6. **トナー節約モード** チェックボックスにチェックマークを付けます。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

同一文書を複数部印刷する (Macintosh®)

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. 印刷したいコピー部数を**部数欄**に入力します。
4. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**用紙処理**を選択します。
用紙処理が表示されます。
5. 必要に応じて、**丁合い**のチェックボックスにチェックを入れます。

丁合い

丁合いのチェックボックスが選択された場合、はじめに1セットの文書がコピーされてから、選んだコピーの部数に応じて残りの部数が印刷されます。**丁合い**のチェックボックスが選択されていない場合は、選んだコピー部数が各ページ印刷されてから次のページの印刷に移ります。

6. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
7. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

用紙の両面に印刷する (Macintosh®)



- 自動両面印刷機能を使用する場合、A4 サイズの用紙を選択します。
 - バックカバーが閉まっていることを確認します。
 - 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから標準トレイに戻します。
 - 普通紙または薄紙を使用します。ポンド紙は使用しないでください。
 - 用紙が薄過ぎると、しわになることがあります。
 - 手動の両面印刷機能を使用する場合、紙詰まりが発生したり、印刷品質が悪くなる場合があります。
1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
 2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. 印刷したい文書の向きに合った**方向**を選択します。
4. 自動両面印刷の場合は、以下を行います。
 - a. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**レイアウト**を選択します。**レイアウト**設定のオプションが表示されます。
 - b. **両面セクション**で、**短辺とじ**または**長辺とじ**を選択します。
 - c. 必要に応じて、他のプリンター設定を変更します。
 - d. **プリント**をクリックします。
5. 手動両面印刷の場合は、以下を行います。
 - a. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**用紙処理**を選択します。**用紙処理**が表示されます。
 - b. **プリントするページ**ポップアップメニューで、**偶数ページのみ**を選択します。
 - c. 必要に応じて、他の印刷設定を変更します。
 - d. **プリントボタン**をクリックします。
 - e. 偶数ページの印刷後、標準トレイから印刷したページを取り除きます。
 - f. 各用紙に凹凸がないことを確認して、白紙の側を下に向けてトレイに戻します。
 - g. 手順 1~3 を繰り返して、偶数ページの印刷で使用したプリンターと設定を選択します。
 - h. アプリケーションのポップアップメニューをクリックして、**用紙処理**を選択します。**用紙処理**が表示されます。

-
- i. プリントするページポップアップメニューで、**奇数ページのみ**を選択します。
 - j. プリントをクリックします。

関連情報

- ・ 印刷オプションを設定する (Macintosh®)
-

原稿サイズを変更する (Macintosh®)

原稿サイズは、多種類の標準原稿サイズから選択することができます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. **原稿サイズ**のポップアップメニューをクリックし、原稿サイズを選択します。
4. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
5. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)
- ・ [カスタムサイズを作成する \(Macintosh®\)](#)

▲ ホーム > 印刷 > パソコンから印刷する (Macintosh®) > 印刷オプションを設定する (Macintosh®) > 原稿サイズを変更する (Macintosh®) > カスタムサイズを作成する (Macintosh®)

カスタムサイズを作成する (Macintosh®)

1. 原稿サイズのポップアップメニューをクリックし、**カスタムサイズを管理**を選択します。
2. **+** をクリックします。
3. カスタムサイズの名称を入力します。
4. 幅および高さ
とマージンを入力します。
5. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [原稿サイズを変更する \(Macintosh®\)](#)
-

印刷物の向きを変更する (縦または横) (Macintosh®)

縦	横
 A preview of a document page oriented vertically. It features a large letter 'A' at the top left, followed by several lines of text, a table, and a small image at the bottom right.	 A preview of the same document page oriented horizontally. The content is stretched to fit the wider page, with the 'A' and text at the top, the table below, and the image at the bottom.

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. 印刷したい文書の向きに合った**方向**を選択します。
4. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
5. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

1 枚の紙に 2 ページ以上を印刷する (N in 1) (Macintosh®)



1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**レイアウト**を選択します。
レイアウト設定のオプションが表示されます。
4. **ページ数/枚**のポップアップメニューをクリックして、各シートに印刷するページ数を選択します。
5. 表示されている**レイアウト方向**の中から、ページの並べ方を選択します。
6. **境界線**のポップアップメニューをクリックして、境界線のタイプを選択します。
7. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
8. **プリント**をクリックします。

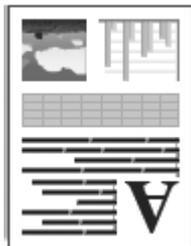


関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

上下反転 (Macintosh®)

180 度回転して印刷します。



1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**レイアウト**を選択します。
レイアウト設定のオプションが表示されます。
4. ページの方向を**反転**のチェックボックスにチェックを入れます。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

水平方向に反転させる (Macintosh®)

左右反転では、印刷物を左から右へ水平方向に反転させます。



1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**レイアウト**を選択します。
レイアウト設定のオプションが表示されます。
4. **左右反転**のチェックボックスにチェックを入れます。
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

拡大/縮小印刷 (Macintosh®)

文書のページを拡大または縮小して、原稿サイズにあうように印刷できます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**用紙処理**を選択します。
用紙処理が表示されます。
4. **原稿サイズに合わせる**のチェックボックスを選択して、**出力原稿サイズ**のポップアップメニューから原稿サイズを選びます。



用紙に対して文書が大きすぎるために文書を縮小したい場合は、**縮小のみ**を選択します。このオプションが選択され、文書がお手持ちの用紙よりも小さい用紙にフォーマットされた場合、文書は元のサイズで印刷されます。

5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

メディアの種類を変更する (Macintosh®)

最適な印刷結果にするために、プリンタードライバー上で印刷に使用する用紙を選択してください。選択された用紙の種類によって、印刷方法を変更して印刷します。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **用紙種類**ポップアップメニューをクリックして、使用するメディアの種類を選択します。

選択するメディアの種類	用紙
普通紙 (厚め)	一般的な普通紙
普通紙	薄紙
厚紙	下書き用紙または厚紙
超厚紙	厚紙を選択している場合はこのオプションを選択すると、印刷中にトナーのぼやけが発生します。
ボンド紙	ボンド紙
封筒	封筒
封筒 (厚め)	封筒の選択時に、封筒にトナーが正しく付着しない場合、このオプションを選択します。
封筒 (薄め)	封筒の選択時に、封筒にしわが生じる場合は、このオプションを選択します。
再生紙	再生紙
ラベル紙	ラベル

5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

解像度を変更する (Macintosh®)

印刷解像度を選択することができます。印刷品質と印刷速度は関連しているため、解像度が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **解像度**ポップアップメニューをクリックして、使用する印刷解像度を選択します。
 - **300 dpi**
 - **600 dpi**
 - **HQ 1200**
5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



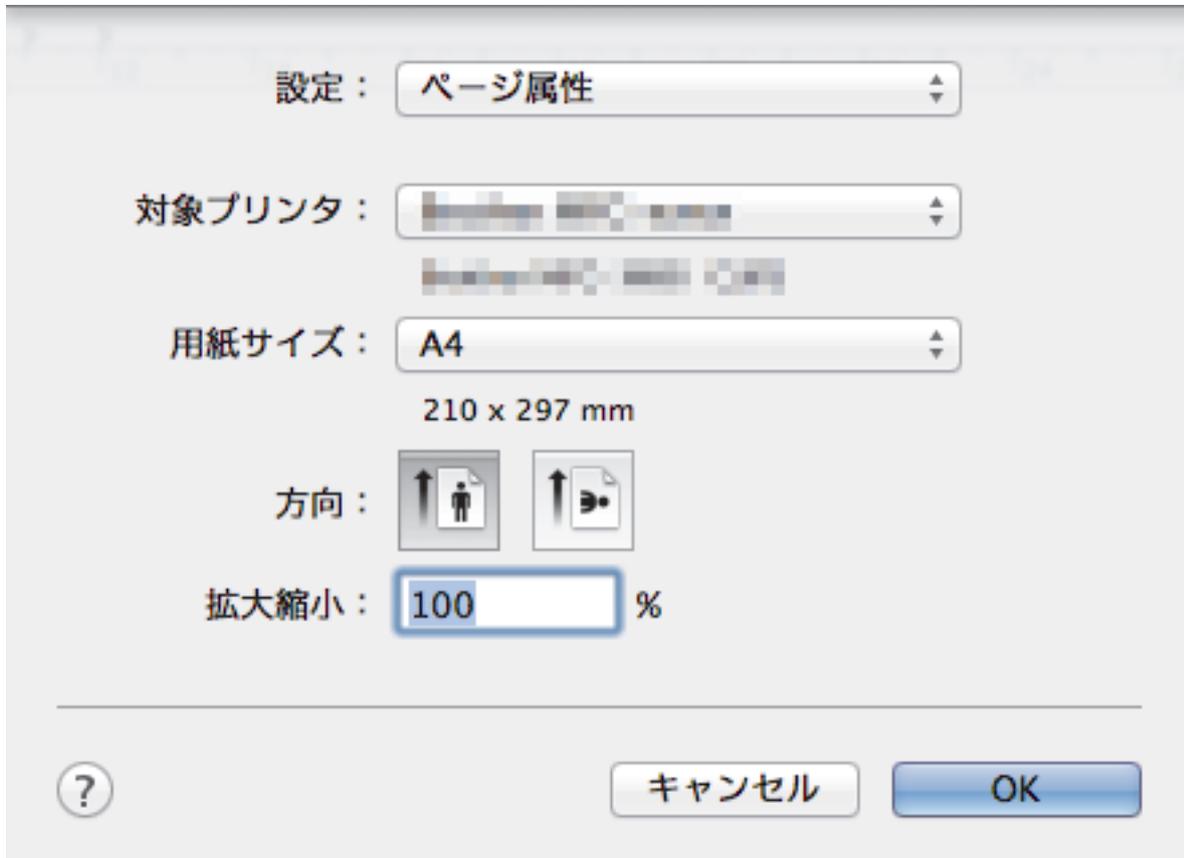
関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

文書のレイアウトを縮小/拡大する (Macintosh®)

倍率を入力して、文書を拡大または縮小します。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**ページ設定**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



3. **拡大縮小**欄に、印刷物を縮小/拡大する比率を入力します。
4. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
5. **OK**をクリックします。
6. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
7. **プリント**をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

用紙の補給方法を変更する (Macintosh®)

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

手差しスロットに用紙を1枚セットすると、用紙は自動的にトレイへと引き込まれます。標準トレイから印刷するときは、手差しスロットに用紙をセットしないでください。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。

印刷設定が表示されます。

4. **給紙方法**のポップアップメニューをクリックし、**標準トレイ**を選択します。

オプション	説明
自動選択	本製品上で設定された用紙タイプおよび原稿サイズがプリンタードライバーの設定と一致する場合、本製品は使用するトレイを自動的に選択します。各トレイの原稿サイズおよび用紙タイプが、本製品上で正しく設定されている必要があります。
トレイ 1	印刷時、トレイ#1のみを使用します。
手差し	印刷時、本製品は手差しスロットのみを使用します。

5. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

印刷品質を変更する (Macintosh®)

印刷品質を変更することができます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **ディザリング**をクリックして、使用する印刷品質を選択します。

オプション	説明
グラフィックス	グラフィックモードでは、コントラストが優先されます。ビジネスやプレゼンテーション文書など、印刷するテキストや図に対する設定を選択します。網掛け部分に、鮮明な明暗をつけることができます。
テキスト	テキスト文書の印刷には、これが最適なモードです。

6. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

用紙の巻き上がりを抑える (Macintosh®)



数枚の印刷の場合は、この設定を選択する必要はありません。用紙の巻き上がりが大きい場合は、プリンタードライバの用紙種類設定を、普通紙または封筒 (薄め) に変更することをお勧めします。



この操作により、本製品の定着処理の温度が下がり、巻き上がりが抑えられます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、ファイルメニューをクリックし、プリントを選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

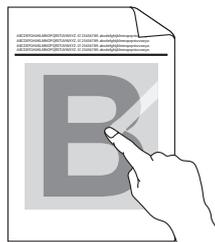
3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、印刷設定を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **印刷結果の改善**を選択します。
6. **用紙のカールを軽減する**を選択します。
7. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

トナーの定着性を高める (Macintosh®)



この設定により、定着処理の温度が上がり、用紙へのトナーの付着力が強くなります。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **印刷結果の改善**を選択します。
6. **トナーの定着を改善する**を選択します。
7. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

印刷濃度を調整する (Macintosh®)

印刷濃度を、濃くまたは薄くできます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示**ボタンをクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **濃度調整**をクリックします。
6. **プリンターの設定のまま**チェックボックスの選択を外します。
7. 印刷濃度を濃くまたは薄くするには、**スライドバー**を右または左に動かします。
8. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

白紙ページを除く (Macintosh®)

このオプションを使用すると、プリンタードライバーは自動的に空白のページを検出し、印刷が抑制されます。

1. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
2. **Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。



印刷設定の詳細を確認するときは、**詳細を表示ボタン**をクリックします。

3. アプリケーションポップアップメニューをクリックし、**印刷設定**を選択します。
印刷設定が表示されます。
4. **拡張機能印刷設定一覧**をクリックします。
5. **その他特殊機能メニュー**をクリックします。
6. **白紙ページの節約**チェックボックスを選択します。
7. **プリント**をクリックします。



関連情報

- ・ [印刷オプションを設定する \(Macintosh®\)](#)

パソコンから本製品の状態を監視する (Macintosh®)

ステータスマonitorユーティリティは機器の状態を監視するための設定可能なソフトウェアツールであり、あらかじめ登録された更新間隔で、用紙切れや紙詰まりなどのエラーメッセージを即時に通知します。また、ウェブブラウザ設定にアクセスすることもできます。

1. システム環境設定メニューをクリックして、**プリントとスキャン**または**プリンタとスキャナ**を選択してから、本製品を選択します。
2. **オプションとサプライボタン**をクリックします。
3. ユーティリティタブをクリックし、**プリンタユーティリティを開くボタン**をクリックします。
ステータスマonitorが起動します。

本製品の状態を更新する

ステータスマonitor画面が開いている時に本製品の最新の状態を見るには、 アイコンをクリックします。製品の状態情報をソフトウェアが更新する間隔を設定できます。メニューバーで **Fuji Xerox ステータスマonitor** をクリックして、**環境設定**を選択します。

ウェブブラウザ設定 (ネットワーク接続のみ)

ステータスマonitor画面で本製品のアイコンをクリックして、ウェブブラウザ設定システムにアクセスします。HTTP を使用している本製品を、標準のウェブブラウザを使用して管理することができます。

✓ 関連情報

- ・ [パソコンから印刷する \(Macintosh®\)](#)

本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について

- 印刷ジョブをキャンセルする
- 両面印刷設定を変更する
- 自動継続
- プリンターをお買い上げ時の設定に戻す
- プリンター設定値のリストを印刷する
- テスト印刷

印刷ジョブをキャンセルする

1. 停止/終了を押します。

✓ 関連情報

- ・ 本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について

両面印刷設定を変更する

本製品の操作パネルから用紙の両面印刷の設定を変更します。

プリンタードライバーの設定が、操作パネルから手動で変更された設定値よりも常に優先されます。両面印刷の頻度が少ない場合は、プリンタードライバーの両面印刷/製本印刷プルダウンリストからなしを選択し、両面印刷を行う場合にのみ操作パネルを使用してこの設定を手動で有効にします。

1. **メニュー**を押します。
2. 操作パネルの▲または▼を押して、[プリンター]を表示し、**OK**を押します。
3. 操作パネルの▲または▼を押して、[両面印刷]を表示し、**OK**を押します。
4. 操作パネルの▲または▼を押して、[オフ]、[わ(長辺とじ)]、または[わ(短辺とじ)]を表示し、**OK**を押します。
5. **停止/終了**を押します。



関連情報

- ・ 本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について

自動継続

この設定により、本製品は原稿サイズのエラーを自動的に解消し、他の標準トレイの使用可能なサイズの用紙を使用して印刷ジョブを完了させます。

1. **メニュー**を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[プリンター]を表示し、**OK**を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[エラー解除]を表示し、**OK**を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[オン]または[オフ]を表示し、**OK**を押します。
5. **停止/終了**を押します。



関連情報

- ・ [本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について](#)

プリンターをお買い上げ時の設定に戻す

この機能を使用して、本製品のプリンターの設定をお買い上げ時の設定に戻します。

この操作でネットワークの設定はリセットされません。

1. **メニュー**を押します。
2. 操作パネルの▲または▼を押して、[プリンター]を表示し、**OK**を押します。
3. 操作パネルの▲または▼を押して、[プリンター リセット]を表示し、**OK**を押します。
4. 製品の指示に従って、プリンターの設定をリセットします。
5. **停止/終了**を押します。

✓ 関連情報

- ・ [本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について](#)

プリンター設定値のリストを印刷する

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [レポート印刷] を表示し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[プリンター設定リスト] を表示し、OK を押します。

プリンターの設定値が印刷されます。

✓ 関連情報

- ・ [本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について](#)

テスト印刷

印刷品質に問題がある場合は、以下の指示に従ってテスト印刷を行います。

1. **メニュー**を押します。
2. 操作パネルの▲または▼を押して、[プリンター]を表示し、**OK**を押します。
3. 操作パネルの▲または▼を押して、[テスト プリント]を表示し、**OK**を押します。
4. **スタート**を押します。
本製品でテスト印刷ページが印刷されます。
5. **停止/終了**を押します。

✓ 関連情報

- ・ [本製品の操作パネルからの印刷設定の調整について](#)

スキャン

- スキャンの前に
- 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- パソコンからスキャンする (Windows®)
- パソコンからスキャンする (Macintosh®)

スキャンの前に

スキャンを始める前に、以下を確認します。

- 本製品のドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ケーブルまたはネットワークケーブルをお使いの場合は、ケーブルが正しく差し込まれているか確認します。

✓ 関連情報

- ・ [スキャン](#)
- ・ [ネットワークスキャンの設定 \(Windows®\)](#)
- ・ [ネットワークスキャンの設定 \(Macintosh®\)](#)

ネットワークスキャンの設定 (Windows®)

本製品をネットワークスキャナーとして使用する場合は、TCP/IP アドレスの設定が必要です。

- ネットワークユーザーに対する指示に従って本製品をインストールしていれば、本製品はお使いのネットワークに合わせて設定されています。
- お使いのパソコンがファイアウォールで制御されていてネットワークスキャンができない場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。Windows®ファイアウォールを有効にして、本製品のプリンタドライバをインストールした場合は、ファイアウォール設定は不要です。
- ネットワークスキャンは、ネットワーク上にある 1 台の本製品に対して最大 25 台のパソコンの接続が可能です。

1. 以下のどれかを行ってください。

- (Windows Vista®)

 > (スタート) > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > スキャナとカメラをクリックします。

- (Windows® 7)

 (スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > Fuji Xerox Utilities をクリックします。

ドロップダウンリストをクリックして、**Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**スキャンする**をクリックし、**スキャナーとカメラ**をクリックします。

- (Windows® 8)

 (Fuji Xerox Utilities) をクリックし、ドロップダウンリストをクリックして、**Fuji Xerox DocuPrint M260 z** を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの**スキャンする**をクリックし、**スキャナーとカメラ**をクリックします。

2. 以下のどれかを行ってください。

- (Windows Vista®, Windows® 7、および Windows® 8)

プロパティボタンをクリックします。



(Windows Vista®、Windows® 7、および Windows® 8)

ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、以下の操作を行ってください。

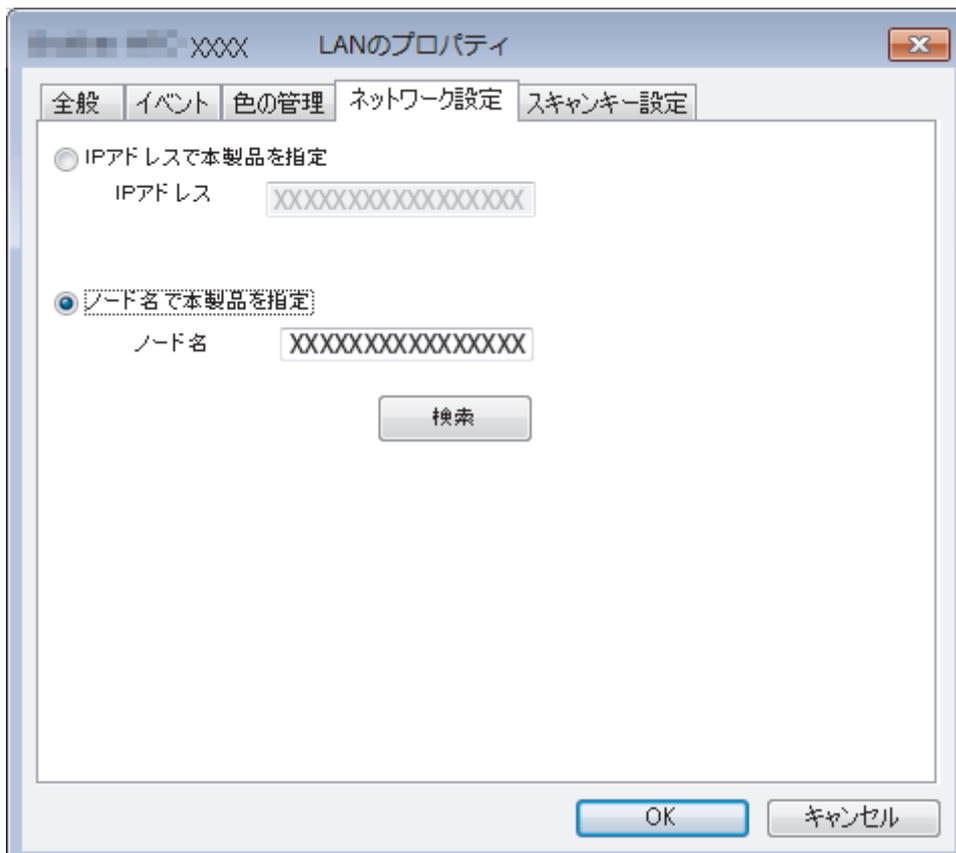
- 管理者権限を所有している場合は、**続行**または**はい**をクリックします。



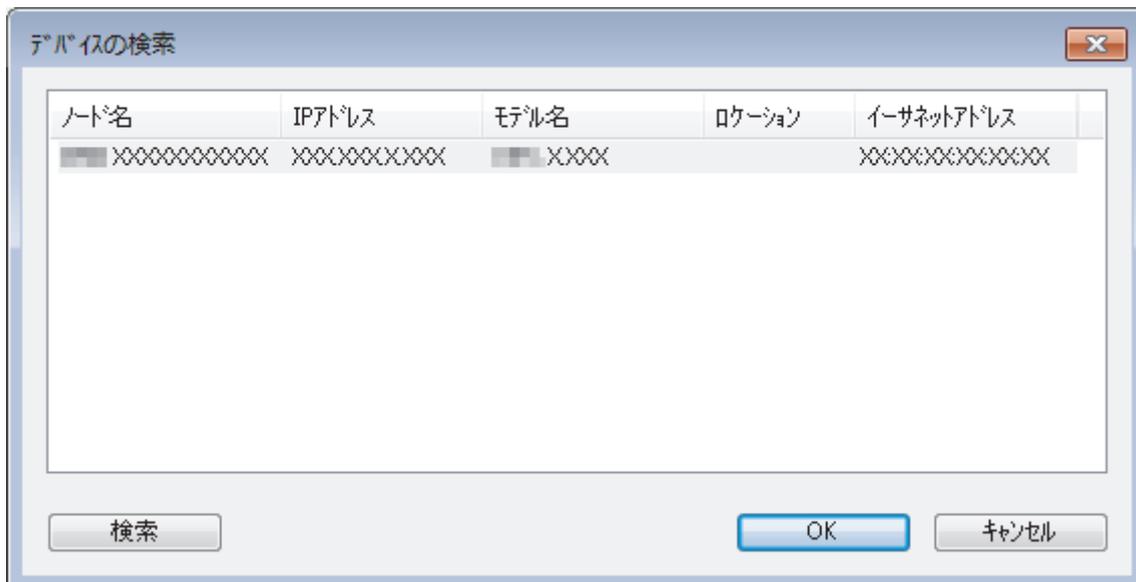
- 管理者権限を所有していない場合は、管理者パスワードを入力し、**OK** または **はい** をクリックします。



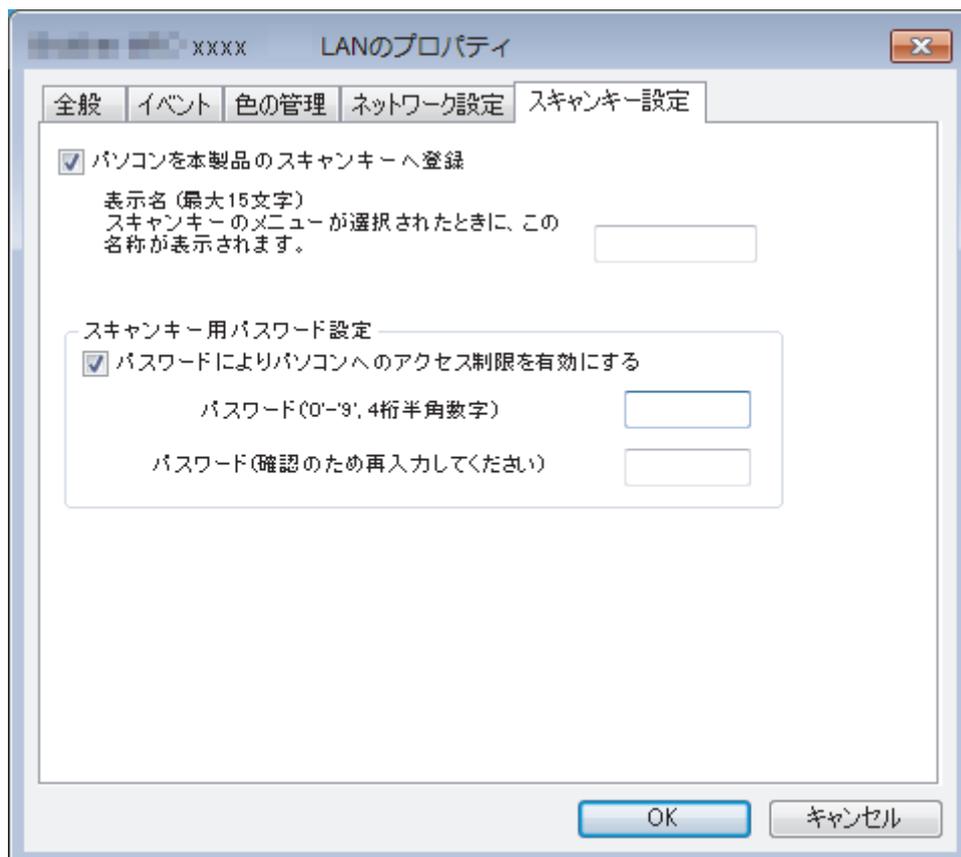
3. **ネットワーク設定** タブをクリックし、接続方法を選択します。



- IPアドレスでお使いの製品を指定します。
本製品のIPアドレスを **IPアドレス** 欄に入力し、**決定** をクリックします。
- ノード名でお使いの製品を指定します。
本製品のノード名を **ノード名** 欄に入力するか、**検索** をクリックしてモデル名を検索し、使用する本製品を選択し、**OK** をクリックします。



4. **スキャンキー設定** タブをクリックし、パソコンの名称を **表示名 (最大 15 文字)** に入力します。入力した名称が本製品の画面に表示されます。初期値はお使いのパソコンの名称が入っています。任意の名称を入力できます。



5. 不要なデータ受信に制限をかけるためには、4桁のパスワードを **パスワード** および **パスワード (確認のため再入力してください)** に入力します。パスワードによって保護されたパソコンにデータを送信する場合は、原稿のスキャンおよびパソコンへのデータ送信を行う前に、本製品の画面にパスワードの入力が求められます。



関連情報

- ・ スキャンの前に



関連情報

- ・ スキャンの前に

本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて

- 写真やイメージをスキャンする
- スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
- スキャン to FTP のスキャン設定
- 編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)
- スキャンしたデータを E-mail 添付する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

写真やイメージをスキャンする

スキャンした写真やイメージを、お使いのパソコンに直接送ることができます。お使いのパソコンに設定されている本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を起動し、スキャンしたデータを自動的に開きます。

本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。スキャン設定の変更を保持するためには、本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使用します。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[スキャン to PC] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[イメージ: PC 画像表示] を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。



画面上で PIN の入力を求められた場合、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力します。

7. 以下のどれかを行ってください。
 - スキャン設定を変更するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「はい」を選択し、**OK** を押します。次の手順に進みます。
 - お買い上げ時のスキャン設定を使用するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「いいえ」を選択し、**OK** を押します。**スタート**を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、液晶ディスプレイに表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。



スキャン設定を変更するためには、本製品に接続されているパソコンに、Fuji Xerox の ControlCenter ソフトウェアがインストールされている必要があります。

8. 変更するスキャン設定を選択します。
 - [色数]
 - [解像度]
 - [ファイル形式]
 - [原稿スキャンサイズ]
 - [地色除去]
([カラー] および [グレー] オプションにのみ対応)
9. **スタート**を押します。
本製品でスキャン動作を開始します。本製品の原稿台ガラスに原稿を置いた場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了します。



関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する

原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。

本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。スキャン設定の変更を保持するためには、本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使用します。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[スキャン to PC] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ファイル:フォルダへ保存] を選択し、OK を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、接続先のパソコンを選択します。
6. OK を押します。



画面上で PIN の入力を求められた場合、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力します。

7. 以下のどちらかを行ってください。
 - スキャン設定を変更するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「はい」を選択し、OK を押します。次の手順に進みます。
 - お買い上げ時のスキャン設定を使用するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「いいえ」を選択し、OK を押します。スタートを押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、液晶ディスプレイに表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。



スキャン設定を変更するためには、本製品に接続されているパソコンに、Fuji Xerox の ControlCenter ソフトウェアがインストールされている必要があります。

8. 変更するスキャン設定を選択します。
 - [色数]
 - [解像度]
 - [ファイル形式]
 - [原稿スキャンサイズ]
 - [地色除去]
([カラー] および [グレー] オプションにのみ対応)
9. スタートを押します。
本製品でスキャン動作を開始します。本製品の原稿台ガラスに原稿を置いた場合は、画面の指示に従ってスキャン操作を終了します。



関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

スキャン to FTP のスキャン設定

FTP フォルダにスキャンを送信する場合、以下の表を使用して選択項目を確認します。

スキャンの種類	解像度	ファイル形式オプション	ファイルサイズ
カラー	100 dpi	PDF / セキュリティ PDF ¹ / JPEG / XPS / PDF/A	中/大/小
	200 dpi		
	300 dpi		
	600 dpi		
	自動		
グレー	100 dpi		
	200 dpi		
	300 dpi		
	自動		
モノクロ	200 dpi	PDF / セキュリティ PDF ¹ / TIFF / PDF/A	ファイルサイズのオプションは利用できません。
	300 dpi		
	200x100		

1 セキュリティ PDF を選択した場合、スキャンを開始する前に、0~9 の数字の 4 桁のパスワードの入力を求められます。

✓ 関連情報

- ・ [本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて](#)
- ・ [スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する](#)

編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)

本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストデータに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集することが可能です。

- Presto! PageManager がお使いのパソコンにインストールされている必要があります。
- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。スキャン設定の変更を保持するためには、本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使用します。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[スキャン to PC] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[OCR: テキストデータ変換] を選択し、OK を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、接続先のパソコンを選択します。
6. OK を押します。



画面上で PIN の入力を求められた場合、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力します。

7. 以下のどれかを行ってください。
 - スキャン設定を変更するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「はい」を選択し、OK を押します。次の手順に進みます。
 - お買い上げ時のスキャン設定を使用するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「いいえ」を選択し、OK を押します。スタートを押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、液晶ディスプレイに表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。



スキャン設定を変更するためには、本製品に接続されているパソコンに、Fuji Xerox の ControlCenter ソフトウェアがインストールされている必要があります。

8. 変更するスキャン設定を選択します。
 - [色数]
 - [解像度]
 - [ファイル形式]
 - [原稿スキャンサイズ]
9. スタートを押します。
編集可能なテキストに変換されたデータを、設定したアプリケーションに送信します。



関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

スキャンしたデータを E-mail 添付する

パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。スキャン設定の変更を保持するためには、本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を使用します。
- スキャンしたデータを E メール添付する機能は、Web メールには対応していません。スキャンしたデータを Web メールに添付して送る場合は、スキャンしたデータを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。



パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[スキャン to PC] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Eメール:Eメール添付] を選択し、**OK** を押します。
5. 本製品がネットワークに接続されている場合は、接続先のパソコンを選択します。
6. **OK** を押します。



画面上で PIN の入力を求められた場合、画面に接続先パソコンの 4 桁の PIN を入力します。

7. 以下のどちらかを行ってください。
 - スキャン設定を変更するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「はい」を選択し、**OK** を押します。次の手順に進みます。
 - お買い上げ時のスキャン設定を使用するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して「いいえ」を選択し、**OK** を押します。 **スタート** を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、液晶ディスプレイに表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。



スキャン設定を変更するためには、本製品に接続されているパソコンに、Fuji Xerox の ControlCenter ソフトウェアがインストールされている必要があります。

8. 変更するスキャン設定を選択します。
 - [色数]
 - [解像度]
 - [ファイル形式]
 - [原稿スキャンサイズ]
 - [地色除去]
([カラー] および [グレー] オプションにのみ対応)
9. **スタート** を押します。
本製品は原稿をスキャンし、ファイル添付としてデータを保存します。それからお使いの E メールアプリケーションが起動され、スキャンしたファイルが添付された新規の空メールが開きます。



関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて > スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。

- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する
- スキャン to FTP のスキャン設定

スキャン to FTP プロファイルを設定する

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer® 8.0/9.0/10.0 を、Macintosh® の場合は Safari® 5.0/6.0 を推奨します。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。上記以外のウェブブラウザを使用する場合は、HTTP 1.0 および HTTP 1.1 と互換性があることを確認してください。

1. ウェブブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.0.2.2

初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、を押します。

2. スキャンタブをクリックします。
3. 左ナビゲーション欄の FTP ファイル スキャンメニューをクリックします。
4. OK をクリックします。

FTPファイル スキャン

オリジナルファイル名登録

1: BRN30055C36ACE0

2: Mitumori

3: Report

4: Cyumon-syo

5: Keiyaku-syo

6: Denpyo

7: Jucyu-syo

8:

9:

ファイル名を削除・変更される場合は、それらが現在使用されていないことを確認してください。
削除された場合、スキャンプロファイルのファイル名にはノード名が使用されます。

5. 左側のナビゲーションバーで、FTP ファイル スキャンプロファイルをクリックします。
6. 設定または変更したいプロファイルを選択します。
7. プロファイル名欄に、該当サーバープロファイル名を入力します（15 文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
8. サーバー アドレス欄に、サーバーのドメイン名（例：ftp.example.com、64 文字以下）、または IP アドレス（例：192.0.2.2）を入力します。
9. ユーザー名欄に、FTP サーバーにアクセスするためのユーザー名（32 文字以下）を入力します。
10. 新しいパスワードの入力欄で入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を、ユーザー名欄に入力します。新しいパスワードの確認欄にパスワードを再入力します。
11. 転送先フォルダー欄に、スキャンしたデータを送信する FTP サーバーのフォルダーへのアドレス（60 文字以下）を入力します。アドレスの最初にスラッシュを入力しないでください（例参照）。

転送先フォルダー

12. **ファイル名**のリストをクリックして、あらかじめ指定された名称、または、ユーザー定義を選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADFの6桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例:「Estimate_098765.pdf」)
13. **画質**のリストをクリックして、画質を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品に要求されます。
14. **ファイル形式**のリストをクリックして、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。**本体で設定**を選択した場合、スキャンプロファイルを使用する度に、設定を選択するよう本製品に要求されます。
15. **読み取り原稿サイズ**のリストをクリックして、一覧から原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。
16. **ファイルサイズ**のドロップダウンリストをクリックして、一覧からファイルサイズを選択します。
17. **地色除去**のリストをクリックして、一覧からレベルを選択します。原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータをより見やすくすることができます。
18. FTP サーバーおよびファイアウォール設定に応じて、**パッシュモード**のオフ/オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定ではオンになっています。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
19. FTP サーバーへアクセスするための**ポート番号**を設定します。お買い上げ時の設定はポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
20. **OK** をクリックします。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

✓ 関連情報

- ・ スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- ・ ユーザー定義ファイル名の接頭辞を作成する

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて > スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する > スキャン to FTP プロファイルを設定する > ユーザー定義ファイル名の接頭辞を作成する

ユーザー定義ファイル名の接頭辞を作成する

あらかじめ設定されたファイル名の接頭辞以外を使用する場合、ファイル名の接頭辞を変更して、FTP サーバーに保存した各スキャン文書が、事前定義された名前を自動的に受信するようにします。

1. ウェブブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に「http://製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはプリントサーバー名を入力します）。例：http://192.0.2.2

初期設定ではパスワードは必要ありません。以前にパスワード設定をしている場合は、そのパスワードを入力し、を押します。

2. スキャンタブをクリックします。

3. 左ナビゲーション欄の FTP ファイル スキャンメニューをクリックします。

4. 2つのユーザー定義フィールドのどちらかにファイル名を入力し、OK をクリックします。



次に示す記号を使用すると、送信エラーが発生することがあります： ?, /, \, *



関連情報

- ・ [スキャン to FTP プロファイルを設定する](#)

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャンした情報を FTP サーバーへ保存して共有します。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[スキャン to FTP] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して一覧表示されたプロファイルのどちらかを選択し、**OK** を押します。
プロファイルが不完全な場合（例えば、ログオンアカウント名とパスワードが無い、または品質やファイルの種類が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。
5. **スタート** を押します。
液晶ディスプレイに、[接続中] メッセージが表示されます。FTP サーバーへ接続されると、本製品はスキャンを開始します。本製品のスキャナーガラスを使用する場合、液晶ディスプレイに表示される指示に従ってスキャンジョブを完了します。

✓ 関連情報

- ・ [スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する](#)

■ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて > Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)

Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)

Windows Vista® SP2 以降、または Windows® 7、Windows® 8 をお使いの場合は、Web サービス機能を使用してスキャンすることができます。Web サービスでドライバーをインストールする必要があります。

- 本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)
- Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて > Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8) > 本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)

本製品から Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)

Web Services 経由のスキャンのためのドライバーをインストールしている場合、本製品の液晶ディスプレイの Web Services スキャンメニューにアクセスできます。

言語設定がお使いの OS と本製品間で異なる場合、液晶ディスプレイに表示されるメッセージの文字の一部が空白に置き換えられることがあります。

1. 原稿をセットします。
2.  (スキャン) を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Webサービススキャン] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用するスキャンの種類を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、データの送信先パソコンを選択し、**OK** を押します。
6. **スタート** を押します。
本製品でスキャン動作を開始します。

関連情報

- ・ [Web サービスを使ってスキャンする \(Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8\)](#)

■ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて > Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8) > Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

Web サービスのスキャンプロファイルを編集する

- 以下のどれかを行ってください。
 - (Windows Vista®)
 (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > スキャナとカメラをクリックします。
 - (Windows® 7)
 (スタート) > デバイスとプリンターをクリックします。
 - (Windows® 8)
マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定**をクリックし、**コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスとプリンターの表示**をクリックします。
- 以下のどれかを行ってください。
 - (Windows Vista®)
Fuji Xerox DocuPrint M260 z をクリックし、**スキャン プロファイル** ボタンをクリックします。**スキャン プロファイル** ダイアログボックスが表示されます。
 - (Windows® 7) および (Windows® 8)
Fuji Xerox DocuPrint M260 z のアイコン上で右クリックし、**スキャン プロファイル** を選択します。**スキャン プロファイル** ダイアログボックスが表示されます。
- 目的のスキャンプロファイルを選択します。
- スキャナーとカメラ** 一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応している Fuji Xerox 製品であることを確認し、**既定に設定** ボタンをクリックします。
- 編集** をクリックします。
既定のプロファイルの編集 ダイアログボックスが表示されます。
- スキャナーの種類、原稿サイズ、色の形式、ファイルの種類、解像度 (DPI)、明るさおよびコントラスト** 設定を選択します。
- プロファイルの保存** ボタンをクリックします。
Web サービスを使ってスキャンする場合のプロトコルとして適用されます。

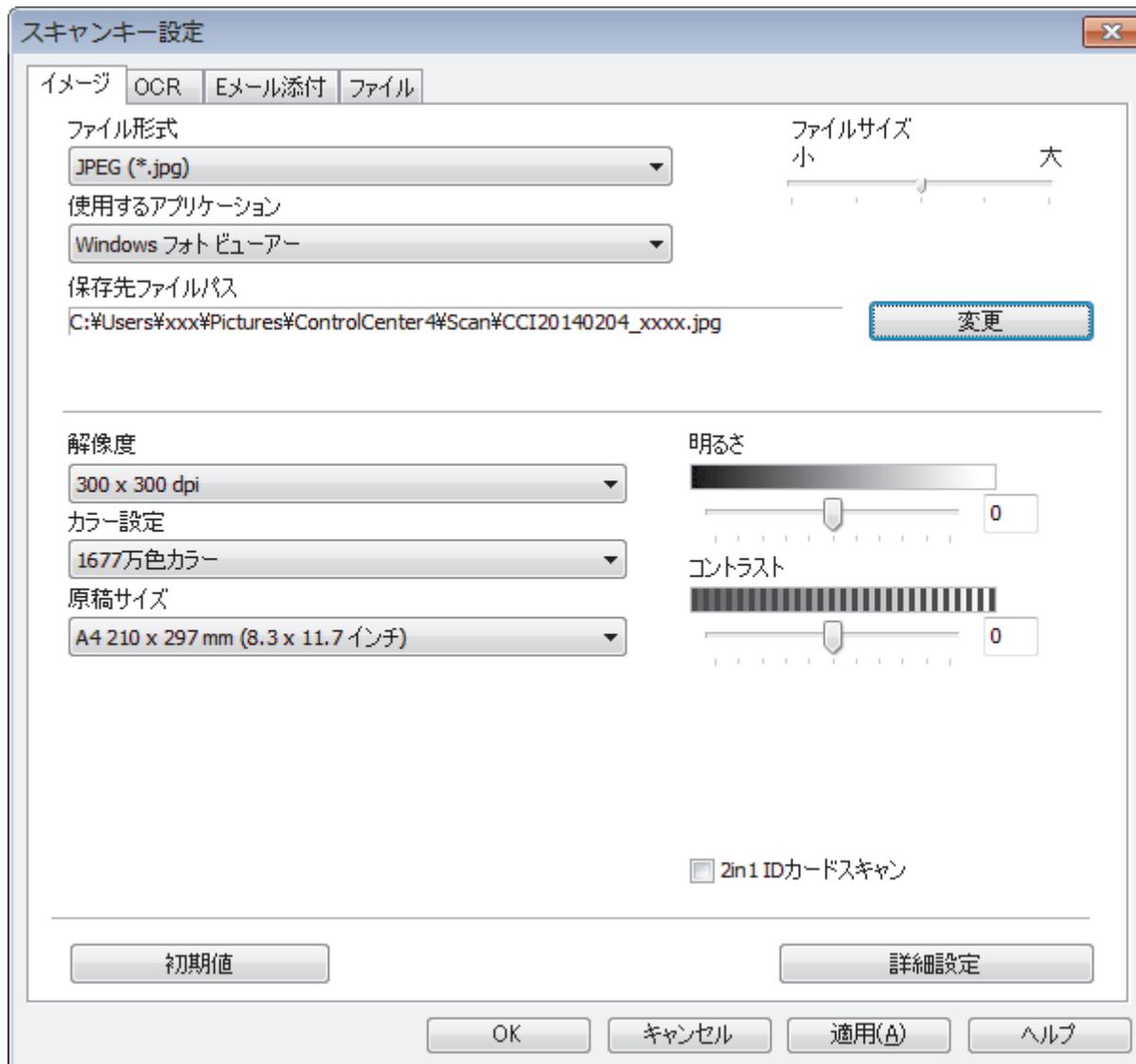
スキャンするアプリケーションを選択するように表示された場合は、一覧から Windows® FAX とスキャン アプリケーション、または Windows® フォトギャラリーを選択します。

✓ 関連情報

- Web サービスを使ってスキャンする (Windows Vista® SP2 以降、Windows® 7 および Windows® 8)

ControlCenter4 からスキャンボタン設定を変更する (Windows®)

1. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. デバイス設定タブをクリックします。
3. スキャンキー設定ボタンをクリックします。
スキャンキー設定ダイアログボックスが表示されます。



4. 変更するスキャン機能のタブをクリックします (イメージ、OCR、Eメール添付、またはファイル)。
5. 必要に応じて設定を変更します。
6. **OK** をクリックします。



以下の表の通り、各タブはスキャンデータの送信先を表しています。
対応するタブをクリックして設定をカスタマイズすることで、スキャン to 設定を変更します。

タブの名称	対応する機能
イメージ	スキャン to イメージ
OCR	スキャン to OCR
Eメール添付	スキャン to Eメール添付
ファイル	スキャン to ファイル

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
ファイル形式 スキャンしたデータの保存形式を選択します。	○	○	○	○
使用するアプリケーション スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。	○	○	-	-
OCR 言語 OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。	-	○	-	-
保存先ファイルパス 変更をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーへのアドレスを変更します。	○	○	○	-
ファイル名 必要に応じて、ファイル名の先頭の文字を入力します。	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる スキャンしたデータのファイル名に自動的に日付を入れる場合に選択します。	○	○	○	○
保存先フォルダー フォルダーアイコンをクリックし、スキャンしたデータを保存したいフォルダーを指定します。	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。	-	-	-	○
ファイルサイズ スキャンしたデータのサイズを調節します。 ファイルサイズ の目盛りを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。	○	-	○	○
解像度 解像度のリストから、スキャンの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。	○	○	○	○
カラー設定 さまざまな色濃度の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動 どんなタイプの原稿にも使用できます。このモードは、原稿に適した色濃度を自動的に選びます。 • モノクロ 文字原稿または線画に使用できます。 • グレー 写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。) • 256 階調グレー 写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。 • 1677 万色カラー もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。 	○	○	○	○

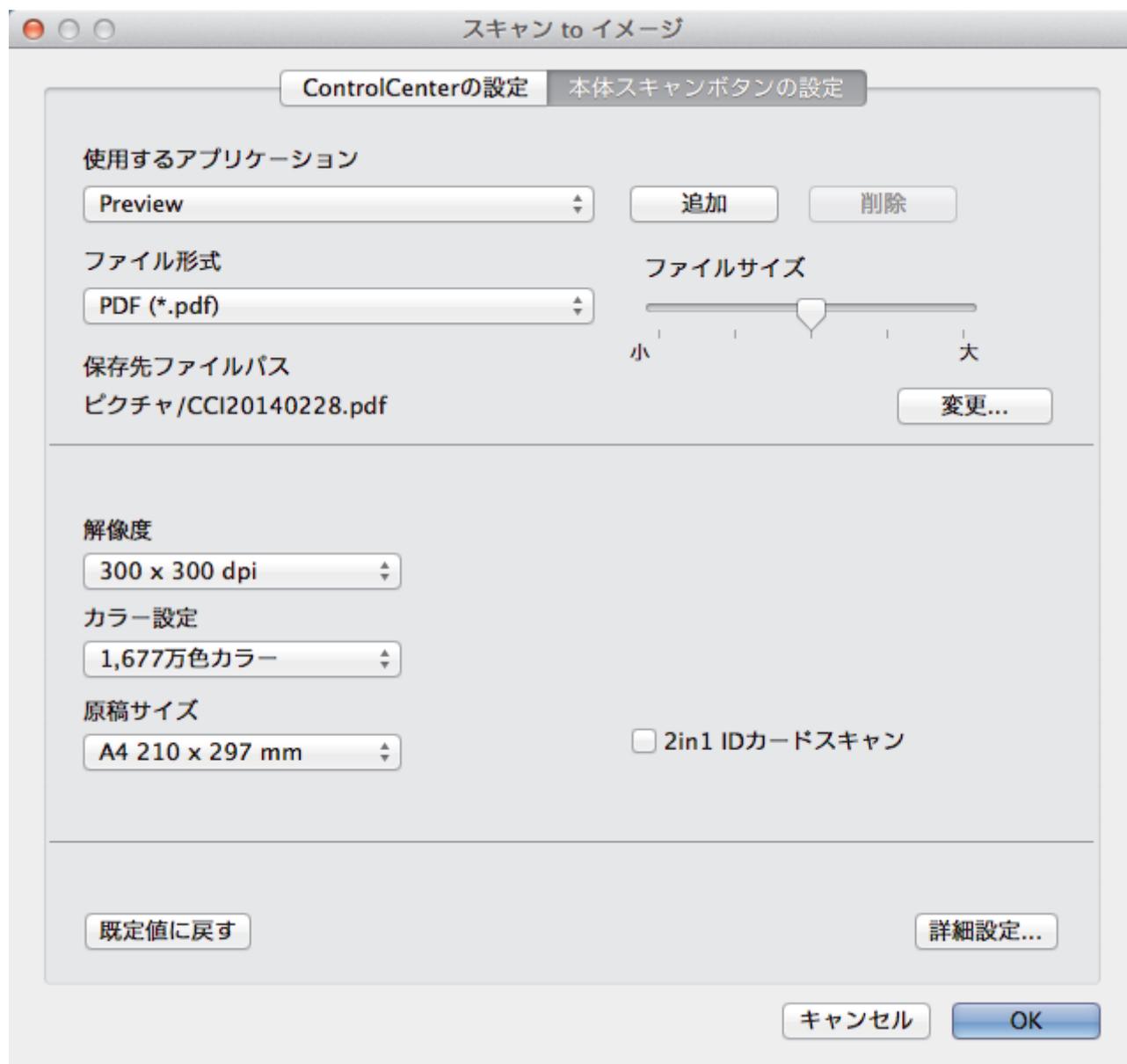
原稿サイズ <ul style="list-style-type: none"> 1 to 2 (A4)を選択した場合は、スキャンしたデータは2つのA5サイズのデータに分割されます。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
明るさ 目盛りを右または左に移動させて 明るさ レベルを設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して 明るさ レベルを設定することも可能です。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コントラスト 目盛りを右または左に移動させて コントラスト レベルを上下させます。レベルを上げるとデータの明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して コントラスト レベルを設定することも可能です。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
初期値 すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

関連情報

- ・ 本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて
- ・ 写真やイメージをスキャンする
- ・ スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する
- ・ 編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)
- ・ スキャンしたデータを E-mail 添付する

ControlCenter2 からスキャンボタン設定を変更する (Macintosh®)

1. Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. キーボードの Control キーを押しながら、設定を変更したいスキャン機能 (イメージ、OCR、E メール添付、またはファイル) をクリックします。
3. **本体スキャンボタンの設定** タブをクリックします。
選択したスキャン機能の設定が表示されます。
以下の例は、**スキャン to イメージ** 設定を示しています。





以下の表の通り、各機能のボタンはそれぞれのスキャン機能に対応しています。
これらの設定は変更することができます。

ボタン名	対応機能
イメージ	スキャン to イメージ
OCR	スキャン to OCR
Eメール添付	スキャン to Eメール添付
ファイル	スキャン to ファイル

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
使用するアプリケーション/使用するEメールアプリケーション スキャンしたデータを開くためのアプリケーションを選択します。 お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションのみ選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 追加 リストにアプリケーションを追加します。 アプリケーションの名前欄にアプリケーション名を入力し(最大30文字)、参照ボタンをクリックして使用するアプリケーションを選択します。ファイル形式をリストから選択します。 削除 リストに追加したアプリケーションを削除します。 アプリケーションの名前リストからアプリケーションを選択して、削除をクリックします。 	○	○	○	-
ファイル形式 スキャンしたデータの保存形式を選択します。	○	○	○	○
ファイルサイズ ファイルサイズ の目盛りを右または左に移動させて、ファイルサイズを変更します。	○	-	○	○
OCR言語 OCR言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。	-	○	-	-
保存先ファイルパス 変更 をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーのアドレスを変更します。	○	○	○	-
ファイル名 必要に応じて、お使いのファイル名に接頭辞を入力します。	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる スキャンしたデータのファイル名に、日付を自動的に入れます。	○	○	○	○
保存先フォルダー 参照 をクリックして、スキャンしたデータの保存先フォルダを選択します。	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く 保存先フォルダーを開く を選択して、スキャン後に保存先フォルダが自動的に表示されるようにします。	-	-	-	○
解像度 解像度 のリストから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。	○	○	○	○

カラー設定 さまざまな色濃度の中から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • モノクロ 文字原稿または線画に使用できます。 • グレー 写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。) • 256 階調グレー 写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。 • 1,677 万色カラー もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。 • 自動 どちらのドキュメントの種類にも使用します。このモードでは、原稿に対して適切な色の濃さが自動的に選択されます。 	○	○	○	○
原稿サイズ 原稿サイズ ポップアップメニューから、原稿と同じサイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 to 2 (A4)を選択した場合、スキャンした画像は、2 枚の A5 サイズの原稿に分割されます。 	○	○	○	○
詳細設定 スキャン設定ダイアログボックスの 詳細設定 ボタンをクリックして、詳細設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 明るさ 目盛りを右または左に移動させて明るさレベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。 • コントラスト 目盛りを右または左に動かして、コントラストレベルを上下させます。レベルを上げると、画像の明暗部分が強調され、レベルを下げると、グレー部分がより鮮明になります。 • 地色除去 原稿のベースカラーを消去して、スキャンしたデータがよりはっきりと分かるこの機能を使う場合、強、中、または弱のどちらかの設定を選択します。 (自動、256 階調グレー、および 1,677 万色カラーにのみ有効) 	○	○	○	○
既定値に戻す すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。	○	○	○	○

✓ 関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用したスキャンについて](#)
- [写真やイメージをスキャンする](#)
- [スキャンしたデータを PDF ファイルとしてパソコンに保存する](#)
- [編集可能テキストファイルとしてスキャンする \(OCR\)](#)

・ スキャンしたデータを E-mail 添付する

パソコンからスキャンする (Windows®)

お使いのパソコンを使用して、写真や文章を本製品でスキャンします。Fuji Xerox から提供されているソフトウェアアプリケーション、または任意のスキャンアプリケーションを使用します。

- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- Presto! PageManager またはその他の Windows®アプリケーションを使ってスキャンする
- Windows®フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする

ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能进行操作することが可能です。

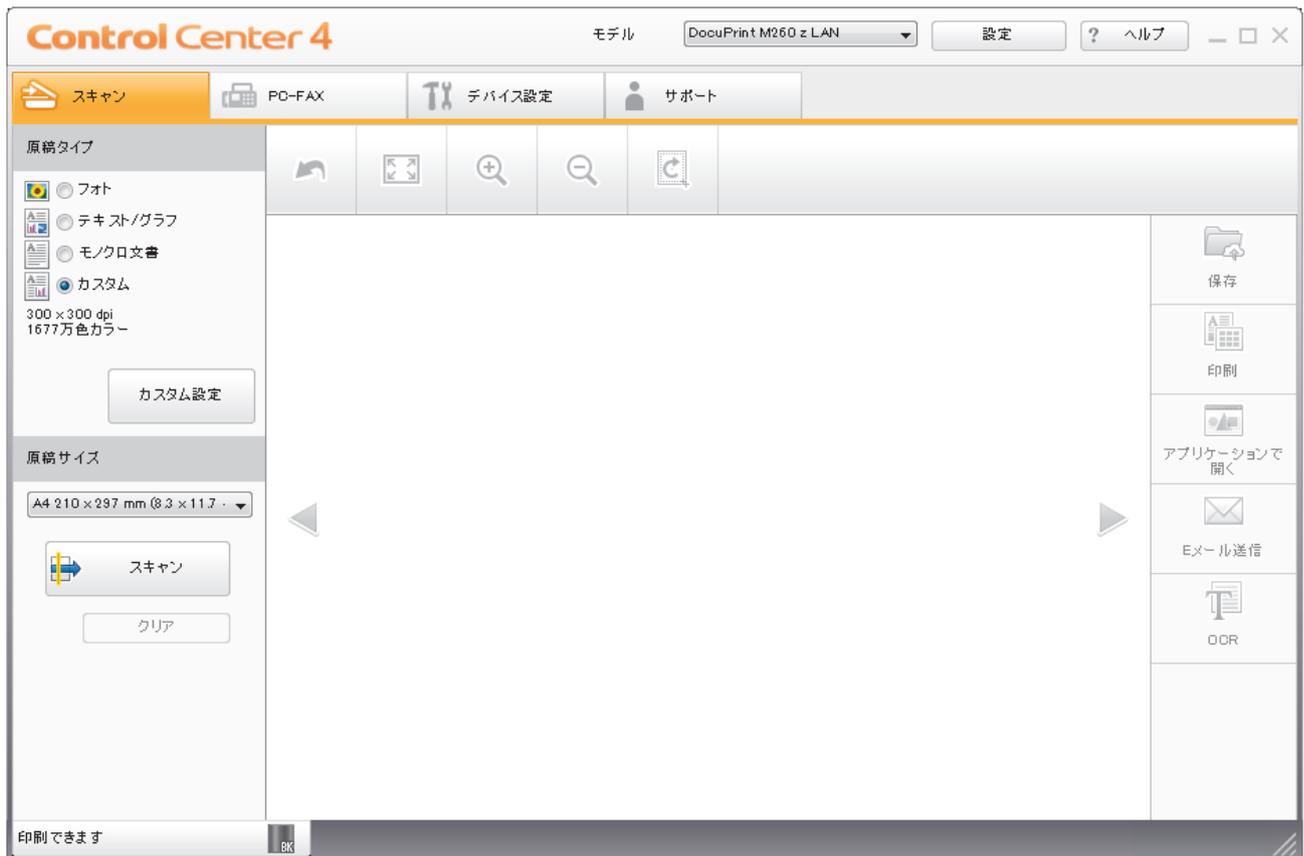
- ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使用して ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter4 Home モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿の**原稿サイズ** を変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワに表示されます。

7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. 必要に応じてスキャン画像を切り取ります。
9. 以下のどれかを行ってください。

-  (**保存**) をクリックして、スキャンしたデータを保存します。
-  (**印刷**) をクリックして、スキャンしたデータを印刷します。
-  (**アプリケーションで開く**) をクリックして、任意のアプリケーションでスキャンしたデータを開きます。
-  (**Eメール送信**) をクリックして、スキャンしたデータをEメールに添付します。



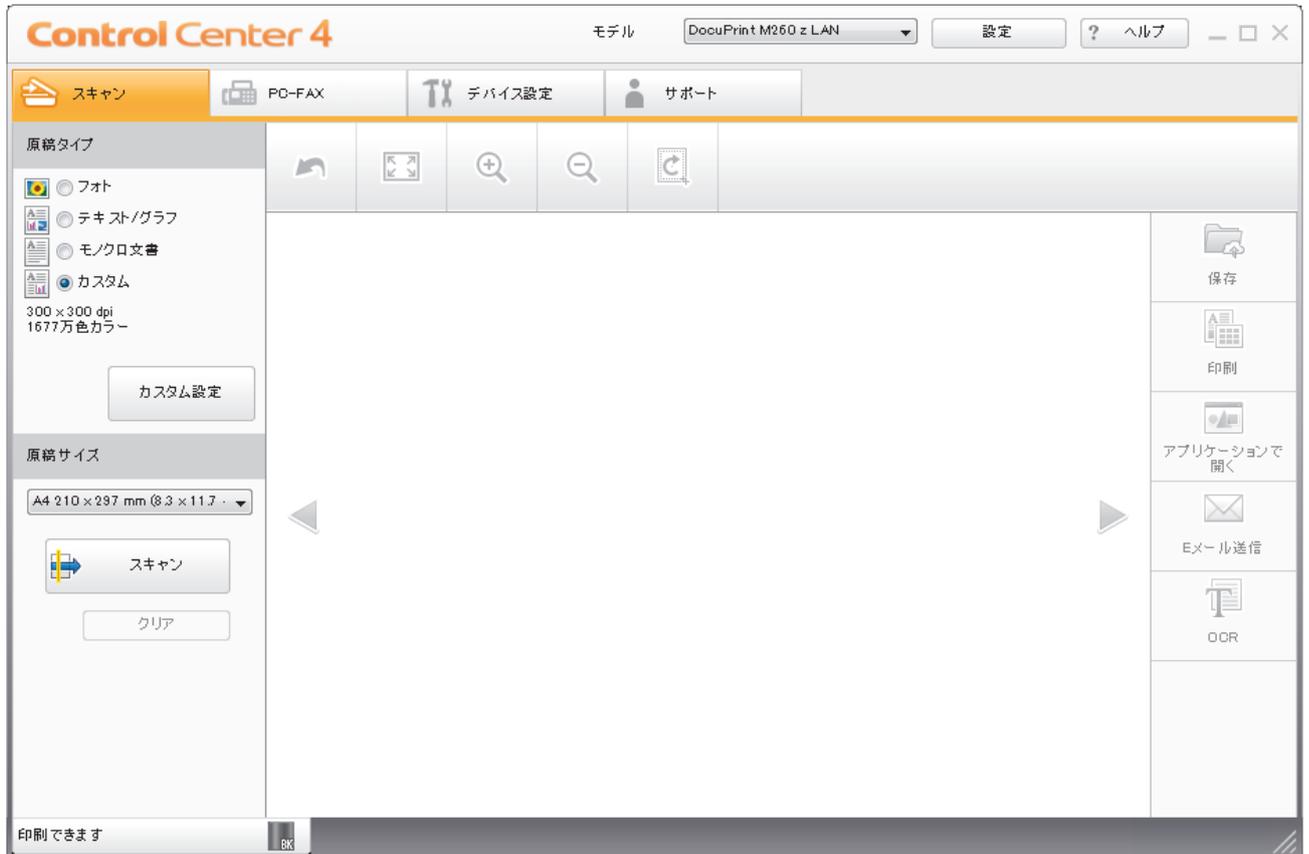
関連情報

- ・ ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使用して原稿の種類を選択する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードで、スキャンした画像を編集する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使用して原稿の種類を選択する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使用して原稿の種類を選択する (Windows®)

- スキャン対象の原稿の種類に合わせて、**原稿タイプ**を選択します。



オプション	説明
フォト	600 x 600 dpi 1677 万色カラー
テキスト/グラフ	300 x 300 dpi 1677 万色カラー
モノクロ文書	200 x 200 dpi モノクロ
カスタム	300 x 300 dpi お買い上げ時の設定は 1677 万色カラーです。 カスタム設定ボタンから、使用するスキャン設定を選択します。

✓ 関連情報

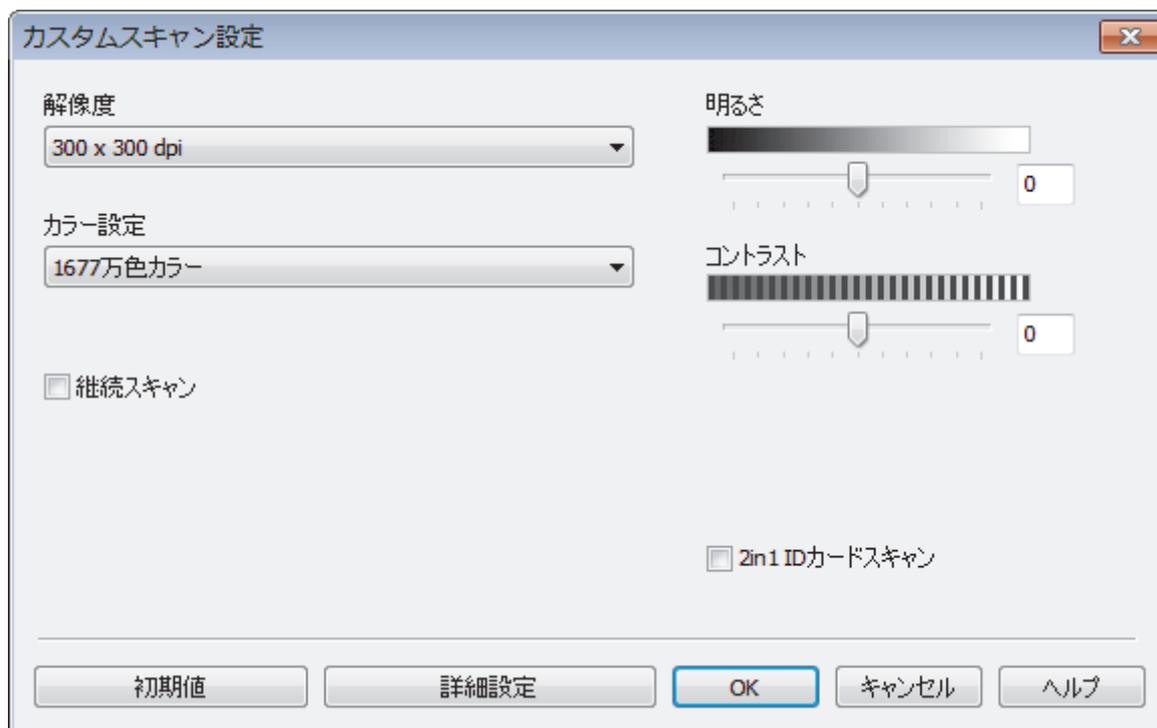
- ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- カスタムスキャン設定 (Windows®)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使用して原稿の種類を選択する (Windows®) > カスタムスキャン設定 (Windows®)

カスタムスキャン設定 (Windows®)

原稿タイプでカスタムを選択して、詳細なスキャン設定を変更します。

- カスタムを選択して、カスタム設定ボタンをクリックします。
カスタムスキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



以下の設定を変更することができます。

解像度

解像度のリストから、スキャンの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- 自動

どんなタイプの原稿にも使用できます。このモードは、原稿に適した色濃度を自動的に選びます。

- モノクロ

文字原稿または線画に使用できます。

- グレー

写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。)

- 256 階調グレー

写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。

- 1677 万色カラー

もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。

明るさ

目盛りを右または左に移動させて**明るさレベル**を設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して**明るさレベル**を設定することも可能です。

コントラスト

目盛りを右または左に移動させて**コントラストレベル**を上下させます。レベルを上げるとデータの明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して**コントラストレベル**を設定することも可能です。

継続スキャン

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿送り装置）から複数枚の原稿をスキャンするときに選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを継続するか終了するかを選びます。これを選択すると、ADF（自動原稿送り装置）の上限より多いページ数をスキャンすることが可能になります。

2in1 ID カードスキャン

運転免許証のようなカードの両面を 1 つのページにスキャンするときに、このチェックボックスにチェックを入れます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスで**詳細設定**ボタンをクリックします。

- 地色除去

スキャンしたデータをより見やすくするため、原稿の背景にある地色を取り除きます。弱、中、強の 3 つの設定から選びます。

（自動、256 階調グレー、および 1677 万色カラーのみ利用可能）



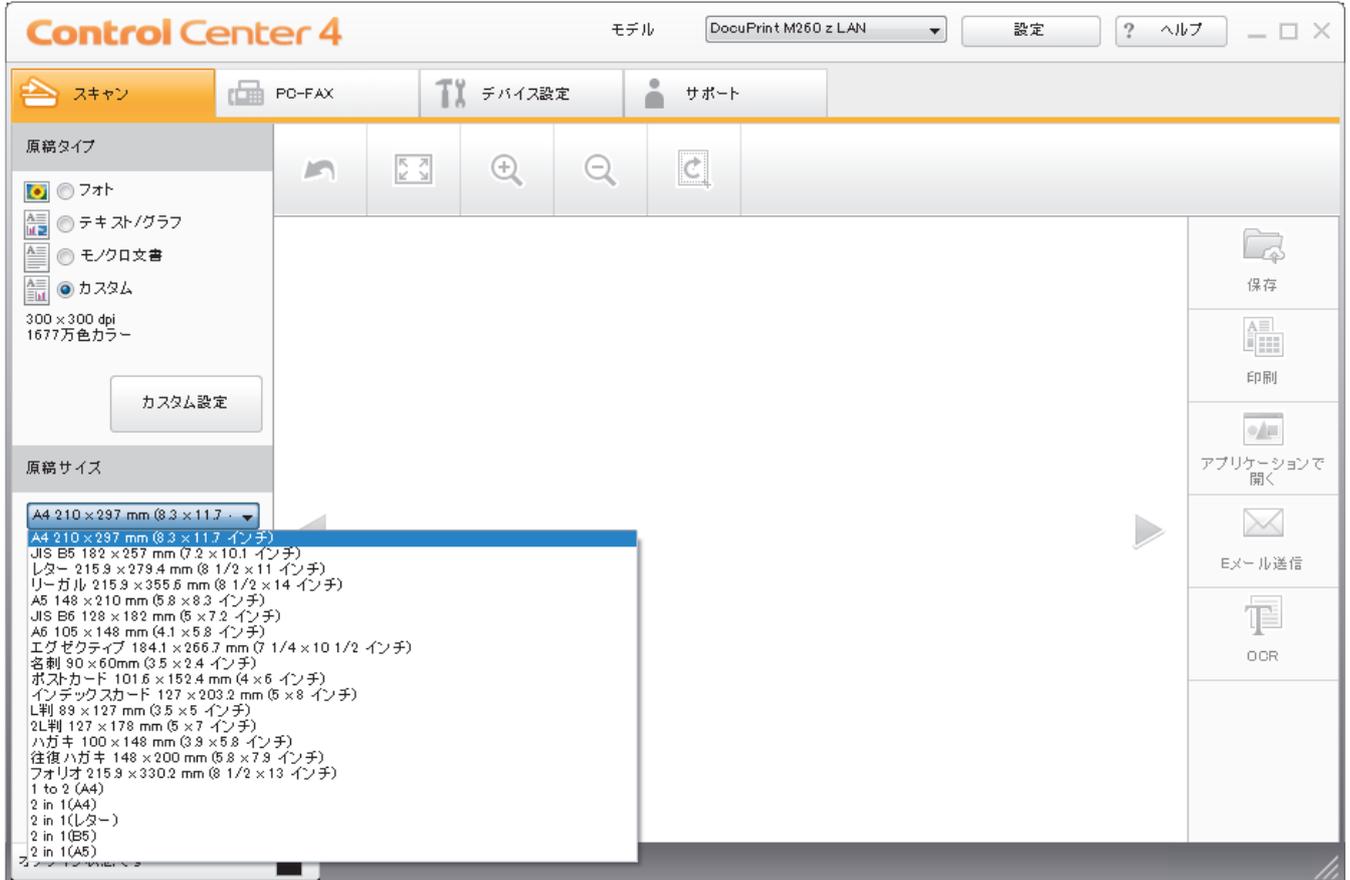
関連情報

- ・ [ControlCenter4 Home モードを使用して原稿の種類を選択する（Windows®）](#)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードでスキャンサイズを変更する (Windows®)

原稿サイズのリストから正しい原稿サイズを選択することで、スキャンする速度を上げることができます。



✓ 関連情報

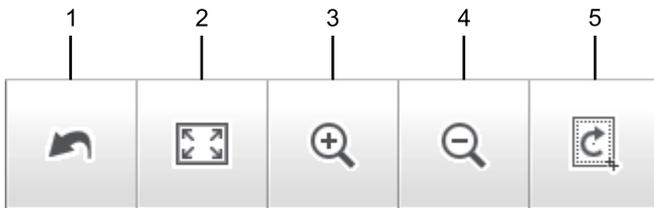
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードで、スキャンした画像を編集する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードで、スキャンした画像を編集する (Windows®)

画像編集ツールで、スキャンした画像の不要な部分を切り取ることができます。拡大および縮小を使用すれば、切り取った画像が見やすくなります。

画像編集ツールバー



1. 編集取消

選択された画像に適用した編集内容を、すべて取り消します。編集された画像は元の状態に戻ります。

2. ウィンドウに合わせる

スキャンした画像の全体画像がウィンドウに合うように表示されます。

3. 拡大

スキャンした画像を拡大します。

4. 縮小

スキャンした画像を縮小します。

5. 編集

画像の外側の部分を取り除きます。編集ボタンをクリックして、必要な部分を残して、不要な外側の部分を切り取ります。

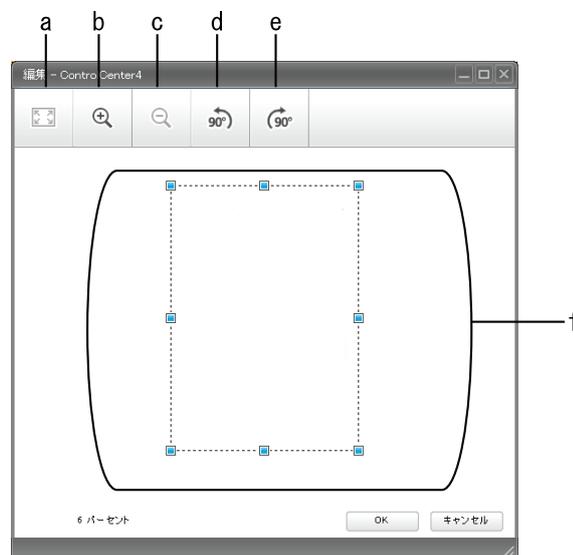


複数ページのスキャンをした場合、プレビュー画面の左または右の矢印ボタンをクリックして、スキャンしたデータの各ページを確認することができます。

1. 原稿をスキャンします。

2.  (編集) をクリックして、スキャンしたデータを編集します。

編集 - ControlCenter4 画面が表示されます。



a. スキャンした画像の全体画像をウィンドウに合わせます。

-
- b. 画像を拡大します。
 - c. 画像を縮小します。
 - d. 画像を反時計回りに 90 度回転します。
 - e. 画像を時計回りに 90 度回転します。
 - f. フレームをクリックおよびドラッグして、切り取る範囲を調節します。
3. **OK** をクリックします。
編集された画像は、イメージビューワーに表示されます。

関連情報

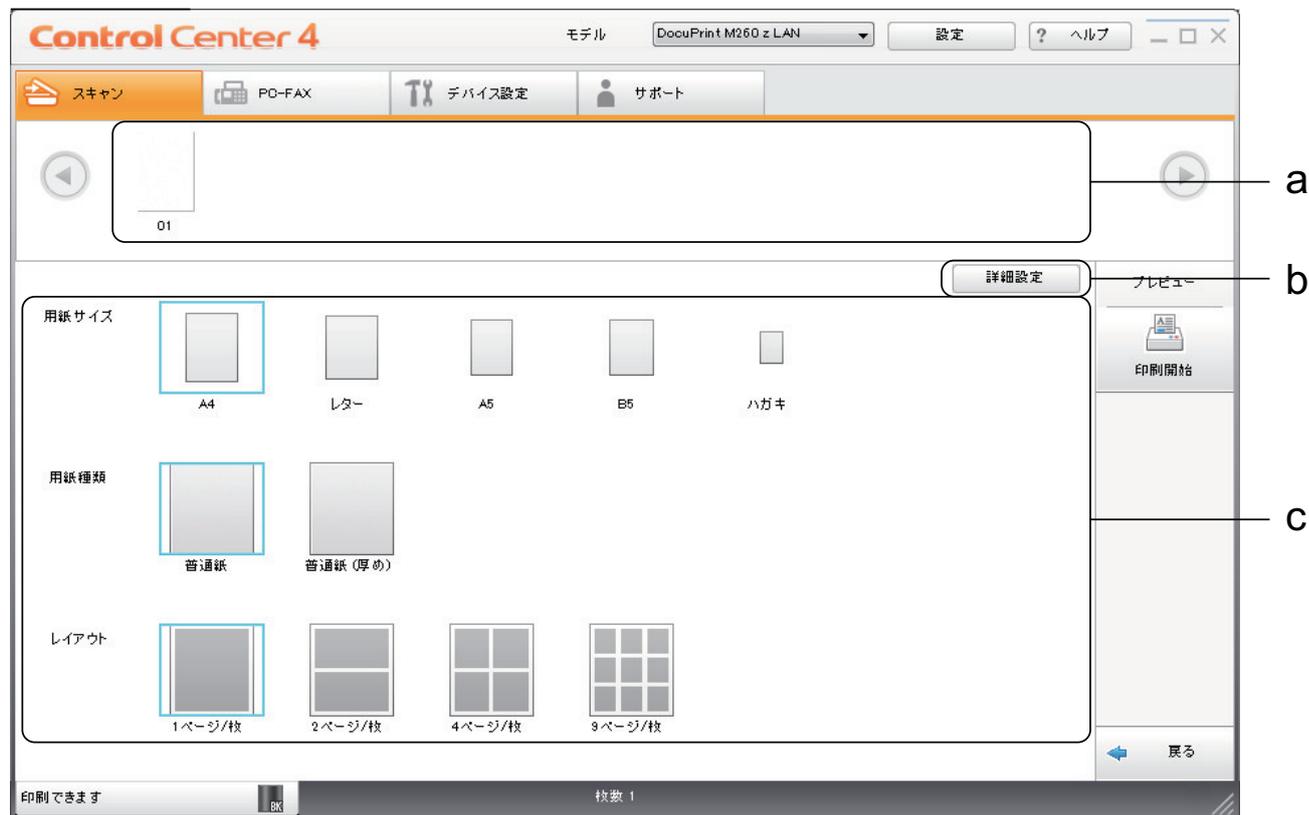
- ・ [ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする \(Windows®\)](#)
-

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードでスキャンしたデータを印刷する (Windows®)

本製品で原稿をスキャンし、ControlCenter4 で利用できるプリンター機能を使用して印刷します。

1. 原稿をスキャンします。
2. 印刷をクリックします。



- a. 現在選択されている画像と、画像ごとの印刷部数が表示されます。
 - b. 使用するプリンターを選択します。プロパティボタンをクリックして、プリンター設定を変更します。
 - c. 原稿サイズ、用紙種類およびレイアウトを選択します。現在の設定が青色で囲まれます。
3. 印刷設定を行い、印刷開始ボタンをクリックします。

✓ 関連情報

- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

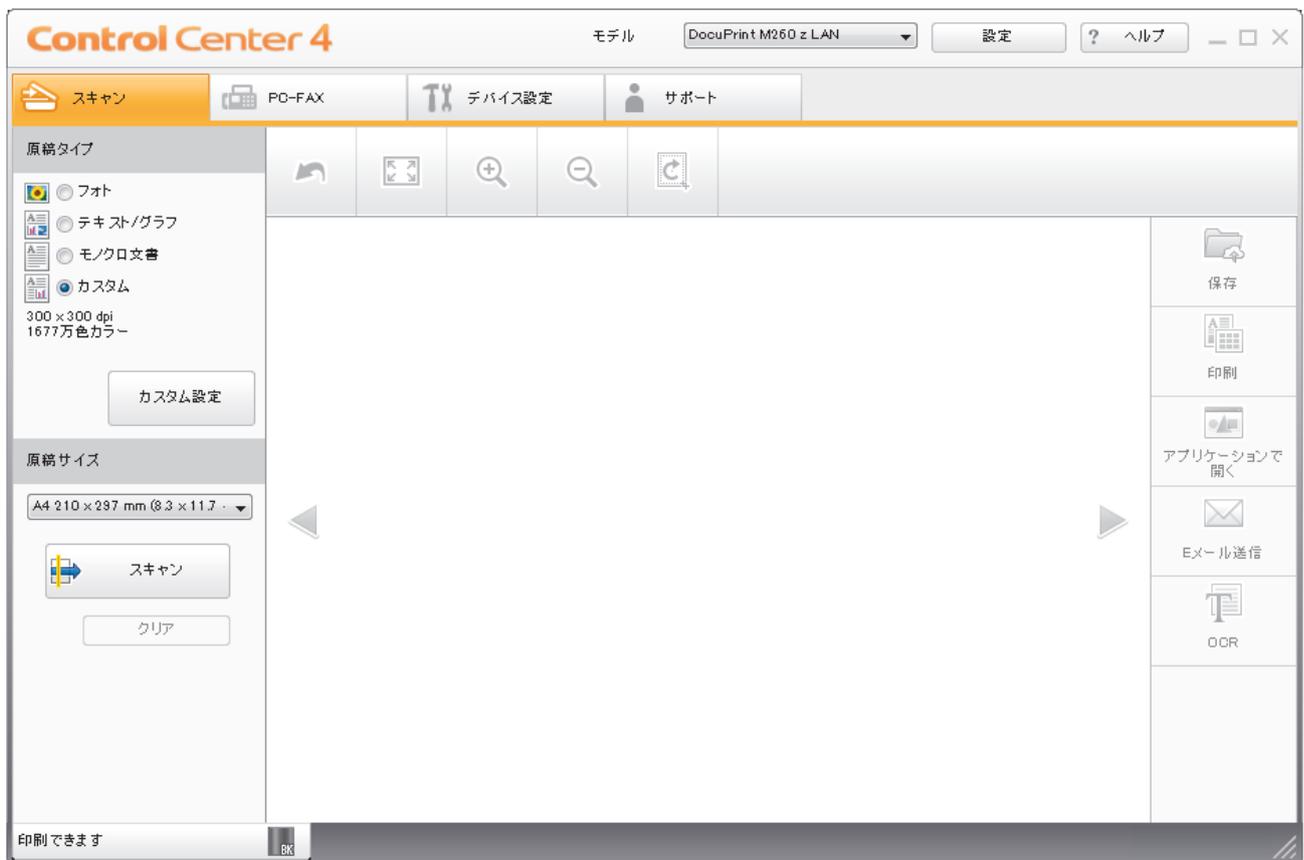
■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータをアプリケーションに送る (Windows®)

アプリケーションで開くボタンを使って、スキャンしたデータを画像編集用アプリケーションへ送信します。

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿の**サイズ**を変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. 必要に応じてスキャン画像を切り取ります。
9. **アプリケーションで開く** ボタンをクリックします。
10. リストからアプリケーションを選択し、**OK** をクリックします。

選択されたアプリケーション上で画像が開きます。

✓ 関連情報

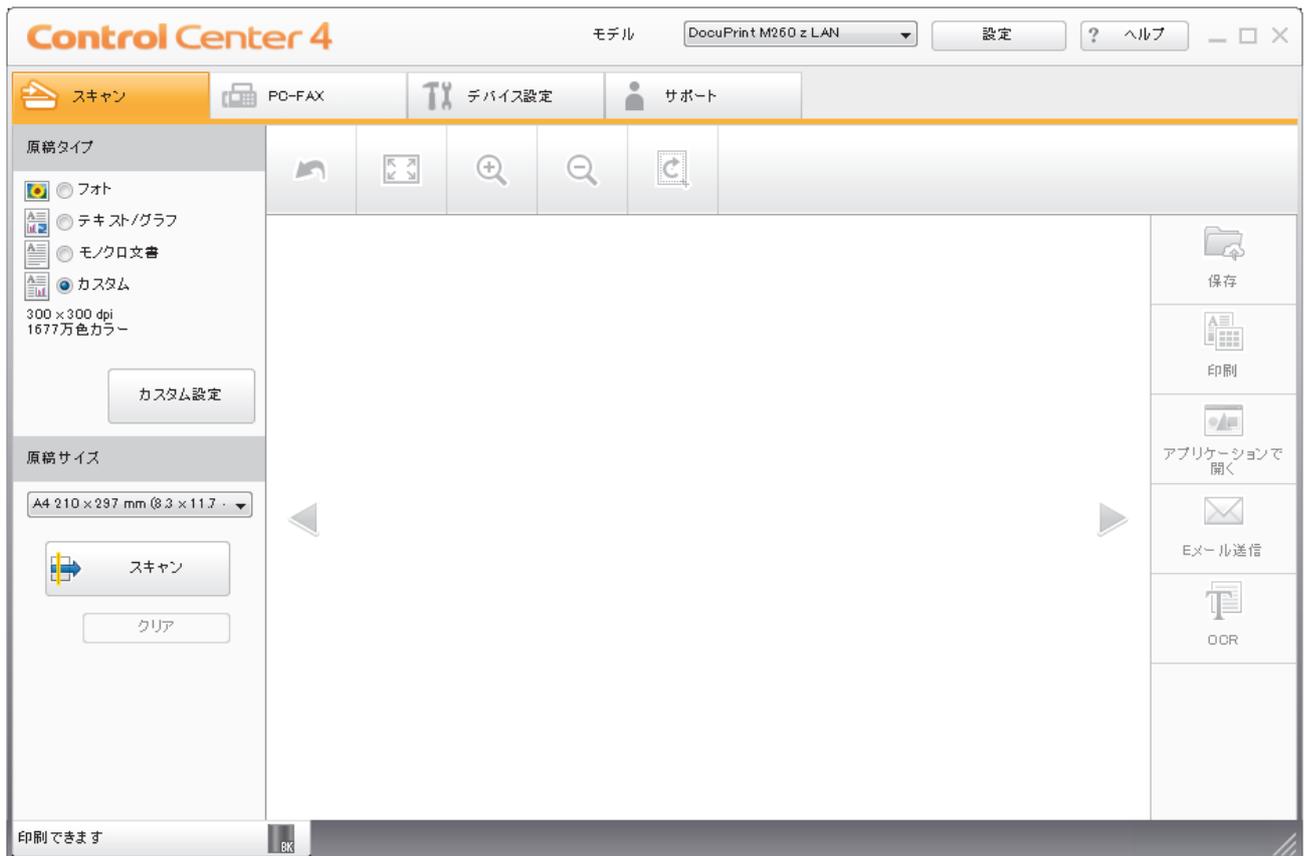
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

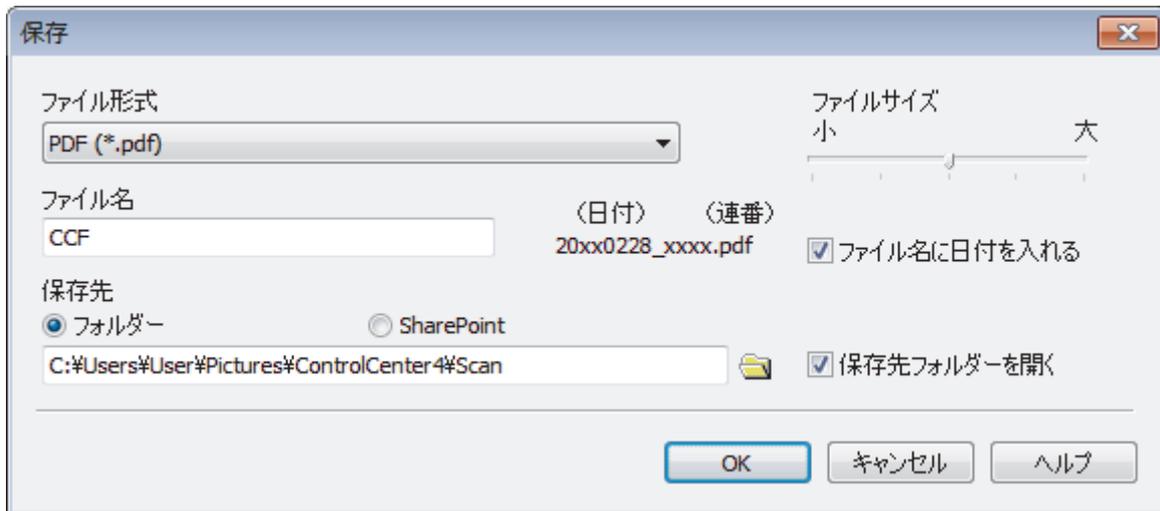
1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. **保存** をクリックします。

保存 のダイアログボックスが表示されます。
9. **ファイル形式** のリストをクリックし、**PDF (*.pdf)** を選択します。



 PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、**ファイル形式**のリストから**パスワード付き PDF (*.pdf)**を選択し、 をクリックしてパスワードを入力します。

10. 必要に応じて、**ファイル名**欄にファイル名の先頭文字を入力します。
11. **保存先**欄で、**フォルダー**のラジオボタンを選択して、スキャンしたデータを保存するフォルダーを指定します。
12. **OK** をクリックします。
スキャンしたデータは、PDF として指定先のフォルダーに保存されます。

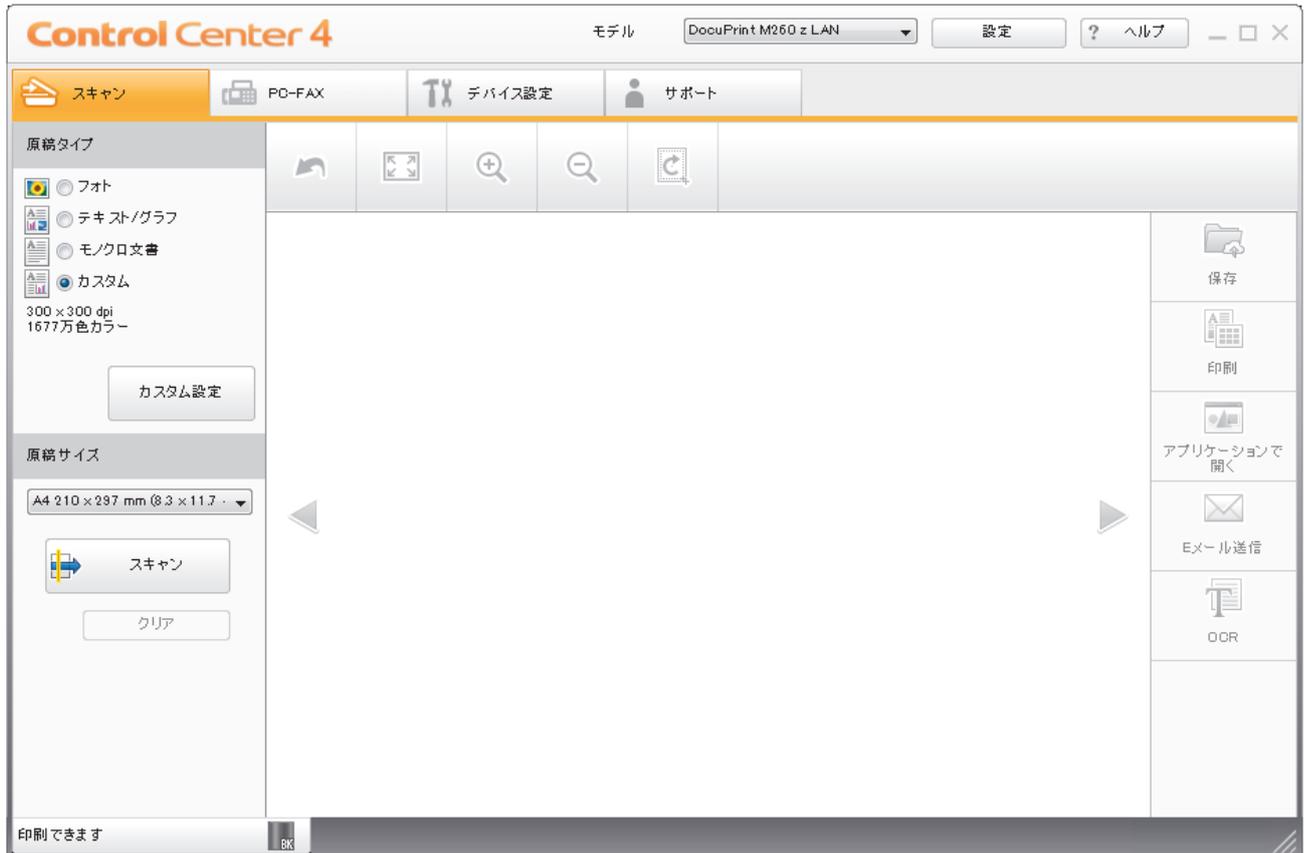
関連情報

- ・ ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使用して ID カードの両面をスキャンする

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿台ガラスに運転免許証のような両面の ID カードをセットします。
2. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ**で、**カスタム**を選択し、**カスタム設定**ボタンをクリックします。
カスタムスキャン設定のダイアログボックスが表示されます。
5. **2in1 ID カードスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。
指示ダイアログが表示されます。
6. 画面の指示をお読みにになり、**OK** を押します。
7. 必要に応じて、その他の**カスタムスキャン設定**を設定します。
8. **OK** をクリックします。
9. **スキャン** (スキャン) をクリックします。
本製品でカードの片面のスキャンを開始します。
10. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、**続ける** をクリックしてもう一方の片面もスキャンします。
11. **完了** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 のモードを変更する \(Windows®\)](#)

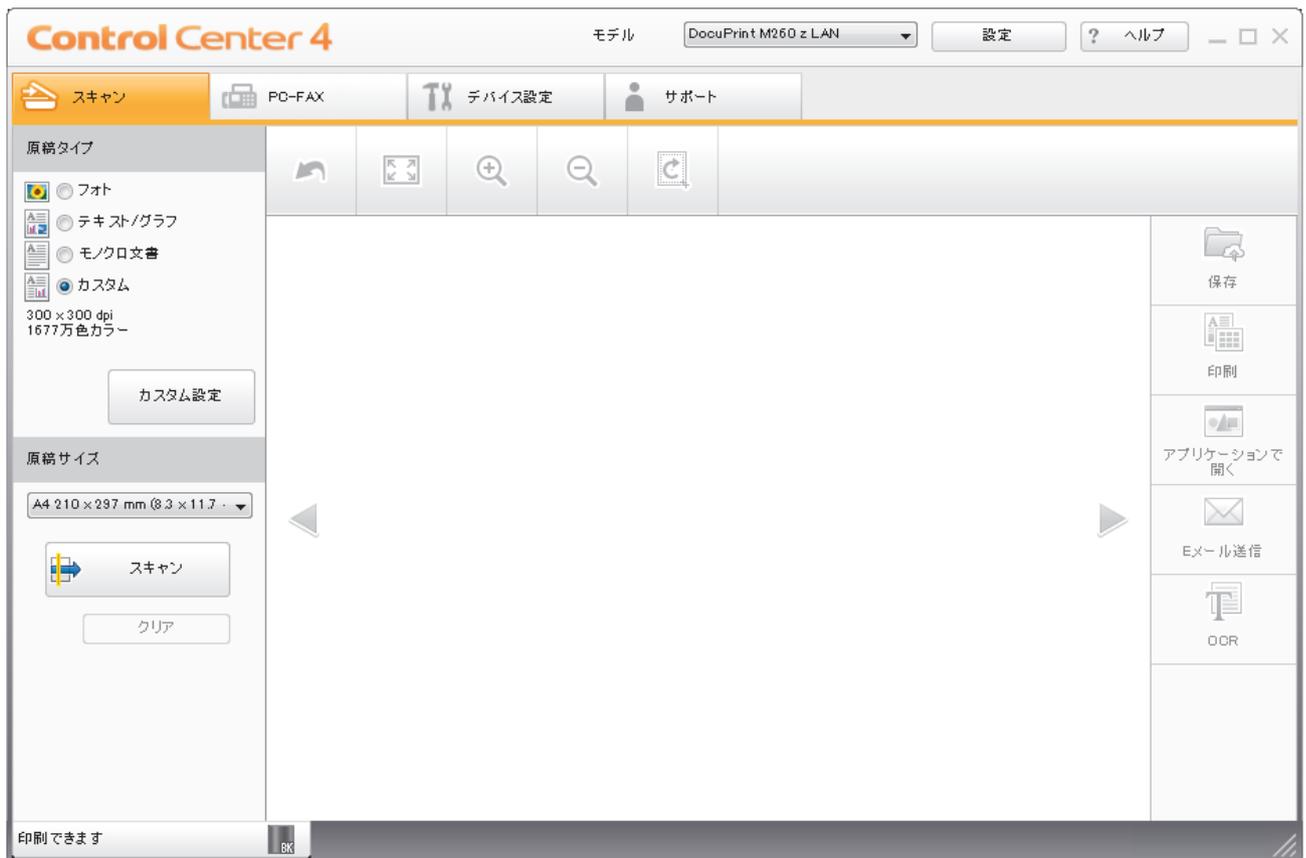
■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する

ControlCenter4 Home モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する

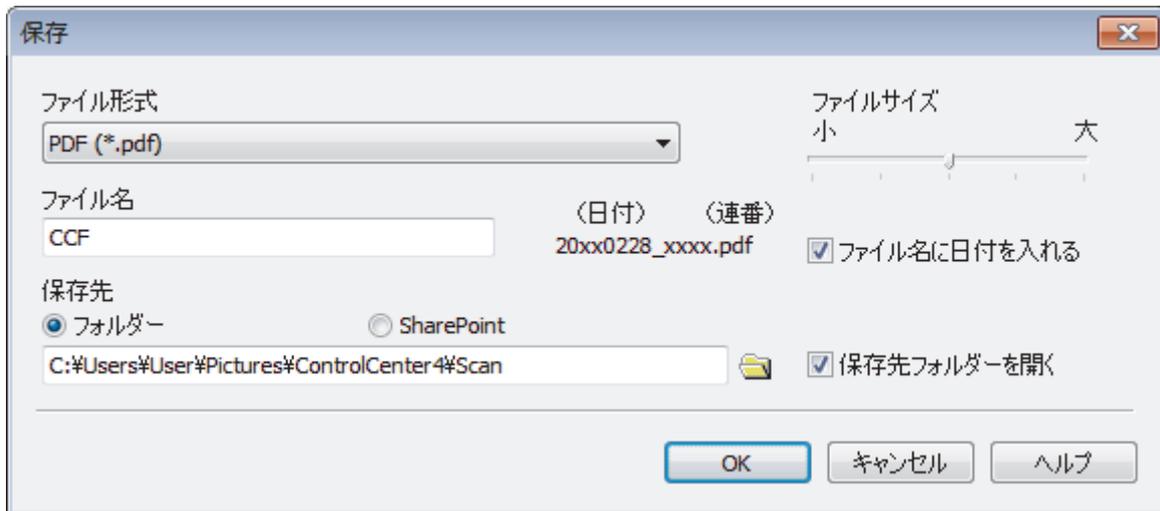
原稿をスキャンして、Sharepoint® サーバーのフォルダーに保存します。

ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
3. スキャンタブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (スキャン) をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワーに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. **保存** をクリックします。
保存のダイアログボックスが表示されます。
9. **ファイル形式** のリストをクリックし、ファイル形式を選択します。



 PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、**ファイル形式**のリストから**パスワード付き PDF (*.pdf)**を選択し、 をクリックしてパスワードを入力します。

10. 必要に応じて、**ファイル名**欄にファイル名の先頭文字を入力します。
11. **保存先**欄で、**SharePoint** を選択して、スキャンしたデータを保存するサーバーのアドレスを入力します。
12. サーバー接続を確認するため、**接続テスト**ボタンをクリックします。
接続しました。というメッセージが表示されます。

 セキュリティのダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

13. **OK** をクリックします。
スキャンしたデータは指定先サーバーに保存されます。

関連情報

- ・ ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)

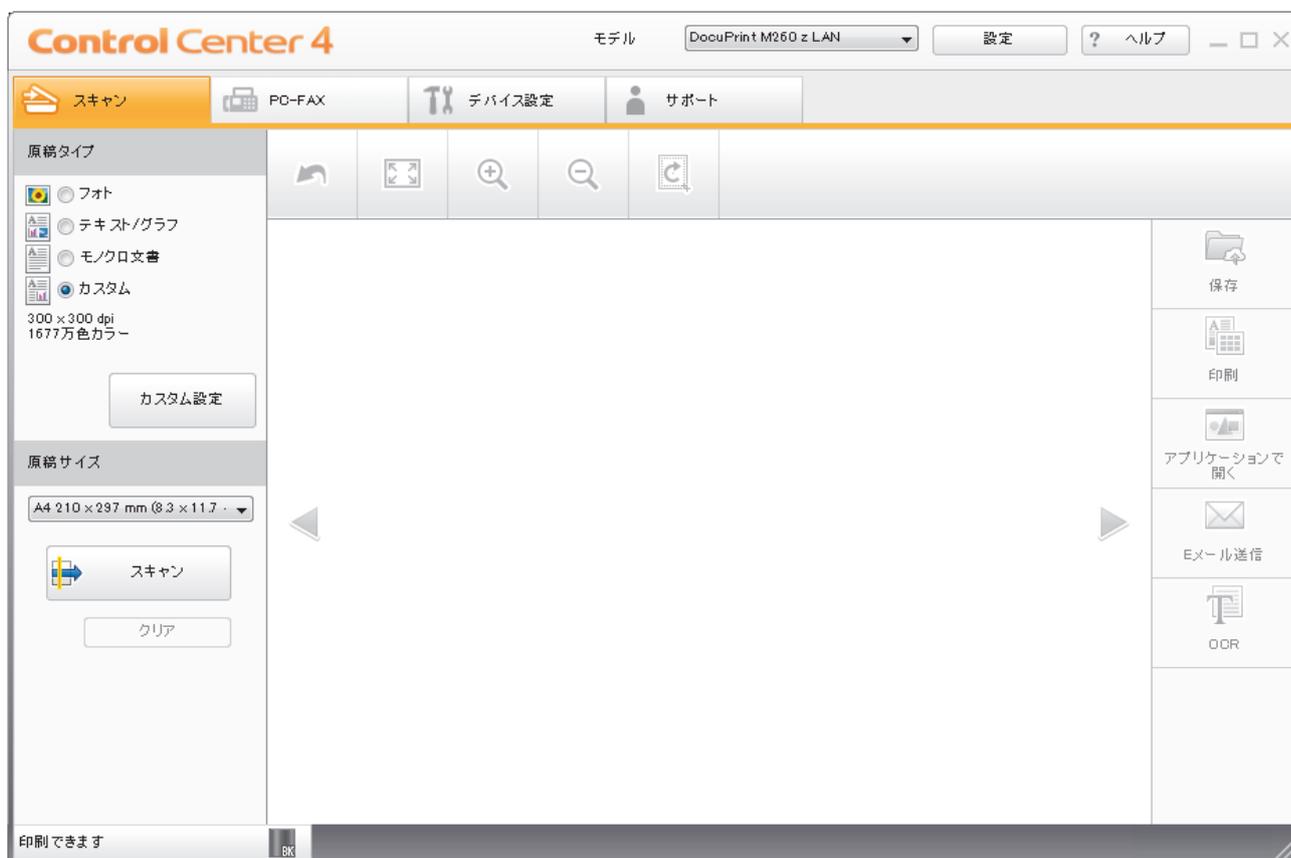
パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

- ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。
- スキャンしたデータを E メール添付する機能は、Web メールには対応していません。スキャンしたデータを Web メールに添付して送る場合は、スキャンしたデータを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。



パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. 必要に応じてスキャン画像を切り取ります。
9. **Eメール送信** ボタンをクリックします。
10. 添付ファイル設定を行い、**OK** をクリックします。

パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトが開き、スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

関連情報

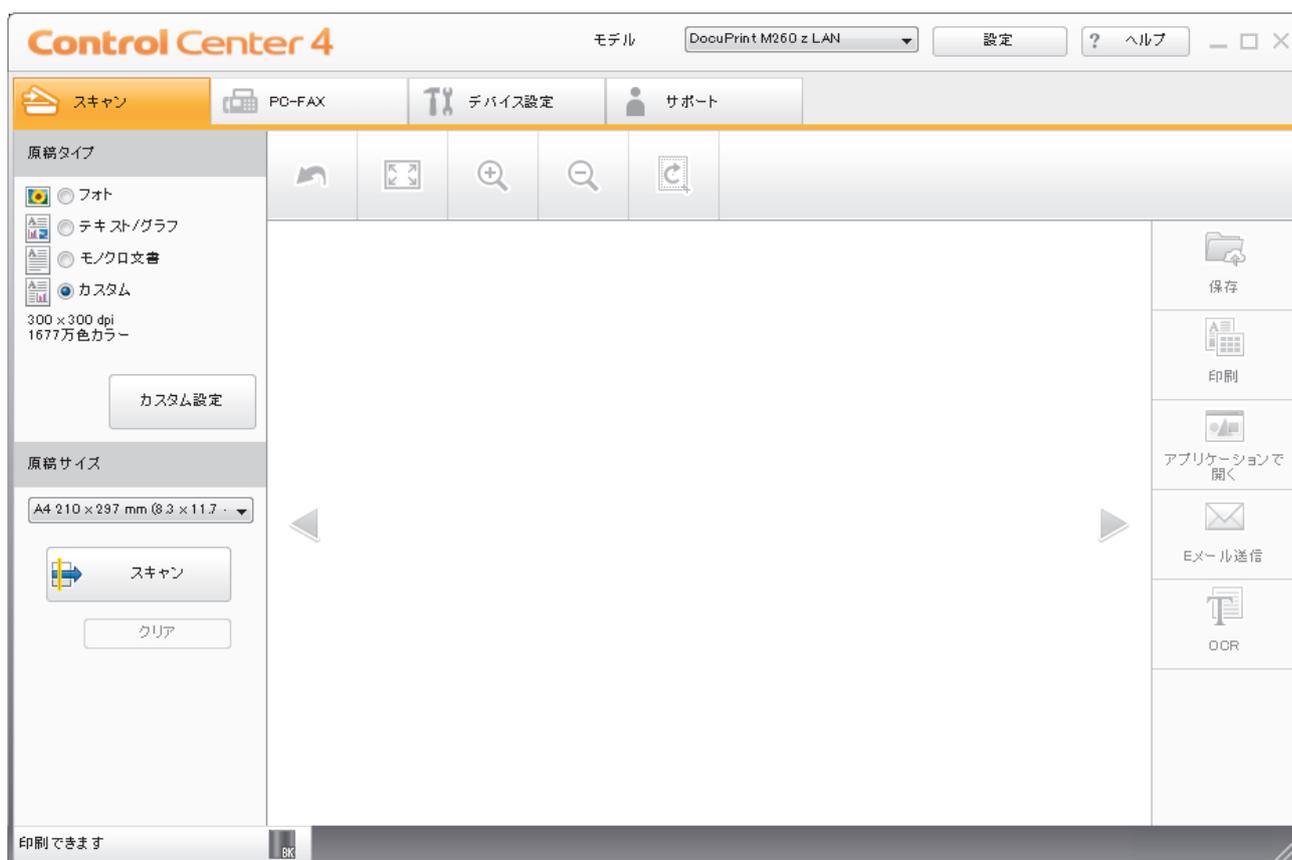
- ・ ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
 - ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)
-

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Home モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)

ControlCenter4 Home モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)

本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストデータに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集することが可能です。

- ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。
 - Presto! PageManager がお使いのパソコンにインストールされている必要があります。
1. 原稿をセットします。
 2. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
 3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **原稿タイプ** を選択します。
5. 必要に応じて原稿のサイズを変更します。
6.  (**スキャン**) をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、スキャンした画像がイメージビューワに表示されます。
7. スキャンしたデータの各ページをプレビューする場合は、左または右の矢印ボタンをクリックします。
8. **OCR** ボタンをクリックします。
9. OCR 設定を行い、**OK** をクリックします。

編集可能なテキストに変換されたデータを、設定したアプリケーションに送信します。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能を制御し、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

- ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを Eメール添付する (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)

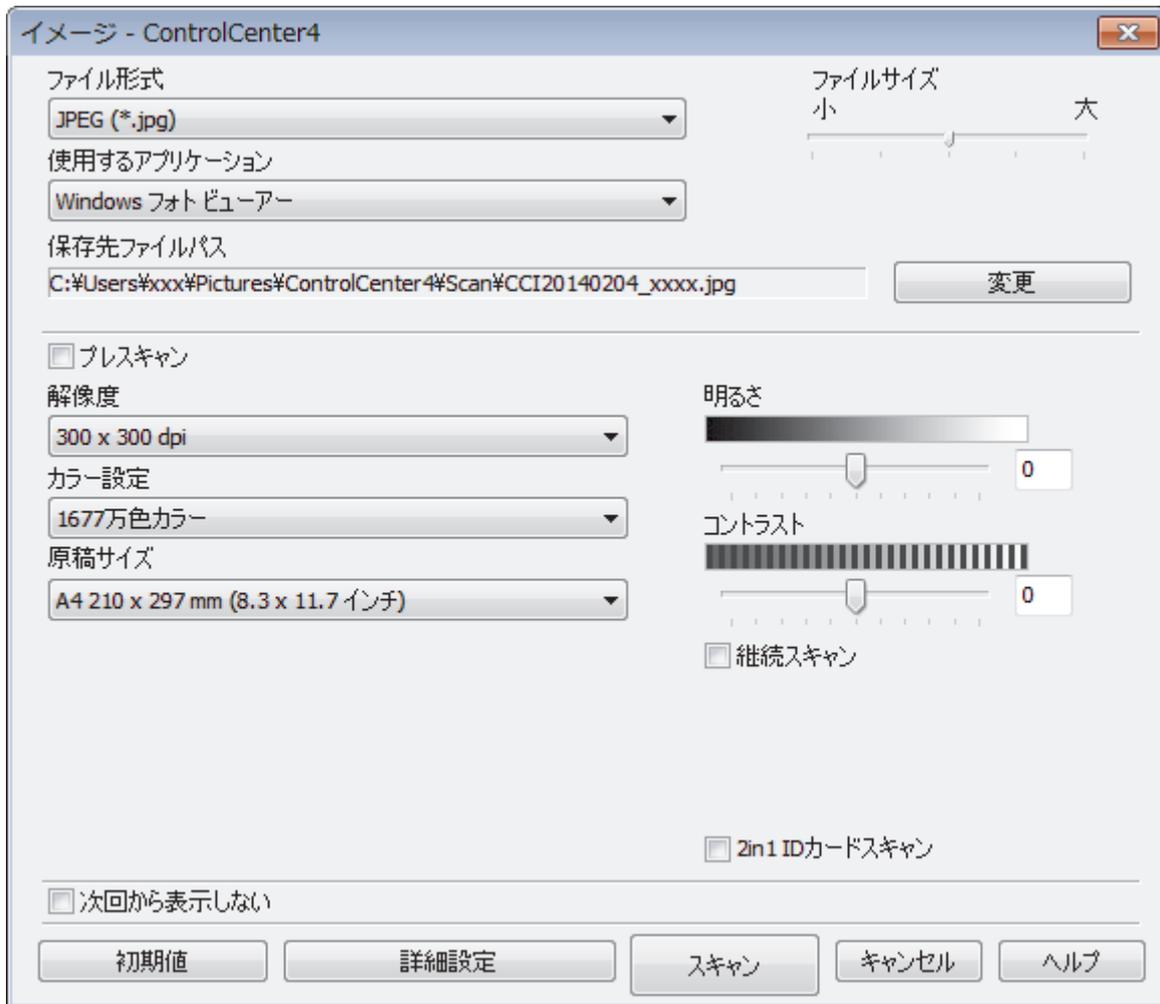
スキャンした写真やイメージを、お使いのパソコンに直接送ることができます。お使いのパソコンに設定されている本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を起動し、スキャンしたデータを自動的に開きます。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **イメージ** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。選択されたアプリケーションで画像を開きます。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter4 のモードを変更する \(Windows®\)](#)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)

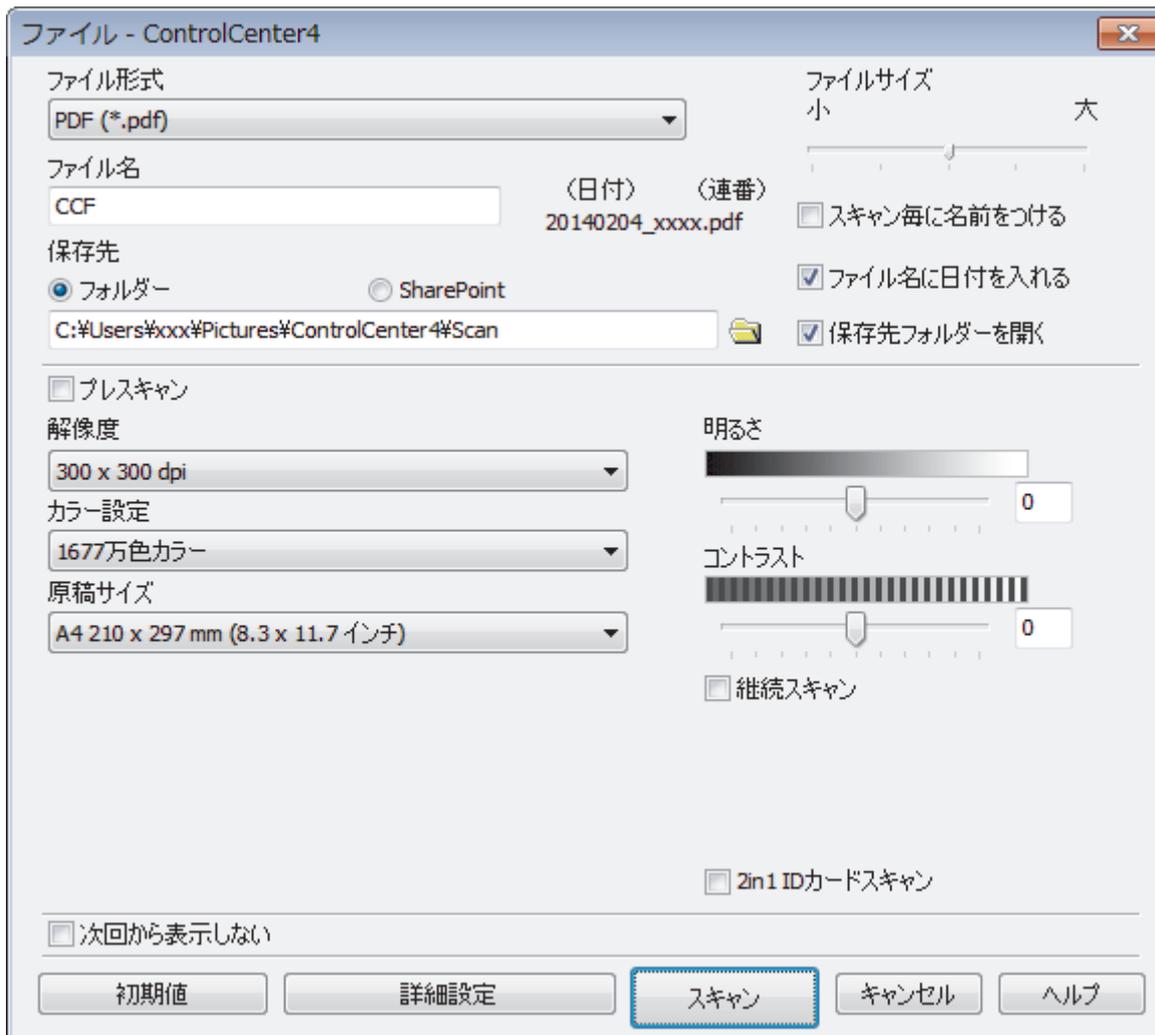
原稿をスキャンし、お使いのパソコン上に PDF ファイルとして保存します。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **ファイルボタン**をクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **ファイル形式**のリストをクリックし、**PDF (*.pdf)**を選択します。



PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、**パスワード付き PDF (*.pdf)**を選択し、をクリックしてパスワードを入力します。

6. **保存先**欄で、スキャンした原稿を保存するフォルダーを指定します。
7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

8. **スキャン**をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。選択されたフォルダーにファイルが保存されます。

関連情報

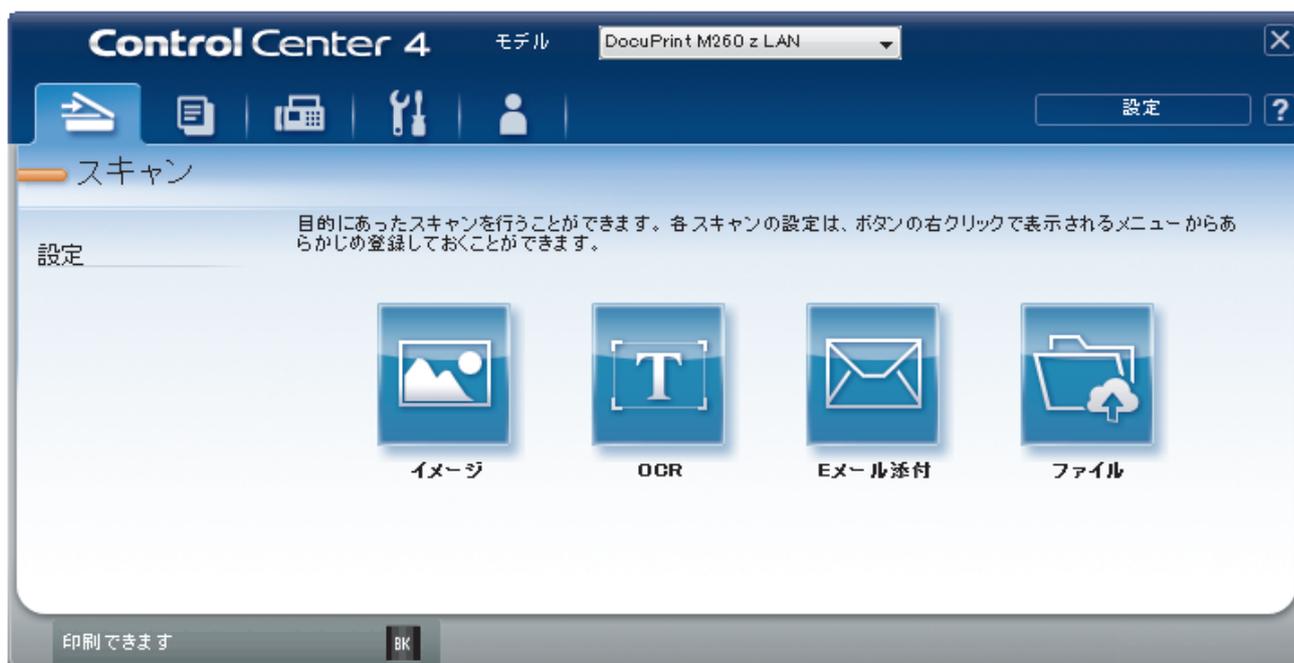
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする

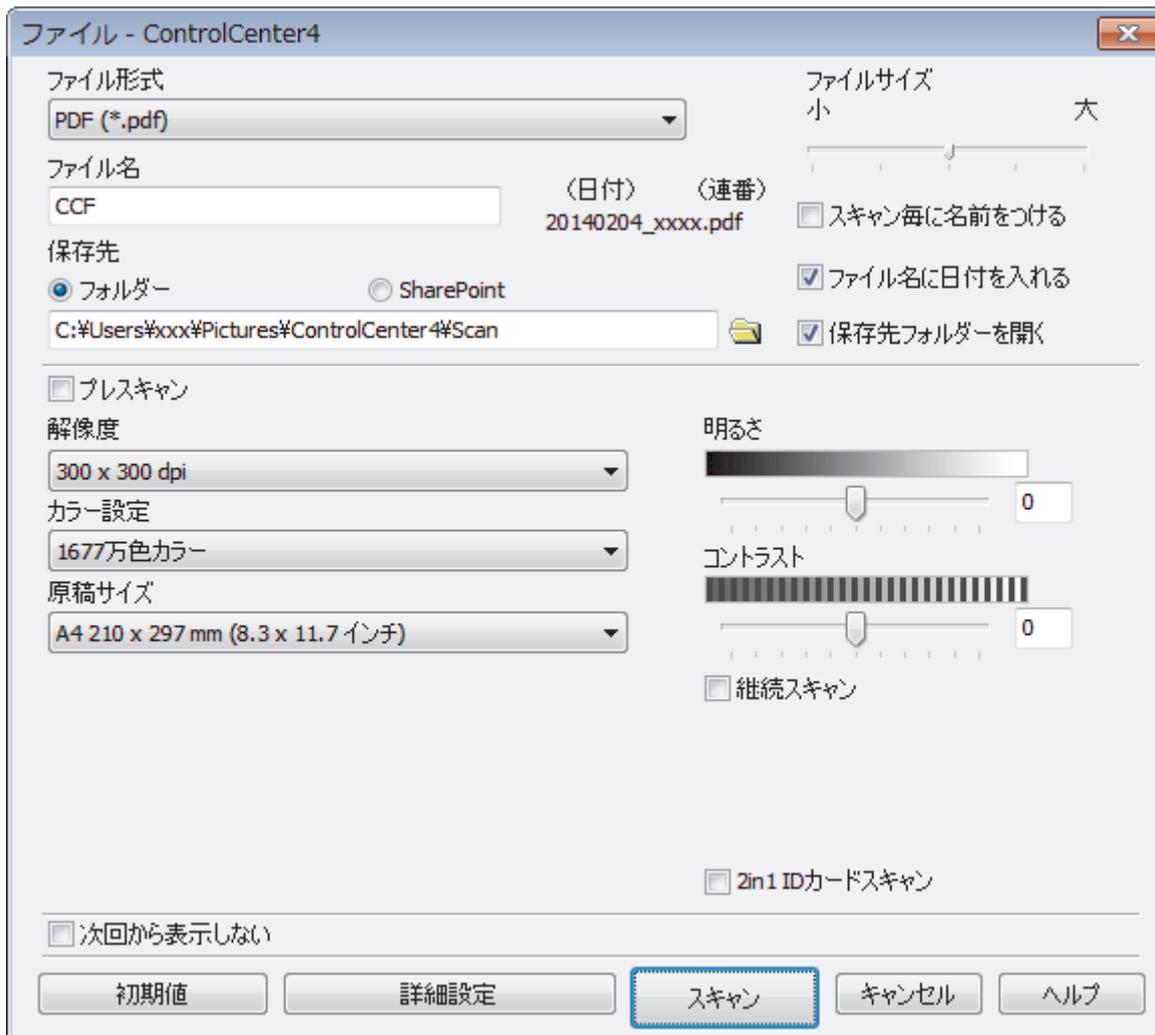
ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿台ガラスに運転免許証のような両面の ID カードをセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
3. スキャンタブをクリックします。



4. **ファイルボタン**をクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **2in1 ID カードスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。
指示ダイアログが表示されます。
6. 画面の指示を確認して、**OK** を押します。
7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。
8. **スキャン**をクリックします。
本製品で ID カードの片面のスキャンを開始します。
9. 片面のスキャンが終わったら、ID カードを裏返し、**続ける**をクリックしてもう一方の片面もスキャンします。
10. **完了**をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する

ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する

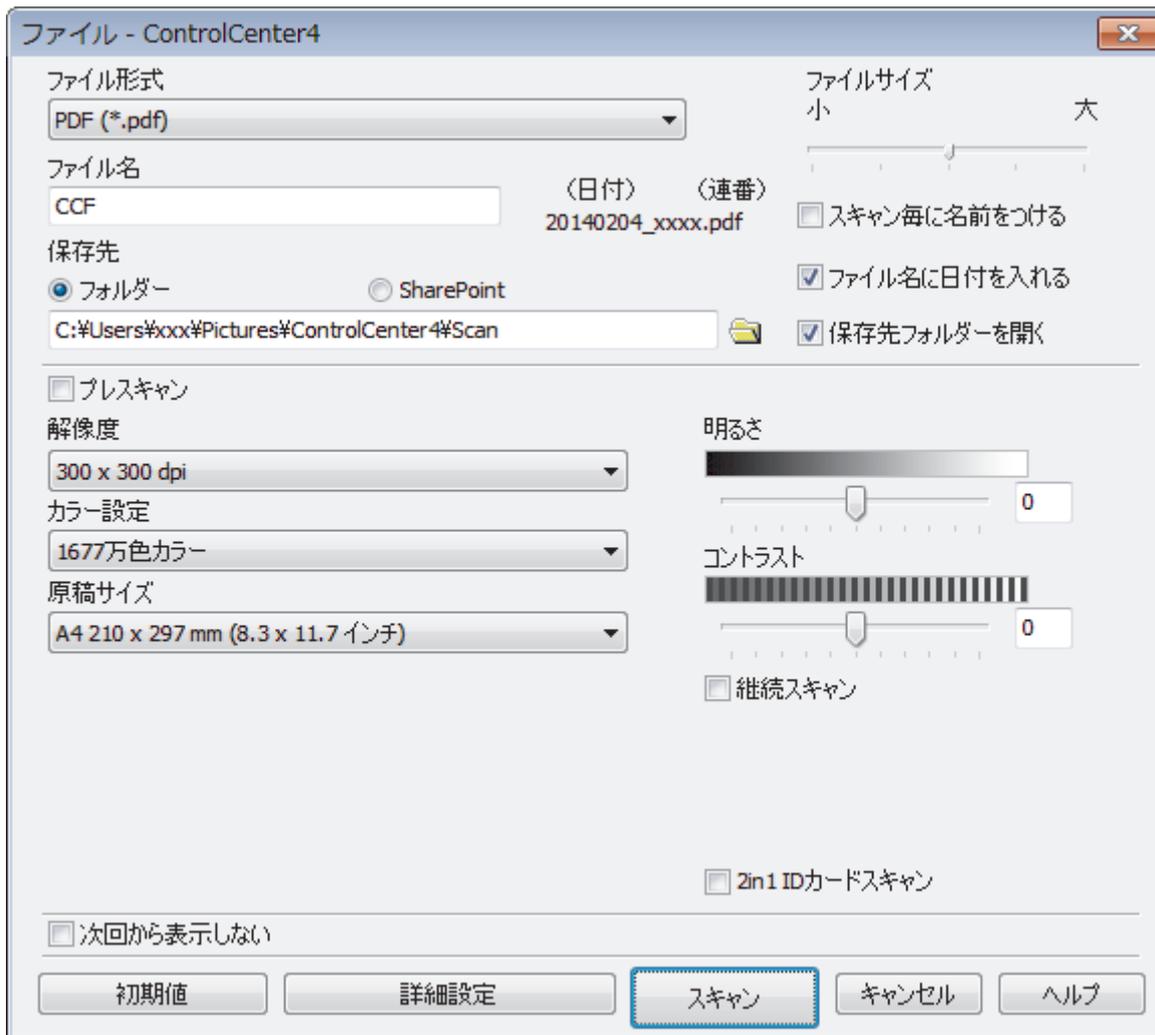
この機能を使って原稿をスキャンし、SharePoint®のサーバーに保存します。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **ファイルボタン**をクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **保存先欄**で、**SharePoint** を選択して、スキャンしたデータを保存するサーバーのアドレスを入力します。
6. サーバー接続を確認するため、**接続テストボタン**をクリックします。
接続しました。というメッセージが表示されます。



セキュリティのダイアログボックスが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

7. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。
8. **スキャン**をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。スキャンしたデータは指定先サーバーに保存されます。

✓ 関連情報

- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)

パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

- ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。
- スキャンしたデータを E メール添付する機能は、Web メールには対応していません。スキャンしたデータを Web メールに添付して送る場合は、スキャンしたデータを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

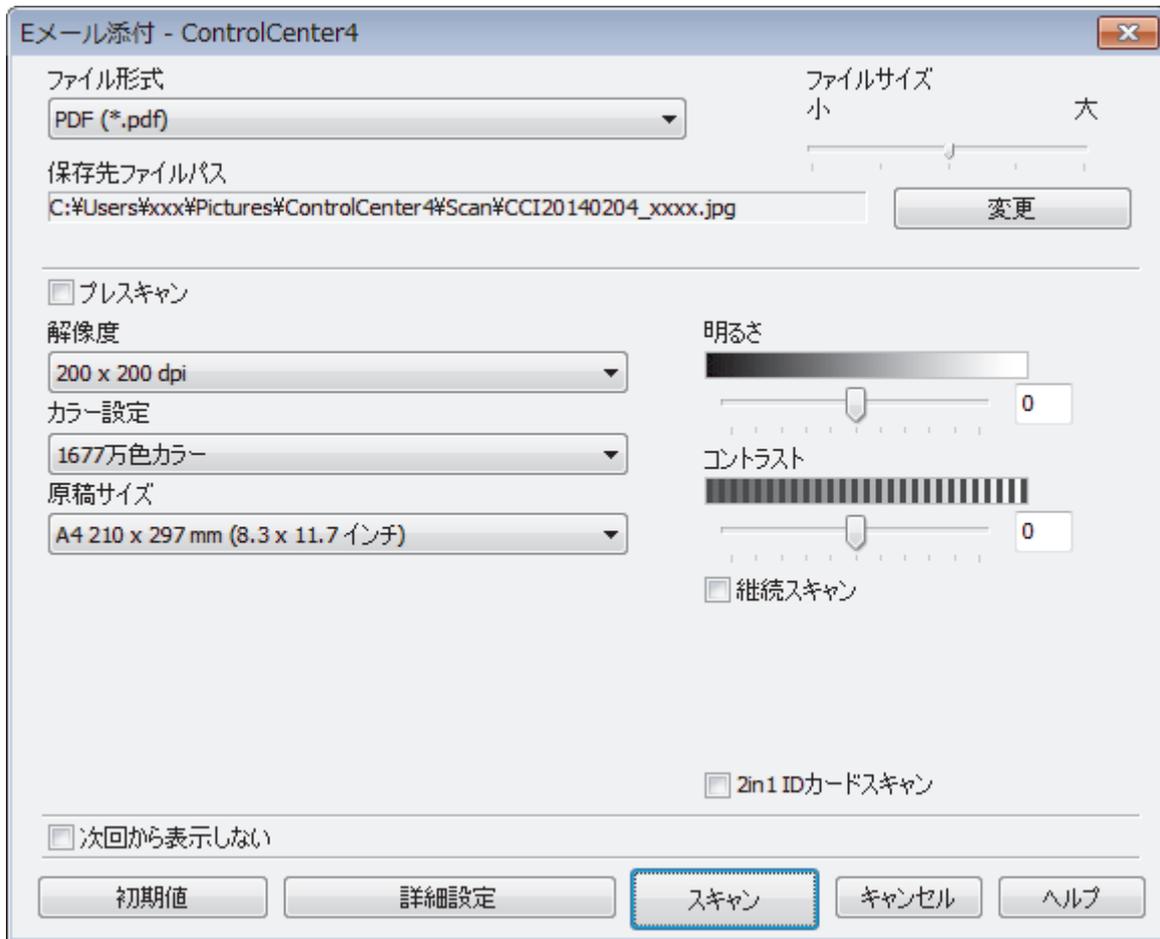


パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **Eメール添付** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名または**保存先ファイルパス**を変更するには、**変更**をクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始します。パソコンの初期設定で起動するように指定されているEメールソフトが開き、スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。



関連情報

- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®) > ControlCenter4 Advanced モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)

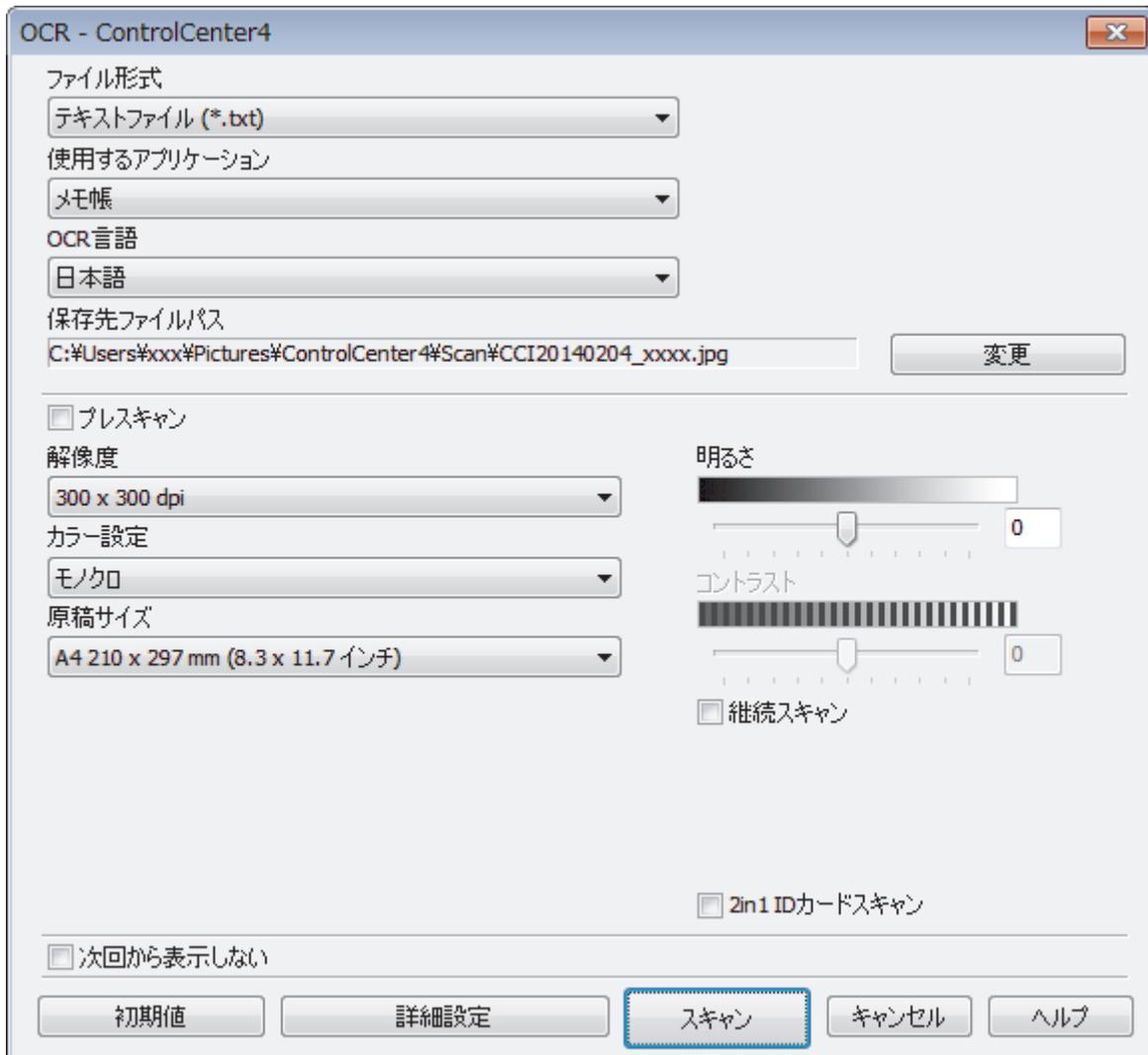
ControlCenter4 Advanced モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)

本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストデータに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集することが可能です。

- ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。
 - Presto! PageManager がお使いのパソコンにインストールされている必要があります。
1. 原稿をセットします。
 2. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
 3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **OCR** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



- ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。
- スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。

6. **スキャン**をクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、編集可能なテキストに変換されたデータを、設定したアプリケーションに送信します。

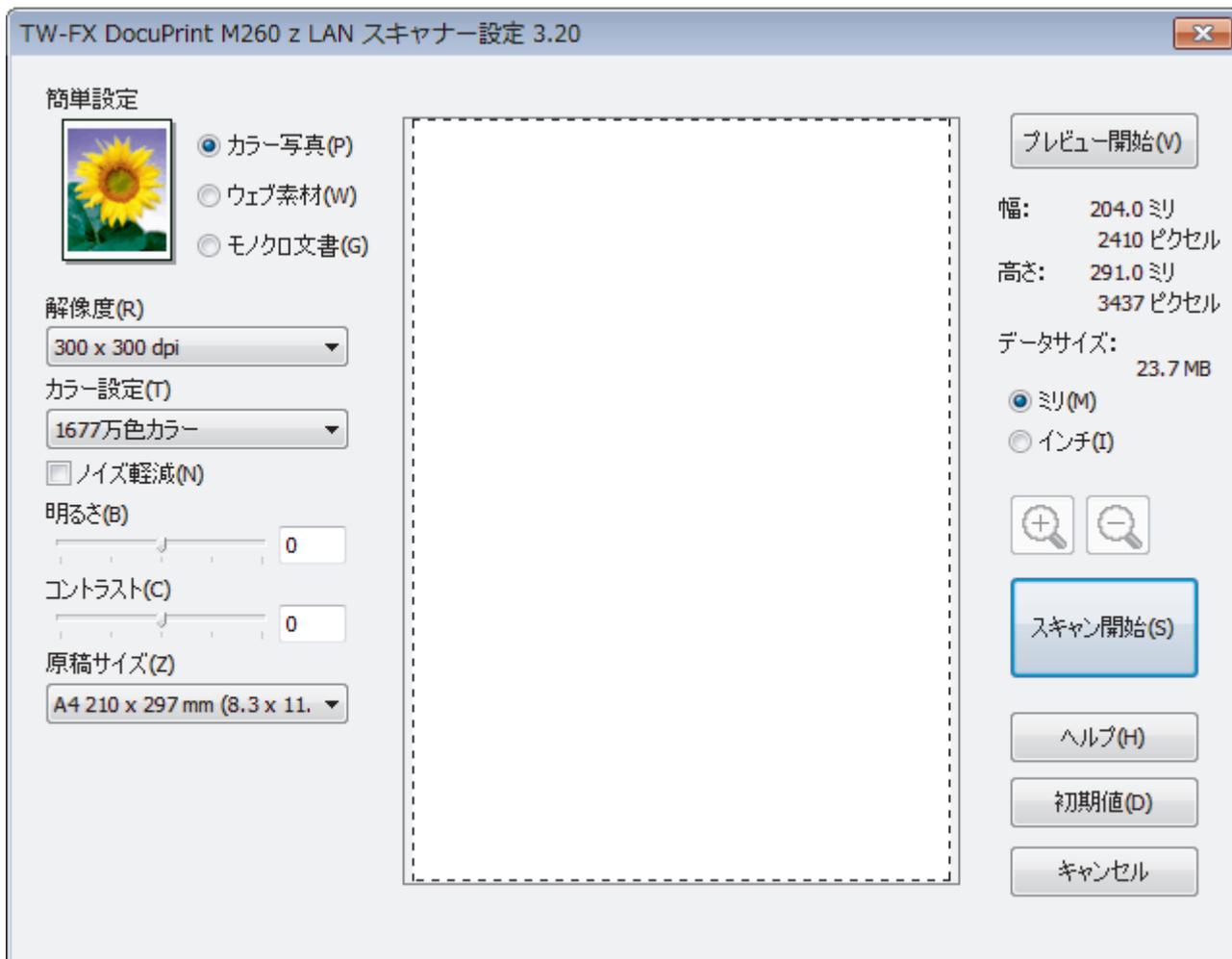
✓ 関連情報

- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

Presto! PageManager またはその他の Windows®アプリケーションを使ってスキャンする

本製品のドライバーに同梱されている Presto! PageManager アプリケーションを使用してスキャンすることが可能です。

- 手順の中でスキャンに関する指示は、Presto! PageManager で使われているものです。その他の Windows®アプリケーションの場合は、これらの手順に類似したものが使われています。Presto! PageManager は TWAIN および Windows Image Acquisition (WIA) ドライバーの両方に対応しています。このページの例では TWAIN ドライバー (推奨) が使われています。
 - 更に詳細については、NewSoft Presto! PageManager 9 のユーザーズガイドを参照してください。全体版の NewSoft Presto! PageManager 9 ユーザーズガイドを閲覧するには、ソフトウェアのヘルプメニューをクリックしてください。
 - ネットワークスキャンでは、1つのネットワーク上の1製品につき最大で25のクライアントの接続が可能です。
1. 原稿をセットします。
 2. Presto! PageManager を起動します。
以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®, および Windows® 7)
パソコンを使って、 (スタート) > **すべてのプログラム** > **Presto! PageManager 9.xx** > **Presto! PageManager 9.xx** (xx はお使いのプログラムのバージョン) をクリックします。
 - (Windows® 8)
 (**Presto! PageManager 9.xx**) をクリックします。
 3. **ファイル**をクリックし、**ソースの選択**をクリックします。
 4. **ソースを選択一覧**から、**TW-Fuji Xerox DocuPrint M260 z**を選択します。Windows Image Acquisition (WIA) ドライバーを使いたい場合は、先頭の文字に「Windows Image Acquisition (WIA)」が付く本製品のドライバーを選択します。
 5. **OK**をクリックします。
 6. **ファイル**をクリックし、**原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む**をクリックします。
スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。.



- 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスの設定を調整します。
- 原稿サイズのドロップダウンリストをクリックし、原稿サイズを選択します。



- 原稿サイズを選択したら、マウスの左ボタンを押したままスキャンしたいエリアまでドラッグし、スキャンするエリアを調整します。

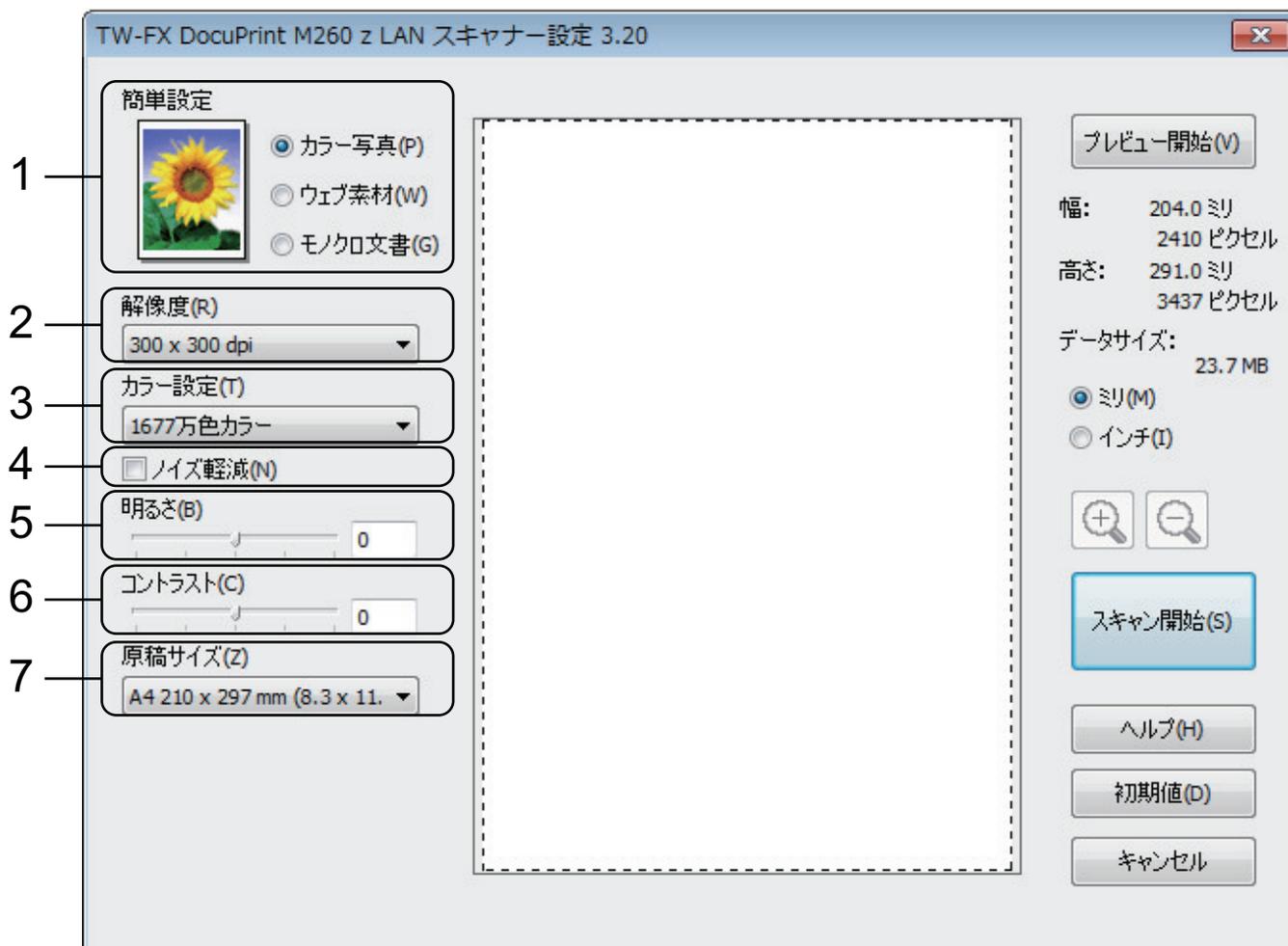
- スキャンする前に画像のプレビューをして不要部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**を選択します。
- スキャン開始**をクリックします。
本製品はスキャンを開始します。



関連情報

- パソコンからスキャンする (Windows®)
- TWAIN ドライバーの設定 (Windows®)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows®)



- 設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- 明るさは、カラー設定からモノクロ、グレー、256 階調グレー、または 1677 万色カラーを選択する場合にのみ利用可能です。
- コントラストは、カラー設定設定値からグレー、256 階調グレー、または 1677 万色カラーを選択する場合にのみ利用可能です。

1. 簡単設定

スキャンする原稿の種類や用途に応じて、**カラー写真**、**ウェブ素材**、または**モノクロ文書**を選択します。

スキャン (画像の種類)		解像度	スキャンの種類
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。	300 x 300 dpi	256 色カラー
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときを選びます。	100 x 100 dpi	256 色カラー
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。	200 x 200 dpi	モノクロ

2. 解像度

解像度リストから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用できます。

- **グレー**

写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。

- **256 色カラー**

フルカラースペクトルを必要としない、シンプルなカラーイラストに使用します。このモードは、最大 256 色を使用して画像を作成します。

- **1677 万色カラー**

もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。

4. ノイズ軽減

スキャンしたデータに乱れがある場合に使用して、画像データのノイズを軽減します。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**で解像度が **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** 場合に利用可能です。

5. 明るさ

目盛りを右または左に移動させて、スキャンしたデータの**明るさ**を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。

6. コントラスト

目盛りを右または左に移動させて、**コントラストレベル**を上下させます。レベルを上げると、データの明暗部分が強調され、レベルを下げると、グレー部分がより鮮明になります。数値を入力して、コントラストのレベルを設定することもできます。

7. 原稿サイズ

リストから、原稿と同じサイズを選びます。

ユーザー定義サイズを選択した場合、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定することができます。

ユーザー定義サイズ設定

ユーザー定義サイズ名(N)

幅(W) [8.9 - 215.9] 210

高さ(E) [8.9 - 355.6] 297

単位 ミリ(M) インチ(I)

保存(S) 削除(D)

設定(O) キャンセル(C) ヘルプ(H)

✓ 関連情報

- Presto! PageManager またはその他の Windows®アプリケーションを使ってスキャンする

Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows® フォトギャラリーや Windows® FAX とスキャンアプリケーションを使用してスキャンすることが可能です。

- これらのアプリケーションは、Windows Image Acquisition (WIA) スキャナードライバーを使用します。
- 原稿台ガラスから原稿をスキャンした場合は、スキャンするエリアを調整することが可能です。

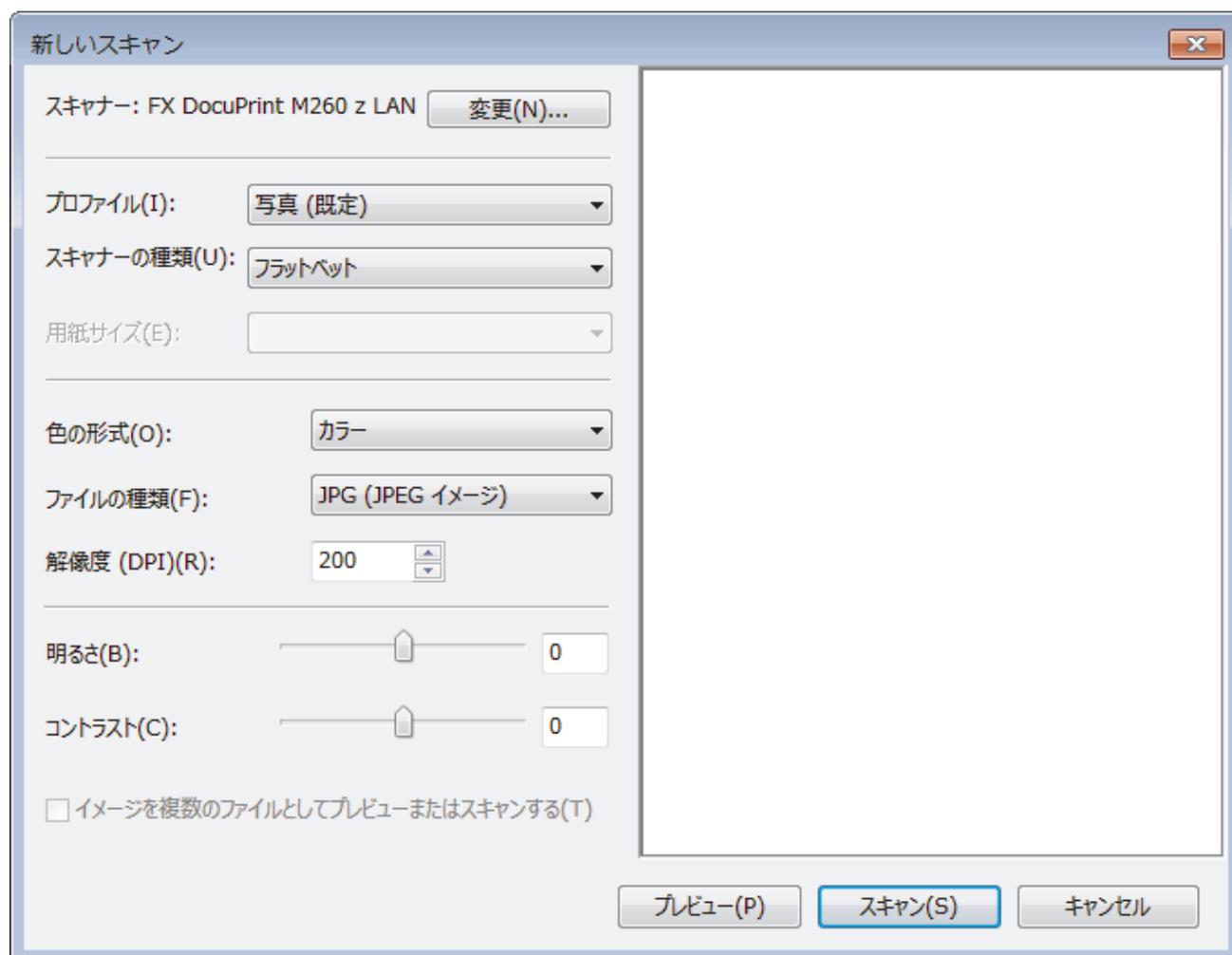
1. 原稿をセットします。
2. スキャン用アプリケーションを起動します。以下のどちらかを行ってください。

- (Windows® フォトギャラリー)
ファイル > カメラまたはスキャナーからの読み込み…をクリックします。
- (Windows® FAX とスキャン)
ファイル > 新規作成 > スキャンをクリックします。

3. 接続している本製品のモデル名を選択します。

4. 読み込みまたは決定をクリックします。

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ダイアログボックスの設定を調整します。

スキャナーの解像度は、最大 1200dpi まで設定可能です。より高い解像度でスキャンしたい場合は、**Fuji Xerox Utilities** から、**Scanner Utility** のソフトウェアを使用します。これは本製品のドライバーとともにインストールされています。

6. スキャンをクリックします。

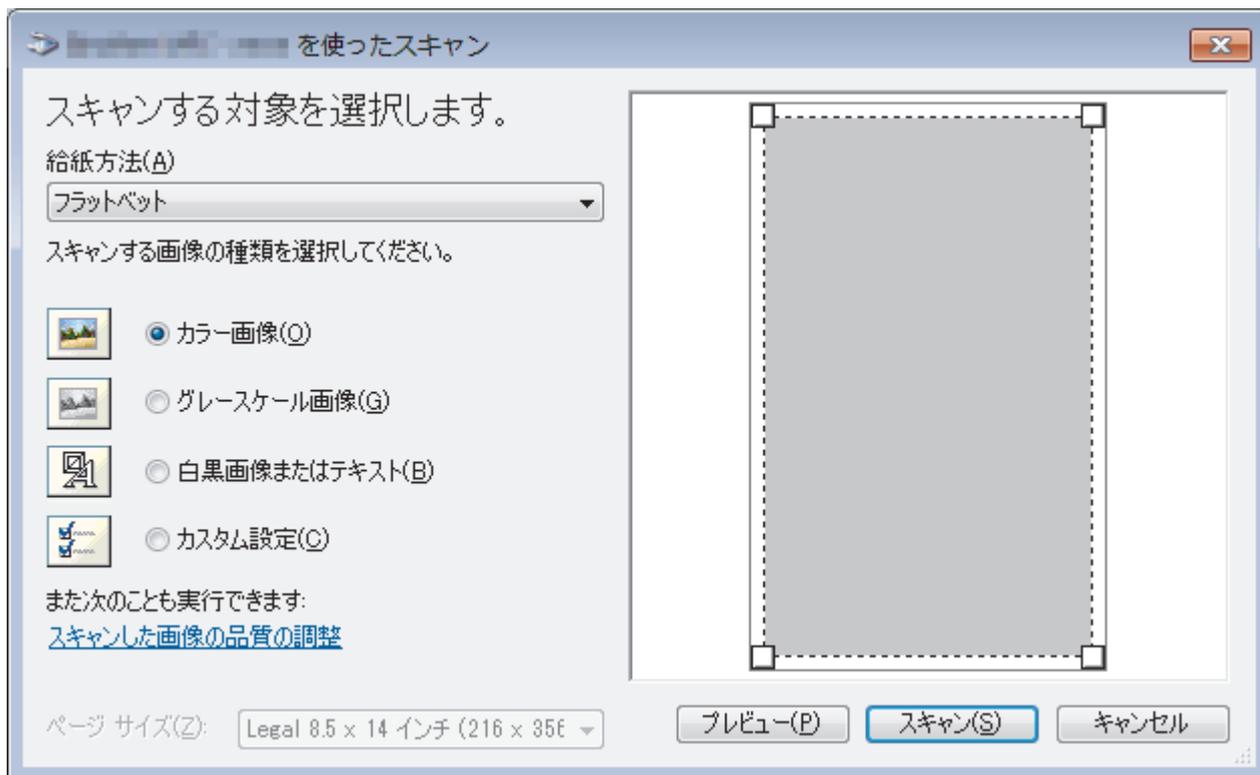
本製品でスキャン動作を開始します。

関連情報

- ・ パソコンからスキャンする (Windows®)
 - ・ Windows Image Acquisition (WIA) ドライバー設定 (Windows®)
-

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Windows®) > Windows®フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする > Windows Image Acquisition (WIA) ドライバー設定 (Windows®)

Windows Image Acquisition (WIA) ドライバー設定 (Windows®)



スキャナーの種類

ドロップダウンリストからドキュメントフィーダーまたはフラットベットを選択します。

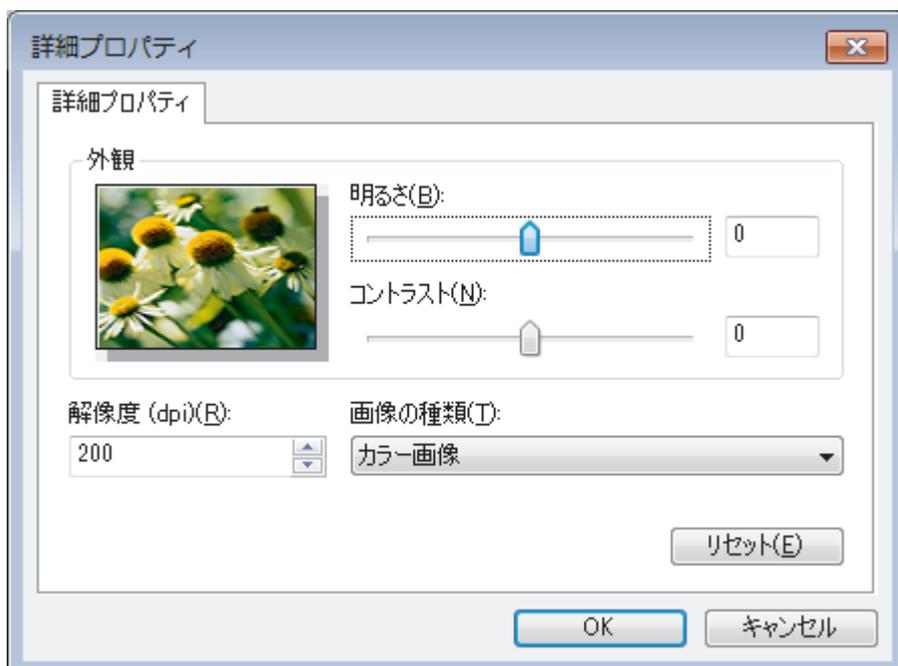
写真のタイプ (画像のタイプ)

カラー画像、グレースケール画像、白黒画像またはテキスト、またはカスタム設定の中から、スキャンしたい原稿のタイプを選択します。

詳細設定を変更するには、[スキャンした画像の品質の調整](#)リンクをクリックします。

ページサイズ

スキャナーの種類としてドキュメントフィーダーが選択されているとき、**原稿サイズ**は利用可能です。



明るさ

目盛りを右または左にドラッグして**明るさ**レベルを設定し、画像の明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさレベルを下げてから再度原稿をスキャンしてください。画像が暗すぎる場合は、明るさレベルを上げてから再度原稿をスキャンしてください。

コントラスト

目盛りを右または左に移動させて、**コントラスト**レベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力することでコントラストレベルを設定することも可能です。

解像度 (dpi)

解像度 (dpi) の一覧から、スキャンの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。



関連情報

- ・ [Windows® フォトギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使ってスキャンする](#)
-

パソコンからスキャンする (Macintosh®)

お使いの Macintosh® を使用して、写真や文章を本製品でスキャンします。Fuji Xerox から提供されているソフトウェアアプリケーション、または任意のスキャンアプリケーションを使用します。

- ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)
- Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®)
- ICA ドライバーを使ってスキャンする

ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)

本製品の ControlCenter ソフトウェアを使って写真や文書をスキャンし、JPEG、PDF、その他のファイル形式で保存します。

- ControlCenter2 を使って、写真やグラフィックをスキャンする (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Macintosh®)
- ControlCenter2 のスキャン設定 (Macintosh®)

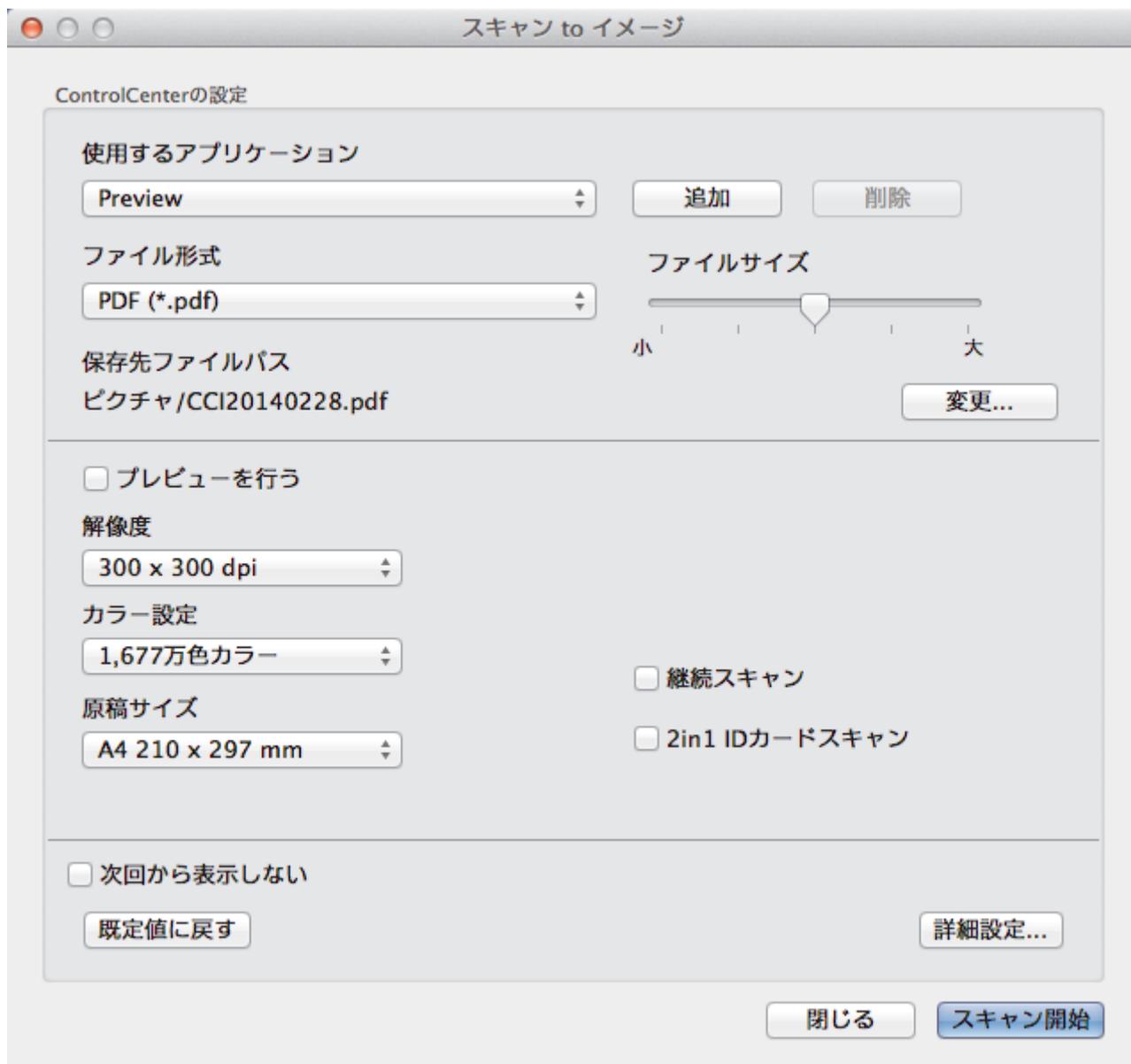
ControlCenter2 を使って、写真やグラフィックをスキャンする (Macintosh®)

スキャンした写真やイメージを、お使いのパソコンに直接送ることができます。お使いのパソコンに設定されている本製品付属のアプリケーションソフト ControlCenter を起動し、スキャンしたデータを自動的に開きます。

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **イメージ** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

6. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。選択されたアプリケーションで、スキャンした画像が開きます。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)

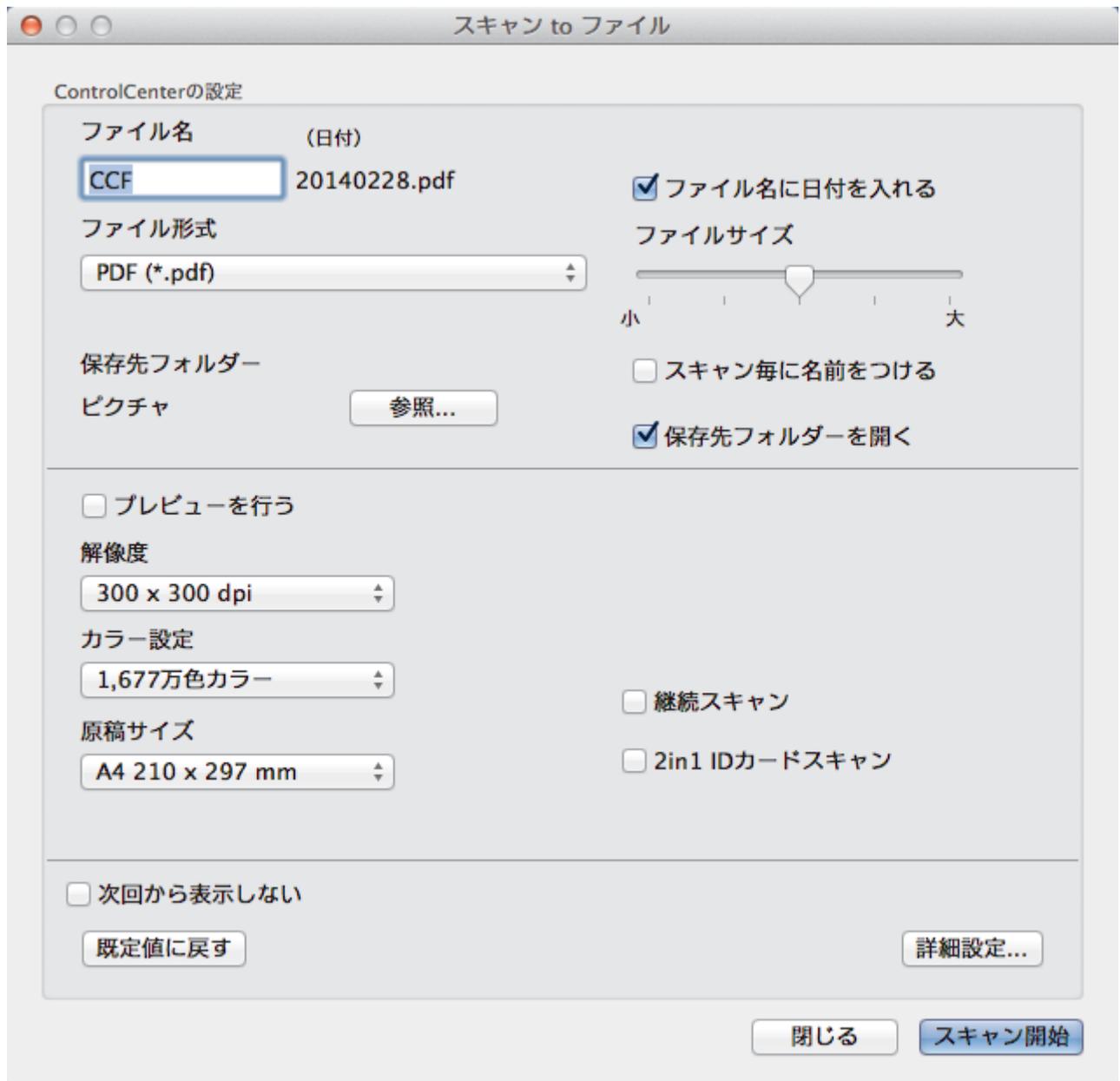
▲ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Macintosh®) > ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®) > ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Macintosh®)

ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Macintosh®)

1. 原稿をセットします。
2. Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、**(ControlCenter2)** アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **ファイル** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **ファイル形式**のリストから、**PDF (*.pdf)**を選択します。



PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、**ファイル形式**のポップアップメニューから**パスワード付き PDF (*.pdf)**を選択し、**PDF を開くパスワード欄**および**PDF を開くパスワード (確認)**欄にパスワードを入力して、**OK** をクリックします。

6. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先フォルダー、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。
7. **スキャン開始**ボタンをクリックします。

本製品でスキャン動作を開始します。スキャンしたデータは選択されたフォルダー内に保存されます。

✓ 関連情報

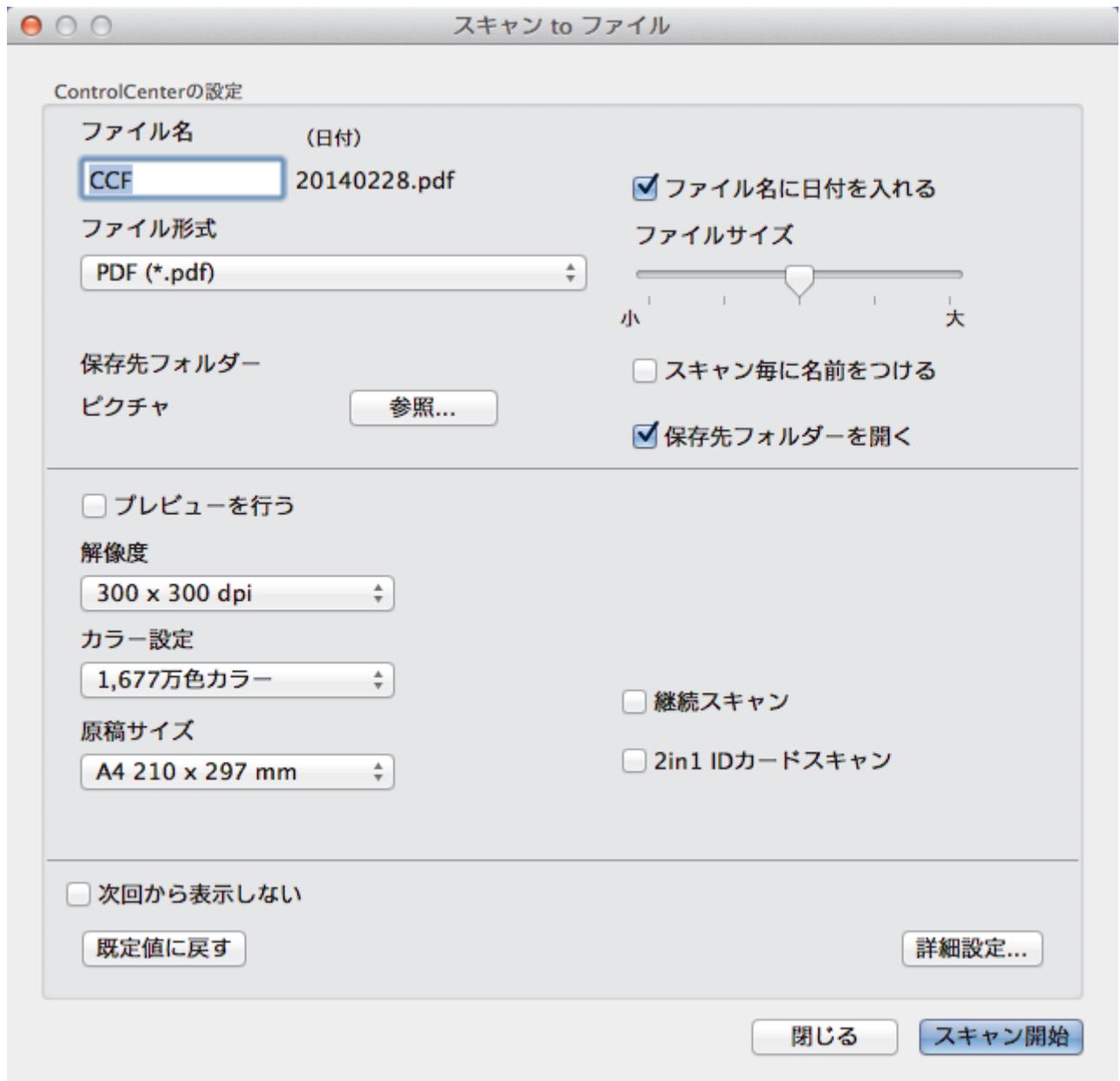
- ・ [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)

ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする

1. 原稿台ガラスに運転免許証のような両面の ID カードをセットします。
2. Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. スキャンタブをクリックします。



4. ファイルボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. **2in1 ID カードスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。
指示ダイアログが表示されます。
6. 画面の指示を確認して、**OK**を押します。
7. 必要に応じて他の設定を行います。
8. **スキャン開始**ボタンをクリックします。
本製品でIDカードの片面のスキャンを開始します。
9. 片面のスキャンが終わったら、IDカードを裏返し、**続ける**をクリックしてもう一方の片面もスキャンします。
10. **完了**をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)

ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Macintosh®)

パソコンの E メールソフトを起動し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

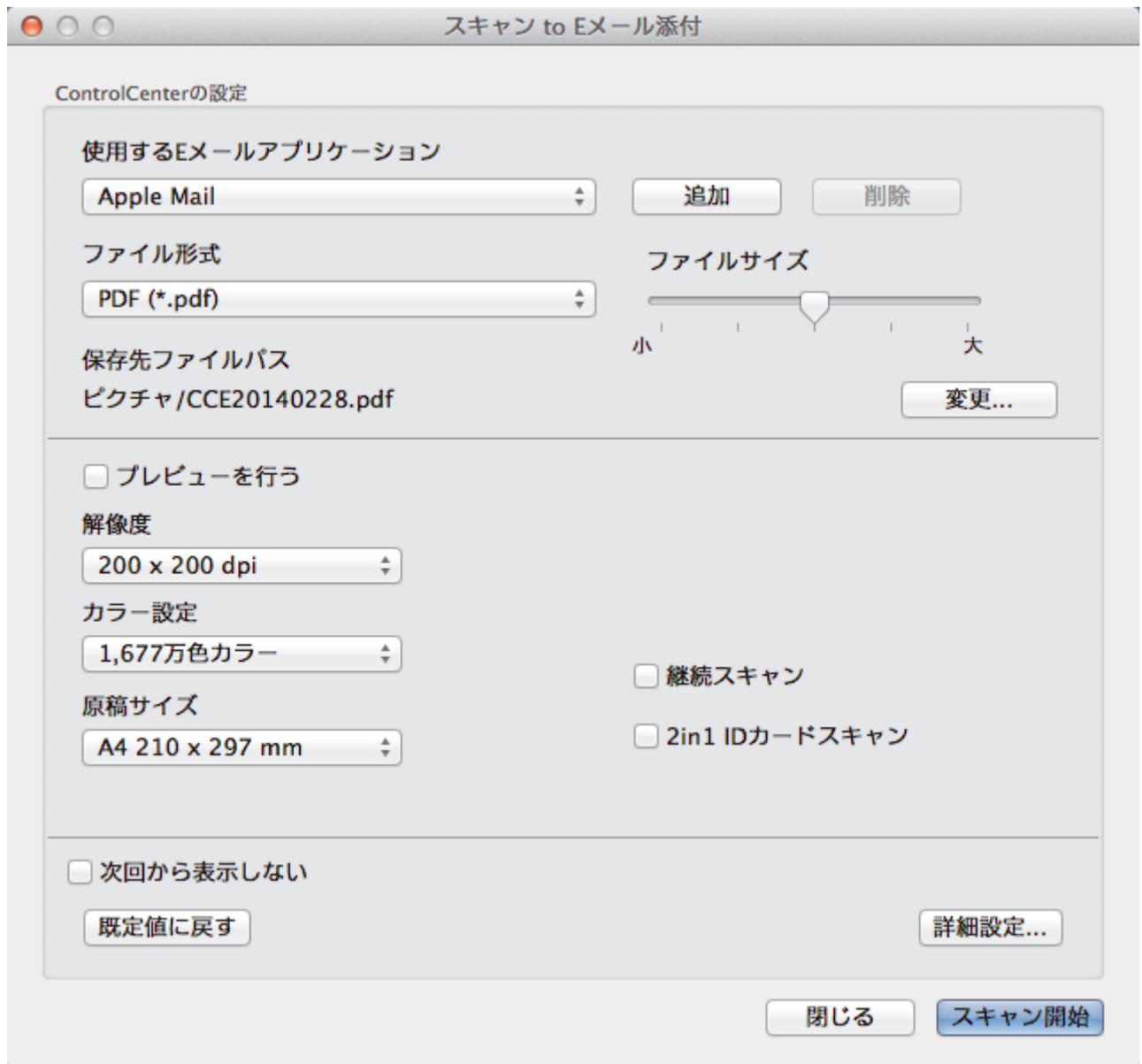
- スキャンしたデータを E メール添付する機能は、Web メールには対応していません。スキャンしたデータを Web メールに添付して送る場合は、スキャンしたデータを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

 パソコンの初期設定で起動するように指定されている E メールソフトにスキャンデータを送信します。

- 原稿をセットします。
- Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
- スキャンタブをクリックします。



- E メール添付ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

6. **スキャン開始**ボタンをクリックします。

本製品でスキャン動作を開始します。パソコンの初期設定で起動するように指定されているEメールソフトが開き、スキャンされたデータを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Macintosh®) > ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®) > ControlCenter2 を使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Macintosh®)

ControlCenter2 を使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Macintosh®)

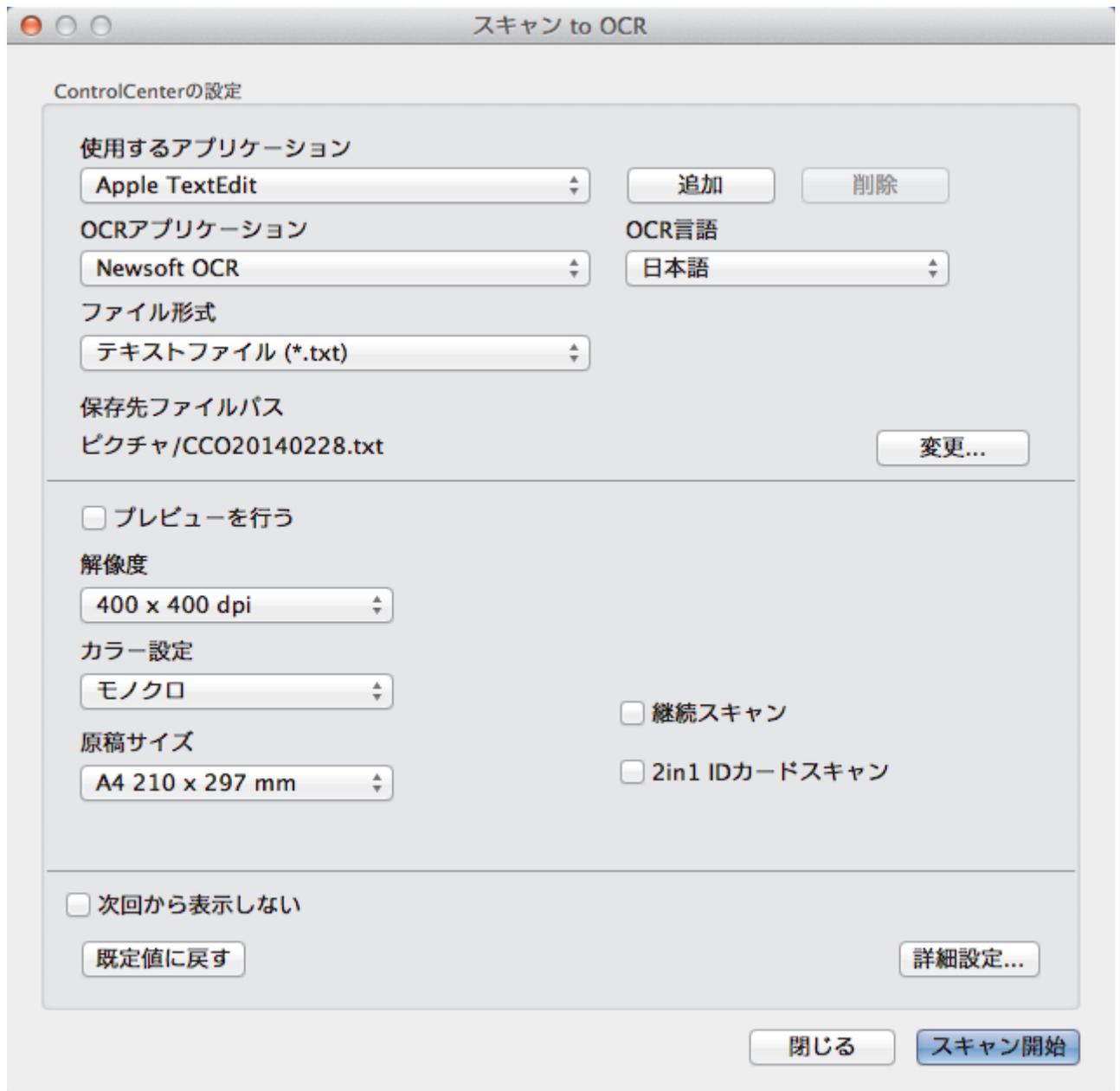
本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストデータに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集することが可能です。

- (Macintosh®) お使いのパソコンに Presto! PageManager がインストールされている必要があります。
http://nj.newsoft.com.tw/download/b/PM9SEInstaller_BR_multilang2.dmg からインストールしてください。

1. 原稿をセットします。
2. **Finder** メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
3. **スキャン** タブをクリックします。



4. **OCR** ボタンをクリックします。
スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。



5. 必要に応じて、ファイル形式、ファイル名、保存先ファイルパス、解像度、またはカラー設定等のスキャン設定を変更します。



ファイル名または保存先ファイルパスを変更するには、**変更**をクリックします。

6. **スキャン開始**ボタンをクリックします。

本製品でスキャン動作を開始し、編集可能なテキストに変換されたデータを、設定した OCR アプリケーションに送信します。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)

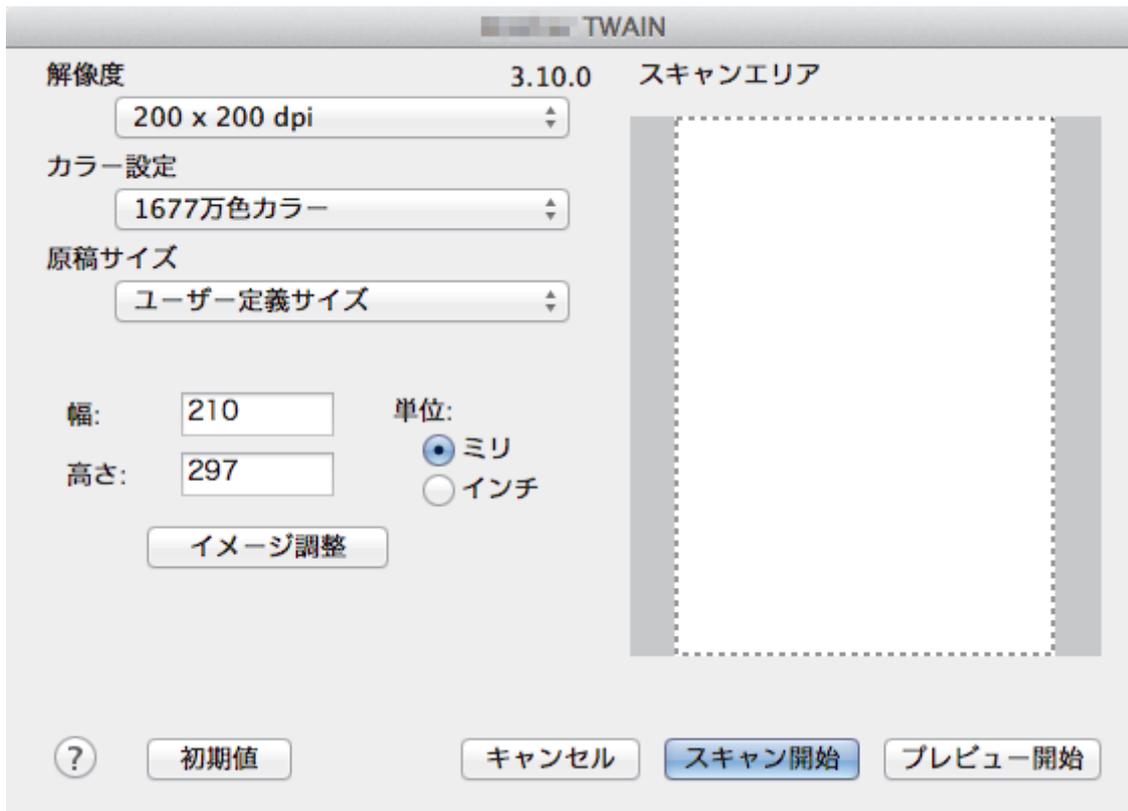
Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®)

- http://nj.newsoft.com.tw/download/b/PM9SEInstaller_BR_multilang2.dmg からインストールしてください。
- インストールには、ハードディスクドライブに、400MB 以上の空き容量が必要です。
- Presto! PageManager は、OS X® v10.7.5、10.8.x、および 10.9.x をサポートしています。
- アプリケーションの詳細については、Presto! PageManager のヘルプファイルを参照してください。



ここでは、Presto! PageManager を使用した手順を説明します。TWAIN に対応しているその他のアプリケーションの場合も、類似した手順になっています。

1. Presto! PageManager を起動します。
Fuji Xerox の TWAIN ドライバーを初めて使用した場合は、このドライバーを通常使うドライバーとして設定する必要があります。Fuji Xerox の TWAIN ドライバーを通常使うドライバーとして設定するには、以下の操作を行います。
 - a. ファイルメニューをクリックして、**取り込みデバイスを選択**を選択します。
 - b. **Fuji Xerox TWAIN** を選択し、**選択**をクリックします。
2. ファイルメニューをクリックして、**イメージデータを取り込む**を選択します。
スキャナー設定のダイアログボックスが表示されます。



3. **解像度**、**カラー設定**、**イメージ調整**など、必要に応じてスキャンの設定を変更します。
4. **原稿サイズ**のリストをクリックして、原稿のサイズを選択します。



マウスのボタンを押したままマウスをドラッグして、スキャンするエリアを調整します。

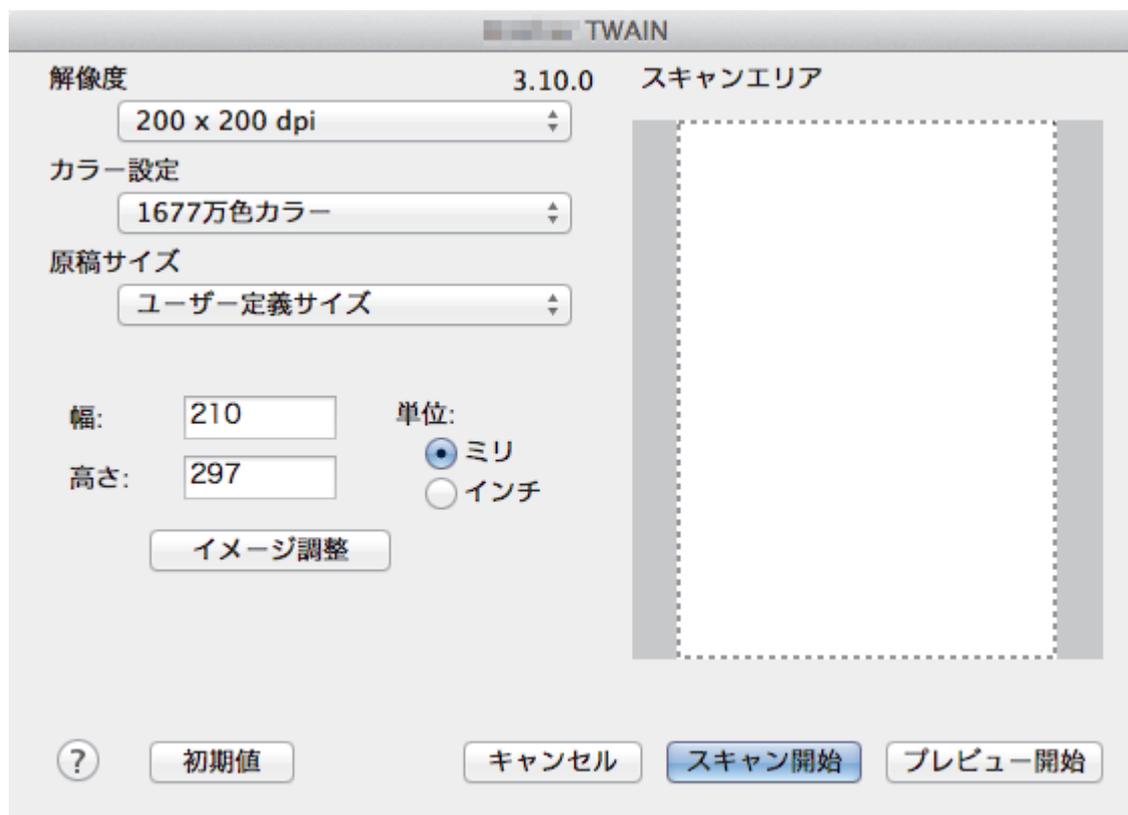
5. **プレビュー開始**をクリックして、スキャンしたデータのエリアを調整します。
6. **スキャン開始**をクリックします。
本製品でスキャン動作を開始します。



関連情報

- ・ パソコンからスキャンする (Macintosh®)
- ・ TWAIN ドライバーの設定 (Macintosh®)
- ・ NewSoft テクニカルサポート

TWAIN ドライバーの設定 (Macintosh®)



- アイテム名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- 明るさ設定は、カラー設定からモノクロ、グレー、256 階調グレー、または 1677 万色カラーを選択する場合にのみ利用可能です。
- コントラスト設定は、カラー設定からグレー、256 階調グレー、または 1677 万色カラーを選択する場合にのみ利用可能です。

解像度

解像度リストから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**
文字原稿または線画に使用できます。
- **グレー**
写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。)
- **256 階調グレー**
写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。
- **256 色カラー**
フルカラースペクトルを使用しない、シンプルなカラーイラストに使用します。このモードは、最大 256 色を使用して画像を作成します。
(Presto! PageManager 9 からスキャンする場合は、利用できません。)

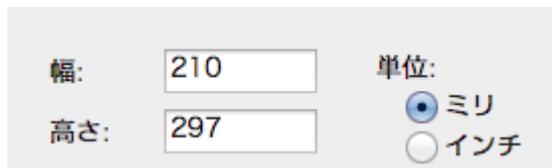
- **1677 万色カラー**

もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。

原稿サイズ

リストから、原稿と同じサイズを選びます。

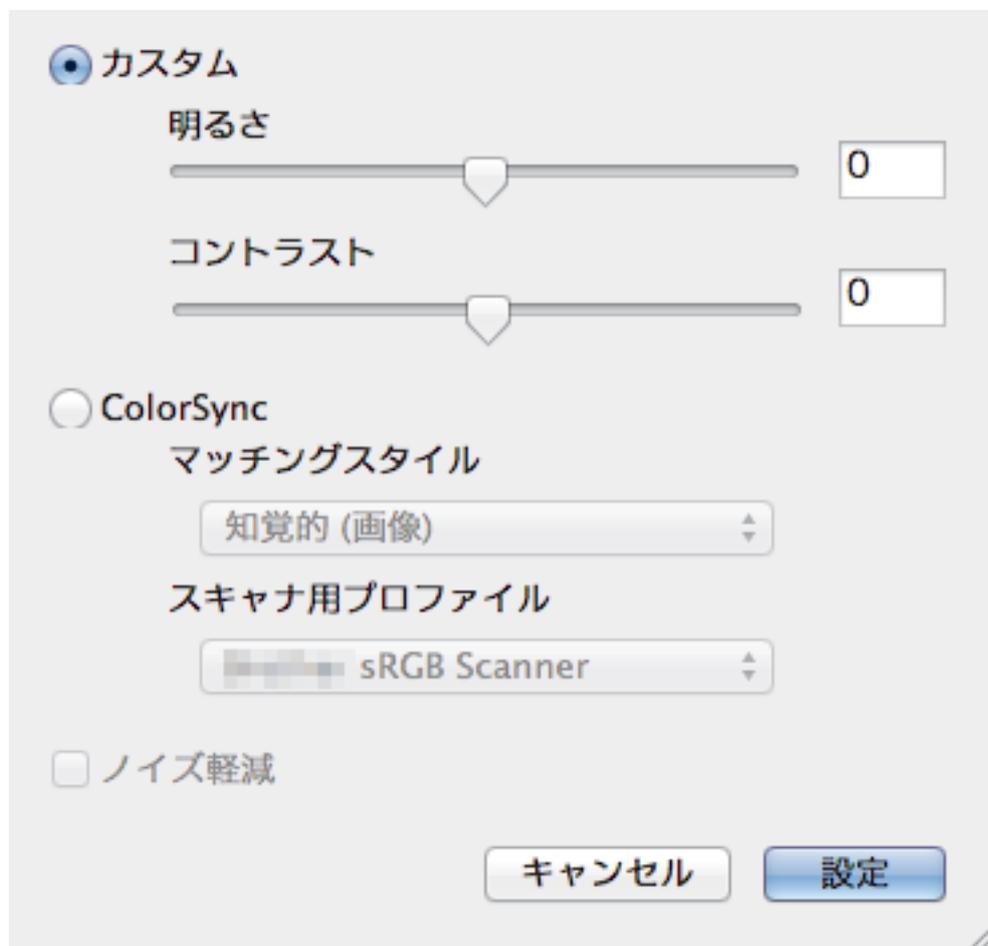
- **ユーザー定義サイズ**を選択した場合、原稿サイズを指定することができます。



幅: 単位: ミリ
高さ: インチ

イメージ調整

その他の画質を調整するには**イメージ調整**ボタンをクリックします。



カスタム

明るさ

コントラスト

ColorSync

マッピングスタイル

スキャナ用プロファイル

ノイズ軽減

明るさ

目盛りを右または左に移動させて、スキャンしたデータの**明るさ**を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して、明るさレベルを設定することも可能です。

コントラスト

目盛りを右または左に移動させて、**コントラスト**レベルを上下させます。レベルを上げると、データの明暗部分が強調され、レベルを下げると、グレー部分がより鮮明になります。数値を入力して、コントラストを設定することもできます。

ノイズ軽減

スキャンしたデータに乱れがある場合に使用して、画像データの**ノイズ**を軽減します。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**で解像度が **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** の場合に利用可能です。



関連情報

- ・ Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®)

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Macintosh®) > Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®) > NewSoft テクニカルサポート

NewSoft テクニカルサポート

ニューソフトカスタマーサポートセンター	
会社名	ニューソフトジャパン株式会社
住所	東京都港区新橋 6-21-3
電話番号	03-5472-7008
Fax 番号	03-5472-7009
受付時間	10 : 00 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 00 (土曜、日曜、祝祭日を除く)
電子メールアドレス	support@newsoft.co.jp
ホームページ	http://www.newsoft.co.jp

✓ 関連情報

- ・ Presto! PageManager、その他のアプリケーションを使ってスキャンする (Macintosh®)

ICA ドライバーを使ってスキャンする

パソコンに標準搭載されているイメージキャプチャは、ICA ドライバーを使用してスキャンを行います。

1. イメージキャプチャを起動します。



2. 画面の左側に表示されるリストから、本製品を選択します。

本製品とパソコンを USB ケーブルで接続している場合は、本製品は**デバイス**エリアに表示されます。ネットワーク接続の場合は、本製品は**共有**エリアに表示されます。



3. 原稿をセットします。

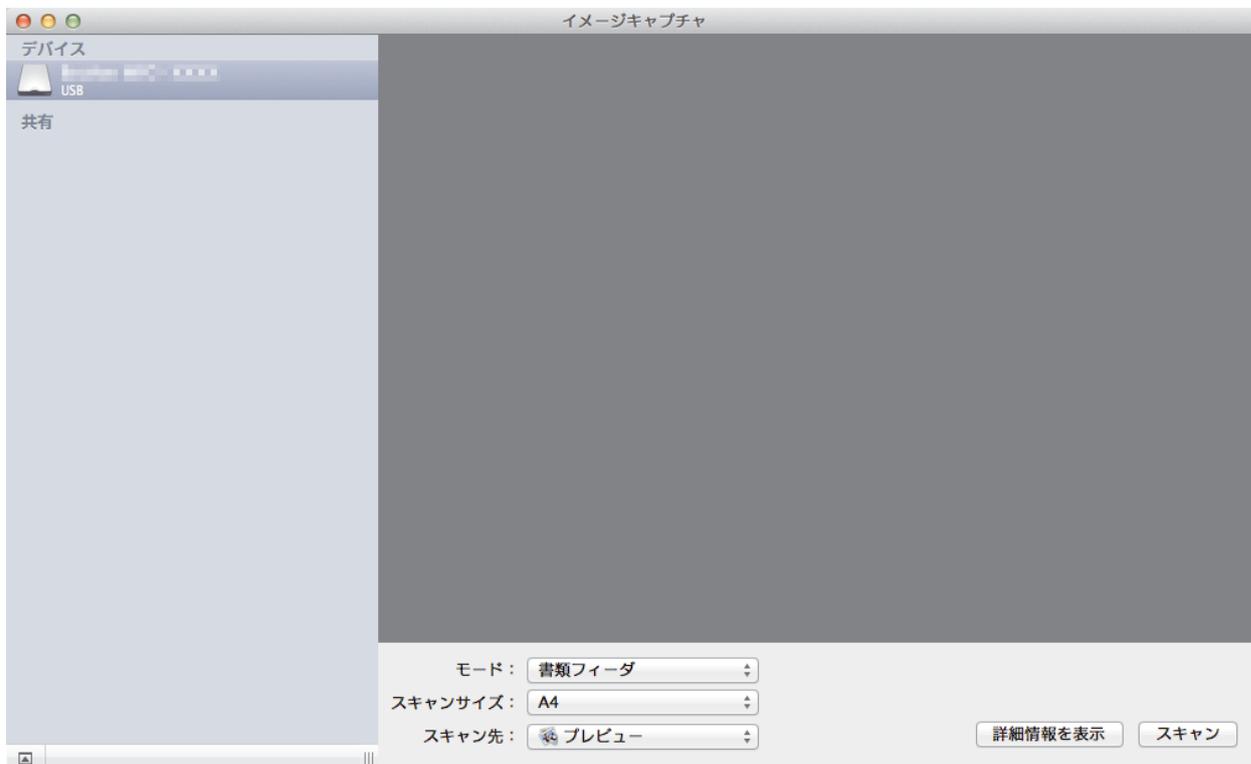
4. 以下のどちらかを行ってください。

- (OS X® v10.7.5 の場合)

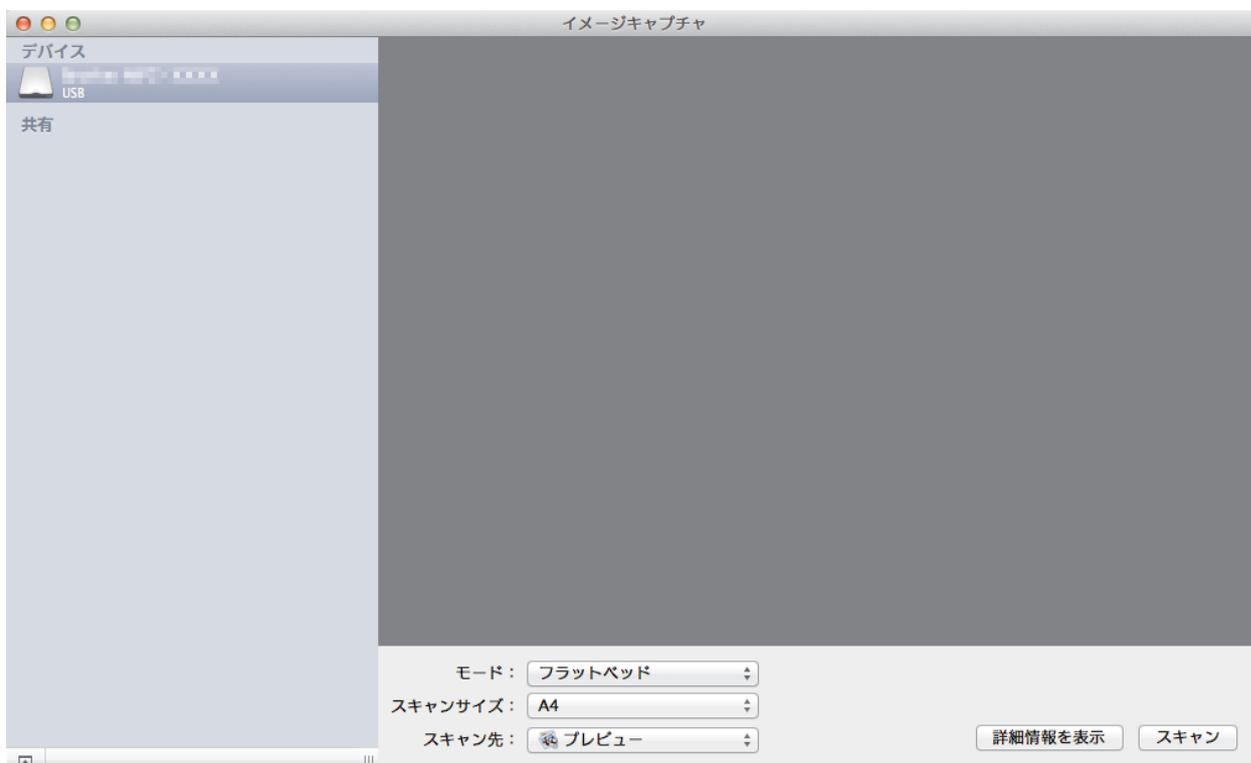
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする場合は、**モード**設定の**書類フィーダ**を選択し、**スキャンサイズ**設定で原稿のサイズを設定します。

- (OS X® v10.8.x、10.9.x の場合)

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする場合は、**書類フィーダ**を使用にチェックを入れて、**スキャンのサイズ**設定のメニューから、原稿のサイズを設定します。



- (OS X® v10.7.5 の場合)
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、**モードメニューからフラットベッド**を選択します。
- (OS X® v10.8.x、10.9.x の場合)
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**のチェックを外します。



詳細情報を表示

必要に応じてスキャンの設定を変更します。

原稿台ガラスを使用してスキャンする場合は、マウスのボタンを押したままマウスポインターをドラッグして、スキャンするエリアを調整することが可能です。

5. **スキャン先**リストから、スキャンしたデータを保存するフォルダー、またはスキャンしたデータを送信するアプリケーションを選択します。
6. **スキャン**をクリックします。

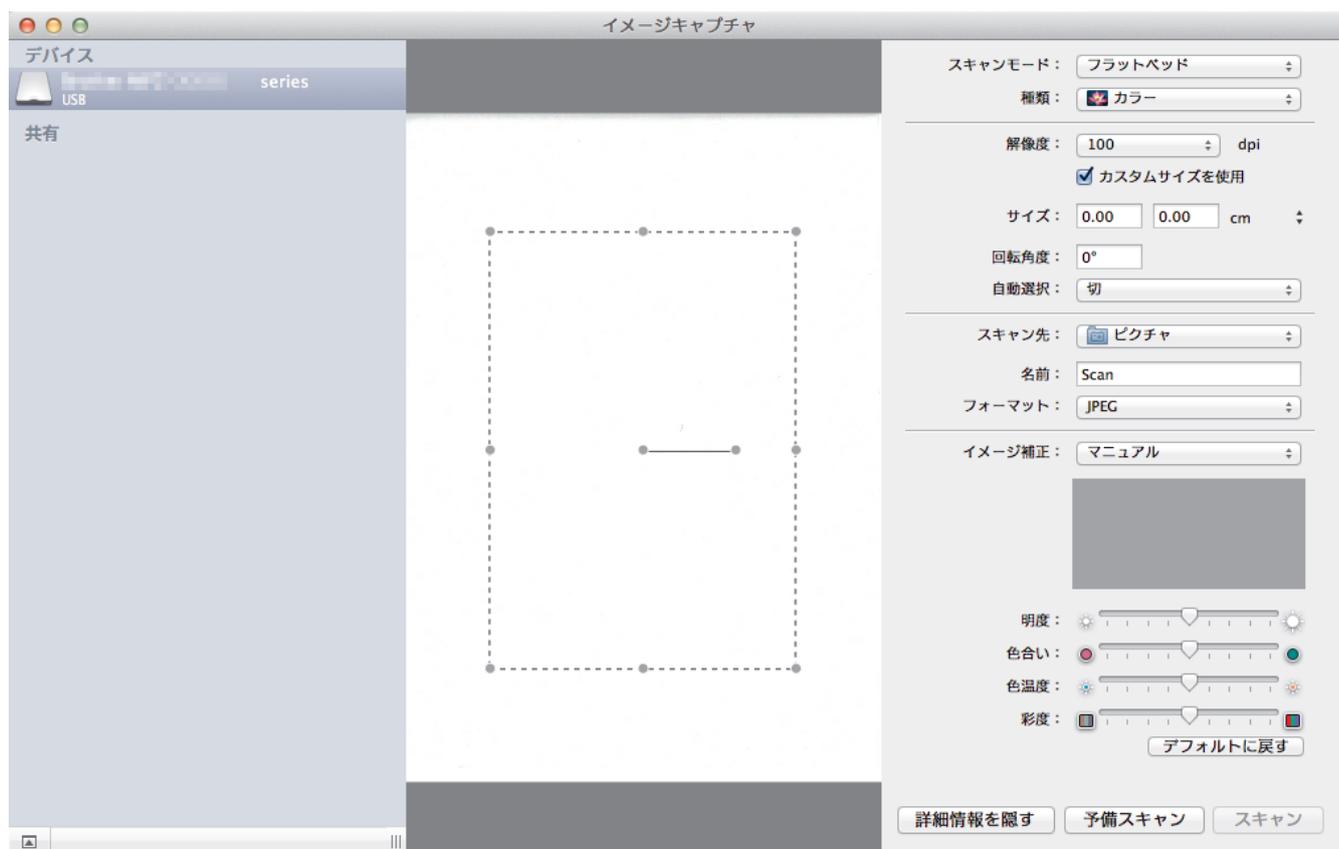
本製品でスキャン動作を開始します。

 **関連情報**

- ・ パソコンからスキャンする (Macintosh®)
 - ・ ICA ドライバーの設定
-

■ ホーム > スキャン > パソコンからスキャンする (Macintosh®) > ICA ドライバーを使ってスキャンする > ICA ドライバーの設定

ICA ドライバーの設定



表示された項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。

モード

ADF (自動原稿送り装置) からスキャンする場合は**書類フィーダ**、原稿台ガラスからスキャンする場合は**フラットベッド**を選択します。

種類

カラー、**白黒**、または**テキスト**を選択します。

解像度

スキャンする解像度を選択します。

カスタムサイズを使用

フラットベッドからスキャンする場合は、このチェックボックスを選択して原稿のサイズをカスタマイズします。

スキャンサイズ/サイズ

スキャンする原稿サイズを選択します。

方向 / 回転角度

スキャンする原稿の向きを選択します。

自動選択

スキャンモードで**フラットベッド**を選択して、**カスタムサイズを使用**にチェックを入れている場合は、スキャナードライバーの自動検出機能を選択することが可能です。

スキャン先

スキャンしたデータを保存するフォルダー、またはスキャンしたデータを送信するアプリケーションを選択します。

名前

スキャンしたデータのファイル名の先頭文字を入力します。

フォーマット

スキャンしたデータのファイル形式を選択します。

単一書類に統合

スキャンモードでフラットベットを選択して、ファイル形式に PDF または TIFF を指定した場合、この項目にチェックを入れると、スキャンしたデータを1つのファイルとして保存します。

イメージ補正

マニュアルを選択して、**明度**、**コントラスト**、**色合い**、**色温度**、および**彩度**を調整します。



関連情報

- ・ [ICA ドライバーを使ってスキャンする](#)
-

ダイレクトファクス (PC-FAX)

- [Windows®用 PC-FAX](#)
- [Macintosh®用 PC-FAX](#)

Windows®用 PC-FAX

- [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)
- [パソコンでファクスを受信する \(Windows®\)](#)

PC-FAX の概要 (Windows®)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷しないでパソコンから直接ファクス（モノクロのみ）を送信します。この機能により、用紙および時間の消費を軽減することができます。

- [PC-FAX の設定を行う \(Windows®\)](#)
- [PC-FAX のアドレス帳を設定する \(Windows®\)](#)
- [PC-FAX を使ってファクスを送信する \(Windows®\)](#)
- [PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する \(Windows®\)](#)
- [PC-FAX 送信に使用されるポートを変更する \(Windows®\)](#)

PC-FAX の設定を行う (Windows®)

PC-FAX を使用してファクスを送信する前に、**PC-FAX 設定**ダイアログボックスの各タブにある送信オプションで設定を行います。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに **PC-FAX 設定**をクリックします。

- (Windows® 8)



(**Fuji Xerox Utilities**) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに **PC-FAX 設定**をクリックします。

PC-FAX 設定ダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "PC-FAX 設定". It has three tabs: "個人情報", "送信", and "アドレス帳". The "個人情報" tab is selected. The dialog contains the following fields:
名前: [text box]
会社名: [text box]
部署: [text box]
電話番号: [text box]
FAX 番号: [text box]
E-mail: [text box]
住所1: [text box]
住所2: [text box]
At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル".

2. 以下のどれかを行ってください。

- **個人情報**タブをクリックし、各欄にユーザー情報を入力します。



Microsoft®アカウントが複数ある場合は、ファクスのヘッダーや送付書に、カスタマイズした**個人情報**画面をそれぞれ設定することができます。

- **送信**タブをクリックし、必要に応じて、外線にアクセスするために必要な番号を**外線番号**欄に入力します。ヘッダー情報追加のチェックボックスを選択し、ヘッダー情報を含めます。
- **アドレス帳**タブをクリックし、**使用するアドレス帳**のドロップダウンリストから、PC-FAX に使いたいアドレス帳を選択します。

3. **OK** をクリックします。



関連情報

- ・ [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)

PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

メンバーとグループを追加、編集、または削除して、**PC-FAX アドレス帳**をカスタマイズします。

- [アドレス帳にメンバーを追加する \(Windows®\)](#)
- [アドレス帳にグループを作成する \(Windows®\)](#)
- [メンバーまたはグループ情報を編集する \(Windows®\)](#)
- [メンバーまたはグループを削除する \(Windows®\)](#)
- [アドレス帳をエクスポートする \(Windows®\)](#)
- [アドレス帳に情報をインポートする \(Windows®\)](#)

アドレス帳にメンバーを追加する (Windows®)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使ってファクスを送りたい場合は、新規のメンバーおよびそのメンバーのファクス情報を PC-FAX アドレス帳に追加します。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。

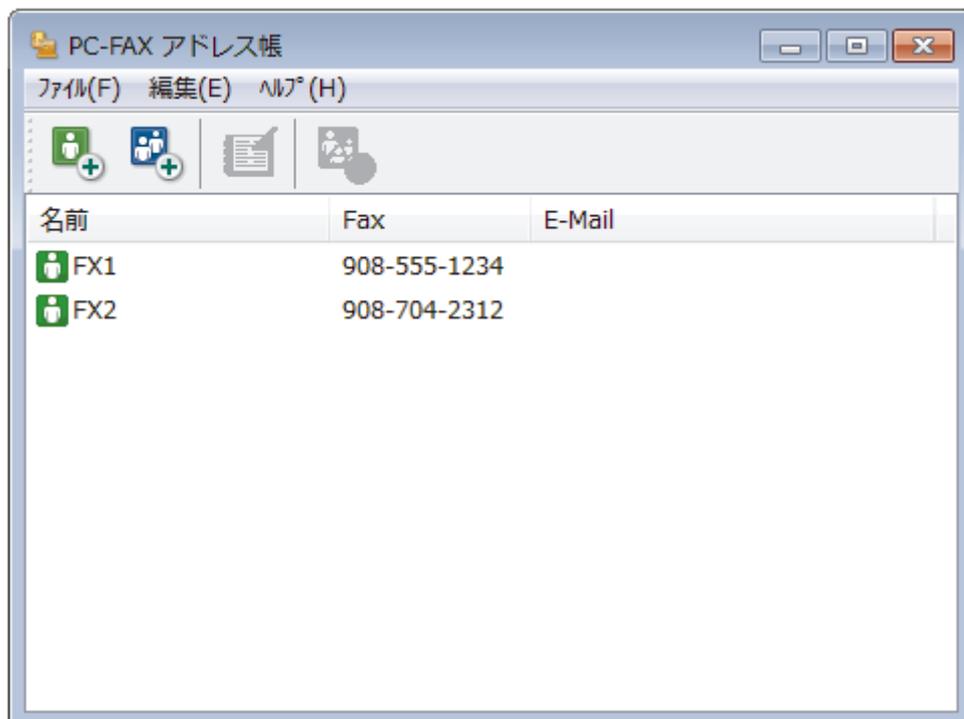
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの **パソコンからファクスを送信する** をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳** をクリックします。

- (Windows® 8)



(Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの **パソコンからファクスを送信する** をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳** をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2.  をクリックします。

PC-FAX アドレス帳 **メンバー設定**ダイアログボックスが表示されます。

PC-FAX アドレス帳 メンバー設定

名前(N):	<input type="text"/>	敬称(T):	<input type="text"/>
会社名(O):	<input type="text"/>		
部署(D):	<input type="text"/>	役職(J):	<input type="text"/>
番地(S):	<input type="text"/>		
市町村(C):	<input type="text"/>	都道府県(Y):	<input type="text"/>
郵便番号(Z):	<input type="text"/>	国/地域(R):	<input type="text"/>
勤務先電話番号(B):	<input type="text"/>	自宅電話番号(H):	<input type="text"/>
ファクス(F):	<input type="text"/>	携帯電話(P):	<input type="text"/>
E-Mail(E):	<input type="text"/>		

決定 キャンセル

3. 対応する欄にメンバーの情報を入力します。名欄のみ必須です。



電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

4. OK をクリックします。



関連情報

- ・ PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

アドレス帳にグループを作成する (Windows®)

グループを作成して、PC-FAX を複数の受信者に同報送信します。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > Fuji Xerox Utilities をクリックします。

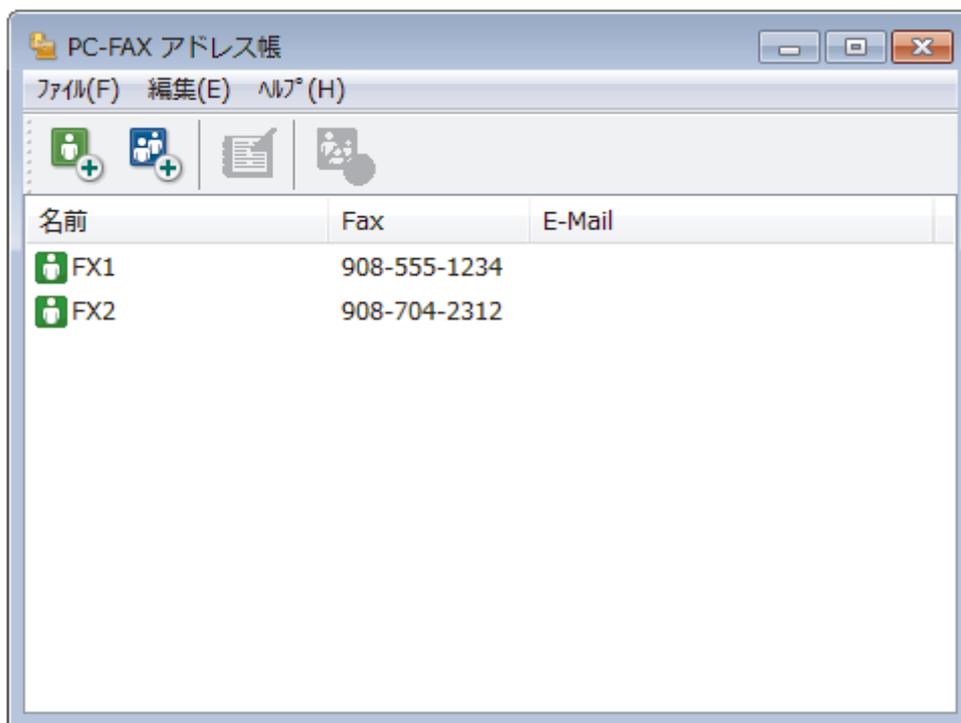
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送信するをクリックし、さらに PC-FAX アドレス帳をクリックします。

- (Windows® 8)



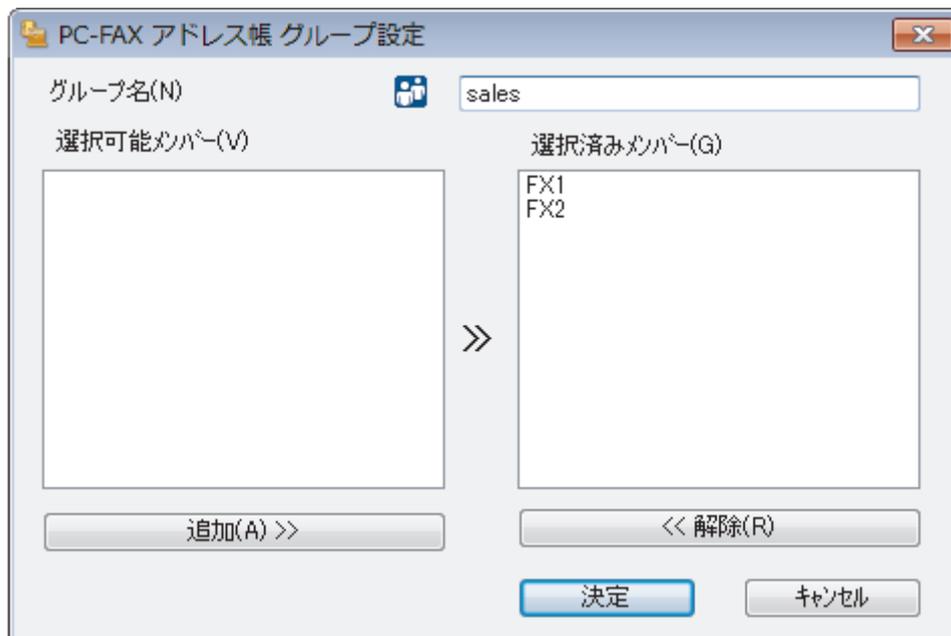
(Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送信するをクリックし、さらに PC-FAX アドレス帳をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2.  をクリックします。

PC-FAX アドレス帳 グループ設定ダイアログボックスが表示されます。



3. **グループ名**欄に、新しいグループの名前を入力します。
4. **選択可能メンバー**欄で、グループに含める名前を選択し、**追加**をクリックします。
グループに追加されたメンバーは、**選択済みメンバー**ボックスに表示されます。
5. 設定の完了後、**OK** をクリックします。



各グループには、最大 50 名のメンバーを含めることができます。

✓ 関連情報

- ・ PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

メンバーまたはグループ情報を編集する (Windows®)

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > Fuji Xerox Utilities をクリックします。

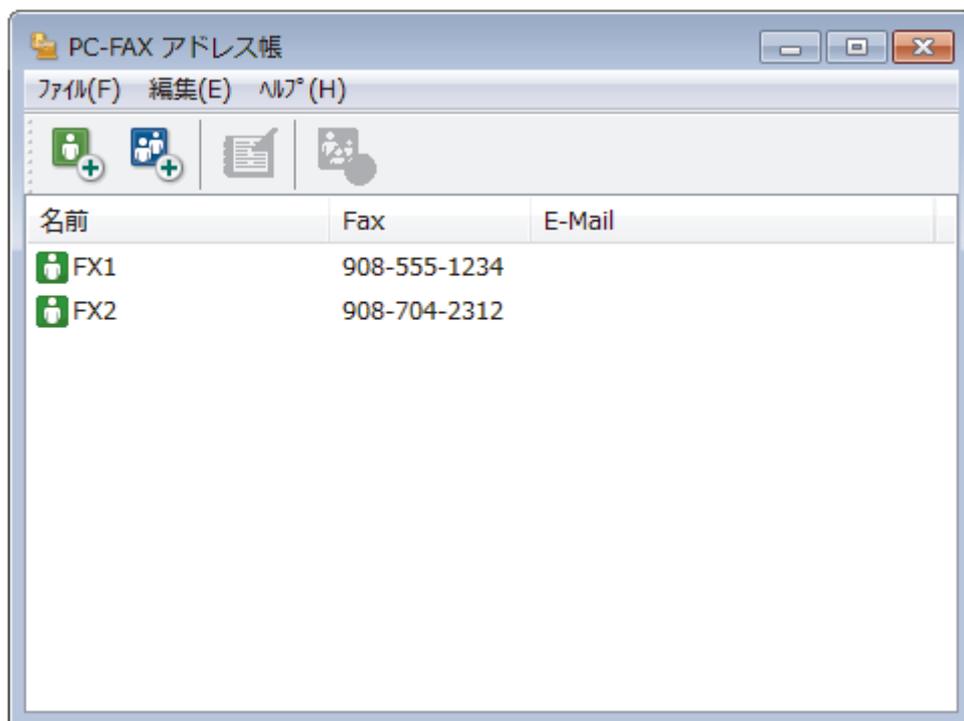
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの **パソコンからファクスを送信する** をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳** をクリックします。

- (Windows® 8)



(Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの **パソコンからファクスを送信する** をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳** をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. 編集したいメンバーまたはグループを選択します。

3.  (詳細情報) をクリックします。

4. メンバーまたはグループ情報を変更します。

5. **OK** をクリックします。



関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

メンバーまたはグループを削除する (Windows®)

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > Fuji Xerox Utilities をクリックします。

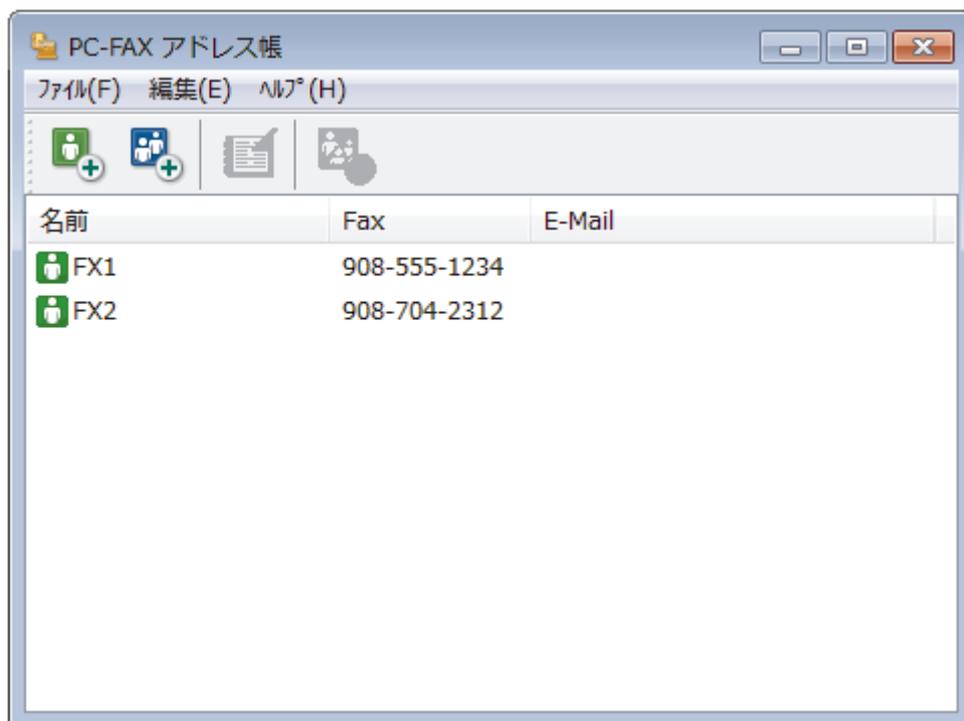
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送信するをクリックし、さらに PC-FAX アドレス帳をクリックします。

- (Windows® 8)



(Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのパソコンからファクスを送信するをクリックし、さらに PC-FAX アドレス帳をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. 削除したいメンバーまたはグループを選択します。

3.  (削除) をクリックします。

4. 確認ダイアログボックスが表示されたら、OK をクリックします。



関連情報

- PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

アドレス帳をエクスポートする (Windows®)

アドレス帳を、ASCII テキストファイル (*.csv)、vCard (電子名刺)、またはリモートセットアップダイアルデータとしてエクスポートし、お使いのパソコンに保存することができます。

- **PC-FAX アドレス帳データ**をエクスポートしても、グループ設定はエクスポートできません。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。

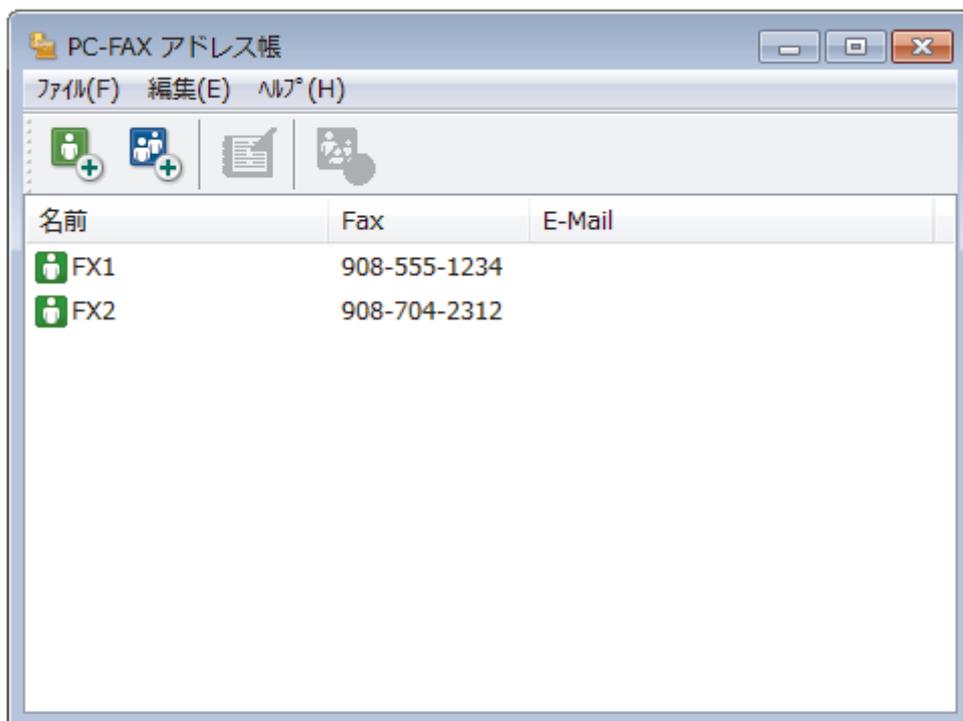
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに**PC-FAX アドレス帳**をクリックします。

- (Windows® 8)



(**Fuji Xerox Utilities**) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに**PC-FAX アドレス帳**をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. **ファイル**メニューをクリックして、**エクスポート**を選択します。

3. 以下のどちらかを選択してください。

- **テキストファイル**

項目選択ダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進みます。

- **vCard**

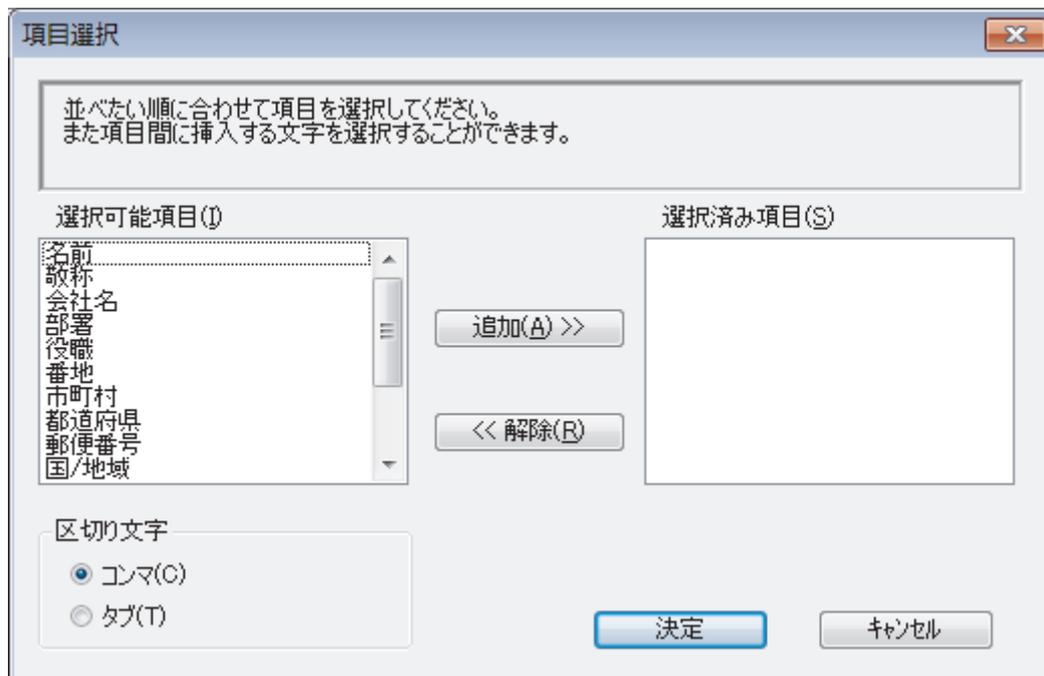
このオプションを選択する前に、アドレス帳からエクスポートするメンバーを選択する必要があります。

vCard の保存先フォルダーを開き、**ファイル名**欄に vCard 名を入力して、**保存**をクリックします。

- **リモートセットアップダイアルデータ**

データの保存先フォルダーを開き、**ファイル名**欄にファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

4. **選択可能項目**欄で、エクスポートするデータを選択し、**追加**をクリックします。



 表示する順に項目を選択して追加します。

5. ASCII ファイルにエクスポートする場合、**区切り文字**セクションで、**タブ**または**コンマ**を選択して、データフィールドを分割します。
6. **決定**をクリックします。
7. データの保存先パソコンのフォルダーを開き、ファイル名を入力して、**保存**をクリックします。

関連情報

- ・ PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

アドレス帳に情報をインポートする (Windows®)

ASCII テキストファイル (*.csv)、vCard (電子名刺)、またはリモートセットアップダイアルデータを、お使いのアドレス帳にインポートすることができます。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。

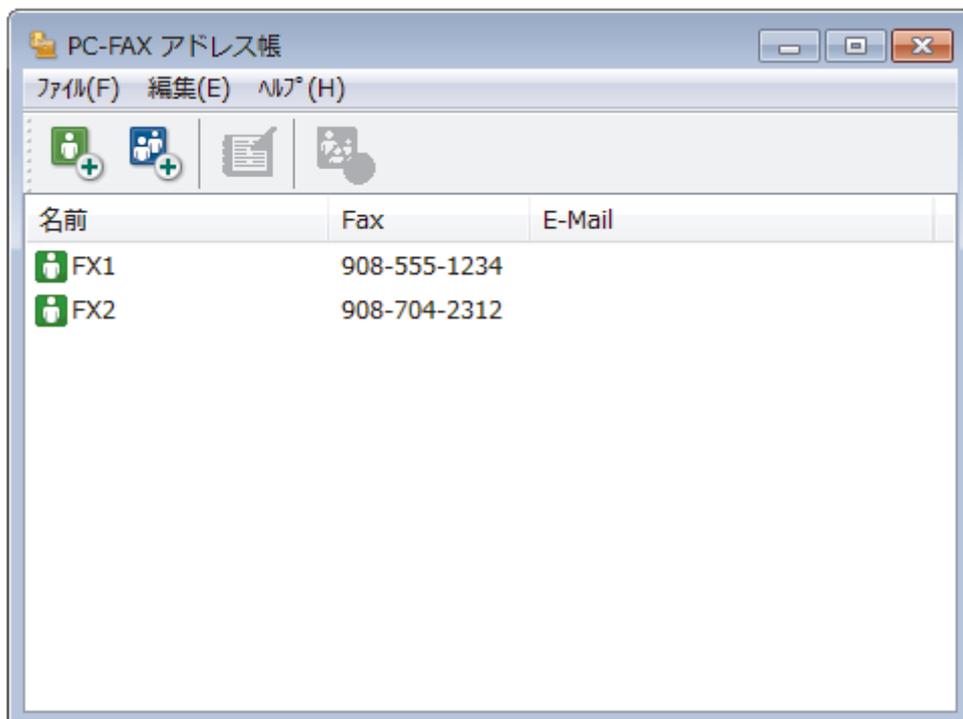
モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳**をクリックします。

- (Windows® 8)



(**Fuji Xerox Utilities**) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの**パソコンからファクスを送信する**をクリックし、さらに **PC-FAX アドレス帳**をクリックします。

PC-FAX アドレス帳ダイアログボックスが表示されます。



2. **ファイル**メニューをクリックし、**インポート**を選択します。

3. 以下のどちらかを選択してください。

- **テキストファイル**

項目選択のダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進みます。

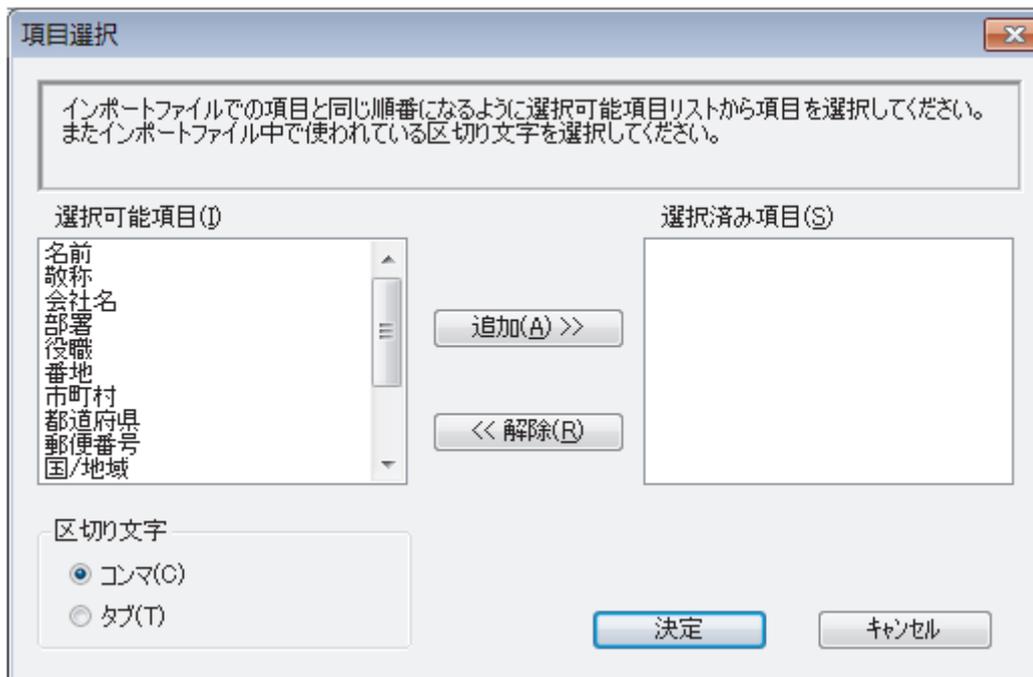
- **vCard**

手順 7 に進みます。

- **リモートセットアップダイアルデータ**

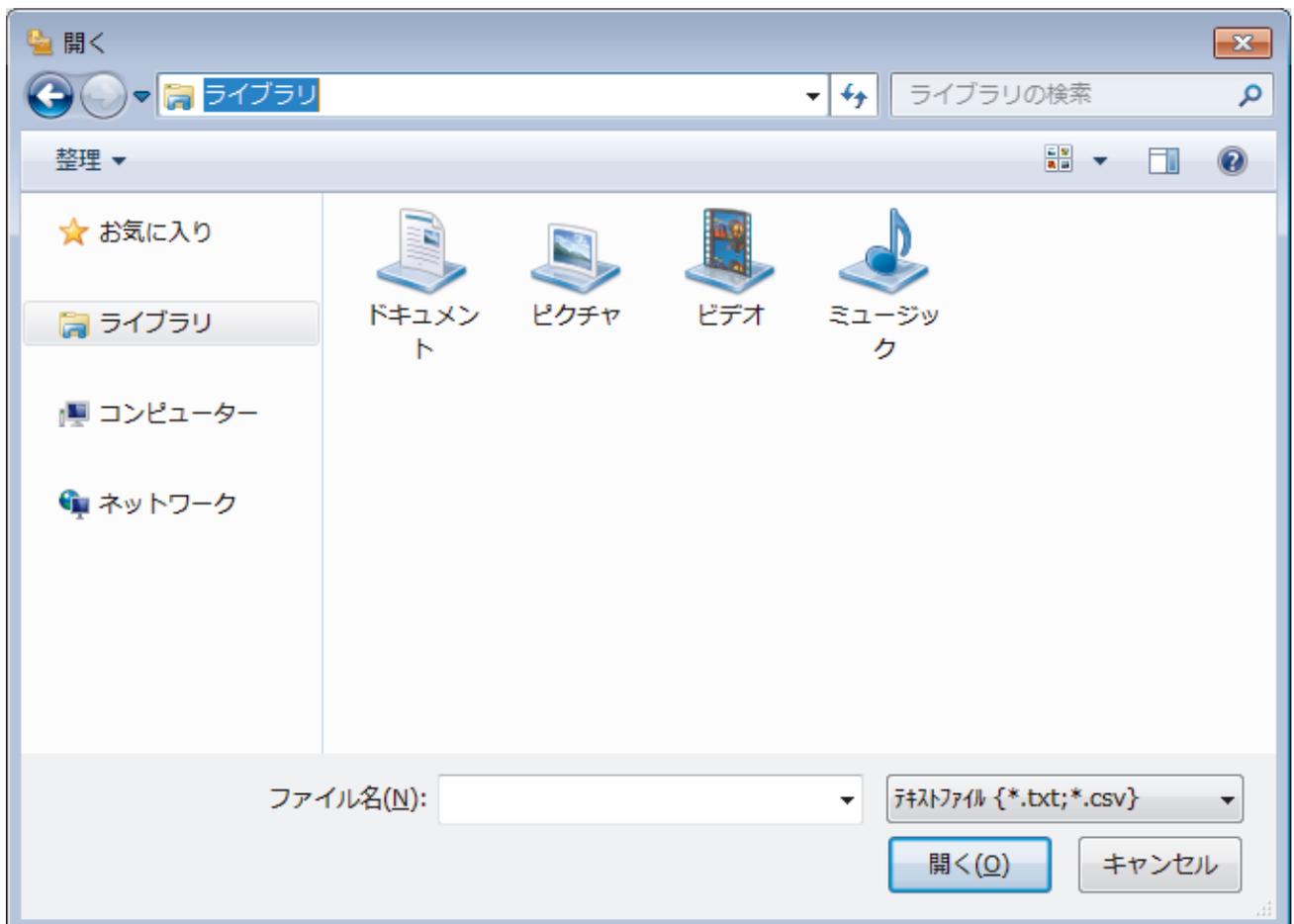
手順 7 に進みます。

4. **選択可能項目**欄で、インポートしたいデータを選択し、**追加**をクリックします。



選択可能項目から、インポートするテキストファイルの並びと同じ順番で追加してください。

5. ASCII ファイルをインポートする場合、**区切り文字**セクションの下で**タブ**または**コンマ**を選択してデータフィールドを区切ります。
6. **OK** をクリックします。
7. データをインポートしたいフォルダーを選択し、ファイル名を入力して**開く**をクリックします。





関連情報

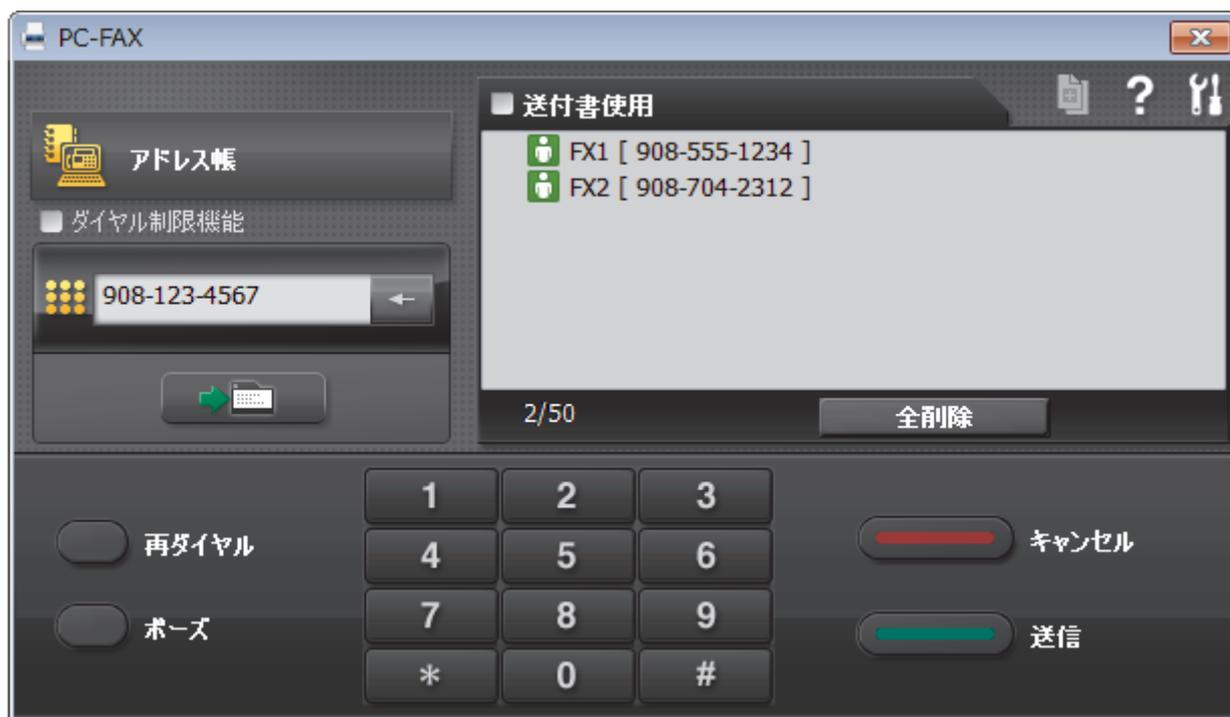
- ・ PC-FAX のアドレス帳を設定する (Windows®)

PC-FAX を使ってファクスを送信する (Windows®)

PC-FAX はモノクロのファクスにのみ対応しています。元のデータがカラーで、かつ受信側のファクス機がカラー対応のファクスであったとしても、モノクロファクスが送信されます。

1. パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。
2. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
3. プリンターとして **Fuji Xerox PC-FAX** を選択し、印刷操作を完了させます。

Fuji Xerox PC-FAX のダイアログボックスが表示されます。



4. 以下のどちらかの方法でファクス番号を入力します。

- ダイヤルパッドの数字をクリックして番号を入力し、 をクリックします。

 **ダイヤル制限機能**のチェックボックスを選択した場合は、確認用ダイアログボックスが表示され、ダイヤルパッドを使ってファクス番号を再入力することが求められます。この機能により、送信先の間違いを防ぐことができます。

- **アドレス帳**ボタンをクリックし、アドレス帳からメンバーまたはグループを選択します。

 間違った場合は、**全削除**をクリックすれば入力した項目をすべて削除できます。

5. 送付書を含める場合は、**送付書使用**のチェックボックスを選択します。 をクリックして送付書の作成や編集をすることもできます。
6. **送信**をクリックしてファクスを送信します。

- ファクス送信を中止するときは、**キャンセル**をクリックします。
- 再ダイヤルするときは、**再ダイヤル**をクリックして最後にダイヤルした5つのファクス番号をスクロールし、番号を選択して**送信**をクリックします。

✓ 関連情報

- [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)

カバーページの設定 (Windows®)

 複数の受信者にファクスを送信する場合、受信者の情報はカバーページに印刷されません。

送信先

カバーページに追加する受信者情報のチェックボックスにチェックを入れます。

送信元

カバーページに追加する送信者情報のチェックボックスにチェックを入れます。

送信者の情報は個人情報タブの内容に沿って自動的に入力されます。

コメント

カバーページに追加するコメントを入力します (任意)。

フォーム

レイアウトドロップダウンリストをクリックして、カバーページの形式を選択します。

・ 送付書のタイトル

オプションのどちらかを選択します。

カスタムを選択した場合、会社のロゴなどのビットマップファイルをカバーページに含めることができます。参照をクリックして BMP ファイルを選択し、表示位置を選択します。

- ・ **送付書をページ数に加える**

カバーページを総ページ数に含める場合は、**送付書をページ数に加える**を選択します。

- ✓ **関連情報**

- ・ [PC-FAX を使ってファクスを送信する \(Windows®\)](#)
-

PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する (Windows®)

PC-FAX を使ってパソコンから画像をファクス送信するときは、ControlCenter4 の画像ファイルを送信ボタンを使います。

- PC-FAX で送信できるのは、モノクロのファクスのみです。
- 1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
- 2. **PC-FAX** タブをクリックします。
- 3. **画像ファイルを送信** ボタンをクリックします。
- 4. フォルダーツリーをクリックして、送信したい画像が保存されているフォルダーを指定します。送信したいファイルを選択します。
- 5.  (送信) をクリックします。
Fuji Xerox PC-FAX ダイアログボックスが表示されます。
- 6. ファクス番号を入力し、**送信** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

▲ ホーム > [ダイレクトファクス \(PC-FAX\)](#) > [Windows®用 PC-FAX](#) > [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#) > [PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する \(Windows®\)](#) > [ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する (Windows®)

文書や原稿をスキャンし、PC-FAX を使ってパソコンからファクス送信するときは、ControlCenter4 のスキャン画像を送信ボタンを使います。

- ControlCenter4 のモード設定で **Home モード** を選択します。
 - PC-FAX で送信できるのは、モノクロのファクスのみです。
1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
 2. **PC-FAX** タブをクリックします。
 3. **スキャン画像を送信** ボタンをクリックします。
 4. 必要に応じてスキャン設定を行います。
 5.  (スキャン) をクリックします。
 6. イメージビューワーで、スキャンした画像の確認および編集 (必要に応じて) をします。
 7.  (送信) をクリックします。
Fuji Xerox PC-FAX ダイアログボックスが表示されます。
 8. ファクス番号を入力し、**送信** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する \(Windows®\)](#)

■ ホーム > [ダイレクトファクス \(PC-FAX\)](#) > [Windows®用 PC-FAX](#) > [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#) > [PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する \(Windows®\)](#) > [ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する (Windows®)

 (スキャン画像を送信) ボタンからスキャンした文書や原稿を、PC-FAX ソフトウェアを使用してファクス送信することができます。

- ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。
 - PC-FAX で送信できるのは、モノクロのファクスのみです。
1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
 2. **PC-FAX** タブをクリックします。
 3. スキャン設定を変更するには、 (スキャン画像を送信) ボタンを右クリックし、**ボタン設定** を選択します。

 スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン** のチェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。

4.  (スキャン画像を送信) ボタンをクリックします。

 **プレスキャン** を選択した場合、**プレスキャン** ダイアログボックスが表示されます。スキャンした原稿を確認し、**スキャン** をクリックします。

Fuji Xerox PC-FAX ダイアログボックスが表示されます。

5. ファクス番号を入力し、**送信** をクリックします。

関連情報

- [PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する \(Windows®\)](#)

PC-FAX 送信に使用されるポートを変更する (Windows®)

PC-FAX を使用してファクスを送信する場合に使用されるプリンターポートを変更できます。

1. 以下のどれかを行ってください。

- (Windows Vista®)

 (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。

- (Windows® 7)

 (スタート) > デバイスとプリンター > プリンターと FAX をクリックします。

- (Windows® 8)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスとプリンターの表示** > **プリンター** をクリックします。

2. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)

Fuji Xerox PC-FAX を右クリックして、**プロパティ** を選択します。

- (Windows®7 および Windows® 8)

Fuji Xerox PC-FAX を右クリックして、**プリンターのプロパティ** を選択します。

3. **ポートタブ** をクリックして、使用するポートを選択します。

4. **決定** をクリックします。

関連情報

- [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)

パソコンでファクスを受信する (Windows®)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使って、パソコンでファクスを受信し、それらを確認してお望みのファクスのみを印刷します。

- [PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter4 を使用してファクスの表示と印刷を行う \(Windows®\)](#)

PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する (Windows®)

本製品の PC-FAX 受信ソフトウェアにより、パソコン上でのファクスの閲覧および保存が可能になります。PC-FAX 受信ソフトウェアは、プリンタードライバーをインストールする際に自動的にインストールされ、ローカル接続された製品やネットワークに接続された製品で使用できます。

- PC-FAX 受信は、モノクロファクスのみに対応しています。
- パソコン上で PC-FAX 受信ソフトウェアを起動してください。(スタートアップに登録するのチェックボックスを選択することを推奨します。そうすることでソフトウェアが自動的に起動し、パソコンの起動時にファクスを自動転送することができます。)
- ファイアウォールによって保護されたパソコンで PC-FAX 受信機能を使う場合は、ネットワーク PC-FAX 受信プログラムをファイアウォール設定から外しておきます。Windows®ファイアウォールを使用し、プリンタードライバーを CD-ROM からインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定から外れています。



パソコンを起動すると、PC-FAX 受信ソフトウェアが、受信したファクスをパソコンへ自動転送します。

パソコンの電源を切っても、本製品は継続してファクスを受信し、製品のメモリにファクスを保存します。受信し保存されたファクスの数は本製品の画面に表示されます。バックアップ印刷オプションを有効にすると、ファクスがパソコンに送信される前、もしくはパソコンの電源を切る前に、ファクスのコピーを印刷することができます。バックアップ印刷設定は、本製品から行うことができます。

✓ 関連情報

- パソコンでファクスを受信する (Windows®)
- PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®)
- 受信したメッセージを確認する (Windows®)

▲ ホーム > [ダイレクトファクス \(PC-FAX\)](#) > [Windows®用 PC-FAX](#) > [パソコンでファクスを受信する \(Windows®\)](#) > [PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する \(Windows®\)](#) > [PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する \(Windows®\)](#)

PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®)

 スタートアップに登録するチェックボックスを選択して、このソフトウェアが自動的に実行され、パソコンの起動時にファクスを転送できるようにすることをお勧めします。

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)



(スタート) > [すべてのプログラム](#) > [Fuji Xerox](#) > [Fuji Xerox Utilities](#) をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの [パソコンでファクスを受信する](#) をクリックし、さらに [PC-FAX 受信を起動](#) をクリックします。

- (Windows® 8)



(Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーの [パソコンでファクスを受信する](#) をクリックし、さらに [PC-FAX 受信を起動](#) をクリックします。

FAX receive ダイアログボックスが表示されます。

2. メッセージを確認し、**決定**をクリックします。

パソコンのタスクトレイに、 ([パソコンでファクスを受信する](#)) アイコンが表示されます。

 PC-FAX 受信ソフトウェアの設定を変更するには、 ([パソコンでファクスを受信する](#)) を右クリックし、[PC-FAX 受信設定](#)を選択します。

関連情報

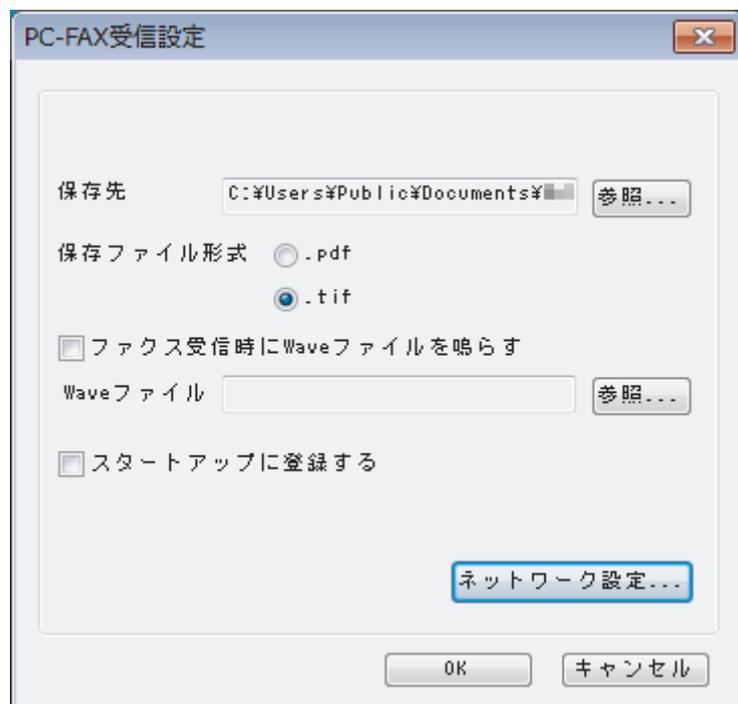
- [PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する \(Windows®\)](#)
- [PC-FAX 受信の設定を行う \(Windows®\)](#)
- [ネットワーク PC-FAX 受信の設定を行う \(Windows®\)](#)

▲ ホーム > ダイレクトファクス (PC-FAX) > Windows®用 PC-FAX > パソコンでファクスを受信する (Windows®) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する (Windows®) > PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®) > PC-FAX 受信の設定を行う (Windows®)

PC-FAX 受信の設定を行う (Windows®)

1. お使いのパソコンのタスクトレイで  (パソコンでファクスを受信する) アイコンを右クリックし、**PC-FAX 受信設定**を選択します。

PC-FAX 受信設定ダイアログボックスが表示されます。



2. 必要に応じて設定を行います。

保存先

参照...ボタンをクリックして、PC-FAX ファイルの保存先のパスを変更します。

保存ファイル形式

受信原稿の形式として、**.tif** または **.pdf** を選択します。お買い上げ時の形式は**.tif** です。

ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

このチェックボックスを選択して、ファクスを受信時に WAV ファイル (.wav 音声ファイル) が再生されるようにします。このオプションを選択した場合、**参照...**ボタンをクリックして wav ファイルを選択します。

スタートアップに登録する

このチェックボックスを選択して、Windows®の起動時に PC-FAX 受信ソフトウェアを自動的に起動するようにします。

ネットワーク設定

ネットワーク設定ボタンをクリックして、PC-FAX 受信ソフトウェアをお使いのネットワーク経由で使用するようにします。

3. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

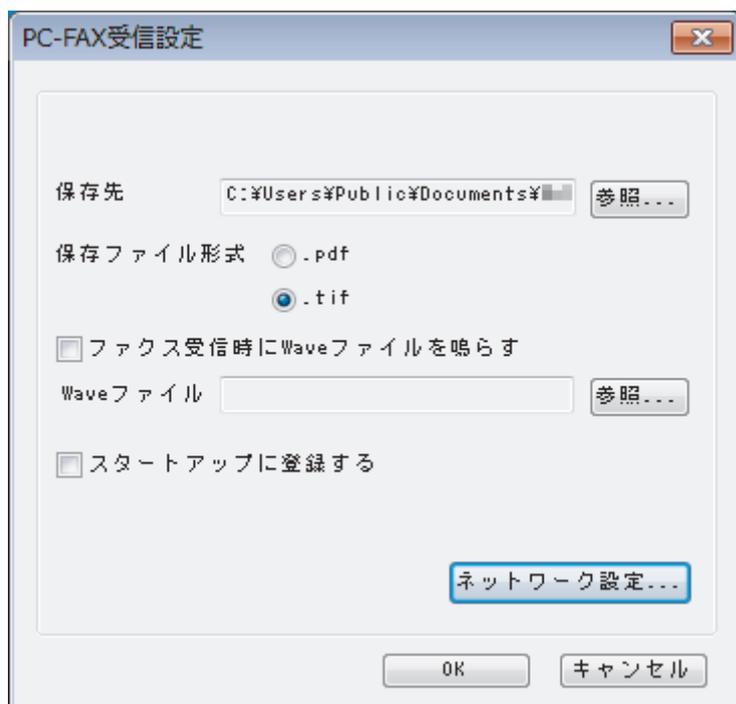
- ・ PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®)

■ ホーム > ダイレクトファクス (PC-FAX) > Windows®用 PC-FAX > パソコンでファクスを受信する (Windows®) > PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する (Windows®) > PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®) > ネットワーク PC-FAX 受信の設定を行う (Windows®)

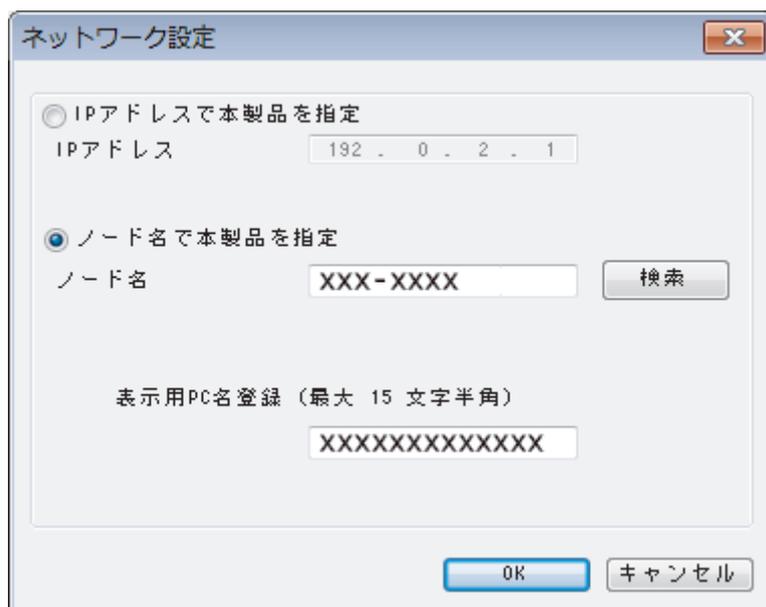
ネットワーク PC-FAX 受信の設定を行う (Windows®)

- ネットワーク環境で本製品をインストールしていれば、本製品はお使いのネットワークに合わせて設定されています。
- お使いのパソコンのタスクトレイで  (パソコンでファクスを受信する) アイコンを右クリックし、**PC-FAX 受信設定**を選択します。

PC-FAX 受信設定ダイアログボックスが表示されます。



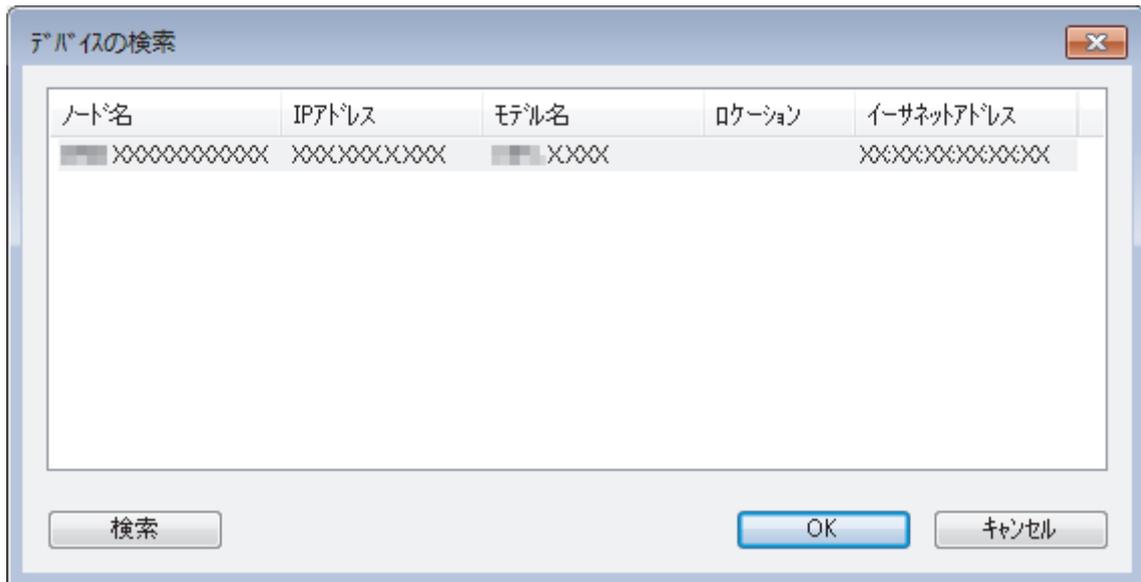
2. **ネットワーク設定**ボタンをクリックします。
ネットワーク設定ダイアログボックスが表示されます。



3. 対応する接続方法を選択します。
 - **IPアドレスで本製品を指定**
IPアドレス欄に本製品のIPアドレスを入力します。

- ノード名で本製品を指定

ノード名欄に本製品のノード名を入力するか、**検索**ボタンをクリックして、使用する製品をリストから選びます。**OK** をクリックします。



- 本製品の液晶ディスプレイに表示させるパソコン名を変更するには、**表示用 PC 名登録 (最大 15 文字半角)**欄に新しい名前を入力します。
- OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ PC-FAX 受信をお使いのパソコンで実行する (Windows®)

■ ホーム > [ダイレクトファクス \(PC-FAX\)](#) > [Windows®用 PC-FAX](#) > [パソコンでファクスを受信する \(Windows®\)](#) > [PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する \(Windows®\)](#) > [受信したメッセージを確認する \(Windows®\)](#)

受信したメッセージを確認する (Windows®)

本製品上で PC ファクス受信を有効にしておく必要があります。

パソコンがファクスを受信するたびに、タスクトレイ上の PC-FAX アイコンが  と  の間で切り替わります。

ファクスが受信されたとき、アイコンは  に切り替わります。

受信したファクスが閲覧されたら、 アイコンは  に切り替わります。

1.  をダブルクリックし、受信ファクスフォルダーを開きます。

2. 新着のファクスをダブルクリックして、内容を確認します。

未読のファクス名には、各ファクスにファイル名が割り当てられるまで、ファクスを受信した日時が設定されています (例 : Fax 2-20-2014 16;40;21.tif)。

✓ 関連情報

・ [PC-FAX 受信を使ってファクスを受信する \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 を使用してファクスの表示と印刷を行う (Windows®)

ControlCenter4 の受信ファクスを閲覧ボタンを使用して、PC-FAX ソフトウェアで受信したファクスメッセージの表示と印刷を行います。

- PC-FAX ソフトウェアを使用して受信できるのは、モノクロのファクス文書のみです。
1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
 2. PC-FAX タブをクリックします。
 3. 受信ファクスを閲覧ボタンをクリックします。
 4. PC-FAX 受信機能が有効になり、お使いの製品からファクスの受信を開始します。受信したファクスが表示されます。ファクスの内容を表示するには、対象のファクスを選択して  (拡大表示) をクリックします。
 5. 受信したファクスを印刷するには、対象のファクスを選択して  (印刷) をクリックします。
 6. 印刷設定を選択し、 (印刷開始) をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [パソコンでファクスを受信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

Macintosh®用 PC-FAX

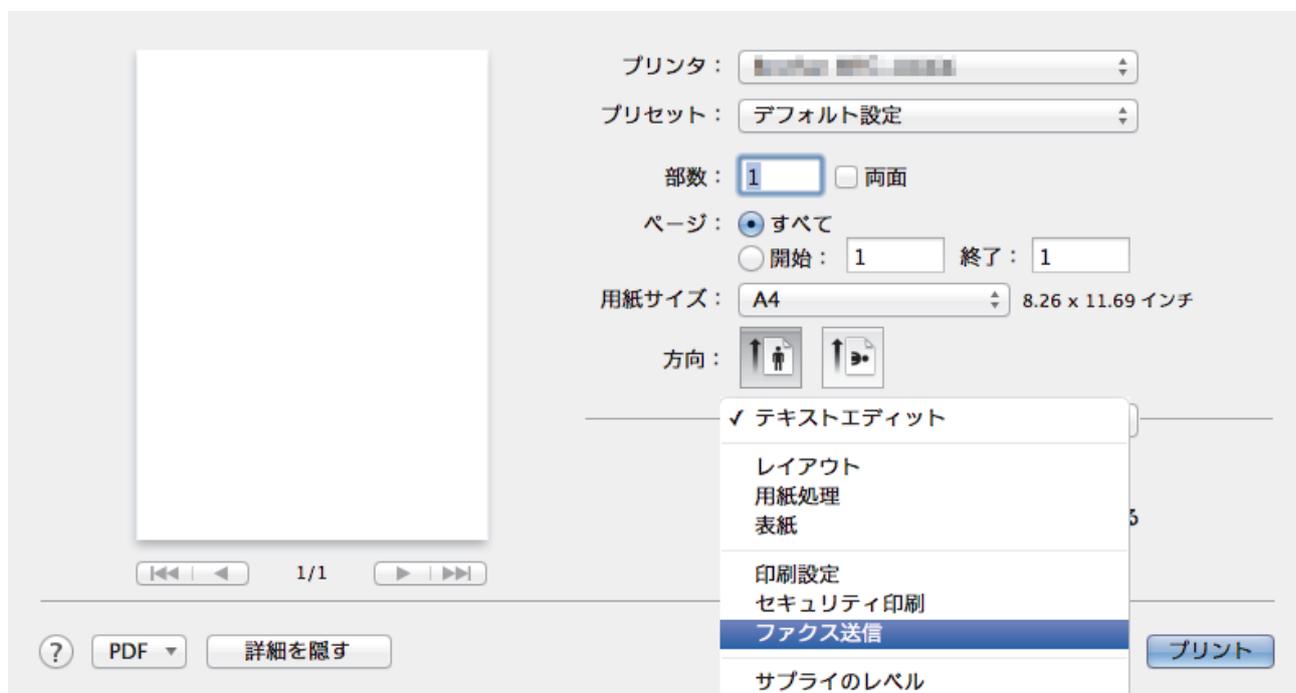
- [PC-FAX の概要 \(Macintosh®\)](#)
- [アプリケーションからファクスを送信する \(Macintosh®\)](#)

PC-FAX の概要 (Macintosh®)

本製品の PC-FAX ソフトウェアを使用して、印刷しないでパソコンから直接ファクス (モノクロのみ) を送信します。この機能により、用紙および時間の消費を軽減することができます。

アプリケーションからファクスを送信する (Macintosh®)

1. Macintosh®アプリケーションでファイルを作成します。
2. テキストエディット等のアプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
3. アプリケーションのポップアップメニューをクリックし、**ファクス送信**を選択します。



4. **出力先**のポップアップメニューをクリックし、**ファクシミリ**を選択します。

プリンタ： []

プリセット： デフォルト設定 []

部数： 1 [] 両面

ページ： すべて
 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 [] 210 x 297 mm

方向： [] []

ファクス送信 []

出力先： ファクシミリ []

送信先アドレス：

名前	ファクス番号

ダイヤル制限機能

ファクス番号： [] [追加]

[?] PDF [] [詳細を隠す] [キャンセル] [プリント]

5. **ファクス番号**欄にファクス番号を入力し、**追加**をクリックします。
ファクス番号が**送信先アドレス**欄に表示されます。



2つ以上の番号にファクスを送信するときは、1件目のファクス番号を入力した後に次のファクス番号を入力してから**追加**ボタンをクリックします。送信先のファクス番号は、**送信先アドレス**欄にリストアップされます。

プリンタ: [選択済み] ▾
プリセット: デフォルト設定 ▾
部数: 1 両面
ページ: すべて
 開始: 1 終了: 1
用紙サイズ: A4 ▾ 210 x 297 mm
方向:

出力先: ファクシミリ ▾
送信先アドレス:
名前 | ファクス番号
| 222-111-3333

ダイヤル制限機能
ファクス番号: **追加**

? PDF ▾ 詳細を隠す



ファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前や着信履歴が正しく表示されない場合があります。

6. **プリント**をクリックしてファクスを送信します。



関連情報

- ・ Macintosh®用 PC-FAX

リモートセットアップ

リモートセットアップにより、パソコンから本製品の設定を行うことができます。リモートセットアップが起動すると、お使いの製品の設定がパソコンへダウンロードされ、画面上に表示されます。パソコン上で設定の変更を行うと、その設定値を本製品に直接アップロードすることができます。

- [リモートセットアップ \(Windows®\)](#)
- [リモートセットアップ \(Macintosh®\)](#)

リモートセットアップ (Windows®)

- リモートセットアップを使用して、パソコンから本製品の設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)
- ControlCenter4 を使用して本製品の電話帳を編集する (Windows®)

■ ホーム > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Windows®) > リモートセットアップを使用して、パソコンから本製品の設定を変更する (Windows®)

リモートセットアップを使用して、パソコンから本製品の設定を変更する (Windows®)

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®およびWindows® 7)

 (スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > Fuji Xerox Utilities をクリックします。

モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのツールをクリックし、さらにリモートセットアップをクリックします。

- (Windows® 8)

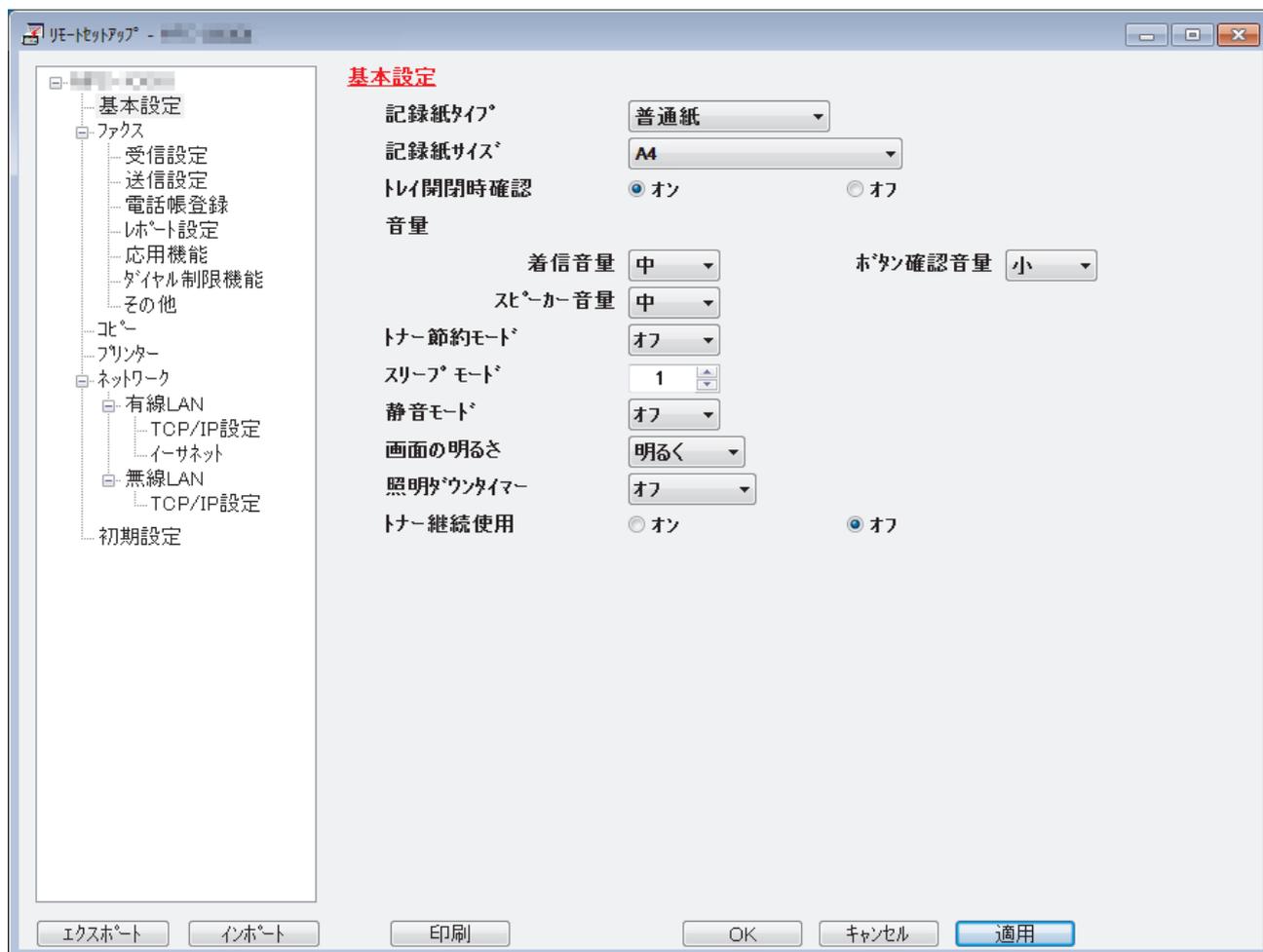
 (Fuji Xerox Utilities) をクリックし、モデル名が選択されていない場合は、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します。左ナビゲーションバーのツールをクリックし、さらにリモートセットアップをクリックします。

リモートセットアップの画面が表示されます。



本製品がネットワークを介して接続されている場合、必要に応じてパスワードを入力します。

2. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックして、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポートをクリックして、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値を保存します。

インポート

クリックして、ファイルから設定値を読み込みます。

印刷

クリックして、本製品で選択したアイテムを印刷します。データが本製品にアップロードされるまでは、印刷できません。**適用**をクリックして、新しいデータを本製品にアップロードしてから、**印刷**をクリックしてください。

OK

クリックして、本製品へのデータのアップロードを開始し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示される場合は、データが正しいことを確認し、**OK**をクリックします。

キャンセル

クリックして、本製品へデータをアップロードしないで、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックして、本製品へのデータをアップロードします。

3. **OK** をクリックします。

- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ポート番号 137 および 161 を経由する通信を許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。
- Windows®ファイアウォールを使用している場合、付属の CD-ROM からドライバー&ソフトウェアをインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。

関連情報

- ・ [リモートセットアップ \(Windows®\)](#)
-

▲ ホーム > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Windows®) > ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)

ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)

1. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. デバイス設定タブをクリックします。
3. リモートセットアップボタンをクリックします。
4. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックして、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポートをクリックして、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値を保存します。

インポート

クリックして、ファイルから設定値を読み込みます。

印刷

クリックして、本製品で選択したアイテムを印刷します。データが本製品にアップロードされるまでは、印刷できません。**適用**をクリックして、新しいデータを本製品にアップロードしてから、**印刷**をクリックしてください。

OK

クリックして、本製品へのデータのアップロードを開始し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示される場合は、データが正しいことを確認し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックして、本製品へデータをアップロードしないで、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックして、本製品へのデータをアップロードします。

5. **OK** をクリックします。

- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ポート番号 137 および 161 を経由する通信を許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。
- Windows®ファイアウォールを使用している場合、付属の CD-ROM からドライバー & ソフトウェアをインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。



関連情報

- ・ リモートセットアップ (Windows®)
 - ・ ControlCenter4 (Windows®)
-

▲ ホーム > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Windows®) > ControlCenter4 を使用して本製品の電話帳を編集する (Windows®)

ControlCenter4 を使用して本製品の電話帳を編集する (Windows®)

ControlCenter4 経由でリモートセットアップを使用して、お使いのパソコンから電話帳の番号を追加または変更します。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. デバイス設定タブをクリックします。
3. 電話帳 / アドレス帳ボタンをクリックします。
リモートセットアップ画面に、アドレス帳が開きます。
4. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。
5. OK をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ リモートセットアップ (Windows®)

リモートセットアップ (Macintosh®)

- ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使用して本製品の電話帳を編集する (Macintosh®)

■ ホーム > リモートセットアップ > リモートセットアップ (Macintosh®) > ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)

ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)

1. Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ** ボタンをクリックします。
リモートセットアップの画面が表示されます。



4. 必要に応じて設定を行います。

エクスポート

クリックして、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポート をクリックして、電話帳または、本製品のすべての設定値を保存します。

インポート

クリックして、ファイルから設定値を読み込みます。

印刷

クリックして、本製品で選択したアイテムを印刷します。データが本製品にアップロードされるまでは、印刷できません。 **適用** をクリックして、新しいデータを本製品にアップロードし、 **印刷** をクリックします。

OK

クリックして、本製品へのデータのアップロードを開始し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示される場合は、正しいデータを再度入力し、 **OK** をクリックします。

キャンセル

クリックして、本製品へデータをアップロードしないで、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックして、本製品へのデータをアップロードします。

5. 設定が完了したら、 **OK** をクリックします。



関連情報

- ・ リモートセットアップ (Macintosh®)
 - ・ ControlCenter2 (Macintosh®)
-

ControlCenter2 を使用して本製品の電話帳を編集する (Macintosh®)

ControlCenter2 経由でリモートセットアップを使用して、お使いのパソコンから電話帳の番号を追加または変更します。

1. **Finder** メニューバーで、**移動** > **アプリケーション** > **Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。

ControlCenter2 画面が表示されます。

2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **電話帳 / アドレス帳** ボタンをクリックします。
リモートセットアップ画面に、**電話帳登録**が開きます。
4. 必要に応じて、電話帳の情報を追加または更新します。
5. 設定が完了したら、**OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [リモートセットアップ \(Macintosh®\)](#)

ネットワーク

- はじめに
- ネットワーク接続タイプの選択について
- ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- 本製品のネットワーク設定について
- 無線 LAN 設定方法について
- 高度なネットワーク機能について
- 上級ユーザーのための技術的な情報について
- トラブルシューティング
- 操作パネルのネットワークメニューについて

はじめに

ネットワークの設定および起動には、本製品のインストーラを使用することをお勧めします。本ガイドでは、ネットワークの接続タイプを詳細に記載しています。また、さまざまなネットワーク管理方法や、本製品のネットワーク機能について説明しています。

- [サポート対象の基本ネットワーク機能について](#)

サポート対象の基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS によって、サポートする機能が異なります。一覧表で、○印のついたネットワーク機能が各 OS でサポートされるネットワーク機能となります。

オペレーティングシステム	Windows Vista® Windows® 7 Windows® 8	Windows Server® 2008/2012/2012 R2	OS X® v10.7.5 OS X® v10.8.x OS X® v10.9.x
印刷	○	○	○
スキャン	○	×	○
PC ファクス送信	○	×	○
PC ファクス受信	○	×	×
BRAdmin Light	○	○	○
ウェブブラウザ設定	○	○	○
リモートセットアップ	○	×	○
ステータスマニター	○	×	○
Vertical Pairing (Windows® 7 および Windows® 8 のみ)	○	×	×



- BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。



関連情報

- [はじめに](#)

ネットワーク接続タイプの選択について

使用しているネットワーク接続タイプ（有線 LAN、または無線 LAN）を特定する必要があります。

- [有線 LAN 接続について](#)
- [無線 LAN 接続について](#)

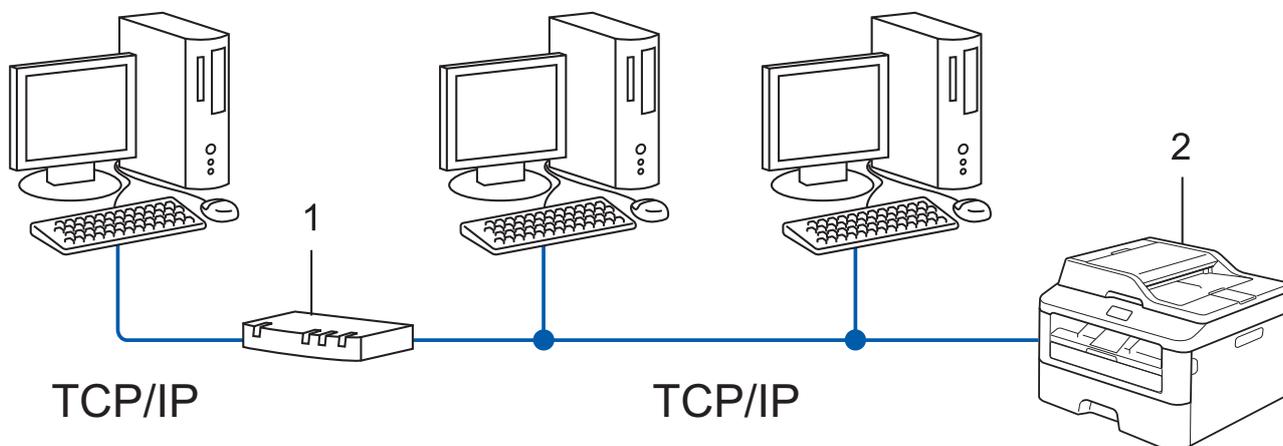
有線 LAN 接続について

使用している有線 LAN の接続タイプが、ピアツーピアまたはネットワーク共有環境のどちらかを特定します。

- [TCP/IP を使用するピアツーピア印刷について](#)
- [ネットワーク共有印刷](#)

TCP/IP を使用するピアツーピア印刷について

ピアツーピア環境では、各パソコンと各機器との間で直接データの送受信が行われます。ファイルのアクセスやプリンターの共有を管理している中心的なサーバーは存在しません。



1. ルーター
2. 本製品



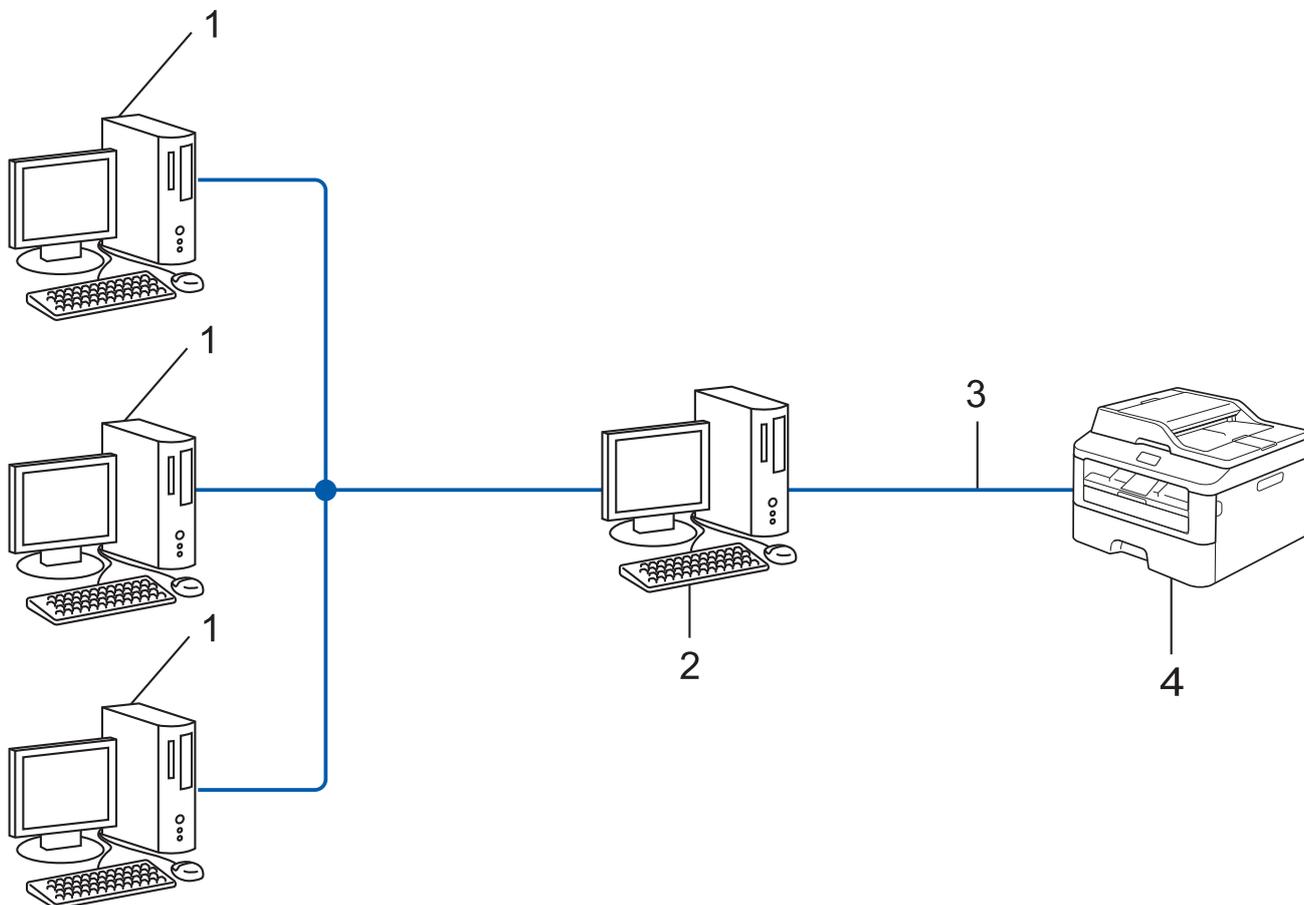
- 2~3 台のパソコンが接続される小規模ネットワークでは、ピアツーピアの印刷方法をお勧めします。この方法では、ネットワーク共有の印刷方法よりも、設定が簡単に行えます。
- 各パソコンが TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- 本製品には、必ず適切な IP アドレスを設定します。
- ルーターを使用している場合は、使用するパソコンと本製品にゲートウェイアドレスを設定する必要があります。

✓ 関連情報

- ・ [有線 LAN 接続について](#)

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各パソコンが集中管理されたパソコン経由でデータを送信します。この種類のパソコンは通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。このパソコンですべての印刷ジョブが管理されます。



1. クライアントパソコン
2. プrintサーバー
3. イーサネットケーブル、USB、またはパラレル（利用可能な場合）
4. 本製品



- 大規模ネットワークでは、ネットワーク共有印刷環境をお勧めします。
- プrintサーバーでは、必ず TCP/IP プロトコルを使用してください。
- USB またはパラレルインターフェース経由でサーバーに接続しない場合は、本製品に適切な IP アドレスを設定する必要があります。

✓ 関連情報

- ・ [有線 LAN 接続について](#)

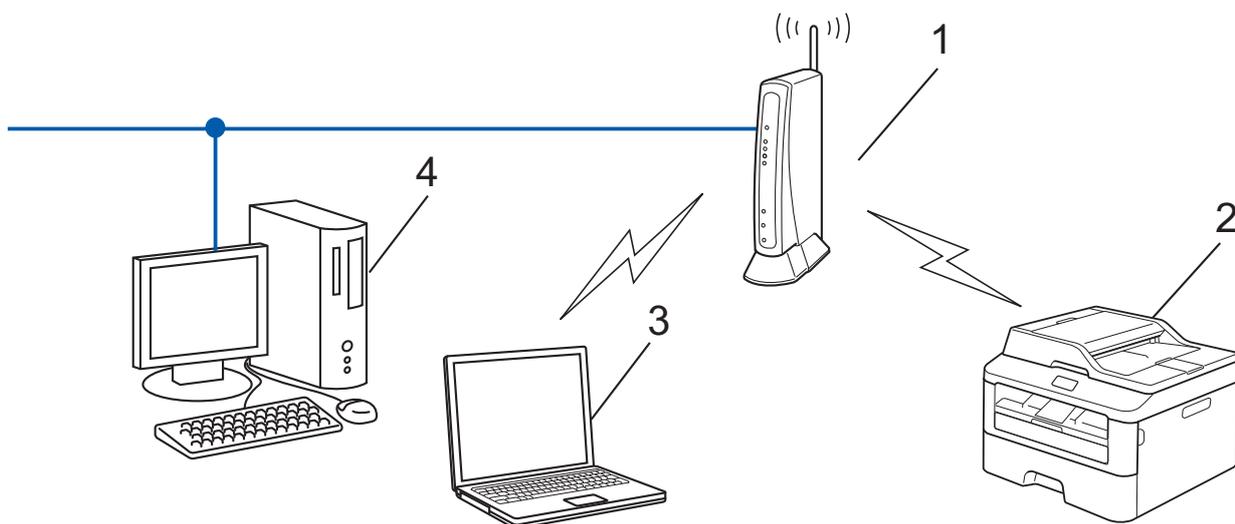
無線 LAN 接続について

使用している無線 LAN の接続タイプが、インフラストラクチャモード、アドホックモード、または Wi-Fi Direct モードのどちらであるかを特定します。

- ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）
- ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続（アドホックモード）
- Wi-Fi Direct

ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）

インフラストラクチャモードは、各無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイントを経由することによって、データ通信を行う通信方法です。無線 LAN アクセスポイントは、有線 LAN にも機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを、無線 LAN アクセスポイントを経由してから本製品が受け取ります。



1. 無線 LAN アクセスポイント/ルーター
2. 本製品
3. 無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続しているパソコン
4. ネットワークケーブルを使用して無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続しているパソコン

設定方法

無線 LAN 環境で本製品を設定する方法を以下から選択します。

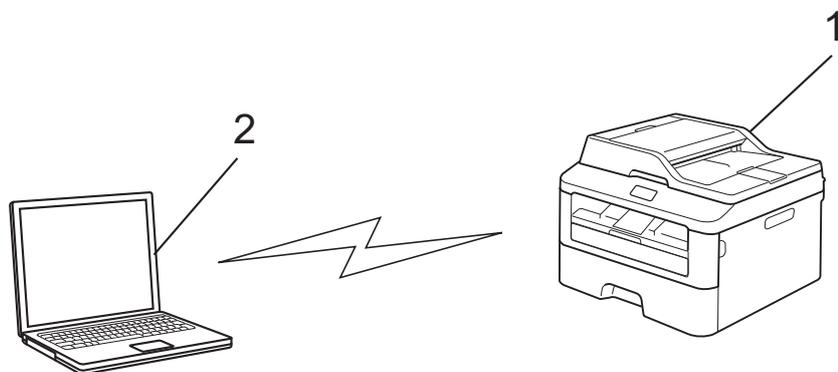
- ・ パソコンのセットアップウィザードを使用する無線設定（推奨）
- ・ 操作パネルのセットアップウィザードを使用する無線設定
- ・ WPS または AOSS™を使用するワンタッチ無線設定
- ・ WPS を使用する PIN 方式無線設定

✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 接続について](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について](#)
- ・ [SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する](#)

ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続（アドホックモード）

このタイプのネットワークには、中心的な無線 LAN アクセスポイント/ルーターは存在しません。各無線クライアントは互いに直接通信します。本製品がこのネットワークの一部である場合、印刷データを送信しているパソコンから、すべてのプリントジョブを直接受信します。



1. 本製品
2. 無線 LAN 対応パソコン

アドホックモードにおける、Windows Server[®]製品との安全な無線 LAN 接続は保証できません。

✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 接続について](#)
- ・ [アドホックモードで無線 LAN を設定する（IEEE 802.11b/g/n の場合）](#)

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について

ユーティリティソフトを使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行います。下記のどれかの方法で設定できます。

- BRAdmin Light (Windows®および Macintosh®)
- ウェブブラウザ設定
- リモートセットアップ

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ・ BRAdmin Light について (Windows®および Macintosh®)
- ・ ウェブブラウザ設定について
- ・ リモートセットアップについて (Windows®および Macintosh®)

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて

- [BRAdmin Light について \(Windows®および Macintosh®\)](#)
- [ウェブブラウザ設定について](#)
- [リモートセットアップについて \(Windows®および Macintosh®\)](#)

BRAdmin Light について (Windows®および Macintosh®)

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された機器の初期設定を行うためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品の検索、ステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。



- アンチウイルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。試し刷りをし、印刷が可能であることを確認してから、再び設定を有効にしてください。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について

ウェブブラウザ設定について

お使いの標準ウェブブラウザで HTTP を使用して、ネットワークに接続した本製品を管理することができます。本製品の IP アドレスをお使いのウェブブラウザに入力して、本製品の設定の確認や変更を行うことができます。



- Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer® 8.0/9.0/10.0 を、Macintosh® の場合は Safari® 5.0/6.0 を推奨します。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。上記以外のウェブブラウザを使用する場合は、HTTP 1.0 および HTTP 1.1 と互換性があることを確認してください。
- TCP/IP プロトコルを使用しプリントサーバーとパソコンで有効な IP アドレスを設定してください。

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- ・ ウェブブラウザ設定にアクセスする
- ・ ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する

リモートセットアップについて (Windows®および Macintosh®)

リモートセットアップは、Windows®または Macintosh®アプリケーションから、多数の製品およびネットワークを設定するためのプログラムです。このアプリケーションを起動すると、本製品の設定値がお使いのパソコンに自動的にダウンロードされ、パソコン画面に表示されます。設定を変更する場合は、設定値を本製品に直接アップロードします。



本ユーティリティは、USB 接続またはネットワーク接続のどちらかに使用できます。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- ・ リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)
- ・ リモートセットアップを使ったネットワーク設定方法 (Windows®および Macintosh®)

ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、本製品のソフトウェアをインストールし、適切な TCP/IP ネットワークを設定する必要があります。

ソフトウェアのインストーラを使用し、指示に従ってソフトウェアとネットワークのインストールを行ってください。

インストーラを使用しない場合、または使用できない場合は、ウェブブラウザで設定いただけます。**関連情報**をご覧ください。

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- ・ BRAdmin Light をインストールする
- ・ ウェブブラウザ設定にアクセスする
- ・ リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)

BRAdmin Light をインストールする

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. お使いのパソコンの電源を入れます。
設定を開始する前に、すべてのアプリケーションを終了します。
3. 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入します。
4. モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
5. 言語の画面が表示されたら、使用する言語を選択します。
CD-ROM のメインメニューが表示されます。
6. **カスタムインストール** をクリックします。
7. **BRAdmin Light** をクリックして、画面に表示される指示に従ってインストールします。



インストール画面が表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

- (Windows Vista® および Windows® 7)
コンピューターを開き、CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- (Windows® 8)
タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、コンピューターにアクセスします。
CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ・ BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows® および Macintosh®)

ウェブブラウザ設定にアクセスする

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。

例 : http://192.0.2.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに "SharedPrinter" など、別の名前を入力できます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定レポートで確認できます。

- Macintosh® の場合、ステータスマニター画面に表示されるアイコンをクリックして、ウェブブラウザ設定にアクセスします。

3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。

以上でプリントサーバーの設定を変更する準備が整いました。

プロトコルの設定を変更した場合、OK をクリック後、本製品を再起動し、設定を有効にする必要があります。



関連情報

- ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する
- ウェブブラウザ設定について
- ネットワーク設定レポートを印刷する

ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する

ウェブブラウザ設定への非承認アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することをお勧めします。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。

例 : http://192.0.2.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに "SharedPrinter" など、別の名前を入力できます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定レポートで確認できます。

- Macintosh® の場合、ステータスマニター画面に表示されるアイコンをクリックして、ウェブブラウザ設定にアクセスします。

3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。
4. **管理者設定** をクリックします。
5. 使用するパスワードを入力します（最大 32 文字）。
6. パスワードを再入力します。
7. **OK** をクリックします。

今後は、ウェブブラウザ設定にアクセスする度に、**ログインボックス** にパスワードを入力し、 をクリックします。

設定後、 をクリックしてログオフします。



ログインパスワードを設定していない場合、本製品のウェブページでパスワードを設定してくださいをクリックしてパスワードを設定することもできます。

✓ 関連情報

- [ウェブブラウザ設定にアクセスする](#)
- [リモートセットアップにアクセスする \(Windows®\)](#)
- [リモートセットアップにアクセスする \(Macintosh®\)](#)

▲ ホーム > ネットワーク > ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について > ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて > リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)

リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)

- リモートセットアップにアクセスする (Windows®)
- リモートセットアップにアクセスする (Macintosh®)
- リモートセットアップについて (Windows®および Macintosh®)
- リモートセットアップを使ったネットワーク設定方法 (Windows®および Macintosh®)

リモートセットアップにアクセスする (Windows®)

- お使いのパソコンが Windows®ファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使えない場合は、ポート番号 137 および 161 経由の通信を許可するようにファイアウォールを設定してください。
 - Windows®ファイアウォールを使用し、本製品のドライバー & ソフトウェアを付属の CD-ROM からインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。
- 以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®および Windows® 7)
 -  (スタート) > **すべてのプログラム** > **Fuji Xerox** > **Fuji Xerox Utilities** をクリックします。
 - ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーのツールをクリックし、さらに**リモートセットアップ**をクリックします。
 - (Windows® 8)
 -  (**Fuji Xerox Utilities**) をクリックし、ドロップダウンリストをクリックして、Fuji Xerox DocuPrint M260 z を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーのツールをクリックし、さらに**リモートセットアップ**をクリックします。
 - 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定した場合はそのパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



BRAdmin Light またはウェブベース管理を使用して、パスワードの変更や設定を行うことができます。

以上で、製品やネットワークの設定を必要に応じて変更する準備が整いました。



関連情報

- リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)
- ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する

リモートセットアップにアクセスする (Macintosh®)

- ドライバーのインストール中にお使いの Macintosh®に登録された製品を変更する必要がある場合、またはネットワーク環境が変更された場合、新しい製品を指定する必要があります。デバイスセレクターを開き、新しい製品を選択します。

デバイスセレクターを開くには、ControlCenter2 画面でモデルのポップアップメニューをクリックして、その他を選択します。

1. Finder メニューバーで、移動 > アプリケーション > Fuji Xerox をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。

ControlCenter2 画面が表示されます。

2. デバイス設定タブをクリックします。
3. リモートセットアップボタンをクリックします。

リモートセットアップ画面が表示されます。



4. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定した場合はそのパスワードを入力し、OK をクリックします。

BRAdmin Light またはウェブブラウザ設定を使用して、パスワードの変更や設定を行うことができます。

リモートセットアップを使って各種設定が変更できるようになりました。

関連情報

- ・ リモートセットアップのアクセスについて (Windows®および Macintosh®)
 - ・ ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する
-

本製品のネットワーク設定について

操作パネル、BRAdmin Light、ウェブブラウザ設定、またはリモートセットアップを使用して、本製品のネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなど）を変更できます。

- 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する
- ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する
- BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す（Windows®および Macintosh®）
- リモートセットアップを使ったネットワーク設定方法（Windows®および Macintosh®）

■ ホーム > ネットワーク > 本製品のネットワーク設定について > 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 設定を行うメニューの選択項目に進みます。

✓ 関連情報

- ・ [本製品のネットワーク設定について](#)
 - ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。

例 : http://192.0.2.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに "SharedPrinter" など、別の名前を入力できます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定レポートで確認できます。

- Macintosh® の場合、ステータスマニター画面に表示されるアイコンをクリックして、ウェブブラウザ設定にアクセスします。

3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。

ネットワークの設定を変更することができます。

プロトコルの設定を変更した場合、OK をクリックして本製品を再起動し、設定を有効にする必要があります。



関連情報

- ・ 本製品のネットワーク設定について
- ・ ウェブブラウザ設定について
- ・ ネットワーク設定レポートを印刷する
- ・ ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- ・ サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について

BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows®および Macintosh®)

- 付属の CD-ROM から本製品の BRAdmin Light をダウンロードします。
- アンチウイルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。印刷が可能であることを確認してから、再び設定を有効にしてください。
- ノード名：ノード名は、BRAdmin Light 画面に表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。(「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。)
- 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力します。

1. BRAdmin Light をインストールします。

2. BRAdmin Light を起動します。

- (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows Server® 2008)



(スタート) > すべてのプログラム > Fuji Xerox > BRAdmin Light > BRAdmin Light をクリックします。

- (Windows® 8、Windows Server® 2012 および Windows Server® 2012 R2)



(BRAdmin Light) をクリックします。

- (Macintosh®)

ダウンロードしたフォルダを選択して、 BRAdmin Light.jar アイコンをダブルクリックします。

BRAdmin Light は自動的に機器を検索します。

3. 設定を変更するプリントサーバーをダブルクリックします。



- お買い上げ時の設定 (DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用していない場合) では、本製品は BRAdmin Light に未設定と表示されます。未設定の機器をダブルクリックします。
- ネットワーク設定リストを印刷して、ノード名および MAC アドレス (イーサネットアドレス) を確認できます。操作パネルでも MAC アドレスを確認できます。

4. パスワードを設定している場合は入力し、OK をクリックします。

以上でネットワークの設定を変更する準備が整いました。



関連情報

- [本製品のネットワーク設定について](#)
- [BRAdmin Light をインストールする](#)
- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)

リモートセットアップを使ったネットワーク設定方法 (Windows®および Macintosh®)

- 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力します。
- BRAdmin Light またはウェブブラウザ設定を使用して、パスワードの変更や設定を行うことができます。
- お使いのパソコンが Windows®ファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使えない場合は、ポート番号 137 および 161 経由の通信を許可するようにファイアウォールを設定してください。
- Windows®ファイアウォールを使用し、本製品のドライバー & ソフトウェアを付属の CD-ROM からインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。
- ドライバーのインストール中にお使いの Macintosh®に登録された製品を変更する必要がある場合、またはネットワーク環境が変更された場合、新しい製品を指定する必要があります。**デバイスセクター**を開き、新しい製品を選択します。

デバイスセクターを開くには、**ControlCenter2** 画面で**モデル**のポップアップメニューをクリックして、**その他**を選択します。

1. リモートセットアップを開きます。
2. 変更したいネットワーク設定を選択します。

✓ 関連情報

- ・ [本製品のネットワーク設定について](#)
- ・ [リモートセットアップについて \(Windows®および Macintosh®\)](#)
- ・ [リモートセットアップのアクセスについて \(Windows®および Macintosh®\)](#)

無線 LAN 設定方法について

本製品を無線 LAN に接続するには、インストーラのご使用をお勧めします。

- 無線 LAN の設定を行う前に
- USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- インストーラアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する
- アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)
- 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する
- Wi-Fi Direct の使用について

無線 LAN の設定を行う前に

無線 LAN の設定を行う前に以下の内容を確認してください。

- 最良の印刷結果を得るため、本製品をできるだけ無線 LAN アクセスポイント/ルーターに近づけ、障害物から遠ざけてください。本製品とアクセスポイントやルーターの間に大きな物や壁、他の電子機器からの干渉があると、印刷する原稿のデータ転送速度が遅くなる可能性があります。
そのため、接続方法として、必ずしも最適というわけではありません。複数の種類のテキストが混在する原稿や、大型グラフィックスが使われている原稿といった、大きなサイズのファイルを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線の Ethernet や、処理能力の速い USB の使用を検討してください。
- 本製品は有線 LAN および無線 LAN のどちらでも使用できますが、両方の種類のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続の組み合わせ、または有線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続の組み合わせは同時に使用できます。
- 無線設定を行う前に、お使いのネットワーク名 (SSID) とネットワークキーをあらかじめ入手しておく必要があります。
- SSID およびネットワークキーがわからない場合は無線セットアップは設定できません。

✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)

USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する

USB ケーブルを使用して、本製品をお使いの無線 LAN に接続します。接続が確立されたら、USB ケーブルを外します。

1. パソコンの電源を入れ、インストーラ CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
 - Windows® の場合は、CD-ROM の指示に従ってください。
 - Macintosh® の場合、**Driver Download** をクリックして、弊社公式サイトにアクセスします。画面の指示に従って、プリンタードライバーをインストールします。
2. 起動画面が自動的に表示されます。
モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
3. CD-ROM のメインメニューが表示されます。トップメニューをクリックし、使用許諾契約に同意する場合は **はい** をクリックします。
画面の指示に従います。



- (Windows Vista® および Windows® 7)
本製品の画面が自動的に表示されない場合は、パソコンにアクセスしてください。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- (Windows® 8)
タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、パソコンにアクセスします。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- **ユーザー アカウント制御**画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®) **許可** をクリックします。
 - (Windows® 7/Windows® 8) **はい** をクリックします。

4. **無線 LAN 接続** を選択し、**次へ** をクリックします。
5. **ファイアウォールが検出されました** 画面で任意のファイアウォール設定のラジオボタンを選択し、**次へ** をクリックします。
6. **はい、USB ケーブルを持っています** ラジオボタンを選択して、**次へ** をクリックします。
7. 画面の指示に従って設定をします。



- **接続できる無線 LAN** 画面が表示される時、アクセスポイントが SSID を同報送信しないようにしている場合は、**詳細** ボタンをクリックすることで手動で SSID を追加することができます。
- 画面の指示に従って、**SSID (ネットワーク名)** を入力します。
- 無線セットアップに失敗したことを伝える画面が表示されたら、**再設定** をクリックして手順をやり直します。
- セットアップ中の操作に関してプリンターサポートデスクに問い合わせる際は、SSID (ネットワーク名) とネットワークキーをご準備ください。この情報に関しては問い合わせいただいても回答できません。
- SSID およびネットワークキーがわからない場合は、無線セットアップは設定できません。
- 無線アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
- 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

無線セットアップが完了したあと、インストーラプログラムはプリンタードライバーのインストールへ進みます。インストールのダイアログボックスの **次へ** をクリックし、画面の指示に従います。



関連情報

- ・ 無線 LAN 設定方法について

インストーラーアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する

本製品をお使いの無線 LAN に無線で追加します。

1. パソコンの電源を入れ、インストーラ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
 - Windows® の場合、これらの指示に従います。
 - Macintosh® の場合、**Driver Download** をクリックして、弊社公式サイトにアクセスします。画面の指示に従って、プリンタードライバーをインストールします。
2. 起動画面が自動的に表示されます。
モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
3. CD-ROM のメインメニューが表示されます。トップメニューをクリックし、使用許諾契約に同意する場合は **はい** をクリックします。
画面の指示に従います。



- (Windows Vista® および Windows® 7)
本製品の画面が自動的に表示されない場合は、パソコンにアクセスしてください。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- (Windows® 8)
タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、パソコンにアクセスします。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- **ユーザー アカウント制御** 画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®) **許可** をクリックします。
 - (Windows® 7/Windows® 8) **はい** をクリックします。

4. **無線 LAN 接続** を選択し、**次へ** をクリックします。
5. **ファイアウォールが検出されました** 画面で任意のファイアウォール設定のラジオボタンを選択し、**次へ** をクリックします。
6. **いいえ、USB ケーブルを持っていません** ラジオボタンを選択して、**次へ** をクリックします。
7. 画面の指示に従って設定をします。



- セットアップ中の操作に関してプリンターサポートデスクに問い合わせる際は、SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーをご準備ください。この情報に関しては問い合わせただいても回答できません。
- この情報 (SSID およびネットワークキー) がわからない場合は、無線セットアップは設定できません。
この情報はどこに載っていますか？
 - 無線アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
 - 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
 - セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

無線セットアップが完了した後、インストーラプログラムはプリンタードライバーのインストールへ進みます。インストールダイアログボックスの **次へ** をクリックし、画面の指示に従います。



関連情報

- [無線 LAN 設定方法について](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™ を使用した、本製品への無線 LAN の設定について

お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが、WPS (プッシュボタン設定) または AOSS™ のどちらかをサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS または AOSS™ を使用して、無線 LAN を設定することができます。



- WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントは、次のロゴマークで示されます。



- AOSS™ をサポートしているルーターまたはアクセスポイントは、次のロゴマークで示されます。



関連情報

- [無線 LAN 設定方法について](#)
- [WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について](#)
- [ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続 \(インフラストラクチャモード\)](#)

▲ ホーム > ネットワーク > 無線 LAN 設定方法について > Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™ を使用した、本製品への無線 LAN の設定について > WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について

WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[WPS/AOSS] を選択し、OK を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、Back を押します。
6. 液晶ディスプレイに [アクセス ポイントの WPS/AOSS ボタンを押してください。操作ができれば OK ボタンを押してください。] と表示されたら、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの、WPS または AOSS™ ボタンを押します。OK を押すと、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが使用しているモード (WPS または AOSS™) を本製品が自動的に検出し、この無線 LAN への接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認し、無線 LAN レポートのエラーコードについてに記載された解決方法を実行してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows® の場合 :

[接続しました] と表示されたら、無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh® の場合 :

[接続しました] と表示されたら、無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。

✓ 関連情報

- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™ を使用した、本製品への無線 LAN の設定について
- ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) 方式を使用して無線 LAN を設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。加入者 (本製品) により作成された PIN を、登録機関 (無線 LAN を管理する機器) に送信することにより、無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。

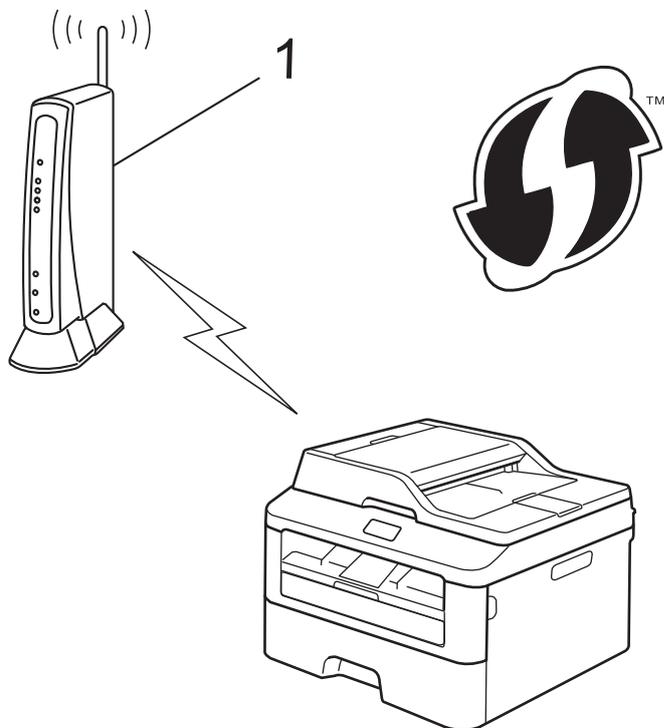
✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使った 2 種類の無線 LAN 接続方法](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法](#)
- ・ [ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続 \(インフラストラクチャモード\)](#)
- ・ [Vertical Pairing の使用時に、インフラストラクチャモードの印刷/スキャン用ドライバーをインストールする \(Windows® 7 および Windows® 8\)](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使った 2 種類の無線 LAN 接続方法

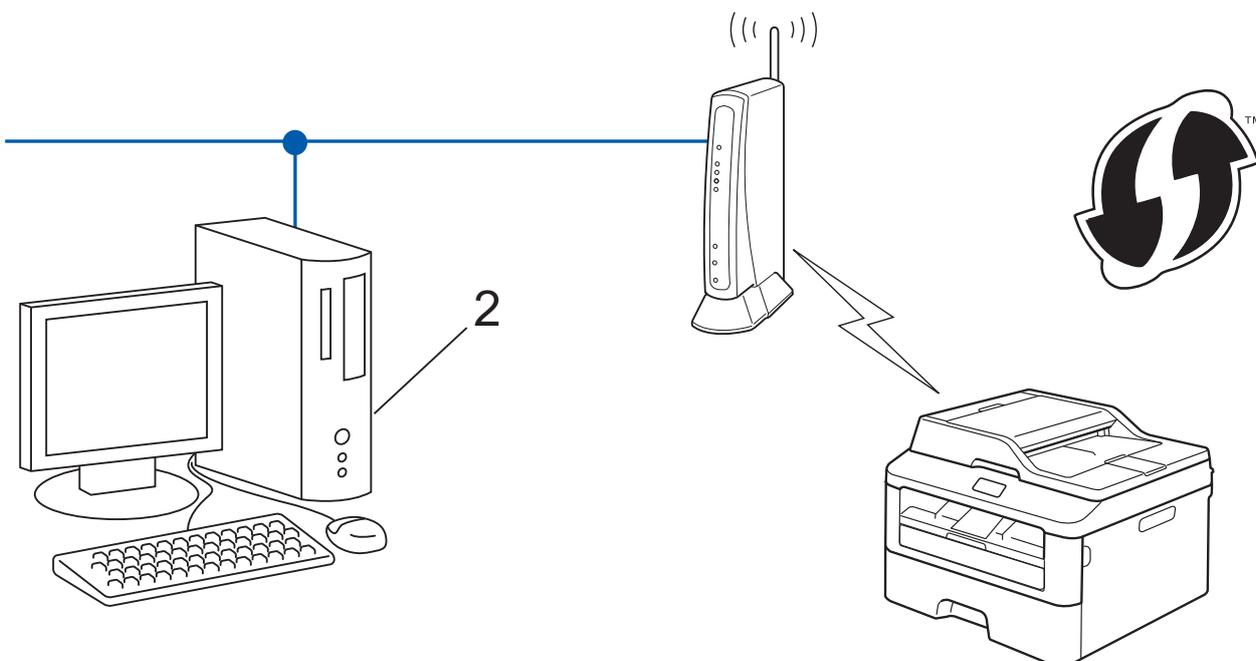
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント/ルーター (1) がレジストラ (登録管理機器) を兼用する場合



使用例 B

パソコンなどの別の機器 (2) がレジストラ (登録管理機器) として使用される場合





WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントには、次のロゴが表示されます。



関連情報

- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する
-

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[WPS (PINコード)] を選択し、OK を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 液晶ディスプレイには 8桁の PIN が表示され、製品は LAN アクセスポイントまたはルーターの検索を開始します。
7. ネットワーク上のパソコンを使用して、お使いのブラウザに「http://アクセスポイントの IP アドレス」と入力します（「アクセスポイントの IP アドレス」の部分には、レジストラ（登録管理機器）として使用されている機器の IP アドレスを入力します）。
8. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。



- レジストラ（登録管理機器）は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定ページは、無線 LAN のアクセスポイント/ルーターの種類により異なります。詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。

Windows Vista®、Windows® 7、または Windows® 8 パソコンをレジストラ（登録管理機器）として使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

9. 以下のどれかを行ってください。
 - (Windows Vista®)
 (スタート) > ネットワーク > ワイヤレス デバイスの追加をクリックします。
 - (Windows® 7)
 (スタート) > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。
 - (Windows® 8)
マウスポインタを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。



- Windows Vista®、Windows® 7、または Windows® 8 パソコンをレジストラ（登録管理機器）として使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの説明書を参照してください。
- Windows® 7 または Windows® 8 をレジストラ（登録管理機器）として使用する場合、以下の画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバーをインストールできます。プリンタードライバーとソフトウェアの完全なパッケージをインストールするには、インストーラ CD-ROM 上のインストーラを使用します。

10. 本製品を選択し、次へをクリックします。
11. 製品の液晶ディスプレイに表示された PIN を入力し、次へをクリックします。
12. お使いのネットワークを選択して、次へをクリックします。
13. 閉じるをクリックします。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、機器の操作に必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する
 - ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて
-

アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)

- 新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- 既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続 (アドホックモード)

新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する

新しい SSID を使用する場合、他のすべての機器は、割り当てられる SSID を使用して本製品に接続されます。アドホックモードに設定する場合は、お使いのパソコンからこの SSID に接続する必要があります。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線接続ウィザード] を選択し、OK を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[<New SSID>] を選択し、OK を押します。
7. SSID 名を入力し、OK を押します。
8. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[アドホック] を選択し、OK を押します。
9. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [なし] または [WEP] から選択し、OK を押します。
10. 暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを入力して、OK を押します。



複数の WEP キーを設定されている場合でも、本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

11. 設定を適用するには、[はい] を選択します。解除するには、[いいえ] を選択します。
12. 本製品は、選択された無線機器への接続を試みます。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows® の場合 :

無線 LAN のセットアップは完了しています。機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh® の場合 :

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)
- ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて

既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する

すでにアドホックモードであり、SSID が設定されているパソコンに本製品を組み合わせる場合、以下の指示に従います。

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 接続しているパソコンの現在の無線 LAN 設定を確認して、記録します。

 現在接続しているパソコンの無線 LAN は、SSID が設定されたアドホックモードに設定する必要があります。お使いのパソコンをアドホックモードに設定する方法の詳細については、パソコンの説明書を参照するか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ネットワーク名 (SSID)		

通信モード	暗号化モード	ネットワークキー
アドホック	なし	-
	WEP	

例：

ネットワーク名 (SSID)		
HELLO		

通信モード	暗号化モード	ネットワークキー
アドホック	WEP	12345

 本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

2. メニューを押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線接続ウィザード] を選択し、**OK** を押します。
6. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
7. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用したい SSID を選択します。
8. **OK** を押します。
9. WEP キーを入力し、**OK** を押します。
設定値を適用するには、[はい] を選択し、**OK** を押します。解除するには、[いいえ] を選択します。

 本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

10. 本製品は、選択された無線機器への接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。

 接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。

関連情報

- ・ アドホックモードで無線 LAN を設定する（IEEE 802.11b/g/n の場合）
 - ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて
-

本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 接続しているパソコンの現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

ネットワークキー

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

ネットワークキー
12345



- セットアップ中の操作に関してプリンターサポートデスクに問い合わせる際は、SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーをご準備ください。この情報に関してはお問い合わせいただいても回答できません。
- この情報（SSID およびネットワークキー）がわからない場合は、無線セットアップは設定できません。

この情報はどこに載っていますか？

- 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
- 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. メニューを押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線接続ウィザード] を選択し、OK を押します。
6. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
7. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用したい SSID を選択します。
8. OK を押します。
9. 以下のどれかを行ってください。
 - ネットワークキーを必要とする認証および暗号化方式を使用している場合、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。
WEP キーを入力し、OK を押して設定を適用します。
設定を適用するには、[はい] を選択します。解除するには、[いいえ] を選択します。
 - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
 - 使用している WLAN アクセスポイント/ルーターが WPS をサポートしている場合、[SSID は WPS 利用できます] が表示されます。自動無線モードを使用して本製品を接続するには、▲ を押します。（[いいえ] を

選択する場合、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。) [AP の WPS ボタンを押す] が表示されたら、WLAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押してから、▲を 2 回押します。

10. 本製品は、選択された無線機器への接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページの表示される **プリンタードライバーのインストール** をクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

- 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム	なし	-
		WEP	
	共有キー	WEP	
		WPA/WPA2-PSK	AES
TKIP (TKIP は WPA-PSK でのみサポートされています。)			

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678



お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

- メニューを押します。
- 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
- 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
- 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線接続モード] を選択し、OK を押します。
- [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、無線 LAN を有効にします。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
- 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[<New SSID>] を選択し、OK を押します。
- SSID 名を入力し、OK を押します。
- 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[インフラストラクチャ] を選択し、OK を押します。
- 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用する認証方式を選択し、OK を押します。
- 以下のどれかを行ってください。
 - [オープンシステム認証] を選択した場合、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [なし] または [WEP] から選択し、OK を押します。
暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを入力して、OK を押します。
 - [共有キー認証] を選択した場合、WEP キーを入力し、OK を押します。
 - [WPA/WPA2-PSK] を選択した場合、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [TKIP + AES] または [AES] から選択し OK を押します。
WPA キーを入力し、OK を押します。



本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

12. 設定を適用するには、[はい]を選択します。解除するには、[いいえ]を選択します。

13. 本製品は、選択された無線機器への接続を試みます。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、本製品のソフトウェアダウンロードページから、必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

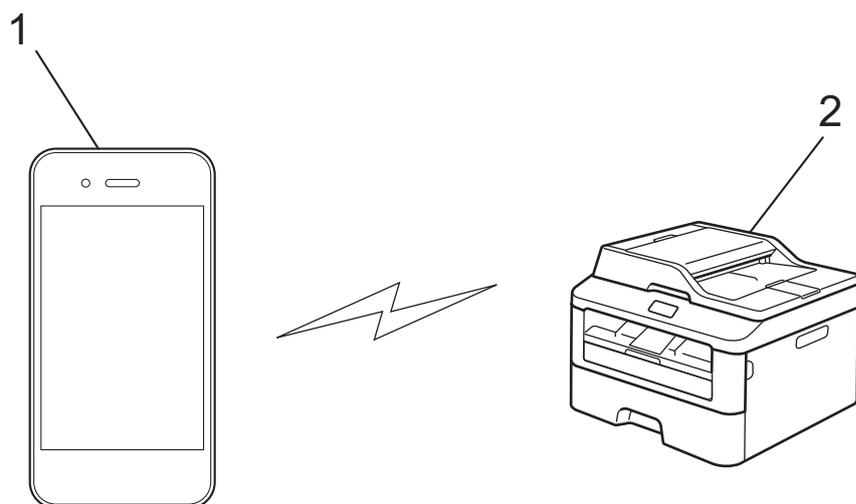
- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
- ・ [ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）](#)

Wi-Fi Direct の使用について

- [Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷またはスキャンについて](#)
- [Wi-Fi Direct の設定について](#)

Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷またはスキャンについて

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance[®]により開発された無線設定方法の一つです。これにより、アクセスポイントを使用しないで、Fuji Xerox 製品と、Android[™]機器、Windows[®] Phone、iPhone[®]、iPod touch[®]、または iPad[®]などの携帯端末との間に、安全な無線 LAN を設定することができます。Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Protected Setup[™] (WPS) のワンタッチまたは PIN 方式を使用した無線 LAN の設定をサポートしています。また、SSID とパスワードの手動設定、無線 LAN の設定も可能です。本製品の Wi-Fi Direct 機能は、AES 暗号化を使用する WPA2[™]をサポートしています。



1. 携帯端末
2. 本製品



- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のどちらのネットワークでも使用できますが、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct をサポートしている機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct を設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の使用について](#)

Wi-Fi Direct の設定について

製品の操作パネルから、Wi-Fi Direct の設定をします。

- [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)
- [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)

Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド

無線 LAN 環境で本製品を設定する方法を以下に示します。お使いの環境に合わせて下記関連情報から方法を選択してください。

設定する携帯端末を確認します。

1. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 2 に進みます。
いいえ	手順 3 に進みます。

2. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報をご覧ください ：ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する
いいえ	関連情報をご覧ください ：PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

3. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 4 に進みます。
いいえ	関連情報をご覧ください ：Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

4. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報をご覧ください ：ワンプッシュ方式および Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する
いいえ	関連情報をご覧ください ：Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)

ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[プッシュ 対応接続] を選択し、OK を押します。
5. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、Wi-Fi Direct を有効にします。
6. [相手側デバイス の Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK を押してください] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照）。製品の OK を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、クリアを押します。
7. 以下のどちらかを行ってください。
 - 本製品がグループオーナーの場合、お使いの携帯端末を本製品に直接接続します。
 - 本製品がグループオーナーではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、接続したい携帯端末を選択し、OK を押します。[リサーチ] を押して、利用可能な機器を再検索します。
8. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷、または携帯端末へのスキャンの詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、ご使用モデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

お使いの携帯端末が WPS (PBC: プッシュボタン設定) をサポートしている場合、以下の手順に従い Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[グループ オナー] を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[机] を選択し、**OK** を押します。
6. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[プッシュ ボタン接続] オプションを選択し、**OK** を押します。
7. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、Wi-Fi Direct を有効にします。
8. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK ボタンを押してください] が本製品の LCD に表示されたら、携帯端末の WPS ワンプッシュ設定方式を有効にします (有効化の手順については、お使いの携帯端末のユーザーズガイドを参照)。製品の **OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**クリア** を押します。
9. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷、または携帯端末へのスキャンの詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、ご使用モデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct の PIN 方式をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[PINコード 接続] を選択し、**OK** を押します。
5. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、Wi-Fi Direct を有効にします。
6. [相手側デバイスが Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK を押してください] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照）。製品の **OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**クリア** を押します。
7. 以下のどちらかを行ってください。
 - 本製品がグループオーナーの場合、携帯端末からの接続要求を待ちます。[PIN Code 入力] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を本製品に入力します。**OK** を押してセットアップを完了させます。
本製品に PIN が表示されたら、表示された PIN を携帯端末に入力します。
 - 本製品がグループオーナーではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、接続する携帯端末を選択し、**OK** を押します。[リスキャン] を押して、利用可能な機器を再検索します。
8. 以下のどちらかを行ってください。
 - 本製品の指示に従って本製品に PIN を表示し、表示された PIN を携帯端末に入力して、次の手順に進みます。
 - 本製品の指示に従って、携帯端末に表示された PIN を本製品に入力します。**OK** を押して、次の手順に進みます。
携帯端末に PIN が表示されない場合は、本製品の **停止/終了** を押します。最初の手順に戻って、もう一度実行します。
9. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷、または携帯端末へのスキャンの詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、ご使用モデルの **製品マニュアル** ページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

お使いの携帯端末で Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式がサポートされている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct 設定します。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[グループ オナー] を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[お] を選択し、**OK** を押します。
6. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[PINコード 接続] を選択し、**OK** を押します。
7. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、Wi-Fi Direct を有効にします。
8. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK お] を押してください] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の WPS PIN 設定方式を有効にします (有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照)。**OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**クリア** を押します。
9. 製品は携帯端末からの接続要求を待ちます。[PIN Code 入力] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を、製品に入力します。
10. **OK** を押します。
11. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷、または携帯端末へのスキャンの詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、ご使用モデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

お使いの携帯端末で、Wi-Fi Direct または WPS が未サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[手動接続] オプションを選択し、**OK** を押します。
5. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、Wi-Fi Direct を有効にします。
6. SSID 名とパスワードが本製品に 2 分間表示されます。携帯端末の無線 LAN 設定画面を開いて、SSID 名とパスワードを入力します。
7. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [接続しました] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷、または携帯端末へのスキャンの詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、ご使用モデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

高度なネットワーク機能について

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について

ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、現在のネットワーク設定が一覧表示されます。



- ノード名：ノード名は、ネットワーク設定レポートに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定レポートに表示される [IP Address] が 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です。
 - IP アドレス：192.0.2.5
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ノード名：BRN000ca0000499
 - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

1. **メニュー**を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [レポート印刷] を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク設定リスト] を選択し、**OK** を押します。
4. **スタート**を押します。



関連情報

- ・ [高度なネットワーク機能について](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定にアクセスする](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)
- ・ [BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す \(Windows® および Macintosh®\)](#)

ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP : Simple Network Time Protocol）は、本製品が認証に使用する時間と、SNTP タイムサーバーとの時刻を同期させます。（この時刻は、本製品の操作パネルに表示される時間とは異なります。）SNTP タイムサーバーを使用して、本製品の時刻と協定世界時（UTC: Coordinated Universal Time）を、自動または手動で同期させることができます。

- ウェブブラウザ設定を使用して日時を設定する
- ウェブブラウザ設定を使用して SNTP プロトコルを設定する

ウェブブラウザ設定を使用して日時を設定する

本製品が使用している時間と SNTP タイムサーバーを同期させます。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。
例：http://192.0.2.2
3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。
4. **基本設定**タブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの**時計設定**をクリックします。

時計設定

日付 / /

時間 : 24時間制

タイムゾーン

SNTPサーバーと同期する

本機能を使用するためには
SNTPサーバーの設定が必要です。

[SNTP>>](#)

[時計設定>>](#)

 **タイムゾーン**のドロップダウンリストから、現在地と UTC 間の時差を選択します。

6. **タイムゾーン**の設定値を確認します。
7. **SNTPサーバーと同期する**チェックボックスを選択します。
8. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について](#)

ウェブブラウザ設定を使用して SNTP プロトコルを設定する

製品が認証のために使用する時間と、SNTP タイムサーバーにより維持されている時間との同期がとれるように、SNTP プロトコルを設定します。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。
例：http://192.0.2.2
3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。
4. ネットワークタブをクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの **プロトコル** をクリックします。
6. **SNTP** チェックボックスを選択し、設定を有効にします。
7. SNTP チェックボックスの横にある **詳細設定** をクリックし、以下の指示に従います。

SNTP

状態	有効
同期状態	同期成功

SNTPサーバー設定の方法

プライマリ SNTPサーバーアドレス

プライマリ SNTPサーバーポート

セカンダリ SNTPサーバーアドレス

セカンダリ SNTPサーバーポート

同期間隔 時間

[時計設定>>](#)

オプション	説明
状態	SNTP プロトコルが有効または無効かを表示します。
SNTP サーバー設定の方法	AUTO または STATIC を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• AUTO お使いのネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合、SNTP サーバーは、そのサーバーから自動的にアドレスを入手します。• STATIC 使用したいアドレスをクリックします。
プライマリ SNTP サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します（最大 64 文字）。
セカンダリ SNTP サーバーアドレス	セカンダリ SNTP サーバーのアドレスは、プライマリ SNTP サーバーのアドレスのバックアップとして使用されます。プライマリサーバーが使用不可の場合、製品はセカンダリ SNTP サーバーにアクセスします。
プライマリ SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します（1~65535）

オプション	説明
セカンダリー SNTP サーバーポート	セカンダリ SNTP サーバーポートは、プライマリ SNTP サーバーポートのバックアップとして使用されます。プライマリポートが使用不可の場合、製品はセカンダリ SNTP ポートにアクセスします。
同期間隔	サーバーの同期処理の間隔を入力します（1～168 時間）。
同期状態	最新の同期状態を確認します。

8. **OK** をクリックします。

関連情報

- ・ [ウェブブラウザ設定を使用した、SNTP サーバーとの時間の同期について](#)

上級ユーザーのための技術的な情報について

- サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について
- Windows®からのネットワークの追加設定について
- 利用可能なサービス
- その他の IP アドレス設定方法について
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する

サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について

イーサネット

10Base-T/100Base-TX

無線 LAN

IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャモード/アドホックモード)、IEEE 802.11g/n (Wi-Fi Direct®)

プロトコル (IPv4)

ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA(Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client

プロトコル (IPv6)

NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/ Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client

ネットワークセキュリティ (有線)

SMTP-AUTH、SNMP v3

ネットワークセキュリティ (無線)

SMTP-AUTH、SNMP v3

無線 LAN セキュリティ

WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (AES)

無線認証

Wi-Fi Certification Mark License (WPA™/WPA2™ - Personal)、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) Identifier Mark License、AOSS™ Logo、Wi-Fi CERTIFIED Wi-Fi Direct®



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)

Windows®からのネットワークの追加設定について

- ネットワークの追加設定を行う前に
- ウェブサービスで印刷/スキャン用ドライバーをインストールする (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)
- ウェブサービスで印刷/スキャン用ドライバーをアンインストールする (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)
- Vertical Pairing の使用時に、インフラストラクチャモードの印刷/スキャン用ドライバーをインストールする (Windows® 7 および Windows® 8)
- Vertical Pairing の使用時に、Wi-Fi Direct の印刷に使用するドライバーをインストールする (Windows® 8.1)

ネットワークの追加設定を行う前に

以下のどちらかの機能を使用して、ネットワークの追加設定を行います。

- 印刷/スキャン用ウェブサービス (Windows Vista®、Windows® 7 および Windows® 8)
- Vertical Pairing (Windows® 7 および Windows® 8)

✓ 関連情報

- [Windows®からのネットワークの追加設定について](#)

ウェブサービスで印刷/スキャン用ドライバーをインストールする (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)

ウェブサービスを使用してネットワーク上のプリンターを監視します。

- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
 - 設定を行う前に、本製品上で IP アドレスを設定する必要があります。
 - Windows Server® 2008、Windows Server® 2012 および Windows Server® 2012 R2 の場合、プリントサービスをインストールする必要があります。
1. 付属の CD-ROM を挿入します。
 2. エクスプローラーを開いて、お使いの CD-ROM ドライブに移動し、**install > driver > gdi > 32_64** を選択します。
 3. **dpinstx64.exe** または **dpinstx86.exe** をダブルクリックします。



- 32 ビットのパソコンを使用している場合、dpinstx86.exe を選択します。
- 64 ビットのパソコンを使用している場合、dpinstx64.exe を選択します。

4. ユーザー アカウント制御画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)
許可をクリックします。
- (Windows® 7/Windows® 8)
はいをクリックします。

5. 以下のどれかを行ってください。

- (Windows Vista®)



(スタート) > ネットワークをクリックします。

本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。
インストールする製品を右クリックします。

- (Windows® 7)



(スタート) > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークのパソコンとデバイスの表示をクリックします。

本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。
インストールする製品を右クリックします。

- (Windows® 8)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > PC 設定の変更 > デバイス > デバイスを追加する**をクリックします。

本製品のウェブサービス名が表示されます。

- (Windows® 8.1)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > PC 設定の変更 > PC とデバイス > デバイス > デバイスを追加する**をクリックします。

本製品のウェブサービス名が表示されます。



- 本製品のウェブサービス名は、本製品のモデル名および MAC アドレス（イーサネットアドレス）です（例：FX DocuPrint M260 z（モデル名）[XXXXXXXXXXXX]（MAC アドレス/イーサネットアドレス））。
- （Windows® 8）
製品名にマウスのポインタを移動して、本製品の情報を表示します。

6. 以下のどちらかを行ってください。

- （Windows Vista®および Windows® 7）
本製品のドロップダウンメニューでインストールをクリックします。
- （Windows® 8）
インストールする製品を選択します。



関連情報

- [Windows®からのネットワークの追加設定について](#)

ウェブサービスで印刷/スキャン用ドライバーをアンインストールする (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)

- 以下のどれかを行ってください。
 - (Windows Vista®)
 (スタート) > ネットワークをクリックします。
 - (Windows® 7)
 (スタート) > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークのパソコンとデバイスの表示をクリックします。
 - (Windows® 8)
マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **PC 設定の変更** > **デバイス**をクリックします。
 - (Windows® 8.1)
マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **PC 設定の変更** > **PC とデバイス** > **デバイス**をクリックします。
- 以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®および Windows® 7)
本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。アンインストールする製品を右クリックします。
 - (Windows® 8)
本製品のウェブサービス名が表示されます。アンインストールする製品を選択し、 (**デバイスの削除**) をクリックします。
- 以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®および Windows® 7)
本製品のドロップダウンメニューで**アンインストール**をクリックします。
 - (Windows® 8)
ダイアログボックスが表示されたら、画面の指示に従います。

関連情報

- ・ [Windows®からのネットワークの追加設定について](#)

Vertical Pairing の使用時に、インフラストラクチャモードの印刷/スキャン用ドライバーをインストールする (Windows® 7 および Windows® 8)

Windows® Vertical Pairing は、Vertical Pairing に対応した無線機器をインフラストラクチャネットワークに接続する技術で、この接続には WPS の PIN 方式とウェブサービス機能が使用されます。**デバイスの追加画面**で、多機能プリンターアイコンから、プリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールできます。インフラストラクチャモードで、お使いの製品を無線 LAN に接続し、この機能を使用してプリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールできます。

- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
 - 本製品のウェブサービス機能を無効にしている場合、ウェブサービスチェックボックスを選択して、**OK** をクリックし、この機能を再び有効にします。本製品のウェブサービスのデフォルト設定が有効になります。ウェブサービスの設定は、ウェブブラウザ設定を使用して変更できます。
 - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターに、Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、アクセスポイント/ルーターの製造業者にお問い合わせください。
 - お使いのパソコンに、Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、パソコンの製造業者にお問い合わせください。
 - 外部の無線 LAN インターフェースカード (NIC) を使用して無線 LAN を設定している場合、無線 NIC に Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。詳細については、無線 NIC の製造業者にお問い合わせください。
 - Windows® 7 または Windows® 8 パソコンをレジストラ (登録管理機器) として使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。
1. 本製品の電源を入れます。
 2. 本製品を WPS モード (PIN 方式) に設定します。
 3. 以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows® 7)
 (スタート) > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。
 - (Windows® 8)
マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** > **コントロールパネル** > **ハードウェアとサウンド** > **デバイスとプリンター** > **デバイスの追加** をクリックします。
 4. 本製品を選択し、PIN を入力します。
 5. 接続先のインフラストラクチャネットワークを選択し、**次へ** をクリックします。
 6. **デバイスとプリンター** のダイアログボックスに本製品が表示されると、無線設定とプリンタードライバーのインストールは完了しています。

✓ 関連情報

- [Windows®からのネットワークの追加設定について](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)

Vertical Pairing の使用時に、Wi-Fi Direct の印刷に使用するドライバーをインストールする (Windows® 8.1)

Windows® 8.1 では、Vertical Pairing に対応した無線機器を、Wi-Fi Direct に接続することができます。この接続には WPS のワンタッチまたは PIN 方式とウェブサービス機能が使用されます。**デバイスの追加**画面でプリンターアイコンから、プリンタードライバーをインストールできます。本製品を Wi-Fi Direct に接続し、この機能を使用してプリンタードライバーをインストールすることができます。本製品は Windows® 8.1 に対応した Vertical Pairing の Persistent Group 機能もサポートしています。

- 本製品のウェブサービス機能を無効にしている場合、ウェブサービスチェックボックスを選択して、**OK** をクリックし、この機能を再び有効にします。本製品のウェブサービスのデフォルト設定が有効になります。ウェブサービスの設定は、ウェブブラウザ設定を使用して変更できます。
 - お使いのパソコンに、Windows® 8.1 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、パソコンの製造業者にお問い合わせください。
 - 外部の無線 LAN インターフェースカード (NIC) を使用して無線 LAN を設定している場合、無線 NIC に Windows® 8.1 の互換ロゴがあることを確認してください。詳細については、無線 NIC の製造業者にお問い合わせください。
1. 本製品の電源を入れます。
 2. 本製品の Wi-Fi Direct 機能を有効にします。
 3. マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加**をクリックします。
 4. 本製品を選択します。



お使いのパソコンに WPS PIN の入力を要求するダイアログボックスが表示された場合は、本製品の液晶ディスプレイに表示される PIN を入力し、**次へ**をクリックします。

5. 本製品の Wi-Fi Direct プッシュボタンメニューを選択します。
6. **デバイスとプリンター**ダイアログボックスに本製品が表示されると、無線設定とプリンタードライバーのインストールは完了しています。



関連情報

- ・ [Windows®からのネットワークの追加設定について](#)

利用可能なサービス

サービス (例)	定義
BINARY_P1	TCP/IP バイナリ
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス (改行ごとにキャリッジリターンを追加)
PCL_P1	PCL サービス (P/L 互換製品を PCL モードに変換)
BRNxxxxxxxxxxxx ¹	TCP/IP バイナリ

¹ "xxxxxxxxxxxx"の部分がお使いの製品の MAC アドレス (イーサネットアドレス) です。

✓ 関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)

その他の IP アドレス設定方法について

- DHCP を使用した IP アドレスの設定について
- BOOTP を使用した IP アドレスの設定について
- RARP を使用した IP アドレスの設定について
- APIPA を使用した IP アドレスの設定について
- ARP を使って IP アドレスを設定する

DHCP を使用した IP アドレスの設定について

動的ホスト構成プロトコル (DHCP : Dynamic Host Configuration Protocol) は、IP アドレスの割り当て機能の一つです。お使いのネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合、プリントサーバーは DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得し、名前を RFC 1001 および 1002 に準拠した動的な名前サービスのどちらかに登録します。



DHCP を介してプリントサーバーの設定を行わない場合は、IP 取得方法を (手動 (Static (固定))) に設定してください。こうすることで、プリントサーバーは自動的に IP アドレスを入手できなくなります。

IP 取得方法を変更するには、操作パネルの [ネットワーク] メニュー、BRAdmin アプリケーション、リモートセットアップ、またはウェブブラウザ設定を使用します。



関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

BOOTP を使用した IP アドレスの設定について

Bootstrap プロトコル (BOOTP) を使用して IP アドレスを設定する前に、本製品の IP 取得方法を必ず BOOTP に設定してください。IP 取得方法を変更するには、本製品の操作パネルの [ネットワーク] メニュー、BRAdmin アプリケーション、またはリモートセットアップを使用します。

BOOTP は、逆アドレス解決プロトコル (RARP : Reverse Address Resolution Protocol) の代替プロトコルで、サブネットマスクとゲートウェイの設定を可能にする利点があります。BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、お使いのホストパソコン (ホストの [/etc/services] ファイルに、実際のサービスとして現れます。[man bootpd] と入力するか、お使いのシステムの説明書を参照してください) に BOOTP がインストールされ、動作している必要があります。BOOTP は通常、 [/etc/inetd.conf] ファイルを介して起動されるため、そのファイル内の bootp エントリーの前にある「#」を削除して、BOOTP を有効にする必要があります。例えば、/etc/inetd.conf ファイルの一般的な bootp エントリーは、次のようになります。

```
[#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i]
```

このエントリーは、システムによっては、「bootp」ではなく「bootps」と呼ばれることもあります。



BOOTP を有効にするには、エディターを使用して「#」を削除します (「#」がない場合は、BOOTP は有効化済みです)。次に、BOOTP 設定ファイル (通常、 [/etc/bootptab]) を編集し、名前、ネットワークタイプ (イーサネットの場合、1)、MAC アドレス (イーサネットアドレス) と IP アドレス、およびプリントサーバーのサブネットマスクとゲートウェイを入力します。ただし、この入力のためのフォーマットは標準化されていないため、お使いのシステムの説明書を参照してこれら情報の入力方法を確認する必要があります (UNIX® システムの多くは、参照として使える bootptab ファイルにテンプレートの例を掲載しています)。一般的な [/etc/bootptab] エントリーの例を、以下に示します : (無線 LAN の場合は、「BRN」の部分に「BRW」にします)。

```
[BRN310107 1 00:80:77:31:01:07 192.0.2.2]
```

および

```
[BRN310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\ip=192.0.2.2:]
```

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに回答しないことがあります。そのような場合は、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイルの内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本製品の電源を入れると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。



関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

RARP を使用した IP アドレスの設定について

逆アドレス解決プロトコル（RARP : Reverse Address Resolution Protocol）を使用して IP アドレスを設定する前に、本製品の IP 取得方法を必ず RARP に設定してください。IP 取得方法を変更するには、本製品の操作パネル、BRAdmin アプリケーション、リモートセットアップ、またはウェブブラウザ設定を使用します。

本製品のプリントサーバーの IP アドレスは、お使いのホストパソコンの RARP 機能を使用して設定できます。これは、以下の類似したエントリーを含む [/etc/ethers] ファイル（このファイルが存在しない場合は、作成可能）を編集します。

```
[00:80:77:31:01:07 BRN008077310107]（無線 LAN の場合、[BRW008077310107]）
```

最初のエントリーはプリントサーバーの MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリーはプリントサーバーのノード名です。（この名前は、[/etc/hosts] ファイルに入力した名前と一致する必要があります。）

RARP デーモンがまだ動作していない場合は、起動させます（コマンドはシステムによって異なり、rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a、またはその他のコマンドとなります。[man rarpd] を入力するか、システムの説明書を参照してください）。RARP デーモンが Berkeley UNIX® ベースの環境で動作していることを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
[ps -ax | grep -v grep | grep rarpd]
```

AT&T UNIX® ベースのシステムの場合、以下を入力します。

```
[ps -ef | grep -v grep | grep rarpd]
```

本製品の電源を入れると、RARP デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

✓ 関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

APIPA を使用した IP アドレスの設定について

本製品のプリントサーバーは、自動プライベート IP アドレス設定（APIPA）プロトコルをサポートしています。DHCP サーバーが利用できない場合、DHCP クライアントは APIPA を使用して、IP アドレスとサブネットマスクを自動的に設定します。本機器は自身の IP アドレスを、169.254.1.0 から 169.254.254.255 の範囲で選択します。サブネットマスクは 255.255.0.0 に、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に、自動的に設定されます。

デフォルトでは、APIPA プロトコルは有効になっています。APIPA プロトコルを無効にするには、本製品の操作パネル、BRAdmin アプリケーション、またはウェブブラウザ設定を使用します。

✓ 関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)

ARP を使って IP アドレスを設定する

BRAdmin Light およびネットワーク上で DHCP サーバーが利用できない場合は、アドレス解決プロトコル (ARP : Address Resolution Protocol) コマンドを利用して、IP アドレスを設定することができます。ARP コマンドは、TCP/IP プロトコルがインストールされている Windows®システムおよび、UNIX®システムで利用できません。ARP を使用するには、以下のコマンドを入力します。

```
[arp -s ipaddress ethernetaddress]
```

```
[ipaddress]
```

[ethernetaddress]はプリントサーバーの MAC アドレス (イーサネットアドレス)、および [ipaddress]はプリントサーバーの IP アドレスです。

例 :

Windows®システム

Windows®システムでは、MAC アドレス (イーサネットアドレス) は、2 桁ずつハイフン (ダッシュ) 「-」記号が必要です。

```
[arp -s 192.0.2.2 00-80-77-31-01-07]
```

```
[ping 192.0.2.2]
```

UNIX®/Linux システム

通常、UNIX®および Linux システムでは、MAC アドレス (イーサネットアドレス) は、2 桁ずつコロン 「:」記号が必要です。

```
[arp -s 192.0.2.2 00:80:77:31:01:07]
```

```
[ping 192.0.2.2]
```



ARP コマンドを使用するには、ユーザーが同一のイーサネットセグメント上に存在する必要があります。プリントサーバーと OS の間にルーターを置くことはできません。

ルーターが存在する場合、BOOTP などの方法を使用して IP アドレスを設定してください。管理者が BOOTP、DHCP、または RARP を使用して IP アドレスを配信するようシステムを設定している場合、本製品のプリントサーバーは、これら IP アドレス配布サーバーのどれかより IP アドレスを受け入れることができるため、ユーザーは ARP コマンドを使用する必要はありません。ARP コマンドは一度しか使用できません。セキュリティの理由から、ARP コマンドを使用して本製品のプリントサーバーの IP アドレスを正常に設定した場合、ARP コマンドを再度使用してこのアドレスを変更することはできません。プリントサーバーは、この場合の ARP コマンドをすべて無視します。IP アドレスを再度変更するには、ウェブブラウザ設定 TELNET (SET IP ADDRESS コマンド使用) を使用します。または、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻してください。

✓ 関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [DHCP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [BOOTP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [RARP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の状態にリセットします。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。



- すべての有線 LAN および無線 LAN の設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- BRAdmin Light、またはウェブブラウザ設定を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク設定リセット] を表示し、**OK** を押します。
4. 製品の指示に従って、ネットワークの設定をリセットします。
製品が再起動します。



関連情報

- [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)
- [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)
- [BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す \(Windows® および Macintosh®\)](#)

WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が反映されます。無線接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [レポート印刷] を表示し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN レポート] を選択し、OK を押します。
4. スタートを押します。

製品は WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷します。



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

無線 LAN レポートのエラーコードについて

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線設定が有効になっていません。無線設定をオンにします。 ネットワークケーブルが本製品に接続されている場合、接続を外し、本製品の無線設定をオンにします。
TS-02	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 1. 以下の 4 つの内容を確認します。 <ul style="list-style-type: none">無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源が入っていることを確認する。本製品を障害物のない場所に移動させるか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに近づける。本製品を一時的に、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの 1 メートル以内に置き、無線の設定を行う。お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが MAC アドレスフィルターを使用している場合、本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されているか確認する。 2. SSID とセキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) を手動で入力した場合、入力された情報が誤っている可能性があります。 SSID とセキュリティ情報を確認して、必要に応じて正しい情報を入力します。
TS-04	選択された無線 LAN アクセスポイント/ルーターが使用している認証/暗号化方式を、本製品がサポートしていません。 インフラストラクチャモードの場合、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの認証および暗号化方式を変更します。本製品は、以下の認証方式をサポートしています。 <ul style="list-style-type: none">WPA-Personal TKIP または AESWPA2-Personal AESOpen WEP または None (暗号化なし)共有キー WEP 問題が解決しない場合は、入力した SSID またはネットワーク設定が誤っている可能性があります。無線 LAN 設定を確認してください。 アドホックモードの場合、無線設定に合わせて、お使いのパソコンの認証および暗号化方式を変更します。本製品はオープン認証方式のみをサポートし、WEP 暗号化は任意で使用されます。
TS-05	セキュリティ情報 (SSID/ネットワークキー) に誤りがあります。 SSID およびネットワークキーを確認してください。お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。
TS-06	無線セキュリティ情報 (認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) に誤りがあります。 TS-04 に示した無線セキュリティ情報 (認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) を確認してください。お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。
TS-07	本製品は、WPS または AOSS™ が有効になっている無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 WPS または AOSS™ を使用して無線設定を行う場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント/ルーターの両方を設定する必要があります。お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが、WPS または AOSS™ をサポートしていることを確認して、再起動してください。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
	WPS または AOSS™ を使用して無線 LAN アクセスポイント/ルーターを操作する方法が分からない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照するか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造元、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
TS-08	<p>WPS または AOSS™ が有効になっている無線 LAN アクセスポイントが 2 個以上検出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範囲内で 1 個の無線 LAN アクセスポイント/ルーターのみで WPS または AOSS™ 方式がアクティブであることを確認して、再実行してください。 ・ 他のアクセスポイントからの干渉を避けるために、数分待ってから再起動してください。

✓ 関連情報

- ・ WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する
- ・ WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について
- ・ Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法
- ・ 既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ・ 新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ・ 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- ・ SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する

トラブルシューティング

本製品をご使用の際に起こり得る一般的なネットワークの問題は、本章を参照して解決してください。

- [問題解決のための事前トラブルシューティングについて](#)
- [問題の特定と解決について](#)

問題解決のための事前トラブルシューティングについて

本製品の使用時にネットワークに問題が発生した場合、トラブルシューティングの章を参照する前に、確認する事項があります。

以下の事項を必ず確認してください。

- 電源コードが正しく接続され、本製品がオンの状態である。
- アクセスポイント（無線の場合）、ルーター、またはハブがオンの状態で、リンクボタンが点滅している。
- テープや保護材などの保護包装は、本製品からすべて取り除かれている。
- トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しく取り付けられている。
- 上部と後部のカバーが完全に閉まっている。
- 標準トレイに用紙が正しくセットされている。
- （有線ネットワークの場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに接続されている。

上記事項のをすべて確認しても問題が解決しない場合は、弊社公式サイトを参照してください。

他のマニュアルをダウンロードするには、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのページで**製品マニュアル**ボタンをクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [トラブルシューティング](#)

問題の特定と解決について

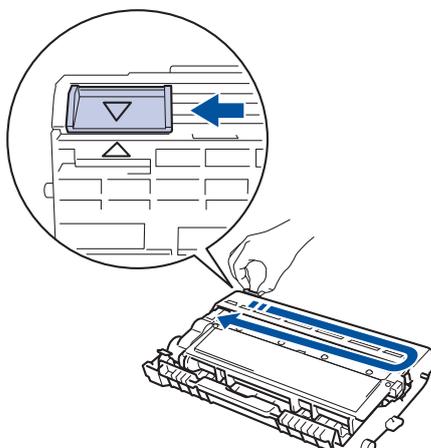
- エラーとメンテナンスのメッセージ
- 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？
- 無線 LAN 設定を完了できません。
- プリンタードライバーのインストールで、本製品がネットワーク上に見つかりません。
- ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX 受信ができません。
- インストールが正常に完了しても、本製品がネットワーク上に表示されません。
- セキュリティ設定が正常に機能しません。
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

エラーとメンテナンスのメッセージ

エラーとメンテナンスのメッセージが表示されます。最も一般的なエラーとメンテナンスのメッセージを表に記載します。

「対応」欄の指示に従って対応します。

エラーメッセージ	原因	対応
両面印刷できません	製品のバックカバーが完全に閉じられていません。	バックカバーが閉位置でロックされるまで閉じてください。
	両面トレイが完全に取り付けられていません。	両面トレイを本製品にしっかりと取り付けます。
トナーが確認できません トナーを入れ直してください。	トナーカートリッジが正しく取り付けられていません。	ドラムカートリッジとトナーカートリッジ部を引き出し、トナーカートリッジを一度取り出してから、ドラムカートリッジに戻します。ドラムカートリッジとトナーカートリッジ部を、本製品に再び取り付けます。 問題が解決しない場合は、プリンターサポートデスクまたは、お近くの販売店にお問い合わせください。
通信エラー	電話回線の品質が悪いため、通信エラーが発生しました。	ファクスを再送するか、他の電話回線に本製品を接続します。問題が解決しない場合は、電話会社にお問い合わせで、お使いの電話回線を調べてもらいます。
しばらくお待ちください。	本製品内部の温度が高すぎます。本製品は現在の印刷ジョブを一時停止して、冷却モードに入ります。冷却モードの間は、冷却ファンの動作音が聞こえ、液晶ディスプレイに「しばらくお待ちください。」と表示されます。	製品内部のファンの回転音が聞こえ、排気が障害物によりブロックされていないことを確認してください。 ファンが回転している場合、排気部の周囲にある障害物を取り除きます。製品の電源は入れたままにして、数分間は操作しないでください。 ファンが回転していない場合、製品の電源を切り、数分待ってから再び電源を入れます。
カバーが開いています	フロントカバーが完全に閉じていません。	製品のフロントカバーをいったん開けてから、しっかりと閉じます。
	定着カバーが完全に閉じていないか、電源オン時に製品の後部で紙詰まりが発生しました。	製品のバックカバーの内側にある定着カバーを閉じます。
	ADF（自動原稿送り装置）カバーが完全に閉じていません。	製品のADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じます。 エラーメッセージが消えない場合は、 停止/終了 を押します。
切断されました	送信相手、または送信対象ファクス機が呼び出しを停止しました。	再度送信または受信を行います。 呼び出しが繰り返して停止されるか、VoIP（ボイスオーバーIP）システムを使用している場合、互換性を基本（VoIP用）に変更します。
原稿詰まり ADF	原稿が正しく挿入されなかったまたは送り込まれなかったか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンした原稿が長すぎます。	ADF（自動原稿送り装置）から詰まっている用紙を取り除きます。 ADF（自動原稿送り装置）の用紙経路から、小片やごみを取り除きます。 停止/終了 を押します。

エラーメッセージ	原因	対応
まもなくドラム交換	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。	[ドラム交換]メッセージが表示される前に、新しいドラムカートリッジを注文してください。
ドラム お手入れ	ドラムカートリッジのコロナワイヤを清掃する必要があります。	ドラムカートリッジのコロナワイヤを清掃します。 
	ドラムカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムカートリッジ部が正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジをドラムカートリッジに入れます。次に、トナーカートリッジとドラムカートリッジ部を、本製品に再び取り付けます。
紙詰まり 両面	両面用紙トレイで紙詰まりが発生しています。	標準トレイと両面トレイを完全に引き出し、バックカバーを開けて詰まっている用紙を取り除きます。バックカバーを閉じ、標準トレイと両面トレイを製品にしっかりと戻します。
紙詰まり 内部	製品内部で紙詰まりが発生しています。	フロントカバーを開けて、トナーカートリッジとドラムカートリッジ部を取り外します。詰まっている用紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。エラーメッセージが消えない場合は、 スタート を押します。
紙詰まり 後ろ	製品の後部で紙詰まりが発生しています。	定着カバーを開けて、詰まっている用紙を取り除きます。定着カバーを閉じます。エラーメッセージが消えない場合は、 スタート を押します。
紙詰まり トレイ	標準トレイで紙詰まりが発生しています。	標準トレイを完全に引き出して、詰まっている用紙を取り除きます。標準トレイを本製品の後部にしっかりと戻します。
手差し印刷	手差しスロットに用紙がない場合の用紙の補給方法として、プリンタードライバーで 手差し が選択されました。	手差しスロットに用紙をセットします。
用紙を送れません	用紙切れが発生しているか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> 用紙トレイに用紙をセットし直します。用紙ガイドが適切なサイズに設定されているか確認します。 用紙を取り出してから、再びセットします。用紙ガイドが適切なサイズに設定されているか確認します。 標準トレイに用紙を入れすぎていないか確認します。
話し中/応答がありません	ダイヤルした番号は、応答がないか通話中です。	番号を確認してかけ直します。

エラーメッセージ	原因	対応
トナーがセットされていません フロントカバーを開けて、トナーを取り付けてください。	トナーカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムカートリッジ部が正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外します。ドラムカートリッジからトナーカートリッジをいったん取り外し、ドラムカートリッジに戻します。トナーカートリッジとドラムカートリッジを、本製品に再び取り付けます。問題が解決しない場合は、新しいトナーカートリッジに交換します。
メモリがいっぱいです	メモリーが一杯です。	ファクス送信またはコピーが実行中の場合 以下のどちらかを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スタートを押して、スキャンしたページを送信またはコピーします。 ・ 停止/終了を押して、他の実行中の操作が終了するのを待ってから、再度実行します。 ・ メモリー内のファクスを印刷します。 ・ メモリー内のデータを消去します。空きメモリーを増やすには、メモリー受信をオフにします。 印刷操作が実行中の場合 以下のどちらかを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷解像度を低くします。 ・ メモリーからファクスを消去します。
印刷できません XX	本製品に機械的な問題があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・  を長押しして製品の電源を切り、数分待ってから、再び電源を入れます。 ・ 問題が解決しない場合は、プリンターサポートデスクにお問い合わせください。
ドラム交換	ドラムカートリッジの交換時期です。	ドラムカートリッジを交換します。
	新しいドラムの取り付け時に、ドラムカートリッジのカウンターがリセットされませんでした。	ドラムカートリッジのカウンターをリセットします。
トナー交換	トナーカートリッジの寿命です。本製品は、すべての印刷操作を停止します。 メモリーに空きがある場合は、ファクスはメモリーに保存されます。	新しいトナーカートリッジに交換します。
正しく読み取れません	本製品に機械的な問題があります。	<ul style="list-style-type: none"> ・  を長押しして製品の電源を切り、再び電源を入れます。 ・ 問題が解決しない場合は、プリンターサポートデスクにお問い合わせください。
ヒーター確認中	定着ユニットの温度が、指定時間内に指定温度まで上昇しません。	<ul style="list-style-type: none"> ・  を長押しして製品の電源を切り、数秒待ってから、再び電源を入れます。製品の電源を入れたまま、15分間アイドル状態にします。
	定着ユニットの温度が高すぎます。	

エラーメッセージ	原因	対応
用紙サイズ間違い DX	プリンタードライバーに指定した原稿サイズおよび本製品のメニューは、自動両面印刷には利用できません。	停止/終了 を押します。両面印刷に対応している原稿サイズを選択します。自動両面印刷で利用できる原稿サイズは、A4 です。
	トレイにセットされた用紙が適切なサイズではないか、自動両面印刷に利用できません。	適切なサイズの用紙をトレイにセットして、セットした原稿サイズに合わせてトレイを設定します。自動両面印刷で利用できる原稿サイズは、A4 です。
用紙サイズが合いません	トレイの用紙が適切なサイズではありません。	適切なサイズの用紙をトレイにセットして、セットした原稿サイズに合わせてトレイを設定します。
トナー停止	トナーカートリッジの寿命です。本製品は、すべての印刷操作を停止します。	新しいトナーカートリッジに交換します。
まもなくトナー交換	液晶ディスプレイにこのメッセージが表示された場合でも印刷は可能です。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	新しいトナーカートリッジを注文して、液晶ディスプレイにトナー交換と表示された時に交換できるように備えておきます。

✓ 関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？

以下のどれかの方法を使用して、IP アドレス、デフォルトゲートウェイなど、本製品のネットワーク設定を確認してください。

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する
- BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す（Windows®および Macintosh®）

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

無線 LAN 設定を完了できません。

お使いの無線ルーターの電源を一度オフにしてから、オンに戻します。無線設定をもう一度します。問題が解決しない場合は、以下の指示に従ってください。

WLAN レポート（無線 LAN レポート）に原因が表示されますので、確認し問題を調査します。

原因	対応	インターフェース
セキュリティ設定（SSID/ネットワークキー）に誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 正しいセキュリティ設定値を選択していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ設定の表示方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造者名またはモデル番号が、デフォルトのセキュリティ設定値として使用されている場合があります。 アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に問い合わせてください。 SSID およびネットワークキーの定義については、用語集の SSID、ネットワークキー、およびチャンネルの項目を参照してください。 	無線
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスが、フィルタで許可されていることを確認します。本製品の操作パネルで、MAC アドレスを確認できます。	無線
無線 LAN アクセスポイント/ルーターがステルスモードです（SSID の同報送信ではありません）。	<ul style="list-style-type: none"> 正しい SSID 名またはネットワークキーを手動で入力します。 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID 名またはネットワークキーを確認し、無線 LAN を再設定します。 	無線
セキュリティ設定（SSID/パスワード）に誤りがあります。	<ul style="list-style-type: none"> SSID およびパスワードを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークを手動で設定する場合、SSID とパスワードは本製品に表示されます。お使いの携帯端末が手動設定をサポートしている場合、SSID とパスワードは携帯端末の画面に表示されます。 SSID の定義については、用語集をご覧ください。 	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0. を使用しています。	携帯端末の接続が切断された場合（Wi-Fi Direct を使用してから約 6 分後）、WPS（推奨）を使ったワンプッシュ設定を試み、本製品をグループオーナーとして設定してください。	Wi-Fi Direct
本製品がお使いの携帯端末から離れ過ぎています。	本製品を携帯端末の約 1 メートル以内に近づけて、Wi-Fi Direct ネットワークの設定を行います。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末との間に何らかの障害物（壁や家具など）があります。	携帯端末を、障害物のない場所に移動します。	Wi-Fi Direct
本製品または携帯端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動します。	Wi-Fi Direct
上記の対策すべてを試しても Wi-Fi Direct の設定が完了できない場合は、右記の対応を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> 本製品の電源を一度オフにしてから、オンに戻します。Wi-Fi Direct 設定をもう一度行ないます。 本製品をクライアントとして使用している場合、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで許可されている機器の数と、接続されている機器の数を確認します。 	Wi-Fi Direct

✓ 関連情報

- 問題の特定と解決について

プリンタードライバーのインストールで、本製品がネットワーク上に見つかりません。

原因	対応	インターフェイス
お使いのパソコンがネットワークに正しく接続されていません。	お使いのパソコンが、LAN 環境またはインターネットサービスなど、ネットワークに接続されていることを確認します。ネットワークの問題についてサポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	有線/ 無線
	LAN ケーブルをハブに再接続して、配線とネットワーク接続が正常であることを確認します。可能であれば、別のケーブルを使用して、使用しているハブの異なるポートへ本製品を接続してみます。	有線
本製品がネットワークに正しく接続されていないか、本製品の IP アドレスが無効です。	ネットワーク設定リストを印刷して、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。 Link OK が表示されない場合は、以下の操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 有線または無線の設定が、有効となっていることを確認します。リストの上部にあるこの設定を確認します。 IP アドレスが有効か、ネットワーク管理者に問い合わせます。 使用している WLAN アクセスポイント/ルーターが利用可能であることを確認します。 	有線/ 無線
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	<ul style="list-style-type: none"> インストーラのダイアログボックスで、本製品を検索するオプションを再度選択します。 プリンタードライバーのインストール時にセキュリティソフトウェアの警告メッセージが表示された場合のアクセスを許可します。 (Macintosh®) スパイウェア対策またはウィルス対策セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、一時的にその機能を無効にして、ソフトウェアをインストールします。 	有線/ 無線
本製品の設置場所が、無線 LAN アクセスポイント/ルーターから離れすぎています。	無線 LAN を設定する場合は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターから 1 メートル以内に本製品を置きます。	無線
本製品と無線 LAN アクセスポイント/ルーターとの間に障害物（壁や家具など）があります。	本製品を、障害物のない場所に移動します。	無線
本製品または無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに、無線パソコン、Bluetooth 機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動させます。	無線

✓ 関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

ネットワーク経由の印刷、スキャン、または PC-FAX 受信ができません。

原因	対応	インターフェース
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。(ネットワークスキャン機能が動作していません。)	<ul style="list-style-type: none"> • (Windows®) ネットワークスキャンを許可するよう、サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワークスキャンにポート 54925 を追加するには、以下の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - 名前: Fuji XeroxNetScan などを入力します。 - ポート番号: 54925 を入力します。 - プロトコル: UDP が選択されます。 サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。 • (Macintosh®) モデルのポップアップメニューをクリックし、その他を選択します。デバイスセレクターウィンドウが表示されます。お使いのネットワーク製品を再度選択し、状態が待機中になっていることを確認してから、OK をクリックします。 	有線/無線
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。(ネットワーク PC-Fax 受信機能が動作していません。) (Windows®)	<p>PC-FAX 受信を許可するよう、サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールソフトウェアの設定を行ってください。ネットワーク PC-FAX 受信にポート 54926 を追加するには、以下の情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前: PC-FAX Rx などを入力します。 • ポート番号: 54926 を入力します。 • プロトコル: UDP が選択されます。 <p>サードパーティのセキュリティ/ファイアウォールのソフトウェアに添付された説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。</p>	有線/無線
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	<p>インストールが正常に完了した場合でも、セキュリティソフトが警告を出さずにアクセスをブロックしている場合があります。</p> <p>アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。</p>	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 <p>お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがどれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。</p> <p>IP アドレスとサブネットマスクの確認方法に関する詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>	有線/無線
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	<ul style="list-style-type: none"> • 失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 • もしくは、以下のフォルダーにあるプリンターアイコンをダブルクリックして、すべてのドキュメントをキャンセルします。 <ul style="list-style-type: none"> - (Windows Vista®)  (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。 	有線/無線

原因	対応	インターフェース
	<ul style="list-style-type: none"> - (Windows® 7)  (スタート) > デバイスとプリンター > プリンターと FAX をクリックします。 - (Windows® 8) マウスポインタをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンドグループで デバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 - (Windows Server® 2008) スタート > コントロール パネル > プリントをクリックします。 - (Windows Server® 2012) マウスポインタをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアグループでデバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 - (Windows Server® 2012 R2) コントロール パネル画面でスタートをクリックします。ハードウェアグループでデバイスとプリンターの表示をクリックします。 - OS X® v10.7.5、10.8.x システム環境設定 > プリントとスキャンをクリックします。 - OS X® v10.9.x システム環境設定 > プリントとスキャナをクリックします。 	
本製品は無線 LAN に接続されていません。	WLAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて行っても、本製品で印刷やスキャンができない場合は、ドライバーをアンインストールしてから、再インストールします。

✓ 関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

インストールが正常に完了しても、本製品がネットワーク上に表示されません。

原因	対応	インターフェース
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	インストールが正常に完了した場合でも、セキュリティソフトが警告を出さずにアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造元に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	<ul style="list-style-type: none">IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがどちらも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクの確認方法の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	有線/無線
本製品は、無線機能を使用しているネットワークに接続されていません。	WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて行なっても、本製品で印刷やスキャンができない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてから、再インストールします。

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

セキュリティ設定が正常に機能しません。

原因	対応	インターフェース
プリンタードライバー、BRAdmin Light のインストール中、または印刷機能の使用中に、セキュリティ警告ダイアログボックスを無視しました。	セキュリティの警告ダイアログボックスを受け入れなかった場合、使用しているセキュリティソフトウェアのファイアウォールはアクセスを拒否することがあります。 セキュリティソフトウェアが警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造業者に問い合わせてください。	有線/無線
セキュリティソフトウェアの設定のために必要なポート番号が閉じられている可能性があります。	以下のポート番号が本製品のネットワーク機能に使用されています。 • ネットワークスキャン ¹ ：ポート番号 54925/プロトコル UDP • PC-FAX RX ¹ ：ポート番号 54926/プロトコル UDP • ネットワークスキャン/プリンティング ¹ 、PC-FAX RX ¹ 、リモートセットアップ ¹ ：ポート番号 161 および 137/プロトコル UDP • BRAdmin Light：ポート番号 161/プロトコル UDP ポートを開く方法の詳細については、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造業者に問い合わせてください。	有線/無線

¹ Windows®

✓ 関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対応	インターフェース
本製品、アクセスポイント/ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	<p>以下を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 アクセスポイント/ルーター、またはハブの電源が入った状態で、リンクボタンが点滅している。 保護包装は本製品からすべて取り除かれている。 トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しくインストールされている。 前部と後部のカバーが完全に閉まっている。 標準トレイに用紙が正しくセットされている。 (有線 LAN の場合) ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。 	有線/無線
ネットワーク設定レポートの Link Status で確認します。	ネットワーク設定リストを印刷して、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。	有線/無線
Ping コマンドをつかってパソコンと本製品の接続を確認します。	<p>Windows® のコマンドプロンプトまたは Macintosh® Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に Ping を実行します。</p> <p>ping <ipaddress>または <nodename></p> <ul style="list-style-type: none"> 成功：本製品は正常に動作し、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されています。 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されていません。 	有線/無線
お使いの製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID とネットワークキーの情報を参照し、それらを正しく設定してください。

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

操作パネルのネットワークメニューについて

操作パネルの [ネットワーク] メニュー選択により、お使いのネットワークに合わせて本製品のネットワーク設定を設定することができます。

本製品には、BRAdmin Light、ウェブブラウザ設定、およびリモートセットアップのアプリケーションが収められており、これらを使用してネットワークのさまざまな設定を行うことができます。

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク
- ・ TCP/IP
- ・ イーサネット（有線 LAN のみ）
- ・ 有線 LAN の状態
- ・ MAC アドレス
- ・ WLAN アシスタント（無線 LAN のみ）
- ・ セットアップウィザード（無線 LAN のみ）
- ・ WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）
- ・ WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）
- ・ WLAN ステータス（無線 LAN のみ）
- ・ デフォルトの設定
- ・ 有線対応（有線 LAN のみ）
- ・ WLAN 対応（無線 LAN のみ）
- ・ Wi-Fi Direct
- ・ FTP へのスキャン画像の送信
- ・ ネットワークリセット
- ・ 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

TCP/IP

ネットワークケーブルを使用して接続する場合、[有線 LAN] メニューを使用します。製品を無線イーサネットネットワークに接続する場合は、[無線 LAN] メニューを使用します。

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

Auto

Auto モードでは、製品は DHCP サーバーのためのネットワークを検索します。ネットワークが見つかり、DHCP サーバーが IP アドレスを本製品に割り当てるように設定されている場合、その IP アドレスが使用されます。

利用可能な DHCP サーバーが存在しない場合、IP アドレスは APIPA プロトコルを使用して設定されます。本製品の電源の初回オン時、サーバー用ネットワークの検索に数分かかることがあります。

Static

Static モードでは、本製品の IP アドレスを手動で割り当てる必要があります。入力された IP アドレスは、割り当て済みアドレスに固定されます。

プリントサーバーの設定を DHCP、BOOTP、または RARP を介して行わない場合、IP 取得方法を Static にして、手動で IP アドレスを設定する必要があります。これにより、自動的に IP アドレスを取得しない設定となります。

IP 取得方法を変更するには、操作パネル、BRAdmin Light、ウェブブラウザ設定、またはリモートセットアップを使用します。

IP アドレス

この欄には、本製品の現在の IP アドレスが表示されます。手動で IP アドレスを取得した場合、本製品に割り当てる IP アドレスを入力します（使用する IP アドレスについてはネットワーク管理者に確認してください）。Static 以外の IP 取得方法を選択した場合、本製品は DHCP、BOOTP、または RARP プロトコルを使用して IP アドレスを取得します。

本製品のデフォルト IP アドレスは、お使いのネットワークの IP アドレスナンバリング方法とは互換性がない可能性があります。ネットワーク管理者に問い合わせて、本製品の接続先ネットワークと互換性のある IP アドレスを確認することを推奨します。

サブネットマスク

この欄には、本製品が使用している現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP、BOOTP、または RARP 以外を使用してサブネットマスクを取得している場合、任意のサブネットマスクを入力します。使用するサブネットマスクを、ネットワーク管理者に確認してください。

ゲートウェイ

この欄には、本製品が使用している現在のゲートウェイまたはルーターのアドレスが表示されます。DHCP、BOOTP、または RARP 以外を使用してゲートウェイまたはルーターのアドレスを取得している場合、割り当てるアドレスを入力します。ゲートウェイまたはルーターを使用していない場合は、この欄は空欄のままにします。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ノード名

ネットワーク上の製品名を登録できます。この名前は NetBIOS 名と呼ばれ、お使いのネットワーク上の Windows® インターネットネームサービス (WINS) サーバーにより登録される名前となります。

お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合には「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合には「BRWxxxxxxxxxxxx」となっています（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスとなります）（最大 32 文字）。

WINS 設定

本製品による WINS サーバーの IP アドレス取得方法には、以下のどちらかを選択します。

Auto

DHCP 要求が自動的に使用され、プライマリおよびセカンダリ WINS サーバー用にそれぞれ IP アドレスが決定されます。[IP 取得方法] を [Auto] または [DHCP] に設定して、この機能を動作させる必要があります。

Static

プライマリおよびセカンダリ WINS サーバー用に指定された IP アドレスが使用されます。

WINS サーバー

この選択により、WINS サーバーの IP アドレスが管理されます。

プライマリ (プライマリ WINS サーバーの IP アドレス)

この欄で、プライマリ WINS サーバーの IP アドレスが指定されます。ゼロ以外の値が設定された場合、本製品はこのサーバーにアクセスし、Windows®インターネットネームサービスを使用して本製品の名前を登録します。

セカンダリ (セカンダリ WINS サーバーの IP アドレス)

この欄で、セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスが指定されます。このアドレスは、プライマリ WINS サーバーのアドレスのバックアップとして使用されます。プライマリ WINS サーバーが使用不可の場合でも、本製品はセカンダリサーバーに自身を登録できます。

ゼロ以外の値が設定された場合、本製品はこのサーバーにアクセスし、Windows®インターネットネームサービスを使用して本製品の名前を登録します。プライマリ WINS サーバーは存在するけれどもセカンダリ WINS サーバーがない場合は、ここを空欄のままにします。

DNS サーバー

この選択により、ドメイン名システム (DNS) サーバーの IP アドレスの管理が行われます。

プライマリ (プライマリ DNS サーバーの IP アドレス)

この欄で、プライマリ DNS サーバーの IP アドレスが指定されます。

セカンダリ (セカンダリ DNS サーバーの IP アドレス)

この欄で、セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスが指定されます。このアドレスは、プライマリ DNS サーバーのアドレスのバックアップとして使用されます。プライマリ DNS サーバーが使用不可の場合、製品はセカンダリ DNS サーバーにアクセスします。

APIPA

IP アドレス配布サーバー (RARP、BOOTP、DHCP など) を利用していない場合でも、APIPA (AutoIP) を [オン] に設定しておく、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0~169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは [オフ] に設定してください。

IPv6

本製品は、インターネットプロトコル・バージョン 6 (IPv6) に対応しています。お買い上げ時の設定は [オフ] です。IPv6 を使用する場合は、[オ] を選択します。



- [IPv6] を [オ] に設定した場合は、設定を有効にするために、一度、本製品の電源を入れ直してください。
- [IPv6] を [オ] に設定した場合は、有線 LAN 接続、無線 LAN 接続のどちらでも有効です。



関連情報

- [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

イーサネット（有線 LAN のみ）

イーサネットリンクモードは、100BASE-TX（全二重/半二重）、10BASE-T（全二重/半二重）を自動的に選択します。



この値が正確に設定されていない場合、本製品はプリントサーバーと通信できないことがあります。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

有線 LAN の状態

有線 LAN をご使用の場合、現在の接続状態、通信速度を確認できます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

MAC アドレス

MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられた番号です。本製品の MAC アドレスは、操作パネルで確認することができます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

▲ ホーム > ネットワーク > 操作パネルのネットワークメニューについて > WLAN アシスタント (無線 LAN のみ)

WLAN アシスタント (無線 LAN のみ)

パソコンを使用して、無線 LAN 設定を行います。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

セットアップウィザード（無線 LAN のみ）

本製品の操作パネルからウィザード形式で無線 LAN を設定することができます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）

使用している無線 LAN アクセスポイント/ルーターが、WPS（PBC）または AOSS™（自動無線モード）のどちらかをサポートしている場合、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。



- WPS は、Wi-Fi Protected Setup™です。
- PBC は、プッシュボタン方式（Push Button Configuration）を指します。
- AOSS™は、エアーステーションワンタッチセキュアシステム（AirStation One-Touch Secure System）です。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）

使用している無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS（PIN 方式）をサポートしている場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。



WPS は、Wi-Fi Protected Setup™ です。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WLAN ステータス（無線 LAN のみ）

接続状態

無線 LAN の接続状態を表示します。

電波状態

無線 LAN の電波状態を表示します。

SSID

無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。最大 32 文字の SSID 名が表示されます。

通信モード

無線 LAN の通信モードを表示します。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

デフォルトの設定

[初期設定]オプションを選択して、有線または無線の設定を、お買い上げ時の設定にリセットします。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

有線対応（有線 LAN のみ）

有線 LAN 接続を使用する場合には、[有線 LAN 有効]を[オン]に設定します。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WLAN 対応（無線 LAN のみ）

無線 LAN 接続を使用する場合に、[無線 LAN 有効]を[オ]に設定します。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

Wi-Fi Direct

Wi-Fi® 標準の接続方式で、無線 LAN アクセスポイントを使用しないで機器同士を互いに接続することができます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
- ・ [無線 LAN 接続について](#)

FTP へのスキャン画像の送信

FTP へのスキャン画像の送信を選択して、添付ファイルの解像度と種類を変更します。モノクロまたはカラーの原稿をスキャンして、ローカルネットワークまたはインターネット上の FTP サーバーへ直接送信できます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

ネットワークリセット

[ネットワーク]を選択して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻します。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

セキュリティ

- 本製品の設定値のロックについて
- ネットワークセキュリティ機能を使用する前に
- サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について
- E-mail の送受信について

本製品の設定値のロックについて

本製品のアクセスロック機能をオンにする前に、お使いのパスワードを慎重に入力してください。パスワードを忘れた場合、管理者またはプリンターサポートデスクに問い合わせ、本製品に保存済みのすべてのパスワードをリセットする必要があります。

- [ロックの設定の使用について](#)

ロックの設定の使用について

製品の設定値への非認証のアクセスをブロックします。

ロックの設定を [オ] にすると、製品の設定値にアクセスする場合はパスワードの入力が必要となります。



関連情報

- ・ 本製品の設定値のロックについて
- ・ 設定ロックパスワードを設定する
- ・ 設定ロックパスワードを変更する
- ・ 設定ロックのオンまたはオフについて

設定ロックパスワードを設定する

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [基本設定] を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
4. パスワード用の 4 桁の数字を入力します。
5. **OK** を押します。
6. 液晶ディスプレイに [パスワード確認:] と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. **OK** を押します。
8. **停止/終了** を押します。

✓ 関連情報

- ・ [ロックの設定の使用について](#)

設定ロックパスワードを変更する

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [基本設定] を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[パスワード設定] を選択し、**OK** を押します。
5. 現在の4桁のパスワードを入力します。
6. **OK** を押します。
7. 新しい4桁のパスワードを入力します。
8. **OK** を押します。
9. 液晶ディスプレイに [パスワード確認:] と表示されたら、パスワードを再入力します。
10. **OK** を押します。
11. **停止/終了** を押します。

✓ 関連情報

- ・ [ロックの設定の使用について](#)

設定ロックのオンまたはオフについて

- 設定ロックをオンにする
- 設定ロックをオフにする

▲ ホーム > セキュリティ > 本製品の設定値のロックについて > ロックの設定の使用について > 設定ロックのオンまたはオフについて > 設定ロックをオンにする

設定ロックをオンにする

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して [基本設定] を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
4. 液晶ディスプレイに [オン] と表示されたら、**OK** を押します。
5. 現在の4桁のパスワードを入力します。
6. **OK** を押します。
7. **停止/終了** を押します。



関連情報

- ・ [設定ロックのオンまたはオフについて](#)

■ ホーム > セキュリティ > 本製品の設定値のロックについて > ロックの設定の使用について > 設定ロックのオンまたはオフについて > 設定ロックをオフにする

設定ロックをオフにする

1. メニューを押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して「基本設定」を表示し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、「セキュリティ設定ロック」を表示し、**OK** を押します。
4. 現在の4桁のパスワードを入力します。
5. **OK** を押します。
6. 液晶ディスプレイに「オフ」と表示されたら、**OK** を押します。
7. **停止/終了**を押します。



関連情報

- ・ [設定ロックのオンまたはオフについて](#)

ネットワークセキュリティ機能を使用する前に

お使いの本製品には、最新のネットワークセキュリティおよび、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらネットワーク機能は使用されているネットワークセキュリティ全体に統合することが可能で、データを保護し、本製品への認証されていないアクセスを防ぐことができます。



FTP および TFTP プロトコルを無効にすることを推奨します。これらのプロトコルを使用して製品へアクセスすることは安全ではありません。ただし、FTP を無効にすると、スキャン to FTP 機能が無効化されます。



関連情報

- ・ [セキュリティ](#)

サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について

- セキュリティプロトコル
- E-mail を送受信するためのセキュリティ方式について
- ウェブブラウザ設定（ウェブブラウザ）を使用してネットワーク製品を安全に管理する

セキュリティプロトコル

SNMPv3

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン3（SNMPv3：Simple Network Management Protocol version 3）は、ユーザー認証とデータの暗号化のために使用され、ネットワーク機器が安全に管理されます。

✓ 関連情報

- ・ サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について

E-mail を送受信するためのセキュリティ方式について



これらのセキュリティ方式は、ウェブブラウザ設定を使用して設定します。

SMTP 認証 (SMTP-AUTH)

SMTP-AUTH は SMTP (インターネット E-mail 送信プロトコル) を拡張したもので、送信者の身元が分かっていることを証明する認証方式を含みます。

Authenticated Post Office プロトコル (APOP)

APOP は POP3 (インターネット受信プロトコル) を拡張したもので、クライアントが E-mail を受信する際のパスワードを暗号化する認証方式を含みます。



関連情報

- ・ サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について
- ・ ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する
- ・ ユーザー認証を使用した E メール送信について

ウェブブラウザ設定 (ウェブブラウザ) を使用してネットワーク製品を安全に管理する

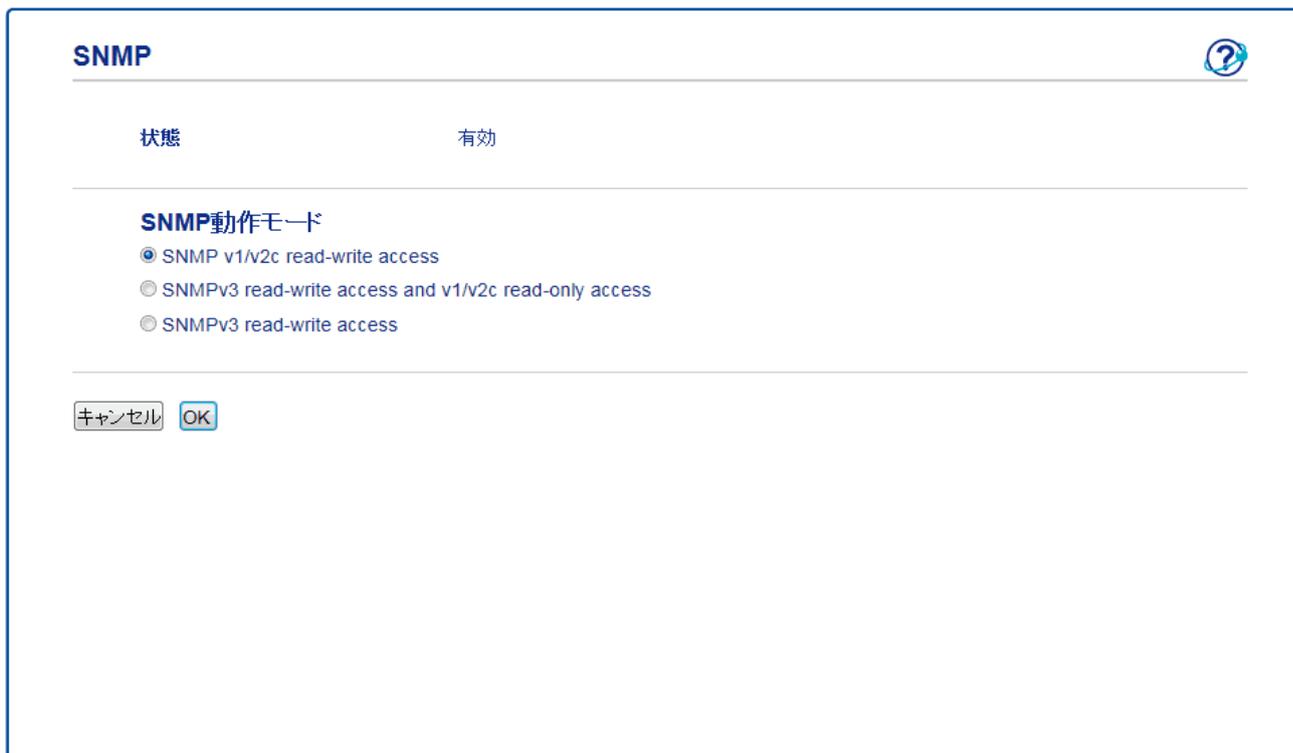
お使いのネットワーク製品を安全に管理するには、セキュリティプロトコルを使用している管理ユーティリティを使用する必要があります。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」(「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス) を入力します。
3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。



- SNMPv3 プロトコルを使用する場合は、以下の手順に従います。

4. ネットワークタブをクリックします。
5. プロトコルをクリックします。
6. **SNMP** が有効であることを確認し、**SNMP の詳細設定** をクリックします。
7. 以下の画面から、SNMP を設定します。



SNMP 

状態 有効

SNMP動作モード

- SNMP v1/v2c read-write access
- SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access
- SNMPv3 read-write access

キャンセル OK

SNMP 動作モードには、3つの選択肢があります。

- **SNMP v1/v2c read-write access**
このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、すべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行なわれず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
- **SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access**
このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの、Ver. 3 (読み書きアクセス)、および Ver. 1 と Ver. 2c (リードオンリーアクセス) を使用します。



SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c のリードオンリーが認証されるため、プリントサーバーにアクセスするアプリケーション（BRAdmin Light など）の一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合は、**SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用します。

- **SNMPv3 read-write access**

このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。



SNMPv3 read-write access モードを使用する場合、以下の点に注意します。

- プrintサーバーは、ウェブブラウザ設定を使用して管理することができます。
- SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用します。



関連情報

- ・ [サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について](#)

E-mail の送受信について

- ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する
- ユーザー認証を使用した E メール送信について

ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送受信を設定する

ユーザー認証済みの E-mail 送信を、ウェブブラウザ設定を使用して設定することを推奨します。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに、「http://製品の IP アドレス」（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレス）を入力します。

例：http://192.0.2.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに "SharedPrinter" など、別の名前を入力できます。

- 例：

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例：

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定レポートで確認できます。

- Macintosh® の場合、ステータスマニター画面に表示されるアイコンをクリックして、ウェブブラウザ設定にアクセスします。

3. 初期設定では、パスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。
4. ネットワークタブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの **プロトコル** をクリックします。
6. **POP3/SMTP** 欄で、**詳細設定** をクリックし、**POP3/SMTP** の状態が **有効** であることを確認します。
7. **POP3/SMTP** を設定します。
 - 詳細については、ウェブブラウザ設定のヘルプを参照してください。
 - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
 - POP3/SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
8. 設定の完了後、**OK** をクリックします。
Eメール送信/受信設定のテストのダイアログボックスが表示されます。
9. ダイアログボックスに表示される指示に従って、設定のテストを行ってください。



関連情報

- [E-mail の送受信について](#)
- [E-mail を送受信するためのセキュリティ方式について](#)

ユーザー認証を使用した E メール送信について

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための、SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止されます。SMTP-AUTH を使用して、E メール通知、および E メールレポートを送信することができます。



ウェブベース管理を使用して SMTP 認証を設定することを推奨します。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。



SMTP サーバー認証を有効にするには、ウェブベース管理の POP3/SMTP 画面の送信メールサーバー認証方式で、を選択する必要があります。SMTP-AUTH を選択する必要があります。



関連情報

- ・ E-mail の送受信について
- ・ E-mail を送受信するためのセキュリティ方式について

ControlCenter

本製品の ControlCenter ソフトウェアを使用して、頻繁に使用するアプリケーションに簡単にアクセスできます。ControlCenter を使えば、特定のアプリケーションを直接起動することが可能です。

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter2 \(Macintosh®\)](#)

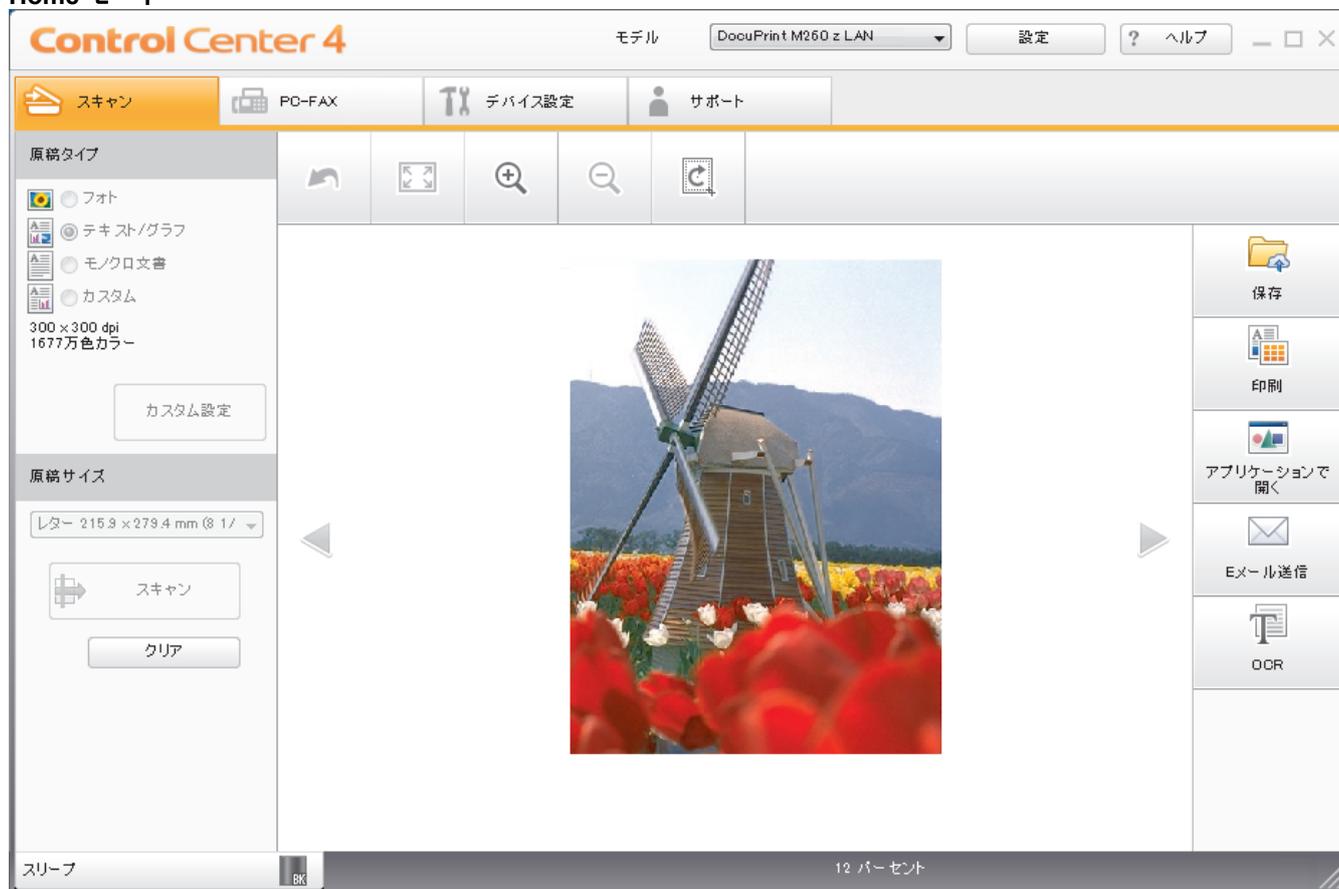
ControlCenter4 (Windows®)

- ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)
- ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)
- PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する (Windows®)
- ControlCenter4 を使用してファクスの表示と印刷を行う (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って原稿をコピーする (Windows®)
- ControlCenter4 から BRAdmin ユーティリティを起動する (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)

ControlCenter4 のモードを変更する (Windows®)

ControlCenter4 には、Home モードおよび Advanced モードの、2つの操作モードがあります。モードはいつでも変更可能です。

Home モード



Advanced モード



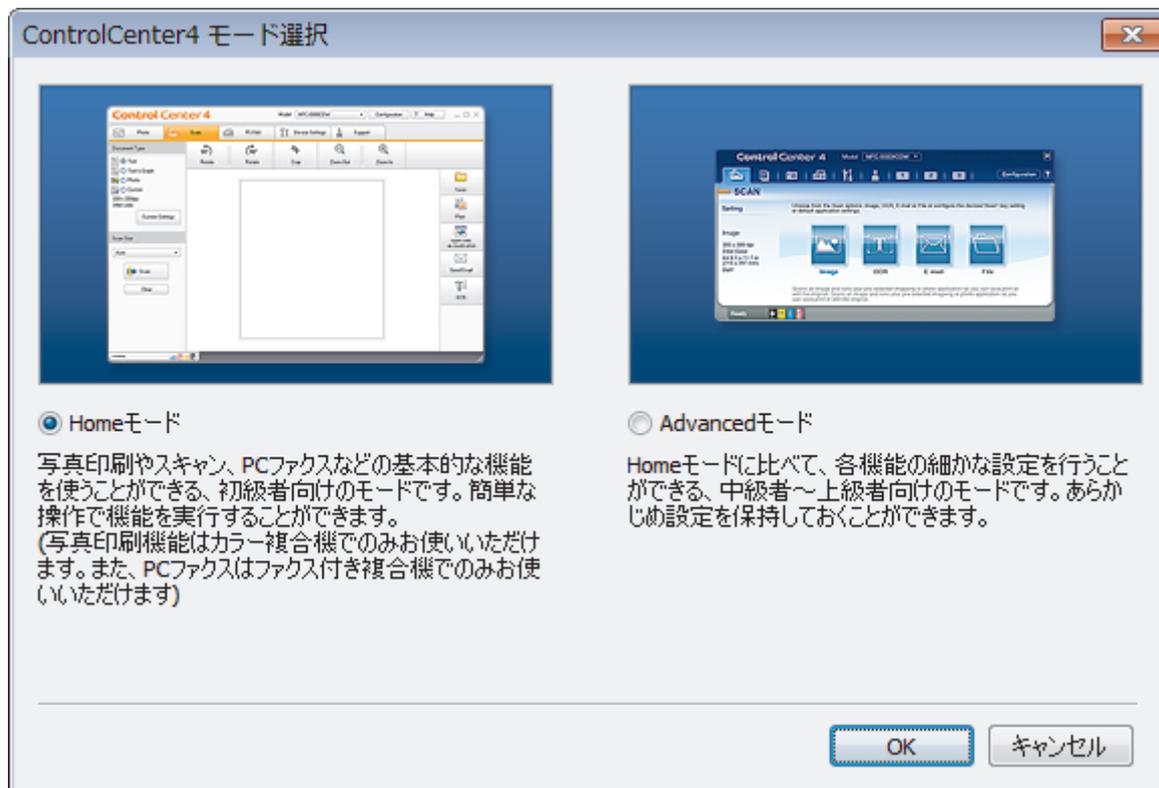
- **Home モード**
ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能を操作することが可能です。
- **Advanced モード**

ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能を制御し、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能を操作することが可能です。

操作モードを変更するには：

1. タスクトレイの **CCU** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くを選択します。
2. 設定ボタンをクリックし、モード選択を選択します。
3. モード選択ダイアログボックスが表示されます。Home モードまたは Advanced モードのどちらかを選択します。



4. OK をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ ControlCenter4 (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使用して ID カードの両面をスキャンする
- ・ ControlCenter4 Home モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Home モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする
- ・ ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)

-
- ・ ControlCenter4 Advanced モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
-

ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Home モードから、本製品の主要な機能进行操作することが可能です。

- ControlCenter4 Home モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使用して ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter4 Home モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
- ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)

ControlCenter4 Home モードのスキャン設定 (Windows®)

設定	対応している機能			
	アプリケーションで開く	OCR	Eメール送信	保存
ファイル形式	-	○	○	○
使用するアプリケーション	○	○	-	-
OCR 言語	-	○	-	-
ファイル名	-	-	-	○
ファイル名に日付を入れる	-	-	-	○
保存先	-	-	-	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
ファイルサイズ	-	-	○	○

ファイル形式

スキャンしたデータの保存形式を選択します。

Eメール送信および保存の場合

- Windows ビットマップ (*.bmp)
- JPEG (*.jpg) (写真をスキャンする場合、ほとんどのユーザーにお勧めします。)
- TIFF (*.tif)
- TIFF マルチページ (*.tif)
- Portable Network Graphics (*.png)
- PDF (*.pdf) (文書をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- パスワード付き PDF (*.pdf)
- サーチャブル PDF (*.pdf)
- XML Paper Specification (*.xps) (XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows®7 および Windows® 8 か、または XML Paper Specification ファイルをサポートするアプリケーションを使用する場合に利用できます。)
- Microsoft Office Word (*.docx)
- Microsoft Office PowerPoint (*.pptx)

OCR の場合

- Text (*.txt)
- サーチャブル PDF (*.pdf)
- HTML (*.htm)
- リッチテキスト形式 (*.rtf)

使用するアプリケーション

スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。

OCR 言語

スキャンした文書の言語に一致する OCR (光学式文字認識) 言語を設定します。

ファイル名

必要に応じて、お使いのファイル名に接頭辞を入力します。

ファイル名に日付を入れる

スキャンしたデータのファイル名に自動的に日付を入れる場合に選択します。

保存先

フォルダーまたは **SharePoint** ボタンを選択して、スキャンした原稿の保存先を指定します。

保存先フォルダーを開く

スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。

ファイルサイズ

スキャンしたデータのサイズを調節します。 **ファイルサイズ**の目盛りを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。

カスタム設定

カスタムを選択して、**カスタム設定**ボタンをクリックし、設定を変更します。

原稿サイズ

原稿サイズドロップダウンメニューから、使用する原稿と同じサイズを選択します。



関連情報

- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
 - ・ [ControlCenter4 Home モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)
-

ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードでは、本製品のより詳細な機能を制御し、ワンタッチのスキャン操作に変更することができます。

- ControlCenter4 Advanced モードを使って、写真やグラフィックをスキャンする (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter4 Advanced モード (Windows®) を使って、スキャンしたデータを SharePoint® サーバーに保存する
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンしたデータを Eメール添付する (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードを使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Windows®)
- ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

ControlCenter4 Advanced モードのスキャン設定 (Windows®)

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
ファイル形式	○	○	○	○
使用するアプリケーション	○	○	-	-
OCR 言語	-	○	-	-
保存先ファイルパス	○	○	○	-
ファイル名	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる	○	○	○	○
保存先	-	-	-	○
保存先フォルダーを開く	-	-	-	○
スキャン毎に名前をつける	-	-	-	○
ファイルサイズ	○	-	○	○
プレスキャン	○	○	○	○
解像度	○	○	○	○
カラー設定	○	○	○	○
原稿サイズ	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○
継続スキャン	○	○	○	○
2in1 ID カードスキャン	○	○	○	○
詳細設定	○	○	○	○
初期値	○	○	○	○

ファイル形式

スキャンしたデータの保存形式を選択します。

イメージ、Eメール添付、ファイルの場合

- Windows ビットマップ (*.bmp)
- JPEG (*.jpg) (写真をスキャンする場合、ほとんどのユーザーにお勧めします。)
- TIFF (*.tif)
- TIFF マルチページ (*.tif)
- Portable Network Graphics (*.png)
- PDF (*.pdf) (文書をスキャンして共有する場合にお勧めします。)
- パスワード付き PDF (*.pdf)
- サーチャブル PDF (*.pdf)
- 高圧縮 PDF (*.pdf)
- XML Paper Specification (*.xps) (XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows®7 および Windows® 8 か、または XML Paper Specification ファイルをサポートするアプリケーションを使用する場合に利用できます。)
- Microsoft Office Word (*.docx)
- Microsoft Office PowerPoint (*.pptx)

OCR の場合

- Text (*.txt)
- サーチャブル PDF (*.pdf)
- HTML (*.htm)
- リッチテキスト形式 (*.rtf)

使用するアプリケーション

スキャンしたデータを開くアプリケーションを選択します。

OCR 言語

OCR 言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。

保存先ファイルパス

変更をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーへのアドレスを変更します。

ファイル名

必要に応じて、ファイル名の先頭の文字を入力します。

ファイル名に日付を入れる

スキャンしたデータのファイル名に自動的に日付を入れる場合に選択します。

保存先

フォルダーまたは **SharePoint** ボタンを選択して、スキャンした原稿の保存先を指定します。

保存先フォルダーを開く

スキャン後に自動的に保存先フォルダーを表示させる際に選択します。

スキャン毎に名前をつける

スキャンする度に、スキャンした画像の保存先を指定したい場合は、このオプションを選択します。

ファイルサイズ

スキャンしたデータのサイズを調節します。 **ファイルサイズ**の目盛りを右または左に移動させてファイルサイズを変更します。

プレスキャン

スキャンする前に画像のプレビューをして不要部分を切り取りたい場合は、**プレスキャン**を選択します。

解像度

解像度のリストから、スキャンの解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質を向上させられますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

• 自動

どんなタイプの原稿にも使用できます。このモードは、原稿に適した色濃度を自動的に選びます。

• モノクロ

文字原稿または線画に使用できます。

• グレー

写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。)

• 256 階調グレー

写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。

- **1677 万色カラー**

もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くかかります。

原稿サイズ

- **1 to 2 (A4)**を選択した場合は、スキャンしたデータは 2 つの A5 サイズのデータに分割されます。

明るさ

目盛りを右または左に移動させて**明るさレベル**を設定し、データの明暗を調整します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。数値を入力して**明るさレベル**を設定することも可能です。

コントラスト

目盛りを右または左に移動させて**コントラストレベル**を上下させます。レベルを上げるとデータの明暗が強調され、レベルを下げるとグレー部分をより詳細に見られます。数値を入力して**コントラストレベル**を設定することも可能です。

継続スキャン

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿送り装置）から複数枚の原稿をスキャンするときに選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを継続するか終了するかを選びます。これを選択すると、ADF（自動原稿送り装置）の上限より多いページ数をスキャンすることが可能になります。

2in1 ID カードスキャン

このチェックボックスを選択して、ID カードの両面を 1 枚のページにスキャンできます。

詳細設定

詳細設定を行うには、スキャン設定ダイアログボックスで**詳細設定**ボタンをクリックします。

- **地色除去**

スキャンしたデータをより見やすくするため、原稿の背景にある地色を取り除きます。弱、中、強の 3 つの設定から選びます。

（自動、256 階調グレー、および 1677 万色カラーのみ利用可能）

初期値

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。

✓ 関連情報

- [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)
- [ControlCenter4 Advanced モードを使ってスキャンする \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 を使用して本製品の設定を変更する (Windows®)

1. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. デバイス設定タブをクリックします。
3. リモートセットアップボタンをクリックします。
4. 必要に応じて設定を行います。



エクスポート

クリックして、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポートをクリックして、本製品のアドレス帳または本製品のすべての設定値を保存します。

インポート

クリックして、ファイルから設定値を読み込みます。

印刷

クリックして、本製品で選択したアイテムを印刷します。データが本製品にアップロードされるまでは、印刷できません。**適用**をクリックして、新しいデータを本製品にアップロードしてから、**印刷**をクリックしてください。

OK

クリックして、本製品へのデータのアップロードを開始し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示される場合は、データが正しいことを確認し、**OK** をクリックします。

キャンセル

クリックして、本製品へデータをアップロードしないで、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックして、本製品へのデータをアップロードします。

5. **OK** をクリックします。

- お使いのパソコンがファイアウォールにより保護されているためリモートセットアップが使用できない場合は、ポート番号 137 および 161 を経由する通信を許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。
- Windows®ファイアウォールを使用している場合、付属の CD-ROM からドライバー & ソフトウェアをインストールした場合は、必要なファイアウォールはすでに設定されています。



関連情報

- ・ リモートセットアップ (Windows®)
 - ・ ControlCenter4 (Windows®)
-

PC-FAX を使って、ControlCenter4 からファクスを送信する (Windows®)

PC-FAX を使ってパソコンから画像をファクス送信するときは、ControlCenter4 の画像ファイルを送信ボタンを使います。

・ PC-FAX で送信できるのは、モノクロのファクスのみです。

1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
2. **PC-FAX** タブをクリックします。
3. **画像ファイルを送信** ボタンをクリックします。
4. フォルダーツリーをクリックして、送信したい画像が保存されているフォルダーを指定します。送信したいファイルを選択します。
5.  (送信) をクリックします。
Fuji Xerox PC-FAX ダイアログボックスが表示されます。
6. ファクス番号を入力し、送信をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [PC-FAX の概要 \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 Home モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 Advanced モードを使って、スキャンした画像をファクス送信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 を使用してファクスの表示と印刷を行う (Windows®)

ControlCenter4 の受信ファクスを閲覧ボタンを使用して、PC-FAX ソフトウェアで受信したファクスメッセージの表示と印刷を行います。

- PC-FAX ソフトウェアを使用して受信できるのは、モノクロのファクス文書のみです。
1. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
 2. PC-FAX タブをクリックします。
 3. 受信ファクスを閲覧ボタンをクリックします。
 4. PC-FAX 受信機能が有効になり、お使いの製品からファクスの受信を開始します。受信したファクスが表示されます。ファクスの内容を表示するには、対象のファクスを選択して  (拡大表示) をクリックします。
 5. 受信したファクスを印刷するには、対象のファクスを選択して  (印刷) をクリックします。
 6. 印刷設定を選択し、 (印刷開始) をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [パソコンでファクスを受信する \(Windows®\)](#)
- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Advanced モードを使って原稿をコピーする (Windows®)

パソコンからコピーの詳細設定を行うことができます。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced** モードを選択します。

1. 原稿をセットします。
2. タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く**をクリックします。
3. **PC コピー**タブをクリックします。
4. コピー設定を変更するには、変更したいボタンを右クリックして設定を変更します。



スキャンした画像のプレビューおよび設定を行うには、**プレスキャン**のチェックボックスにチェックを入れます。**OK** をクリックします。

5. **モノクロコピー**、**2 in 1 コピー**、または **4 in 1 コピー** をクリックします。



プレスキャンを選択した場合は、**プレスキャン**のダイアログボックスが表示されます。**プレスキャン**ボタンをクリックし、**スキャン**をクリックします。

スキャンした画像が印刷されます。



関連情報

- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 から BRAdmin ユーティリティを起動する (Windows®)

BRAdmin ボタンを使用すると、BRAdmin Light ユーティリティを起動できます。

- BRAdmin Light ユーティリティは、ネットワークに接続された機器の初期設定用に設計されたものです。このユーティリティを使用して、TCP/IP 環境における本製品の検索、検索された機器の状態の表示、および IP アドレスなど基本的なネットワーク設定も行うことができます。

付属の CD-ROM から BRAdmin Light をインストールします。

- タスクトレイの  (ControlCenter4) アイコンをクリックし、開くをクリックします。
- デバイス設定タブを選択します。
- BRAdmin ボタンをクリックします。

BRAdmin Light ユーティリティダイアログボックスが表示されます。

✓ 関連情報

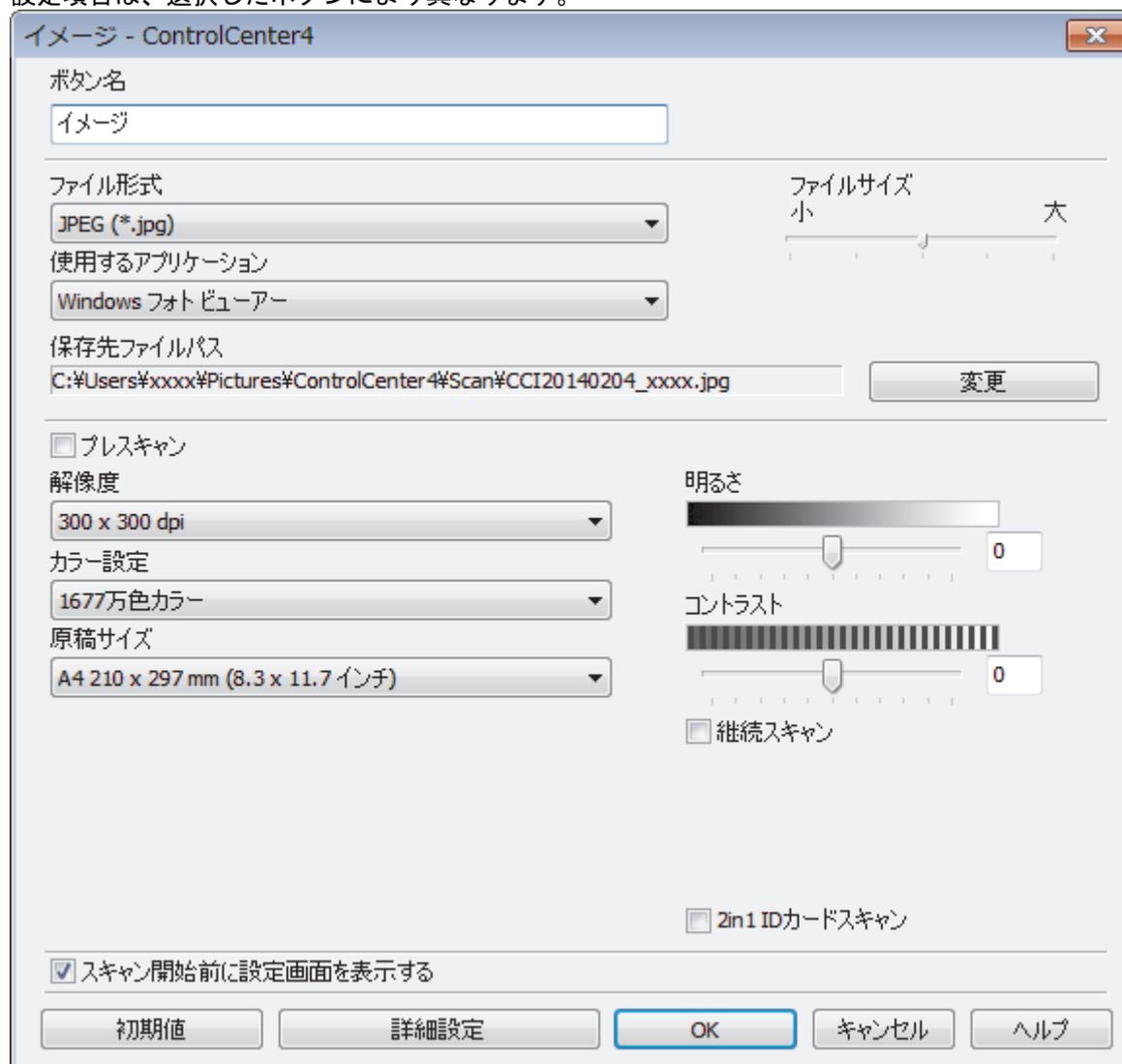
- ・ [ControlCenter4 \(Windows®\)](#)

ControlCenter4 Advanced モードを使用してカスタムタブを作成する (Windows®)

最大3個のタブをカスタマイズでき、各タブには、最大5個のカスタマイズしたボタンと、任意の設定を表示できます。

ControlCenter4 のモード設定で **Advanced モード** を選択します。

1. タスクトレイの **CC4** (ControlCenter4) アイコンをクリックし、**開く** をクリックします。
2. **設定** ボタンをクリックして、**カスタムタブの作成** を選択します。
カスタムタブが作成されます。
3. カスタムタブの名前を変更するには、対象のタブを右クリックして、**カスタムタブの名前変更** を選択します。
4. **設定** をクリックして、**カスタムボタンの作成** を選択し、作成するボタンを選択します。
設定値のダイアログボックスが表示されます。
5. 必要に応じて、ボタン名を入力して設定を変更します。**OK** をクリックします。
設定項目は、選択したボタンにより異なります。



 作成したタブ、ボタン、設定を変更または削除できます。**設定** ボタンをクリックして、操作してください。



関連情報

- ・ ControlCenter4 (Windows®)

ControlCenter2 (Macintosh®)

- [ControlCenter2 を使ってスキャンする \(Macintosh®\)](#)
- [ControlCenter2 のスキャン設定 \(Macintosh®\)](#)
- [ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする \(Macintosh®\)](#)
- [ControlCenter2 の自動起動をオフにする \(Macintosh®\)](#)

ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)

本製品の ControlCenter ソフトウェアを使って写真や文書をスキャンし、JPEG、PDF、その他のファイル形式で保存します。

- ControlCenter2 を使って、写真やグラフィックをスキャンする (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを PDF ファイルとして保存する (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、ID カードの両面をスキャンする
- ControlCenter2 を使って、スキャンしたデータを E メール添付する (Macintosh®)
- ControlCenter2 を使って、原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする (OCR) (Macintosh®)
- ControlCenter2 のスキャン設定 (Macintosh®)

ControlCenter2 のスキャン設定 (Macintosh®)

設定	対応している機能			
	イメージ	OCR	Eメール添付	ファイル
使用するアプリケーション/使用するEメールアプリケーション スキャンしたデータを開くためのアプリケーションを選択します。お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションのみ選択可能です。 <ul style="list-style-type: none"> 追加 リストにアプリケーションを追加します。 アプリケーションの名前欄にアプリケーション名を入力し(最大30文字)、参照ボタンをクリックして使用するアプリケーションを選択します。ファイル形式をリストから選択します。 削除 リストに追加したアプリケーションを削除します。 アプリケーションの名前リストからアプリケーションを選択して、削除をクリックします。 	○	○	○	-
ファイル形式 スキャンしたデータの保存形式を選択します。	○	○	○	○
ファイルサイズ ファイルサイズの目盛りを右または左に移動させて、ファイルサイズを変更します。	○	-	○	○
OCR言語 OCR言語を設定して、スキャンした原稿中のテキストの言語を照合します。	-	○	-	-
保存先ファイルパス 変更をクリックして、ファイル名の先頭の文字およびファイル保存先フォルダーのアドレスを変更します。	○	○	○	-
ファイル名 必要に応じて、お使いのファイル名に接頭辞を入力します。	○	○	○	○
ファイル名に日付を入れる スキャンしたデータのファイル名に、日付を自動的に入れます。	○	○	○	○
スキャン毎に名前をつける スキャンする度に、スキャンした画像の保存先を指定したい場合は、このオプションを選択します。	-	-	-	○
保存先フォルダー 参照をクリックして、スキャンしたデータの保存先フォルダを選択します。	○	○	○	○
保存先フォルダーを開く 保存先フォルダーを開くを選択して、スキャン後に保存先フォルダが自動的に表示されるようにします。	-	-	-	○
解像度 解像度のリストから、スキャン解像度を選択します。高い解像度を選択すると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。	○	○	○	○
カラー設定 さまざまな色濃度の中から選択します。	○	○	○	○

<ul style="list-style-type: none"> • モノクロ 文字原稿または線画に使用できます。 • グレー 写真やグラフィックに使用できます。(誤差拡散という方法を使って、実際のグレーの点を使用しないで、擬似的なグレー画像を作成します。見た目をグレーに似せるため、黒い点を一定の規則で配置させています。) • 256 階調グレー 写真やグラフィックに使用できます。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用するため、より正確な仕上がりになります。 • 1,677 万色カラー もっとも正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。このモードでは、最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリが必要とされ、転送時間も最も長くなります。 • 自動 どちらのドキュメントの種類にも使用します。このモードでは、原稿に対して適切な色の濃さが自動的に選択されます。 				
原稿サイズ 原稿サイズポップアップメニューから、原稿と同じサイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 to 2 (A4)を選択した場合、スキャンした画像は、2 枚の A5 サイズの原稿に分割されます。 	○	○	○	○
継続スキャン 原稿台ガラスまたは ADF (自動原稿送り装置) から複数枚の原稿をスキャンするときに選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを継続するか終了するかを選びます。これを選択すると、ADF (自動原稿送り装置) の上限より多いページ数をスキャンすることが可能になります。	○	○	○	○
2in1 ID カードスキャン	○	○	○	○
プレビューを行う このチェックボックスを選択して、スキャンイメージを確認したり、スキャンしたページの一部を切り取ることができます。	○	○	○	○
詳細設定 スキャン設定ダイアログボックスの 詳細設定 ボタンをクリックして、詳細設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 明るさ 目盛りを右または左に動かして画像を明るく、または暗くして、明るさレベルを設定します。スキャンしたデータが明るすぎる場合は、明るさレベルを下げて再度原稿をスキャンしてください。データが暗すぎる場合は、明るさレベルを上げて再度原稿をスキャンしてください。 • コントラスト 目盛りを右または左に動かして、コントラストレベルを上下させます。レベルを上げると、画像の明暗部分が強調され、レベルを下げると、グレー部分がより鮮明になります。 • 地色除去 原稿のベースカラーを消去して、スキャンしたデータがよりはっきりと分かるこの機能を使う場合、強または弱のどちらかの設定を選択します。 (自動、256 階調グレー、および 1,677 万色カラーにのみ有効) 	○	○	○	○
既定値に戻す すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すときに選択します。	○	○	○	○



関連情報

- ・ ControlCenter2 (Macintosh®)
- ・ ControlCenter2 を使ってスキャンする (Macintosh®)

■ ホーム > ControlCenter > ControlCenter2 (Macintosh®) > ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)

ControlCenter2 からリモートセットアップを使用して本製品をセットアップする (Macintosh®)

1. Finder メニューバーで、**移動 > アプリケーション > Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、 (ControlCenter2) アイコンをダブルクリックします。
ControlCenter2 画面が表示されます。
2. **デバイス設定** タブをクリックします。
3. **リモートセットアップ** ボタンをクリックします。
リモートセットアップの画面が表示されます。



4. 必要に応じて設定を行います。

エクスポート

クリックして、現在の設定をファイルに保存します。



エクスポートをクリックして、電話帳または、本製品のすべての設定値を保存します。

インポート

クリックして、ファイルから設定値を読み込みます。

印刷

クリックして、本製品で選択したアイテムを印刷します。データが本製品にアップロードされるまでは、印刷できません。 **適用** をクリックして、新しいデータを本製品にアップロードし、 **印刷** をクリックします。

OK

クリックして、本製品へのデータのアップロードを開始し、リモートセットアップを終了します。エラーメッセージが表示される場合は、正しいデータを再度入力し、 **OK** をクリックします。

キャンセル

クリックして、本製品へデータをアップロードしないで、リモートセットアップを終了します。

適用

クリックして、本製品へのデータをアップロードします。

5. 設定が完了したら、 **OK** をクリックします。

関連情報

- ・ [リモートセットアップ \(Macintosh®\)](#)
 - ・ [ControlCenter2 \(Macintosh®\)](#)
-

ControlCenter2 の自動起動をオフにする (Macintosh®)

お使いの Macintosh® の起動時に ControlCenter2 が自動的に起動しないようにします。

1. **Finder** メニューバーで、**移動** > **アプリケーション** > **Fuji Xerox** をダブルクリックしてから、**(ControlCenter2)** アイコンをダブルクリックします。



ControlCenter2 画面が表示されます。

2. **設定** ボタンをクリックして、**起動状態の設定** を選択します。
3. **パソコン起動時に起動する** チェックボックスの選択を解除します。
4. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ [ControlCenter2 \(Macintosh®\)](#)

用語集

本製品のマニュアルに掲載されている機能と用語の一覧です。

A B C D F H I L M N O R S T V W あ か さ た な は ら

A

- ADF（自動原稿送り装置）
- AES
- AOSS™
- APIPA
- ARP

B

- BOOTP
- BRAdmin Light

C

- Custom Raw Port

D

- DHCP
- DNS クライアント
- DNS サーバー

F

- FTP

H

- HTTP

I

- IPP
- IPv6

▲ ホーム > 用語集

- [IP アドレス](#)

L

- [LLMNR](#)
- [LPD](#)

M

- [MAC アドレス](#)
- [mDNS](#)

N

- [NetBIOS name resolution](#)

O

- [OCR \(光学式文字認識\)](#)

R

- [RARP](#)

S

- [SMTP-AUTH](#)
- [SMTP クライアント](#)
- [SNMP](#)
- [SNMPv3](#)
- [SNTP](#)
- [SSID](#)

T

- [TCP/IP](#)
- [TKIP](#)

V

- Vertical Pairing

W

- Web サービス
- WEP
- Wi-Fi Direct[®]
- WINS
- WINS サーバー
- WLAN レポート（無線 LAN レポート）
- WPA-PSK/WPA2-PSK
- WPS

あ

- アドホック（Ad-hoc）通信
- 暗号化
- インフラストラクチャ（Infrastructure）通信
- ウェブブラウザ設定
- オープンシステム

か

- 検索
- ゲートウェイ（ルーター）

さ

- サブネットマスク
- スキャン
- ステータスマニター

た

- チャンネル
- デジタル署名

な

- 認証
- ネットワーク PC-FAX
- ネットワーク共有印刷
- ネットワークキー
- ネットワーク設定レポート
- ネットワークリモートセットアップ
- 濃度
- ノード名

は

- ピアツーピア
- プロトコル

ら

- リモートセットアップ

ADF（自動原稿送り装置）

原稿を ADF（自動原稿送り装置）にセットし、1 ページごとに自動的にスキャン可能。

AES

米国商務省標準技術局（NIST）によって制定された、TKIP より安全性の高い暗号化方式です。

AOSS™

AirStation One-Touch Secure System（AOSS™）は、バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

APIPA

Automatic Private IP Addressing（APIPA）は、IP アドレスの自動的な割り当て管理機能で、未使用の IP アドレスを見つけ、IP アドレスが重複しないように「169.254.1.0 ~ 169.254.254.255」の範囲から自動で IP アドレスを割り当てます。

ARP

Address Resolution Protocol（ARP）は、IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

BOOTP

ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。



BOOTP を使用するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

BRAdmin Light

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された本製品の初期設定を行うためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品の検索、ステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から本製品の BRAdmin Light をダウンロードします。

Custom Raw Port

Custom Raw Port は、TCP/IP ネットワークで一般的に使用されている印刷プロトコルです。初期値は、Port 9100 です。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol（DHCP）は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP をベースとする上位互換規格のプロトコルです。



DHCP を使用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DNS クライアント

本製品は、Domain Name System (DNS) クライアント機能をサポートしています。この機能により、本製品は DNS 名を使用して他の機器と通信することができます。

DNS サーバー

Domain Name System (DNS) は、ネットワーク上のホスト名から IP アドレスを調べるためのサービスです。お使いのパソコンから IP アドレスを自動的に見つけることができます。

FTP

File Transfer Protocol (FTP) は、本製品がモノクロまたはカラー原稿のスキャンデータを、ローカルのネットワーク上またはインターネット上にある FTP サーバーに直接送ることができます。

HTTP

ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP : Hypertext Transfer Protocol) は、パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して、ネットワーク上のデバイス情報を取得することができます。本製品はウェブサーバーが内蔵されているため、ウェブブラウザを使用して本製品の管理や設定の変更を行うことができます。

IPP

インターネット印刷プロトコル (IPP) を使用すると、インターネット経由でアクセス可能な製品に、文書を直接送信して印刷することができます。

IPv6

IPv6 は次世代インターネットプロトコルです。

IP アドレス

インターネットプロトコル (IP) アドレスは、ネットワークに接続されている各機器を特定する一連の番号で、各機器の住所にあたるものです。IP アドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの番号で構成されます。各番号は 0 ~225 までの数字を使用します。

例：ローカルネットワークでは、通常は最後の数字（ホストアドレス部）を変更します。

192.0.2.1

192.0.2.2

192.0.2.3

プリントサーバーに IP アドレスを割り当てる仕組み：

ネットワーク上で DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、IP アドレス配布サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。



ローカルネットワークの場合、ルーターに DHCP サーバーが設置されていることがあります。

▲ ホーム > 用語集

ネットワーク上で DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA 機能により、169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の範囲の IP アドレスが自動的に割り当てられます。

LLMNR

リンクローカルマルチキャスト名前解決（LLMNR : Link-Local Multicast Name Resolution）プロトコルは、ネットワークにドメインネームシステム（DNS）が存在しない場合に、近隣のパソコンの名前を解決します。LLMNR レスポンダー機能は、Windows Vista[®]および Windows[®] 7 など、LLMNR センダー機能を有するパソコンを使用する場合に、IPv4 または IPv6 のどちらかの環境でも動作します。

LPD

ラインプリンターデーモン（LPD または LPR）プロトコルは、TCP/IP ネットワークで一般的に使用されている印刷プロトコルです。

MAC アドレス

MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェイスカードのアドレスで、デバイス内部に記憶されているため、変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、操作パネル上や、ネットワーク設定リストで確認することができます。

mDNS

Multicast DNS（mDNS）は、DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントパソコンがネットワーク上に存在する機器を名前を検索して利用できるようにする機能です。

NetBIOS name resolution

NetBIOS（Network Basic Input/Output System）は、ネットワークの基本的な入出力システムの名前解決で、ネットワーク接続間の通信に NetBIOS 名を使用して、他の機器の IP アドレスを取得することができます。

OCR（光学式文字認識）

Nuance[™] PaperPort[™] 12SE または Presto! PageManager ソフトウェアアプリケーションを使用して、テキストの画像を編集可能なテキストに変換します。

RARP

Reverse Address Resolution Protocol（RARP）は、TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。



RARP を使用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP-AUTH

SMTP 認証（SMTP-AUTH）は SMTP（インターネット E メール送信プロトコル）を拡張し、送信者の身元を確認する認証方法を取り入れたもので、クライアントから E メールを送信する際のユーザー認証方法です。

SMTP クライアント

簡易メール転送プロトコル（SMTP：Simple Mail Transfer Protocol）クライアントは、インターネットまたはイントラネットを経由して E メールを送信するために用いられます。

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP：Simple Network Management Protocol）は、パソコン、ルーター、Fuji Xerox のネットワーク対応製品などのネットワーク機器を管理するために使用されます。本プリントサーバーは、SNMPv1、SNMPv2c、および SNMPv3 をサポートしています。

SNMPv3

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3（SNMPv3：Simple Network Management Protocol version 3）は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

SNTP

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP）は、TCP/IP ネットワーク内のパソコン、プリンター、端末を含めたネットワーク機器の時刻の設定に用いられます。ウェブブラウザ設定を使用して SNTP の設定を行うこともできます。

SSID

それぞれの無線 LAN では、独自のネットワーク名を持っており、そのネットワーク名は SSID または ESSID と呼ばれます。SSID は最大 32 文字までの英数字を使用し、アクセスポイントに割り当てられます。SSID は無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器に割り当てられているので、接続するネットワークの無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器と同じ SSID を設定してください。通常は、SSID 情報を含むパケット（ビーコンとも呼ばれます）が無線 LAN アクセスポイントから発信されます。お使いの無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器のパケット（ビーコン）を受信すると、近くにある電波強度が強い無線 LAN を識別することができます。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（TCP/IP）は、インターネットや E メールなどの通信に最も一般的に使用されているプロトコルです。このプロトコルは、Windows[®]、Windows Server[®]、OS X[®]および Linux[®]など、ほぼすべてのオペレーティングシステムで使用することができます。

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol（TKIP）は、WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとにネットワークキーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

Vertical Pairing

Vertical Pairing は、Vertical Pairing をサポートしている無線機器を WPS の PIN 方式と Web サービスの特徴を使って、インフラストラクチャネットワークに接続するための機能です。本製品の無線 LAN 設定からプリンタードライバーとスキャナードライバーのインストールまで一連の手順で行うことができます。

Web サービス

Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 の場合は、Web サービス プロトコルを使用して、ネットワークフォルダーにある本製品のアイコンを右クリックし、プリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールできます。また、ご使用のパソコンから本製品の現在のステータスを確認することもできます。

WEP

Wired Equivalent Privacy (WEP) は、IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通のネットワークキー (WEP キー) を設定して通信の暗号化を行います。

Wi-Fi Direct®

Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®が開発した無線設定方法のひとつです。

WINS

Windows® Internet Name Service (WINS) とは、NetBIOS name resolution の情報提供サービスです。ローカルネットワーク上の IP アドレスと NetBIOS 名を集約します。

WINS サーバー

Windows® Internet Name Service (WINS) サーバーは、IP アドレスを Windows®ネットワーク内のパソコン名 (NetBIOS 名) と関連付けます。

WLAN レポート (無線 LAN レポート)

WLAN レポート (無線 LAN レポート) には、本製品の無線の状態が印刷されます。無線接続に失敗した場合、印刷したレポートのエラーコードを確認してください。

WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA-PSK/WPA2-PSK は、Wi-Fi Alliance® が提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。WPA-PSK の TKIP、または WPA-PSK、WPA2-PSK の AES の暗号キーを使用して、本製品をアクセスポイントに接続します。

WPS

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) は、Wi-Fi Alliance®が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。無線 LAN アクセスポイントと無線接続を行いたい機器が WPS に対応していれば、セットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。

アドホック (Ad-hoc) 通信

無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモードまたはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

暗号化

ほとんどの無線 LAN で、何らかのセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定により、認証（ネットワークに機器を知らせる方法）および暗号化（ネットワークにデータを送信する際の暗号化方法）が定義されます。本製品の無線機器の設定時にこれらのオプションが正しく指定されないと、無線 LAN に接続できません。そのため、これらのオプションは慎重に設定してください。

個人的な無線 LAN 用の暗号化方式

個人的な無線 LAN とは、IEEE 802.1x をサポートしていない小規模ネットワークです（家庭内無線 LAN など）。

- なし
どちらの暗号化方式も使用されていません。
- WEP
Wired Equivalent Privacy（WEP）を使用している場合、データは安全なキーを付けて送受信されます。
- TKIP
Temporal Key Integrity プロトコル（TKIP）により、メッセージの完全性確認とキー取り換えメカニズムを合わせるキーが、パケット単位で得られます。
- AES
次世代標準化暗号方式（AES: Advanced Encryption Standard）により、対称鍵暗号化を使用した強力なデータ保護が実装されます。



- IEEE 802.11n は、暗号化方式として WEP および TKIP のどちらもサポートしていません。
- IEEE 802.11n を使用している無線 LAN に接続する場合は、AES を選択することを推奨します。

インフラストラクチャ（Infrastructure）通信

無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

ウェブブラウザ設定

お使いの標準ウェブブラウザで、HTTP を使用して、本製品を管理することができます。ウェブブラウザを使用してネットワーク上の製品から、一覧表示された機能を実行したり、以下の情報を取得できます。

- 本製品の状態、メンテナンスに関する詳細情報
- 送受信や応用機能などのファクス設定
- TCP/IP などのネットワーク設定変更
- ネットワークへの印刷ログの保存を設定する
- スキャン to FTP の設定
- 本製品およびプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報
- ネットワークと本製品の詳細設定



ウェブブラウザ設定を使用するには、ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用し、プリントサーバーパソコンに有効な IP アドレスがプログラムされている必要があります。

オープンシステム

オープンシステムは、ネットワーク認証方式の 1 つです。認証を行わず、すべてのネットワークアクセスを許可します。

検索

保存されたアドレス帳およびグループ番号のアルファベット順の電子リスト。

ゲートウェイ（ルーター）

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として機能するネットワークポイントで、そのネットワークを介して転送されたデータを目的の場所に送信します。ルーターは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルーターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーター IP アドレスが不明の場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

サブネットマスク

サブネットマスクは、ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。

以下の例では、IP アドレスの最後のセグメントがホストアドレス、最初の 3 つのセグメントがネットワークアドレスとなります。

例：パソコン 1 とパソコン 2 にデータを直接通信する。

- パソコン 1
IP アドレス：192.0.2.2
サブネットマスク：255.255.255.0
- パソコン 2
IP アドレス：192.0.2.3
サブネットマスク：255.255.255.0



0 は、アドレスのこの部分での通信に制限がないことを示します。

スキャン

紙原稿の電子画像をパソコンに送信するプロセス。

ステータスマニター

ステータスマニターは、本製品の印刷状況やインク/トナーの残量、用紙の有無などを確認したり、紙詰まりなどの問題が発生した場合にユーザーにお知らせするユーティリティです。

チャンネル

無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルはすでに決められた異なる周波数帯域を持っており、14 種類のチャンネルを使用することができます。利用可能なチャンネルは、多くの国で制限が設けられています。

デジタル署名

データの受信者がデータの正当性を確認するための情報です。暗号アルゴリズムで計算される値で、データオブジェクトに付加されます。

認証

ほとんどの無線 LAN で、何らかのセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定により、認証（ネットワークに機器を知らせる方法）および暗号化（ネットワークにデータを送信する際の暗号化方法）が定義されます。本製品の無線機器の設定時にこれらのオプションが正しく指定されないと、無線 LAN に接続できません。そのため、これらのオプションは慎重に設定してください。

個人的な無線 LAN 用の認証方式

個人的な無線 LAN とは、IEEE 802.1x をサポートしていない小規模ネットワークです（家庭内無線 LAN など）。

- オープンシステム

無線機器は、認証なしでネットワークへアクセスできます。

- 共有キー

事前定義された秘密キーが、無線 LAN にアクセスするすべての機器に共有されます。本製品の無線機器は、WEP キーを事前定義されたキーとして使用します。

- WPA-PSK/WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access® Pre-shared key（WPA-PSK/WPA2-PSK）を有効にします。このキーにより、本製品の無線機器が、WPA-PSK 用 TKIP または、WPA-PSK および WPA2-PSK（WPA-Personal）用 AES を使用するアクセスポイントと関連付けられます。

ネットワーク PC-FAX

お使いのパソコンからファクスとしてファイルを送りたいときに、ネットワーク PC-FAX を使用します。Windows®ユーザーは、PC-FAX でファクスを受信することもできます。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有印刷は、ネットワーク共有環境で行う印刷のタイプです。ネットワーク共有環境では、各パソコンがサーバーまたはプリントサーバー経由でデータを送信します。

ネットワークキー

ネットワークキーはパスワードであり、データを暗号化または復号化する場合に使用されます。ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとしても記載されます。以下の表に、各設定に使用するキーの文字数を示します。

WEP を使用するオープンシステム/共有キー

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値を持ち、ASCII または 16 進数の形式で入力する必要があります。

	ASCII	16 進数
64 (40) ビット	5 個の文字を使用します。 例：「WSLAN」（大文字と小文字を区別する）	10 ケタの 16 進数データを使用します。 例：「71f2234aba」（大文字と小文字を区別しない）
128 (104) ビット	13 個の文字を使用します。 例：「Wirelesscomms」（大文字と小文字を区別する）	26 ケタの 16 進数データを使用します。 例：「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」（大文字と小文字を区別しない）

WPA-PSK/WPA2-PSK および TKIP または AES

最長 63 文字で、8 文字以上の事前共有キー（PSK : Pre-Shared Key）を使用します。

ネットワーク設定レポート

ネットワーク設定レポートは、ネットワークプリントサーバーの設定を含む、現在のネットワーク設定を一覧表示したレポートです。

ネットワークリモートセットアップ

リモートセットアップソフトウェアでは、Windows®または Macintosh®のどちらかからネットワーク設定を行うことができます。

濃度

濃度を変更することにより、画像の全体的な明暗を調整できます。

ノード名

ノード名は、ネットワーク上の製品名です。WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は [BRNxxxxxxxxxxxx]、無線 LAN の場合は [BRWxxxxxxxxxxxx] となっています。（「xxxxxxxxxxxx」は MAC アドレス（イーサネットアドレス）です。）

ピアツーピア

ピアツーピアは、ピアツーピア環境で行う印刷の種類です。ピアツーピア環境では、各パソコンと各機器との間で直接データの送受信が行われます。アクセスや製品の共有を管理している中心的なサーバーは存在しません。

プロトコル

プロトコルは、ネットワーク上でデータを送信するための、標準化された一連の規則です。ユーザーはプロトコルを使用して、ネットワーク接続されたリソースにアクセスできます。本製品で使用されているプリントサーバーは、転送制御プロトコル/インターネットプロトコル（TCP/IP：Transmission Control Protocol/Internet Protocol）をサポートしています。

リモートセットアップ

リモートセットアップでは、パソコンから簡単に本製品の設定を行うことができます。このアプリケーションを起動すると、本製品の設定値がお使いのパソコンに自動的にダウンロードされ、パソコン画面に表示されます。リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

DocuPrint M260 z
ユーザズガイド パソコン活用&ネットワーク

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月—2015 年 12 月 第 1 版

(管理番号 : ME7732J1-1)